ヲ調査シ之ヲ決定スヘシ

第三十一條　歳入徴収官前條ノ決定ヲ爲シタルトキハ納入ニ對シ其ノ納付スヘキ金額、期日及場所ヲ記載シタル書面ヲ以テ納入ノ告知ヲ爲スヘシ但シ出納官吏又ハ出納員ニ即納セシムル場合ハ口頭ヲ以テ納入ノ告知ヲ爲スコトヲ得

第三十二條　納期ノ一定シタル收入ニシテ納期所屬ノ年度ニ於テ納入ノ告知書ヲ發セサルモノハ總テ納入ノ告知書ヲ發シタル年度ノ歳入ニ組入ルヘシ

第二節　收納

第三十三條　出納官吏又ハ出納員租稅其ノ他ノ歳入金ヲ收納シタルトキハ領收證書ヲ納入ニ交付スヘシ此ノ場合ニ於テハ出納官吏收納濟ノ旨ヲ歳入徴収官ニ報告スヘシ

第三十四條　出納官吏又ハ出納員ノ收納シタル現金ハ出納官吏之ヲ日本銀行ニ拂込ムヘシ

第三十五條　日本銀行ニ於テ歳入金ヲ收納シ又ハ歳入金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ領收證書ヲ納入又ハ拂込人ニ交付シ領收濟ノ旨ヲ歳入徴收官ニ報告スヘシ

第三十六條　每年度所屬歳入金ヲ出納官吏又ハ出納員ニ於テ收納スルハ翌年度四月三十日限トス

第三節　報告

第三十七條　歳入徴收官ハ每月徴收報告書ヲ調製シ參照書類ヲ添ヘ之ヲ歳入事務管理廳ニ送付スヘシ

第三十八條　歳入事務管理廳ハ徴收報告書ニ依リ每月徴收總報告書ヲ調製シ參照書類ヲ添ヘ其ノ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四章　支出

第一節　總則

第三十九條　勅令ヲ以テ指定シタル費途ニ對シテハ大藏大臣ノ承認ヲ經ルニ非サレハ之ニ他ノ費途ノ金額ヲ流用スルコトヲ得ス

大藏大臣前項ノ承認ヲ爲シタルトキハ之ヲ會計檢査院ニ通知スヘシ

第四十條　豫備金ヲ以テ前條ノ規定ニ依リ概算拂ヲ爲シ得ルハ左ニ揭ケル經費ニ限ル但シ第三號ニ揭ケル經費ニ付テハ所管大臣大藏大臣ト協議スルコトヲ要ス

一　旅費

二　官公署ニ對シ支拂フヘキ經費

三　補助金又ハ補給金

第六十一條　會計法第二十二條ノ規定ニ依リ事務費ノ全部又ハ一部ヲ主務官吏ニ對シ渡切ヲ以テ支給シ得ルハ左ニ揭ケル官署ノ經費ニ限ル

一　在外各廳

二　遞信官署

三　區裁判所出張所

四　朝鮮、臺灣、樺太、關東州及南洋群島ニ於ケル官署

前項ノ官署ノ種類、渡切ト爲スヘキ歳出科目及支給方法ハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム

第五節　繰替拂

第六十二條　各省大臣ハ左ニ揭ケル經費ノ支拂ヲ爲シムル爲出納官吏ヲシテ其ノ保管ニ係ル前渡ノ資金ヲ繰替使用セシムルコトヲ得但シ第四號ニ揭ケル經費ニ繰替使用スヘキ資金ハ艦船經費繰替金ニ限ル

一　旅費

二　埋葬費

三　在外公館ニ於ケル難民貸與金

四　海軍省所管艦船經費

第六十三條　所管大臣ハ左ニ揭ケル官署ノ出納官吏又ハ出納員ヲシテ其ノ取扱ニ係ル歳入金ヲ歳出金及歳入歳出外現金ヲ交互ニ繰替使用セシムルコトヲ得

一　鐵道官署

二　遞信官署

前項ノ規定ニ依ル現金ノ繰替使用ニ關スル手續ハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム

第六節　年度開始前支出

第六十四條　各省大臣ハ資金前渡ヲ爲シ得ル經費ニ限リ必要已ムヲ得サル場合ニ於テハ當該年度開始前之カ資金ヲ交付スルコトヲ得

第六十五條　前條ノ場合ニ於テハ各省大臣其ノ前渡ヲ要スル經費ヲ算定シ計算書ヲ調製シ之ヲ大藏大臣及會計檢査院ニ送付スヘシ

大藏大臣前項ノ計算書ノ送付ヲ受ケタルトキハ翌年度ノ上之ヲ日本銀行ニ通知スヘシ

第六十六條　支出官ハ每月支出濟額報告書ヲ調製シ之ヲ所管大臣ニ送付スヘシ

第六十七條　所管大臣ハ支出濟額報告書ニ依リ每月支出總報告書ヲ調製シ支出濟額報告書ヲ添ヘ其ノ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第七節　決算

第六十八條　歳入歳出總決算ハ總豫算ト同一ノ區分ニ依リ大藏大臣之ヲ調製スヘシ

第六十九條　大藏大臣ハ總決算ニ歳入決算明細書、各省決算報告書及國債計算書ヲ添ヘ會計檢査院ニ送付ノ手續ヲ爲スヘシ

第二節　歳入決算明細書、各省決算報告書及收入支出計算書

第七十條　大藏大臣ハ歳入豫算明細書ト同一ノ區分ニ依リ歳入決算明細書ヲ調製シ各項每ニ豫算ニ對スル增減ノ事由ヲ說明スヘシ

第七十一條　歳入事務管理廳ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ每年度收入濟歳入額ニ付豫算ニ對スル增減計算書ヲ調製シ翌年度七月三十一日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第七十二條　各省大臣ハ各省豫定經費要求書ト同一ノ區分ニ依リ其ノ省所管ニ屬スル經費ノ決算報告書ヲ調製シ翌年度七月三十一日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第七十三條　歳入徴收官ハ會計檢査院ニ證明ノ爲歳入金ノ收納額計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ其ノ歳入事務管理廳ニ送付シ歳入事務管理廳ハ之ヲ會計檢査院ニ送付スヘシ

第七十四條　支出官ハ會計檢査院ニ證明ノ爲支出計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ其ノ所管大臣ニ送付シ所管大臣ハ之ヲ會計檢査院ニ送付スヘシ

第七十五條　前二條ノ計算書ハ歳入事務管理廳又ハ所管大臣ヨリ特ニ委任ヲ受ケタル官吏ヲシテ直ニ之ヲ會計檢査院ニ送付セシムルコトヲ得

第三節　國債計算書

第七十六條　國債計算書ハ大藏大臣之ヲ調製スヘシ

第七十七條　國債計算書ニハ左ニ揭ケル事項ヲ示スヘシ

一　當該年度末日ニ於ケル國債ノ種類及現在高ヲ示ス計算

二　當該年度ニ於テ償還シ及支拂ヒタル各種國債ノ元高及利子ノ計算

三　最近五年度間ニ於ケル各種國債增減ノ情況ヲ示ス計算

第六章　定額繰越及定額戻入

第一節　定額繰越

第七十八條　各省大臣會計法第二十七條及第二十八條ノ規定ニ依リ定額ノ繰越ヲ要スルトキハ翌年度四月三十日迄ニ繰越計算書ヲ調製シ各事件每ニ其ノ事由ヲ示シ大藏大臣ノ承認ヲ求ムヘシ

繰越計算書ハ歳出豫算ト同一ノ區分ニ依リ繰越ヲ要スル經費ノ款項ノ定額

二　定額中支出濟トナリタル額及當該年度所屬トシテ支出スヘキ額

三　定額中翌年度ニ繰越ヲ要スル額

四　定額中不用ト爲ルヘキ額

第七十九條　會計法第二十七條ノ規定ニ依リ繰越ヲ爲サムトスルトキハ豫算ニ於テ明許シタル場合ヲ除クノ外前條ノ繰越計算書ニ契約書ノ寫其ノ他ノ參照書類ヲ添附スヘシ

第八十條　大藏大臣各省定額ノ繰越ヲ承認シタルトキハ繰越計算書ノ寫ヲ添ヘ之ヲ會計檢査院ニ通知スヘシ

第二節　定額戻入

第八十一條　支出濟トナリタル歳出ノ返納金ハ其ノ支拂ヒタル經費ノ定額ニ之ヲ戻入ルルコトヲ得但シ重大ナル過失ニ因リ誤拂過渡トナリタル金額ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八十二條　支出官前條ノ規定ニ依リ定額ニ戻入レムトスルトキハ返納人ヲシテ其ノ金額ヲ返納セシムヘシ

第八十三條　日本銀行ニ於テ前條ノ返納金ヲ領收シタルトキハ之ニ相當スル金額ヲ支拂豫算定額ニ戻入ノ記帳ヲ爲シ其ノ旨ヲ支出官ニ通知スヘシ

第八十四條　每年度ニ屬スル定額戻入ヲ爲スハ翌年度四月三十日限トス

第七章　契約

第一節　總則

第八十五條　各省大臣又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏契約ヲ爲サムトスルトキハ契約ノ目的、履行期限、保證金額、契約違反ノ場合ニ於ケル保證金ノ處分、危險ノ負擔其ノ他必要ナル事項ヲ詳細ニ記載シタル契約書ヲ作成スヘシ

第八十六條　契約書ニハ當該官吏記名捺印スルコトヲ要ス

第八十七條　各省大臣ハ左ニ揭ケル場合ニ於テハ第八十五條ニ規定スル契約書ノ作成ヲ省略スルコトヲ得但シ第五號ノ場合ニ於テハ大藏大臣ト協議スルコトヲ要ス

一　三千圓ヲ超エサル指名競爭契約又ハ隨意契約ヲ爲ストキ

二　外國ニ於テ五千圓ヲ超エサル指名競爭契約又ハ隨意契約ヲ爲ストキ

三　雜賣ニ付スルトキ

四　物品賣拂ノ場合ニ於テ買受人直ニ代金ヲ納付シ其ノ物品ヲ引取ルトキ

七　官公署ニ對シ支拂フヘキ經費

八　外國ニ於テ研究又ハ調査ニ從事スル者ニ支給スル學資金其ノ他ノ給與

九　交通至難ノ場所ニ勤務スル者又ハ艦船乘組ノ者ニ支給スル俸給其ノ他ノ給與

十　軍人、軍屬及陸海軍ノ職工ニ支給スル旅費

十一　外國在勤陸海軍武官ニ支給スル俸給其ノ他ノ給與

十二　補助金

十三　諸謝金

第六十條　會計法第二十一條ノ規定ニ依リ概算拂ヲ爲シ得ルハ左ニ揭ケル經費ニ限ル但シ第三號ニ揭ケル經費ニ付テハ所管大臣大藏大臣ト協議スルコトヲ要ス

一　旅費

二　官公署ニ對シ支拂フヘキ經費

三　補助金又ハ補給金

第六十一條　會計法第二十二條ノ規定ニ依リ事務費ノ全部又ハ一部ヲ主務官吏ニ對シ渡切ヲ以テ支給シ得ルハ左ニ揭ケル官署ノ經費ニ限ル

一　在外各廳

二　遞信官署

三　區裁判所出張所

四　朝鮮、臺灣、樺太、關東州及南洋群島ニ於ケル官署

前項ノ官署ノ種類、渡切ト爲スヘキ歳出科目及支給方法ハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム

第五節　繰替拂

第六十二條　各省大臣ハ左ニ揭ケル經費ノ支拂ヲ爲シムル爲出納官吏ヲシテ其ノ保管ニ係ル前渡ノ資金ヲ繰替使用セシムルコトヲ得但シ第四號ニ揭ケル經費ニ繰替使用スヘキ資金ハ艦船經費繰替金ニ限ル

一　旅費

二　埋葬費

三　在外公館ニ於ケル難民貸與金

四　海軍省所管艦船經費

第六十三條　所管大臣ハ左ニ揭ケル官署ノ出

豫備金ヲ以テ支辨スル費途ノ金額ハ他ノ費途ニ流用スルコトヲ得ス

第四十條　各省大臣ノ官吏ヲシテ其ノ所管定額ノ支出ヲ爲サシメムトスルトキハ支拂豫算ヲ定メテ之ヲ委任スヘシ

第四十二條　支出官ニ事故アルトキハ各省大臣ハ臨時他ノ官吏ヲシテ其ノ事務ヲ代理セシムルコトヲ得

第四十三條　本章ノ規定ハ商法中小切手ニ關スル規定ノ適用ヲ妨ケス

第二節　小切手ノ振出

第四十四條　支出官ハ小切手振出前其ノ經費ハ豫算ノ目的ニ違フコトナキカヲ調査シ該經費ノ金額ヲ算定シ且該經費ハ支拂豫算額ニ超過スルコトナキカヲ調査スヘシ

第四十五條　支出官ハ其ノ振出ス小切手ニ受取人ノ氏名、金額、年度、支出科目、番號其ノ他必要ナル事項ヲ記載スヘシ

第四十六條　小切手ハ一項每ニ之ヲ振出スヘシ

第四十七條　支出官ノ振出ス小切手ハ大藏大臣ノ特ニ定ムル場合ヲ除クノ外之ヲ記名式所持人拂ト爲スヘシ

第四十八條　支出官隔地ノ債主ニ支拂ヲ要スルトキハ支拂場所ヲ指定シ日本銀行ニ之カ資金ヲ交付シ其ノ旨ヲ債主ニ通知スヘシ

前項ノ規定ハ隔地ノ出納官吏ニ資金ヲ交付スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十九條　支出官小切手ヲ振出シタルトキハ其ノ郡度之ヲ日本銀行ニ通知スヘシ

第五十條　每年度ニ屬スル經費ヲ精算シテ小切手ヲ振出スハ翌年度四月三十日限トス但シ國庫内ニ於ケル移換ノ爲ニスル支出ハ此ノ限ニ在ラス

會計法第十九條ノ規定ニ依リ歳出金ニ繰替使用シタル現金補塡ノ爲ニスル支出ニ付テハ翌年度五月三十一日迄小切手ヲ振出スコトヲ得

第五十一條　小切手ノ呈示アリタルトキハ日本銀行ハ其ノ小切手カ法令ニ違フコトナキカ、券面金額カ、支拂豫算各項定額ノ殘高ニ超過スルコトナキカヲ調査シ之カ支拂ヲ爲スヘシ

前項ノ小切手ニシテ其ノ振出日附ヨリ十日ヲ經過シタルモノト雖一年ヲ經過セサル場合ニ於テハ之カ支拂ヲ爲スヘシ但シ出納官吏又ハ出納員ニ即納セシムル場合ハ口頭ヲ以テ納入ノ告知ヲ爲スコトヲ得

第五十二條　日本銀行第四十八條ノ規定ニ依リ資金ノ交付ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ小切手ノ振出日附ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ債主又ハ出納官吏ニ對シ之カ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

第五十三條　每年度小切手振出濟金額中翌年度五月三十一日迄ニ支拂ヲ了セサル金額ニ相當スル資金ハ會計法第二十六條ノ歳計剩餘ニ組入レス之ヲ繰越整理スヘシ

第五十四條　前條ノ規定ニ依リ繰越シタル資金中小切手振出日附ヨリ一年ヲ經過シ未タ其ノ支拂ヲ了セサル金額ニ相當スルモノハ之ヲ其ノ期間滿了ノ日ノ屬スル年度ノ歳入ニ組入ルヘシ

前項ノ規定ハ日本銀行第五十二條ノ場合ニ於テ支拂ヲ了セサル金額ニ相當スル資金ノ返納ニ付之ヲ準用ス

第五十五條　支出官小切手ノ所持人ヨリ償還ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於テハ之ヲ調査シ償還スヘキモノト認ムルトキハ事由ヲ具シ證憑書類ヲ添ヘ之ヲ所管大臣ニ提出シ所管大臣ハ審査ノ上之カ支拂ヲ大藏大臣ニ請求スヘシ

第五十六條　前條ノ規定ハ支出官第五十二條ノ場合ニ於テ其ノ支拂ヲ受ケサル債主又ハ出納官吏ヨリ更ニ支拂ノ請求ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第四節　資金前渡、前金拂、概算拂及渡切經費

第五十七條　會計法第十七條ノ規定ニ依リ主任ノ官吏ヲシテ現金支拂ヲ爲サシムル爲其ノ資金ヲ當該官吏ニ前渡スルハ左ニ揭クル經費ニ限ル

一　學校、病院及艦船ニ屬スル經費

二　陸海軍ノ軍隊、學校及病院竝海軍ノ部隊、艦船ニ屬スル經費

三　陸軍ニ於テ馬匹又ハ機務ヲ主管スル官ヨリ直接購入スル場合ニ要スル經費

四　官船ニ屬スル經費

五　外國ニ於テ支拂ヲ爲ス經費

六　運輸通信ノ不便ナル地方ニ於テ支拂ヲ爲ス經費

七　臨中常用ノ雜費及旅費但シ一年ノ總額五千圓ヲ超エルコトヲ得ス

八　場所ノ一定セサル事務所ノ經費

九　各廳直營ノ工事、製造又ハ造林ニ要スル經費但シ一主任官ニ付當時五萬圓ヲ超エルコトヲ得ス

十　監獄作業賞與金

十一　囚人及刑事被告人押送費

十二　證人、鑑定人、通事又ハ參考人ニ支給スル旅費其ノ他ノ給與

第五十八條　前條ノ規定ニ依リ資金ヲ前渡スルハ左ノ區分ニ依ル

一　常時ノ費用ニ係ルモノハ每一月分以内ノ費額ヲ豫定シテ交付スヘシ但シ外國ニ於テ支拂ヲ爲ス經費、運輸通信ノ不便ナル地方ニ於テ支拂ヲ爲ス經費又ハ支拂場所ノ一定セサル經費ハ事務ノ必要ニ依リ六月分以内ヲ交付スルコトヲ得

二　隨時ノ費用ニ係ルモノハ所要ノ費額ヲ豫定シ事務上差支ナキ限リ成ルヘク分割シテ交付スヘシ

第五十九條　會計法第二十一條ノ規定ニ依リ前金拂ヲ爲シ得ルハ左ニ揭クル經費ニ限ル但シ第九號乃至第十三號ニ揭クル經費ニ付テハ所管大臣大藏大臣ト協議スルコトヲ要ス

一　軍艦、兵器又ハ彈藥ノ代價

二　外國ヨリ直接購入スル機械又ハ圖書ノ代價

三　朝鮮、臺灣、樺太、關東州又ハ南洋群島内ニ居住スル者ニ支給スル徴兵旅費

四　運賃

五　外國ニ於テ支拂ヲ要スル土地又ハ家屋ノ借料及公課

六　政府ノ買收又ハ收用ニ係ル土地ノ上ニ存スル物件ノ移轉料

五　第一號及第二號以外ノ隨意契約ニ付各省大臣契約書ヲ作成スルノ必要ナシト認ムルトキ

第八十八條　政府ト契約ヲ結ハムトスル者ハ現金又ハ國債ヲ以テ契約金額百分ノ十以上ノ保證金ヲ納ムヘシ

指名競爭ニ付シ又ハ隨意契約ニ依ル場合ニ於テハ各省大臣又ハ保證金ノ全部又ハ一部ヲ免除スルコトヲ得前條第三號及第四號ノ場合亦同シ

第八十九條　契約者其ノ義務ヲ履行セサルトキハ契約ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外保證金ハ政府ノ所得トス

第九十條　政府ニ屬スル財產ノ賣拂ヲ爲ストキハ法律勅令ニ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ代金ヲ完納セシムヘシ

第九十一條　財產ノ貸付料ハ法律勅令ニ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外之ヲ前納セシムヘシ但シ貸付期間ノ長期ニ渉ルモノニ付テハ每年定期ニ之ヲ納付セシムルコトヲ得

第九十二條　各省大臣ニ千圓ヲ超ユル工事、製造又ハ物件ノ買入ニ付テハ竣功又ハ完納ノ後之ヲ監督又ハ檢查シタル官吏又ハ技術者ヲシテ其ノ調書ヲ作成セシムヘシ

契約ニ依リ工事若ハ製造ノ既濟部分又ハ物件ノ既納部分ニ對シ完濟前又ハ完納前ニ代價ノ一部分ヲ支拂ハムトスルトキハ各省大臣ハ特ニ檢查ノ官吏又ハ技術者ヲ命シ事實前各項ノ調書ニ依ルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

第九十三條　前條第二項ノ支拂ヲ爲サムトスルトキハ工事又ハ製造ニ付テハ其ノ既濟部分ニ對スル代價ノ十分ノ九、物件ノ買入ニ付テハ其ノ既納部分ニ對スル代價ヲ超ユルコトヲ得ス但シ箇々ニ分立シ得ヘキ性質ノ工事又ハ製造ニ於ケル各箇ノ完濟部分ニ對シテハ其ノ代價ノ全額迄ヲ支拂フコトヲ得

第九十四條　前二條ノ規定ハ工事又ハ製造以外ノ請負契約ノ全部又ハ一部ノ履行ニ對シ支拂ヲ爲サムトスル場合ニ之ヲ準用ス

五　貸借料年額又ハ總額千五百圓ヲ超ユサルモノ

六　豫定貸借料年額又ハ總額五百圓ヲ超ユサル物件ノ貸付ヲ爲ストキ

七　豫定代價千圓ヲ超ユサル財產ノ賣拂ヲ爲ストキ

八　前四號以外ノ契約ニシテ其ノ金額二千圓ヲ超ユサルトキ

九　勞力ノ供給ヲ請負ハシムルトキ

十　運送又ハ保管ヲ爲サシムルトキ

十一　官廳相互間ニ於テ契約ヲ爲ストキ

十二　農工場、學校、試驗所、監獄其ノ他之ニ準スヘキモノノ生產又ハ製造ニ係ル物品ノ賣拂ヲ爲ストキ

十三　法律勅令ノ規定ニ依リ財產ノ讓與又ハ無償貸付ヲ爲シ得ル者ニ其ノ財產ノ賣拂又ハ貸付ヲ爲ストキ

十四　非常災害アリタル場合ニ於テ罹災者ニ政府ノ生產ニ係ル建築材料ノ賣拂ヲ爲ストキ

十五　外國ニ於テ契約ヲ爲ストキ

十六　道府縣市町村其ノ他ノ公法人、公益法人、產業組合又ハ慈惠ノ爲ニ設立シタル救育所ヨリ直接ニ物件ノ買入又ハ借入ヲ爲ストキ

十七　移住地域內ニ於ケル土木工事ヲ其ノ移住民ノ共同請負ニ付スルトキ

十八　學術又ハ技藝ノ保護奬勵ノ爲之ニ必要ナル物件ノ賣拂又ハ貸付ヲ爲ストキ

十九　產業又ハ拓殖事業ノ保護奬勵ノ爲之ニ必要ナル物件ノ賣拂若ハ貸付ヲ爲ストキ又ハ生產者ヨリ直接ニ其ノ生產若ハ製造ニ係ル物品ノ買入ヲ爲ストキ

二十　公共用、公用又ハ公益事業ニ供スル爲必要ナル物件ヲ直接ニ公共團體又ハ起業者ニ賣拂又ハ貸付ヲ爲ストキ

二十一　土地、建物、林野又ハ其ノ產物ヲ之ニ特別ノ緣故アル者ニ賣拂又ハ貸付ヲ爲ストキ

二十二　事業經營上特ニ必要ナル物品ノ買入ヲ爲シ若ハ製造ヲ爲サシメ又ハ土地建物ノ借入ヲ爲ストキ

二十三　法律勅令ノ規定ニ依リ問屋業者ニ販賣ヲ委託スルトキ又ハ之ヲシテ販賣ヲ爲サシムルトキ

前項第十九號乃至第二十三號ノ場合ニ於テハ所管大臣豫メ大藏大臣ト協議スルコトヲ要ス

前項ノ協議ヲ遂ケタルトキハ大藏大臣直ニ之ヲ會計檢查院ニ通知スヘシ

第百十五條　競爭ニ付スルモ落札者ナキトキ又ハ再度ノ入札ニ付スルモ落札者ナキトキハ隨意契約ニ依ルコトヲ得但シ保證金及期限ヲ除クノ外最初競爭ニ付スルトキ定メタル價格其ノ他ノ條件ヲ變更スルコトヲ得ス

第百十六條　落札者契約ヲ結ハサルトキハ其ノ落札金額ノ制限內ニ於テ隨意契約ニ依ルコトヲ得但シ期限ヲ除クノ外最初競爭ニ付スルトキ定メタル條件ヲ變更スルコトヲ得ス

第百十七條　前二條ノ場合ニ於テ豫定價格又ハ落札金額ヲ分割計算シ得ル場合ニ限リ該價格又ハ金額ノ制限內ニ於テ各目的ニ付之ヲ數人ニ分割シテ契約ヲ爲スコトヲ妨クス

第百十八條　隨意契約ニ依ラムトスルトキハ成ルヘク二人以上ヨリ見積書ヲ徵スヘシ

第百十九條　各省大臣會計法第三十一條第二項ノ規定ニ依リ隨意契約ニ依ルヲ得ル場合ニ於テハ事由ヲ詳具シ直ニ之ヲ會計檢查院ニ通知スヘシ

第八章　保管金及有價證券

第百二十條　政府ハ法律勅令ノ規定ニ依ルニ非サレハ公有又ハ私有ノ現金又ハ有價證券ヲ保管セス

第百二十一條　政府ノ保管ニ係ル現金ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ大藏省預金部ニ預入ルヘシ

第百二十二條　政府ノ所有又ハ保管ニ係ル有價證券ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ日本銀行ヲシテ之ヲ取扱ヒ保管セシム

第百二十三條　政府ノ保管ニ係ル現金又ハ政府ノ所有若ハ保管ニ係ル有價證券ノ取扱手續ニ關シテハ法律勅令ニ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外大藏大臣之ヲ定ム

第九章　出納官吏

第一節　總則

第百二十四條　本令ニ於テ出納官吏ト稱スルハ現金ノ出納保管ヲ掌ル官吏ヲ謂フ

第百二十五條　出納官吏ハ各省大臣又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏之ヲ命ス

第百二十六條　各省大臣又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏ハ其ノ代理官又ハ分任官ヲ置クコトヲ得

前項ノ代理官ハ出納官吏ノ事務ノ全部ヲ代理シ分任官ハ其ノ一部ヲ分掌スルモノトス

第百二十七條　所管大臣ハ會計法第三十七條ノ規定ニ依リ左ニ揭クル官署ノ事務員ヲシテ現金ノ出納保管ニ關スル事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

一　鐵道官署

二　遞信官署

前項ノ外特別ノ必要アル場合ニ於テハ各省大臣大藏大臣ト協議シ其ノ屬ノ事務員ヲシテ現金ノ出納保管ニ關スル事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百二十八條　前條ノ規定ニ依リ現金ノ出納保管ニ關スル事務ヲ分掌ヲ命セラレタル官吏ハ主任出納官吏又ハ分任出納官吏所屬ノ出納員ト連署シテ其ノ事務ヲ取扱フヘシ

第百二十九條　出納員ノ領收シタル現金ハ之ヲ所屬出納官吏ニ拂込ムヘシ但シ所管大臣ニ於テ必要アリト認ムルトキハ他ノ出納官吏又ハ出納員ニ交付セシムルコトヲ得

第百三十條　出納官吏又ハ出納員其ノ保管ニ屬スル現金ヲ亡失シ又ハ其ノ行爲ニ因リ政府ニ損失ヲ生セシメタル場合ニ於テハ所管大臣ハ遲滯ナク之ヲ大藏大臣及會計檢查院ニ通知スヘシ

第百三十一條　出納官吏及出納員ハ本令ニ定ムルモノヲ除クノ外大藏大臣ニ之ヲ定ムル所ニ依リ現金ノ出納保管ヲ爲スヘシ

第二節　責任

第百三十二條　出納官吏ハ其ノ責任ニ屬スル現金ノ出納保管ニ付單ニ自ラ事務ヲ執ラサルコトヲ理由トシテ其ノ責任ヲ免ルルコトヲ得ス但シ其ノ代理官、分任官又ハ所屬出納員ノ行爲ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ出納員ノ責任ニ付之ヲ準用ス

第百三十三條　代理出納官吏、分任出納官吏又ハ出納員ハ其ノ行爲ニ付會計法第三十五條ノ責任ヲ免ルルコトヲ得ス

第百三十四條　各省大臣ハ出納官吏又ハ出納員ノ行爲ニ因リ政府ニ損失ヲ生セシメタリト認ムル場合ニ於テハ會計檢查院ノ判決前ト雖其ノ出納官吏又ハ出納員ニ對シ辨償ヲ命スルコトヲ得

第百三十五條　前條ノ場合ニ於テ其ノ辨償ヲ命セラレタル出納官吏又ハ出納員其ノ責ヲ免ルヘキ理由アリト信スルトキハ計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ所管大臣ヲ經由シテ之ヲ會計檢查院ニ送付シ其ノ判決ヲ求ムルコトヲ得

所管大臣ハ前項ノ場合ト雖其ノ命シタル損失金ノ辨償ヲ猶豫セス

會計檢查院ニ於テ出納官吏又ハ出納員ニ對シ辨償ノ責ナシト判決シタルトキハ其ノ既納ニ係ル辨償金ハ直ニ之ヲ還付スヘシ

第三節　檢查及證明

第百三十六條　出納官吏ノ帳簿金櫃ハ每年三月三十一日又ハ轉免、死亡、退職其ノ他異動アリタルトキ所管大臣檢查員ヲ命シテ之ヲ檢查セシムヘシ但シ臨時ニ資金ノ前渡ヲ受ケタル官吏ノ帳簿金櫃ハ定時ノ檢查ヲ要セス

大藏大臣又ハ各省大臣必要アリト認ムルトキハ臨時ニ檢查員ヲ命シテ出納官吏又ハ出納員ノ帳簿金櫃ヲ檢查セシムヘシ

第百三十七條　前條ノ檢查ヲ執行スルニ當リ當該出納官吏又ハ出納員事故ニ因リ自ラ檢查ヲ受クルコト能ハサルトキハ其ノ代理者又ハ特ニ所管大臣ノ命シタル官吏ニ於テ立會ヲ爲スヘシ

第百三十八條　出納官吏又ハ出納員ノ帳簿金櫃ヲ檢查シタルトキハ檢查書二通ヲ作成シ檢查員及當該出納官吏、出納員又ハ立會人之ニ記名捺印シ一通ハ當該出納官吏、出納官ニ付スルコトヲ得

第百三十九條　本章ニ定ムルモノノ外契約ニ關シ必要ナル事項ハ大藏大臣之ヲ定ム

第二節　一般競爭契約

第百四十條　一般競爭ニ加ラムトスル者ニ必要ナル資格ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依ル

第百四十一條　各省大臣ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヲ一般競爭ニ加ラシメサルコトヲ得之ヲ代理人、支配人、番頭、手代又ハ技術者トシテ使用シタル者亦同シ

一　契約ヲ履行スルニ當リ故意ニ工事、製造又ハ物件ヲ粗雜ニシ又ハ其ノ品質數量ニ關シ欺罔ノ行爲アリタル者

二　競爭ニ際シ不當ニ價格ヲ競上ケ又ハ競下ケル目的ヲ以テ連合ヲ爲シタル者

三　競爭ノ加入ヲ妨害シ又ハ競落者ノ契約締結若ハ契約ノ履行ヲ妨害シタル者

四　檢查監督ニ際シ掛員ノ職務執行ヲ妨ケタル者

五　正當ノ理由ナクシテ契約ヲ履行セサリシ者

六　前各號ノ一ニ該當スト認メラレタル後二年ヲ經過セサル者ヲ契約ニ際シ代理人、支配人、番頭、手代又ハ技術者トシテ使用スル者

第百四十二條　各省大臣ハ前條ノ規定ニ該當スル者ヲ入札代理人トシテ使用スル者ヲ競爭ニ加ラシメサルコトヲ得

第百四十三條　競爭ニ加ラムトスル者ハ現金又ハ國債ヲ以テ見積金額百分ノ五以上ノ保證金ヲ納ムヘシ

第百四十四條　競落者契約ヲ結ハサルトキハ保證金ハ政府ノ所得トス

第百四十五條　競爭ニ加ラムトスル者ハ現金又ハ國債ヲ以テ見積金額百分ノ五以上ノ保證金ヲ納ムヘシ

第百四十六條　入札ノ方法ニ依リ競爭ニ付セムトスルトキハ其ノ入札期日ノ前日ヨリ起算シ少クトモ十日前ニ官報、新聞紙、揭示其ノ他ノ方法ヲ以テ公告スヘシ但シ急ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ期間ヲ五日迄ニ短縮スルコトヲ得

第百四十七條　入札ノ方法ニ依リ競爭ニ付セムトスルトキハ其ノ入札期日ノ前日ヨリ起算シ少クトモ五日前ニ官報、新聞紙、揭示其ノ他ノ方法ヲ以テ公告スヘシ

第百四十八條　入札者ハ一人ニ付スル事項ノ價格ヲ封書ヲ以テ同時ニ入札ヲ爲スヘシ

第百四十九條　開札ハ入札者又ハ其ノ代理人立會ノ上之ヲ爲スヘシ

第百五十條　開札ハ公告ニ示シタル場所、日時ニ入札者ノ面前ニ於テ之ヲ行フヘシ但シ入札者ニシテ出席セサル者アルトキハ入札ニ關係ナキ官吏ヲシテ開札ニ立會ハシムヘシ

第百五十一條　入札者ハ一旦提出シタル入札書ノ引換、變更又ハ取消ヲ爲スコトヲ得ス

競爭加入ノ資格ナキ者ノ爲シタル入札又ハ入札ニ關スル條件ニ違反シタル入札ハ無效トス

第百五十二條　開札ノ場合ニ於テ各人ノ入札中第百四條ノ規定ニ依リ豫定シタル價格ノ制限ニ達シタルモノナキトキハ直ニ再度ノ入札ヲ爲サシムルコトヲ得

第百五十三條　落札ト爲ルヘキ同價ノ入札ヲ爲シタル者二人以上アルトキハ直ニ抽籤ヲ以テ落札者ヲ定ムヘシ

前項ノ場合ニ於テ當該入札者中出席セサル者又ハ抽籤ヲ爲ササル者アルトキハ入札ニ關係ナキ官吏ヲシテ之ニ代リ抽籤ヲ爲サシムヘシ

第百五十四條　入札者若ハ落札者ナキ場合又ハ落札者契約ヲ結ハサル場合ニ於テ更ニ入札ニ付セムトスルトキハ第百二條ノ期間ハ五日迄ニ之ヲ短縮スルコトヲ得

第百五十五條　各省大臣動產ノ賣拂ニ付特別ノ事由ニ因リ必要アリト認ムル場合ニ於テハ大藏大臣ト協議シ本節ノ規定ニ準シ競賣リニ付スルコトヲ得

第三節　指名競爭契約

第百五十六條　會計法第三十一條第二項ノ規定ニ依ルノ外左ニ揭クル場合ニ於テハ指名競爭ニ付スルコトヲ得

一　契約ノ性質又ハ目的ニ依リ競爭ニ加ルヘキ者少數ニシテ一般ノ競爭ニ付スルノ必要ナキトキ

二　一萬圓ヲ超エサル工事若ハ製造ヲ爲サシメ又ハ五千圓ヲ超エサル財產ヲ買入ヲ爲ストキ

三　貸借料年額又ハ總額三千圓ヲ超エサル物件ノ借入ヲ爲ストキ

四　豫定貸貸料年額又ハ總額千圓ヲ超エサル物件ノ貸付ヲ爲ストキ

五　豫定代價二千圓ヲ超エサル財產ノ賣拂ヲ爲ストキ

六　前四號以外ノ契約ニシテ其ノ金額四千圓ヲ超エサルトキ

隨意契約ニ依ルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ指名競爭ニ付スルコトヲ妨ケス

第百五十七條　指名競爭ニ付セムトスルトキハ成ルヘク五人以上ノ入札者ヲ指定スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ第百三條ニ規定シタル事項ヲ各入札者ニ通知スヘシ

第百五十八條　各省大臣會計法第三十一條第二項ノ規定ニ依リ指名競爭ニ付シテ契約ヲ結ヒタルトキハ事由ヲ詳具シ直ニ之ヲ會計檢查院ニ通知スヘシ

第百五十九條　第九十七條乃至第百一條、第百四條乃至第百七條ノ規定ハ指名競爭契約ノ場合ニ之ヲ準用ス

各省大臣必要ナシト認ムル場合ニ於テハ第九十九條ノ保證金ノ之ヲ免除スルコトヲ得

第四節　隨意契約

第百六十條　會計法第三十一條第二項ノ規定ニ依ルノ外左ニ揭クル場合ニ於テハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

一　契約ノ性質又ハ目的カ競爭ヲ許サルトキ

二　急迫ノ際競爭ニ付スルノ暇ナキトキ

三　政府ノ行爲ヲ秘密ニスルノ必要アルトキ

四　五千圓ヲ超エサル工事若ハ製造ヲ爲サシメ又ハ三千圓ヲ超エサル財產ノ買入ヲ爲ストキ

第十章　雜則

第百六十一條　本令ニ定ムルモノノ外會計ニ關シ必要ナル事項ハ大藏大臣之ヲ定ム

員又ハ立會人ニ交付シ一通ハ所管大臣ニ提出スヘシ

第百三十九條　出納官吏又ハ出納員他ノ公金ノ出納ヲ兼掌スルトキハ金櫃ノ檢査ヲ執行スル者ハ併セテ他ノ公金ノ檢査ヲ行フヘシ

第百四十條　租稅其ノ他ノ歲入金ノ收納ヲ掌ル官吏ハ會計檢査院ノ檢査判決ヲ受クル爲出納計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ歲入徵收官ヲ經由シテ之ヲ會計檢査院ニ提出スヘシ

第百四十一條　資金ノ前渡ヲ受ケタル官吏ハ會計檢査院ノ檢査判決ヲ受クル爲出納計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ支出官ヲ經由シテ之ヲ會計檢査院ニ提出スヘシ

第百四十二條　歲入歲出外現金ノ出納ヲ掌ル官吏ハ會計檢査院ノ檢査判決ヲ受クル爲出納計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ所管大臣又ハ其ノ指定シタル官吏ヲ經由シテ之ヲ會計檢査院ニ提出スヘシ

第百四十三條　第六十三條ノ規定ニ依リ現金ノ繰替使用ヲ爲ス官吏ハ會計檢査院ノ檢査判決ヲ受クル爲出納計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ所管大臣又ハ其ノ指定シタル官吏ヲ經由シテ之ヲ會計檢査院ニ提出スヘシ

第百四十四條　分任出納官吏ノ出納ハ總テ主任出納官吏ノ計算トシ出納員ノ出納ハ總テ主所屬出納官吏ノ計算トシテ取扱ヒ其ノ報告書及計算書ハ各別ニ提出スルコトヲ要ス但シ所管大臣又ハ會計檢査院ニ於テ必要アリト認ムルトキハ特ニ分任出納官吏又ハ出納員ヲシテ報告書又ハ計算書ヲ提出セシムルコトアルヘシ

第百四十五條　出納官吏交替シタルトキハ其ノ在職期間ニ執行シタル出納ノ計算書ヲ調製シ第百四十條乃至第百四十三條ノ手續ヲ爲スヘシ

第百四十六條　出納官吏又ハ出納員死亡其ノ他ノ事故ニ因リ自ラ計算書ヲ調製スルコト能ハサルトキハ所管大臣ノ命シタル官吏ヲシテ之ヲ調製セシムヘシ

出納官吏又ハ出納員定期內ニ計算書ヲ送付セサルトキハ所管大臣ハ他ノ官吏ニ命シテ之ヲ調製セシムヘシ

前二項ノ規定ニ依リ調製シタル計算書ハ出納官吏又ハ出納員ノ自ラ調製シタルモノト看做シ會計檢査院ニ於テ檢査判決ヲ爲スヘシ

第百四十七條　出納官吏又ハ出納員ノ計算書ハ提出ノ後修正變更スルコトヲ得ス

第十章　日本銀行ノ計算報告及出納證明

第百四十八條　日本銀行ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ國庫金ノ出納報告書ヲ大藏大臣ニ提出スヘシ

第百四十九條　日本銀行ハ會計檢査院ノ檢査ヲ受クル爲國庫金ノ出納計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

日本銀行ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ國債ノ發行ニ依ル收入金、國債元利拂資金及隔地者拂資金ノ收支ヲ整理シ之ヲ前項ノ計算書ニ揭記スヘシ

大藏大臣ハ第一項ノ計算書ヲ調査シ之ヲ會計檢査院ニ送付スヘシ

第百五十條　日本銀行ハ會計檢査院ノ檢査ヲ受クル爲政府ノ所有又ハ保管ニ係ル有價證券受拂計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

檢査院ニ送付スヘシ

第百五十一條　政府ノ爲ニ取扱フ現金又ハ有價證券ノ出納保管ニ關シ政府ニ損害ヲ與ヘタル場合ニ於ケル日本銀行ノ賠償責任ニ付テハ民法及商法ニ依ル

第十一章　帳簿

第百五十二條　大藏省ハ日記簿、原簿及補助簿ヲ備ヘ國庫金ノ出納ヲ登記スヘシ

第百五十三條　大藏省ハ歲入歲出ノ主計簿ヲ備ヘ歲入主計簿ニハ歲入ノ豫算額、調定濟額、收入濟額、不納缺損額及收入未濟額ヲ登記シ歲出主計簿ニハ歲出ノ豫算額、豫算決定後增加額、支出濟額、翌年度繰越額及殘額ヲ登記スヘシ

第百五十四條　歲入徵收官ハ徵收簿ヲ備ヘ歲入ノ調定濟額、收入濟額、不納缺損額及收入未濟額ヲ登記スヘシ

第百五十五條　各省ハ歲出簿ヲ備ヘ歲出ノ豫算額、豫算決定後增加額、支出濟額、翌年度繰越額及殘額ヲ登記スヘシ

第百五十六條　出納官吏及出納員ハ現金出納簿ヲ備ヘ現金ノ出納ヲ登記スヘシ

第百五十七條　前七條ニ規定スル帳簿ノ樣式及記入ノ方法ハ大藏大臣之ヲ定ム

第百六十條　日本銀行ハ左ニ揭ケル帳簿ヲ備ヘ政府ノ爲ニ取扱フ現金ノ出納又ハ有價證券ノ受拂ヲ登記スヘシ

一　國庫金ノ出納ヲ登記スヘキ帳簿

二　支拂豫算額及支拂濟額ヲ登記スヘキ帳簿

三　國債ノ發行ニ依ル收入金ニ關スル出納ヲ登記スヘキ帳簿

四　國債元利拂資金ノ出納ヲ登記スヘキ帳簿

五　隔地者拂資金ノ收支ヲ登記スヘキ帳簿

有價證券ノ受拂ヲ登記スヘキ帳簿

前項ノ帳簿ノ樣式及記入ノ方法ハ大藏大臣ノ認可ヲ經テ日本銀行之ヲ定ム

第百六十一條　大藏大臣ハ會計檢査官立會ノ上每年七月三十一日前年度ノ主計簿ヲ締切ルヘシ

第十二章　雜則

第百六十二條　本令ニ依リ會計檢査院ニ提出スル計算證明書類ノ樣式及提出期限ニ付テハ會計檢査院ノ定ムル所ニ依ルヘシ

第百六十三條　前條ノ計算證明書類ヲ除クノ外本令ニ規定スル書類ノ樣式ハ大藏大臣之ヲ定ム

第百六十四條　本令ニ依リ記名捺印ヲ要スル場合ニ於テハ外國ニ在リテハ署名ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第百六十五條　本令ニ定ムルモノヲ除クノ外前二項ノ規定ニ依リ調製シタル計算書ハ出納官吏又ハ出納員ノ自ラ調製シタルモノト看做シ會計檢査院ニ於テ檢査判決ヲ爲スヘシ

附則

第百六十六條　本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第百六十七條　左ノ勅令ハ之ヲ廢止ス

仕拂命令

會計年度開始前現金支出規則

明治二十二年勅令第百二十一號

金庫規則

明治二十三年勅令第二號

明治二十三年勅令第二十號

明治二十三年勅令第三十二號

明治二十三年勅令第三千五號

明治二十三年勅令第四號

明治二十三年勅令第百十八號

明治二十三年勅令第九十三號

明治二十三年勅令第二百九十五號

明治二十四年勅令第一號

明治二十四年勅令第二十四號

明治二十四年勅令第七十五號

明治二十四年勅令第百六十三號

明治二十四年勅令第五十一號

明治二十四年勅令第七十號

明治二十四年勅令第二百二十四號

明治二十五年勅令第四十八號

明治二十五年勅令第百二十六號

明治二十五年勅令第百六十三號

明治二十五年勅令第百七十三號

明治二十五年勅令第百八十八號

明治二十五年勅令第二百二號

明治二十五年勅令第二百十三號

明治二十五年勅令第二百十九號

明治二十六年勅令第五十二號

明治二十六年勅令第百六十二號

明治二十六年勅令第二百二十四號

明治二十六年勅令第二百二十六號

明治二十六年勅令第二百二十九號

明治二十六年勅令第二百三十一號

明治二十六年勅令第二百三十二號

明治二十六年勅令第二百三十三號

明治二十六年勅令第二百三十四號

明治二十六年勅令第二百三十五號

明治二十六年勅令第二百三十六號

明治二十六年勅令第二百三十七號

明治二十六年勅令第二百三十八號

明治二十六年勅令第二百三十九號

明治二十六年勅令第二百四十號

明治二十六年勅令第二百四十一號

明治二十六年勅令第二百四十二號

明治二十六年勅令第二百四十三號

明治二十六年勅令第二百四十四號

明治二十六年勅令第二百四十五號

明治二十六年勅令第二百四十六號

明治二十六年勅令第二百四十七號

明治二十六年勅令第二百四十八號

明治二十六年勅令第二百四十九號

明治二十六年勅令第二百五十號

明治二十六年勅令第二百五十一號

明治二十六年勅令第二百五十二號

明治二十六年勅令第二百五十三號

明治二十六年勅令第二百五十四號

明治二十六年勅令第二百五十五號

明治二十六年勅令第二百五十六號

明治二十六年勅令第二百五十七號

明治二十六年勅令第二百五十八號

明治二十六年勅令第二百五十九號

明治二十六年勅令第二百六十號

明治二十六年勅令第二百六十一號

明治二十六年勅令第二百六十二號

明治二十六年勅令第二百六十三號

明治二十六年勅令第二百六十四號

明治二十六年勅令第二百六十五號

明治二十六年勅令第二百六十六號

明治二十六年勅令第二百六十七號

明治二十六年勅令第二百六十八號

明治二十六年勅令第二百六十九號

明治二十六年勅令第二百七十號

明治二十六年勅令第二百七十一號

明治二十六年勅令第二百七十二號

明治二十六年勅令第二百七十三號

明治二十六年勅令第二百七十四號

明治二十六年勅令第二百七十五號

明治二十六年勅令第二百七十六號

明治二十六年勅令第二百七十七號

明治二十六年勅令第二百七十八號

明治二十六年勅令第二百七十九號

明治二十六年勅令第二百八十號

明治二十六年勅令第二百八十一號

明治二十六年勅令第二百八十二號

明治二十六年勅令第二百八十三號

明治二十六年勅令第二百八十四號

明治二十六年勅令第二百八十五號

明治二十六年勅令第二百八十六號

明治二十六年勅令第二百八十七號

明治二十六年勅令第二百八十八號

明治二十六年勅令第二百八十九號

明治二十六年勅令第二百九十號

明治二十六年勅令第二百九十一號

明治二十六年勅令第二百九十二號

明治二十六年勅令第二百九十三號

明治二十六年勅令第二百九十四號

明治二十六年勅令第二百九十五號

明治二十六年勅令第二百九十六號

明治二十六年勅令第二百九十七號

明治二十六年勅令第二百九十八號

明治二十六年勅令第二百九十九號

明治二十六年勅令第三百號

明治二十六年勅令第三百一號

明治二十六年勅令第三百二號

明治二十六年勅令第三百三號

明治二十六年勅令第三百四號

明治二十六年勅令第三百五號

明治二十六年勅令第三百六號

明治二十六年勅令第三百七號

明治二十六年勅令第三百八號

明治二十六年勅令第三百九號

明治二十六年勅令第三百十號

明治二十六年勅令第三百十一號

明治二十六年勅令第三百十二號

明治二十六年勅令第三百十三號

明治二十六年勅令第三百十四號

明治二十六年勅令第三百十五號

明治二十六年勅令第三百十六號

明治二十六年勅令第三百十七號

明治二十六年勅令第三百十八號

明治二十六年勅令第三百十九號

明治二十六年勅令第三百二十號

明治二十六年勅令第三百二十一號

明治二十六年勅令第三百二十二號

明治二十六年勅令第三百二十三號

明治二十六年勅令第三百二十四號

明治二十六年勅令第三百二十五號

明治二十六年勅令第三百二十六號

明治二十六年勅令第三百二十七號

明治二十六年勅令第三百二十八號

明治二十六年勅令第三百二十九號

明治二十六年勅令第三百三十號

明治二十六年勅令第三百三十一號

明治二十六年勅令第三百三十二號

明治二十六年勅令第三百三十三號

明治二十六年勅令第三百三十四號

明治二十六年勅令第三百三十五號

明治二十六年勅令第三百三十六號

明治二十六年勅令第三百三十七號

明治二十六年勅令第三百三十八號

明治二十六年勅令第三百三十九號

明治二十六年勅令第三百四十號

明治二十六年勅令第三百四十一號

明治二十六年勅令第三百四十二號

明治二十六年勅令第三百四十三號

明治二十六年勅令第三百四十四號

明治二十六年勅令第三百四十五號

明治二十六年勅令第三百四十六號

明治二十六年勅令第三百四十七號

明治二十六年勅令第三百四十八號

明治二十六年勅令第三百四十九號

明治二十六年勅令第三百五十號

明治二十六年勅令第三百五十一號

明治二十六年勅令第三百五十二號

明治二十六年勅令第三百五十三號

明治二十六年勅令第三百五十四號

明治二十六年勅令第三百五十五號

明治二十六年勅令第三百五十六號

明治二十六年勅令第三百五十七號

明治二十六年勅令第三百五十八號

明治二十六年勅令第三百五十九號

明治二十六年勅令第三百六十號

明治二十六年勅令第三百六十一號

明治二十六年勅令第三百六十二號

明治二十六年勅令第三百六十三號

明治二十六年勅令第三百六十四號

明治二十六年勅令第三百六十五號

明治二十六年勅令第三百六十六號

明治二十六年勅令第三百六十七號

明治二十六年勅令第三百六十八號

明治二十六年勅令第三百六十九號

明治二十六年勅令第三百七十號

明治二十六年勅令第三百七十一號

明治二十六年勅令第三百七十二號

明治二十六年勅令第三百七十三號

明治二十六年勅令第三百七十四號

明治二十六年勅令第三百七十五號

明治二十六年勅令第三百七十六號

明治二十六年勅令第三百七十七號

明治二十六年勅令第三百七十八號

明治二十六年勅令第三百七十九號

明治二十六年勅令第三百八十號

明治二十六年勅令第三百八十一號

明治二十六年勅令第三百八十二號

明治二十六年勅令第三百八十三號

明治二十六年勅令第三百八十四號

明治二十六年勅令第三百八十五號

明治二十六年勅令第三百八十六號

明治二十六年勅令第三百八十七號

明治二十六年勅令第三百八十八號

明治二十六年勅令第三百八十九號

明治二十六年勅令第三百九十號

明治二十六年勅令第三百九十一號

明治二十六年勅令第三百九十二號

明治二十六年勅令第三百九十三號

明治二十六年勅令第三百九十四號

明治二十六年勅令第三百九十五號

明治二十六年勅令第三百九十六號

明治二十六年勅令第三百九十七號

明治二十六年勅令第三百九十八號

明治二十六年勅令第三百九十九號

明治二十六年勅令第四百號

明治二十六年勅令第四百一號

明治二十六年勅令第四百二號

明治二十六年勅令第四百三號

明治二十六年勅令第四百四號

明治二十六年勅令第四百五號

明治二十六年勅令第四百六號

明治二十六年勅令第四百七號

明治二十六年勅令第四百八號

明治二十六年勅令第四百九號

明治二十六年勅令第四百十號

明治二十六年勅令第四百十一號

明治二十六年勅令第四百十二號

明治二十六年勅令第四百十三號

明治二十六年勅令第四百十四號

明治二十六年勅令第四百十五號

明治二十六年勅令第四百十六號

明治二十六年勅令第四百十七號

明治二十六年勅令第四百十八號

明治二十六年勅令第四百十九號

明治二十六年勅令第四百二十號

明治二十六年勅令第四百二十一號

明治二十六年勅令第四百二十二號

明治二十六年勅令第四百二十三號

明治二十六年勅令第四百二十四號

明治二十六年勅令第四百二十五號

明治二十六年勅令第四百二十六號

明治二十六年勅令第四百二十七號

明治二十六年勅令第四百二十八號

明治二十六年勅令第四百二十九號

明治二十六年勅令第四百三十號

明治二十六年勅令第四百三十一號

明治二十六年勅令第四百三十二號

明治二十六年勅令第四百三十三號

明治二十六年勅令第四百三十四號

明治二十六年勅令第四百三十五號

明治二十六年勅令第四百三十六號

明治二十六年勅令第四百三十七號

明治二十六年勅令第四百三十八號

明治二十六年勅令第四百三十九號

明治二十六年勅令第四百四十號

明治二十六年勅令第四百四十一號

明治二十六年勅令第四百四十二號

明治二十六年勅令第四百四十三號

明治二十六年勅令第四百四十四號

明治二十六年勅令第四百四十五號

明治二十六年勅令第四百四十六號

明治二十六年勅令第四百四十七號

明治二十六年勅令第四百四十八號

明治二十六年勅令第四百四十九號

明治二十六年勅令第四百五十號

明治二十六年勅令第四百五十一號

明治二十六年勅令第四百五十二號

明治二十六年勅令第四百五十三號

明治二十六年勅令第四百五十四號

明治二十六年勅令第四百五十五號

明治二十六年勅令第四百五十六號

明治二十六年勅令第四百五十七號

明治二十六年勅令第四百五十八號

明治二十六年勅令第四百五十九號

明治二十六年勅令第四百六十號

明治二十六年勅令第四百六十一號

明治二十六年勅令第四百六十二號

明治二十六年勅令第四百六十三號

明治二十六年勅令第四百六十四號

明治二十六年勅令第四百六十五號

明治二十六年勅令第四百六十六號

明治二十六年勅令第四百六十七號

明治二十六年勅令第四百六十八號

明治二十六年勅令第四百六十九號

明治二十六年勅令第四百七十號

明治二十六年勅令第四百七十一號

明治二十六年勅令第四百七十二號

明治二十六年勅令第四百七十三號

明治二十六年勅令第四百七十四號

明治二十六年勅令第四百七十五號

明治二十六年勅令第四百七十六號

明治二十六年勅令第四百七十七號

明治二十六年勅令第四百七十八號

明治二十六年勅令第四百七十九號

明治二十六年勅令第四百八十號

明治二十六年勅令第四百八十一號

明治二十六年勅令第四百八十二號

明治二十六年勅令第四百八十三號

明治二十六年勅令第四百八十四號

明治二十六年勅令第四百八十五號

明治二十六年勅令第四百八十六號

明治二十六年勅令第四百八十七號

明治二十六年勅令第四百八十八號

明治二十六年勅令第四百八十九號

明治二十六年勅令第四百九十號

明治二十六年勅令第四百九十一號

明治二十六年勅令第四百九十二號

明治二十六年勅令第四百九十三號

明治二十六年勅令第四百九十四號

明治二十六年勅令第四百九十五號

明治二十六年勅令第四百九十六號

明治二十六年勅令第四百九十七號

明治二十六年勅令第四百九十八號

明治二十六年勅令第四百九十九號

明治二十六年勅令第五百號

明治二十六年勅令第五百一號

明治二十六年勅令第五百二號

明治二十六年勅令第五百三號

明治二十六年勅令第五百四號

明治二十六年勅令第五百五號

明治二十六年勅令第五百六號

明治二十六年勅令第五百七號

明治二十六年勅令第五百八號

明治二十六年勅令第五百九號

明治二十六年勅令第五百十號

明治二十六年勅令第五百十一號

明治二十六年勅令第五百十二號

明治二十六年勅令第五百十三號

明治二十六年勅令第五百十四號

明治二十六年勅令第五百十五號

明治二十六年勅令第五百十六號

明治二十六年勅令第五百十七號

明治二十六年勅令第五百十八號

明治二十六年勅令第五百十九號

明治二十六年勅令第五百二十號

明治二十六年勅令第五百二十一號

明治二十六年勅令第五百二十二號

明治二十六年勅令第五百二十三號

明治二十六年勅令第五百二十四號

明治二十六年勅令第五百二十五號

明治二十六年勅令第五百二十六號

明治二十六年勅令第五百二十七號

明治二十六年勅令第五百二十八號

明治二十六年勅令第五百二十九號

明治二十六年勅令第五百三十號

明治二十六年勅令第五百三十一號

明治二十六年勅令第五百三十二號

明治二十六年勅令第五百三十三號

明治二十六年勅令第五百三十四號

明治二十六年勅令第五百三十五號

明治二十六年勅令第五百三十六號

明治二十六年勅令第五百三十七號

明治二十六年勅令第五百三十八號

明治二十六年勅令第五百三十九號

明治二十六年勅令第五百四十號

明治二十六年勅令第五百四十一號

明治二十六年勅令第五百四十二號

明治二十六年勅令第五百四十三號

明治二十六年勅令第五百四十四號

明治二十六年勅令第五百四十五號

明治二十六年勅令第五百四十六號

明治二十六年勅令第五百四十七號

明治二十六年勅令第五百四十八號

明治二十六年勅令第五百四十九號

明治二十六年勅令第五百五十號

明治二十六年勅令第五百五十一號

明治二十六年勅令第五百五十二號

明治二十六年勅令第五百五十三號

明治二十六年勅令第五百五十四號

明治二十六年勅令第五百五十五號

明治二十六年勅令第五百五十六號

明治二十六年勅令第五百五十七號

明治二十六年勅令第五百五十八號

明治二十六年勅令第五百五十九號

明治二十六年勅令第五百六十號

明治二十六年勅令第五百六十一號

明治二十六年勅令第五百六十二號

明治二十六年勅令第五百六十三號

明治二十六年勅令第五百六十四號

明治二十六年勅令第五百六十五號

明治二十六年勅令第五百六十六號

明治二十六年勅令第五百六十七號

明治二十六年勅令第五百六十八號

明治二十六年勅令第五百六十九號

明治二十六年勅令第五百七十號

明治二十六年勅令第五百七十一號

明治二十六年勅令第五百七十二號

明治二十六年勅令第五百七十三號

明治二十六年勅令第五百七十四號

明治二十六年勅令第五百七十五號

明治二十六年勅令第五百七十六號

明治二十六年勅令第五百七十七號

明治二十六年勅令第五百七十八號

明治二十六年勅令第五百七十九號

明治二十六年勅令第五百八十號

明治二十六年勅令第五百八十一號

明治二十六年勅令第五百八十二號

明治二十六年勅令第五百八十三號

明治二十六年勅令第五百八十四號

明治二十六年勅令第五百八十五號

明治二十六年勅令第五百八十六號

明治二十六年勅令第五百八十七號

明治二十六年勅令第五百八十八號

明治二十六年勅令第五百八十九號

明治二十六年勅令第五百九十號

明治二十六年勅令第五百九十一號

明治二十六年勅令第五百九十二號

明治二十六年勅令第五百九十三號

明治二十六年勅令第五百九十四號

明治二十六年勅令第五百九十五號

明治二十六年勅令第五百九十六號

明治二十六年勅令第五百九十七號

明治二十六年勅令第五百九十八號

明治二十六年勅令第五百九十九號

明治二十六年勅令第六百號

明治二十六年勅令第六百一號

明治二十六年勅令第六百二號

明治二十六年勅令第六百三號

明治二十六年勅令第六百四號

明治二十六年勅令第六百五號

明治二十六年勅令第六百六號

明治二十六年勅令第六百七號

明治二十六年勅令第六百八號

明治二十六年勅令第六百九號

明治二十六年勅令第六百十號

明治二十六年勅令第六百十一號

明治二十六年勅令第六百十二號

明治二十六年勅令第六百十三號

明治二十六年勅令第六百十四號

明治二十六年勅令第六百十五號

明治二十六年勅令第六百十六號

明治二十六年勅令第六百十七號

明治二十六年勅令第六百十八號

明治二十六年勅令第六百十九號

明治二十六年勅令第六百二十號

明治二十六年勅令第六百二十一號

明治二十六年勅令第六百二十二號

明治二十六年勅令第六百二十三號

明治二十六年勅令第六百二十四號

明治二十六年勅令第六百二十五號

明治二十六年勅令第六百二十六號

明治二十六年勅令第六百二十七號

明治二十六年勅令第六百二十八號

明治二十六年勅令第六百二十九號

明治二十六年勅令第六百三十號

明治二十六年勅令第六百三十一號

明治二十六年勅令第六百三十二號

明治二十六年勅令第六百三十三號

明治二十六年勅令第六百三十四號

明治二十六年勅令第六百三十五號

明治二十六年勅令第六百三十六號

明治二十六年勅令第六百三十七號

明治二十六年勅令第六百三十八號

明治二十六年勅令第六百三十九號

明治二十六年勅令第六百四十號

明治二十六年勅令第六百四十一號

明治二十六年勅令第六百四十二號

明治二十六年勅令第六百四十三號

明治二十六年勅令第六百四十四號

明治二十六年勅令第六百四十五號

明治二十六年勅令第六百四十六號

明治二十六年勅令第六百四十七號

明治二十六年勅令第六百四十八號

明治二十六年勅令第六百四十九號

明治二十六年勅令第六百五十號

明治二十六年勅令第六百五十一號

明治二十六年勅令第六百五十二號

明治二十六年勅令第六百五十三號

明治二十六年勅令第六百五十四號

明治二十六年勅令第六百五十五號

明治二十六年勅令第六百五十六號

明治二十六年勅令第六百五十七號

明治二十六年勅令第六百五十八號

明治二十六年勅令第六百五十九號

明治二十六年勅令第六百六十號

明治二十六年勅令第六百六十一號

明治二十六年勅令第六百六十二號

明治二十六年勅令第六百六十三號

明治二十六年勅令第六百六十四號

明治二十六年勅令第六百六十五號

明治二十六年勅令第六百六十六號

明治二十六年勅令第六百六十七號

明治二十六年勅令第六百六十八號

明治二十六年勅令第六百六十九號

明治二十六年勅令第六百七十號

明治二十六年勅令第六百七十一號

明治二十六年勅令第六百七十二號

明治二十六年勅令第六百七十三號

明治二十六年勅令第六百七十四號

明治二十六年勅令第六百七十五號

明治二十六年勅令第六百七十六號

明治二十六年勅令第六百七十七號

明治二十六年勅令第六百七十八號

明治二十六年勅令第六百七十九號

明治二十六年勅令第六百八十號

明治二十六年勅令第六百八十一號

明治二十六年勅令第六百八十二號

明治二十六年勅令第六百八十三號

明治二十六年勅令第六百八十四號

明治二十六年勅令第六百八十五號

明治二十六年勅令第六百八十六號

明治二十六年勅令第六百八十七號

明治二十六年勅令第六百八十八號

明治二十六年勅令第六百八十九號

明治二十六年勅令第六百九十號

明治二十六年勅令第六百九十一號

明治二十六年勅令第六百九十二號

明治二十六年勅令第六百九十三號

明治二十六年勅令第六百九十四號

明治二十六年勅令第六百九十五號

明治二十六年勅令第六百九十六號

明治二十六年勅令第六百九十七號

明治二十六年勅令第六百九十八號

明治二十六年勅令第六百九十九號

明治二十六年勅令第七百號

明治二十六年勅令第七百一號

明治二十六年勅令第七百二號

明治二十六年勅令第七百三號

明治二十六年勅令第七百四號

明治二十六年勅令第七百五號

明治二十六年勅令第七百六號

明治二十六年勅令第七百七號

明治二十六年勅令第七百八號

明治二十六年勅令第七百九號

明治二十六年勅令第七百十號

明治二十六年勅令第七百十一號

明治二十六年勅令第七百十二號

明治二十六年勅令第七百十三號

明治二十六年勅令第七百十四號

明治二十六年勅令第七百十五號

明治二十六年勅令第七百十六號

明治二十六年勅令第七百十七號

明治二十六年勅令第七百十八號

明治二十六年勅令第七百十九號

明治二十六年勅令第七百二十號

明治二十六年勅令第七百二十一號

明治二十六年勅令第七百二十二號

明治二十六年勅令第七百二十三號

明治二十六年勅令第七百二十四號

明治二十六年勅令第七百二十五號

明治二十六年勅令第七百二十六號

明治二十六年勅令第七百二十七號

明治二十六年勅令第七百二十八號

明治二十六年勅令第七百二十九號

明治二十六年勅令第七百三十號

明治二十六年勅令第七百三十一號

明治二十六年勅令第七百三十二號

明治二十六年勅令第七百三十三號

明治二十六年勅令第七百三十四號

明治二十六年勅令第七百三十五號

明治二十六年勅令第七百三十六號

明治二十六年勅令第七百三十七號

明治二十六年勅令第七百三十八號

明治二十六年勅令第七百三十九號

明治二十六年勅令第七百四十號

明治二十六年勅令第七百四十一號

明治二十六年勅令第七百四十二號

明治二十六年勅令第七百四十三號

明治二十六年勅令第七百四十四號

明治二十六年勅令第七百四十五號

明治二十六年勅令第七百四十六號

明治二十六年勅令第七百四十七號

明治二十六年勅令第七百四十八號

明治二十六年勅令第七百四十九號

明治二十六年勅令第七百五十號

明治二十六年勅令第七百五十一號

明治二十六年勅令第七百五十二號

明治二十六年勅令第七百五十三號

明治二十六年勅令第七百五十四號

明治二十六年勅令第七百五十五號

明治二十六年勅令第七百五十六號

明治二十六年勅令第七百五十七號

明治二十六年勅令第七百五十八號

明治二十六年勅令第七百五十九號

明治二十六年勅令第七百六十號

明治二十六年勅令第七百六十一號

明治二十六年勅令第七百六十二號

明治二十六年勅令第七百六十三號

明治二十六年勅令第七百六十四號

明治二十六年勅令第七百六十五號

明治二十六年勅令第七百六十六號

明治二十六年勅令第七百六十七號

明治二十六年勅令第七百六十八號

明治二十六年勅令第七百六十九號

明治二十六年勅令第七百七十號

明治二十六年勅令第七百七十一號

明治二十六年勅令第七百七十二號

明治二十六年勅令第七百七十三號

明治二十六年勅令第七百七十四號

明治二十六年勅令第七百七十五號

明治二十六年勅令第七百七十六號

明治二十六年勅令第七百七十七號

明治二十六年勅令第七百七十八號

明治二十六年勅令第七百七十九號

明治二十六年勅令第七百八十號

明治二十六年勅令第七百八十一號

明治二十六年勅令第七百八十二號

明治二十六年勅令第七百八十三號

明治二十六年勅令第七百八十四號

明治二十六年勅令第七百八十五號

明治二十六年勅令第七百八十六號

明治二十六年勅令第七百八十七號

明治二十六年勅令第七百八十八號

明治二十六年勅令第七百八十九號

明治二十六年勅令第七百九十號

明治二十六年勅令第七百九十一號

明治二十六年勅令第七百九十二號

明治二十六年勅令第七百九十三號

明治二十六年勅令第七百九十四號

明治二十六年勅令第七百九十五號

明治二十六年勅令第七百九十六號

明治二十六年勅令第七百九十七號

明治二十六年勅令第七百九十八號

明治二十六年勅令第七百九十九號

明治二十六年勅令第八百號

明治二十六年勅令第八百一號

明治二十六年勅令第八百二號

明治二十六年勅令第八百三號

明治二十六年勅令第八百四號

明治二十六年勅令第八百五號

明治二十六年勅令第八百六號

明治二十六年勅令第八百七號

明治二十六年勅令第八百八號

明治二十六年勅令第八百九號

明治二十六年勅令第八百十號

明治二十六年勅令第八百十一號

明治二十六年勅令第八百十二號

明治二十六年勅令第八百十三號

明治二十六年勅令第八百十四號

明治二十六年勅令第八百十五號

明治二十六年勅令第八百十六號

明治二十六年勅令第八百十七號

明治二十六年勅令第八百十八號

明治二十六年勅令第八百十九號

明治二十六年勅令第八百二十號

明治二十六年勅令第八百二十一號

明治二十六年勅令第八百二十二號

明治二十六年勅令第八百二十三號

明治二十六年勅令第八百二十四號

明治二十六年勅令第八百二十五號

明治二十六年勅令第八百二十六號

明治二十六年勅令第八百二十七號

明治二十六年勅令第八百二十八號

明治二十六年勅令第八百二十九號

明治二十六年勅令第八百三十號

明治二十六年勅令第八百三十一號

明治二十六年勅令第八百三十二號

明治二十六年勅令第八百三十三號

明治二十六年勅令第八百三十四號

明治二十六年勅令第八百三十五號

明治二十六年勅令第八百三十六號

明治二十六年勅令第八百三十七號

明治二十六年勅令第八百三十八號

明治二十六年勅令第八百三十九號

明治二十六年勅令第八百四十號

明治二十六年勅令第八百四十一號

明治二十六年勅令第八百四十二號

明治二十六年勅令第八百四十三號

明治二十六年勅令第八百四十四號

明治二十六年勅令第八百四十五號

明治二十六年勅令第八百四十六號

明治二十六年勅令第八百四十七號

明治二十六年勅令第八百四十八號

明治二十六年勅令第八百四十九號

明治二十六年勅令第八百五十號

明治二十六年勅令第八百五十一號

明治二十六年勅令第八百五十二號

明治二十六年勅令第八百五十三號

明治二十六年勅令第八百五十四號

明治二十六年勅令第八百五十五號

明治二十六年勅令第八百五十六號

明治二十六年勅令第八百五十七號

明治二十六年勅令第八百五十八號

明治二十六年勅令第八百五十九號

明治二十六年勅令第八百六十號

明治二十六年勅令第八百六十一號

明治二十六年勅令第八百六十二號

明治二十六年勅令第八百六十三號

明治二十六年勅令第八百六十四號

明治二十六年勅令第八百六十五號

明治二十六年勅令第八百六十六號

明治二十六年勅令第八百六十七號

明治二十六年勅令第八百六十八號

明治二十六年勅令第八百六十九號

明治二十六年勅令第八百七十號

明治二十六年勅令第八百七十一號

明治二十六年勅令第八百七十二號

明治二十六年勅令第八百七十三號

明治二十六年勅令第八百七十四號

明治二十六年勅令第八百七十五號

明治二十六年勅令第八百七十六號

明治二十六年勅令第八百七十七號

明治二十六年勅令第八百七十八號

明治二十六年勅令第八百七十九號

明治二十六年勅令第八百八十號

明治二十六年勅令第八百八十一號

明治二十六年勅令第八百八十二號

明治二十六年勅令第八百八十三號

明治二十六年勅令第八百八十四號

明治二十六年勅令第八百八十五號

明治二十六年勅令第八百八十六號

明治二十六年勅令第八百八十七號

明治二十六年勅令第八百八十八號

明治二十六年勅令第八百八十九號

明治二十六年勅令第八百九十號

明治二十六年勅令第八百九十一號

明治二十六年勅令第八百九十二號

明治二十六年勅令第八百九十三號

明治二十六年勅令第八百九十四號

明治二十六年勅令第八百九十五號

明治二十六年勅令第八百九十六號

明治二十六年勅令第八百九十七號

明治二十六年勅令第八百九十八號

明治二十六年勅令第八百九十九號

明治二十六年勅令第九百號

明治二十六年勅令第九百一號

明治二十六年勅令第九百二號

明治二十六年勅令第九百三號

明治二十六年勅令第九百四號

明治二十六年勅令第九百五號

明治二十六年勅令第九百六號

明治二十六年勅令第九百七號

明治二十六年勅令第九百八號

明治二十六年勅令第九百九號

明治二十六年勅令第九百十號

明治二十六年勅令第九百十一號

明治二十六年勅令第九百十二號

明治二十六年勅令第九百十三號

明治二十六年勅令第九百十四號

明治二十六年勅令第九百十五號

明治二十六年勅令第九百十六號

明治二十六年勅令第九百十七號

明治二十六年勅令第九百十八號

明治二十六年勅令第九百十九號

明治二十六年勅令第九百二十號

明治二十六年勅令第九百二十一號

明治二十六年勅令第九百二十二號

明治二十六年勅令第九百二十三號

明治二十六年勅令第九百二十四號

明治二十六年勅令第九百二十五號

明治二十六年勅令第九百二十六號

明治二十六年勅令第九百二十七號

明治二十六年勅令第九百二十八號

明治二十六年勅令第九百二十九號

明治二十六年勅令第九百三十號

明治二十六年勅令第九百三十一號

明治二十六年勅令第九百三十二號

明治二十六年勅令第九百三十三號

明治二十六年勅令第九百三十四號

明治二十六年勅令第九百三十五號

明治二十六年勅令第九百三十六號

明治二十六年勅令第九百三十七號

明治二十六年勅令第九百三十八號

明治二十六年勅令第九百三十九號

明治二十六年勅令第九百四十號

明治二十六年勅令第九百四十一號

明治二十六年勅令第九百四十二號

明治二十六年勅令第九百四十三號

明治二十六年勅令第九百四十四號

明治二十六年勅令第九百四十五號

明治二十六年勅令第九百四十六號

明治二十六年勅令第九百四十七號

明治二十六年勅令第九百四十八號

明治二十六年勅令第九百四十九號

明治二十六年勅令第九百五十號

明治二十六年勅令第九百五十一號

明治二十六年勅令第九百五十二號

明治二十六年勅令第九百五十三號

明治二十六年勅令第九百五十四號

明治二十六年勅令第九百五十五號

明治二十六年勅令第九百五十六號

明治二十六年勅令第九百五十七號

明治二十六年勅令第九百五十八號

明治二十六年勅令第九百五十九號

明治二十六年勅令第九百六十號

明治二十六年勅令第九百六十一號

明治二十六年勅令第九百六十二號

明治二十六年勅令第九百六十三號

明治二十六年勅令第九百六十四號

明治二十六年勅令第九百六十五號

明治二十六年勅令第九百六十六號

明治二十六年勅令第九百六十七號

明治二十六年勅令第九百六十八號

明治二十六年勅令第九百六十九號

明治二十六年勅令第九百七十號

明治二十六年勅令第九百七十一號

明治二十六年勅令第九百七十二號

明治二十六年勅令第九百七十三號

明治二十六年勅令第九百七十四號

明治二十六年勅令第九百七十五號

明治二十六年勅令第九百七十六號

明治二十六年勅令第九百七

一米穀需給調節會計日記簿
一特別會計原簿　別表第二十三號書式ニ依ル
一特別會計補助簿　別表第二十四號書式ニ依ル
一特別會計支拂元受高差引簿　別表第二十五號書式ニ依ル
一受拂勘定表　別表第二十六號書式ニ依ル
一帝國鐵道會計貸借對照表　別表第二十七號書式ニ依ル
一帝國鐵道會計損益計算表　別表第二十八號書式ニ依ル
一帝國鐵道會計資本增減表　別表第二十九號書式ニ依ル
一帝國鐵道會計固定財產價格增減表　別表第三十號書式ニ依ル
一固定資本價格增減表　別表第三十一號書式ニ依ル
一簡易生命保險會計積立金明細目錄　別表第三十二號書式ニ依ル
一郵便貯金會計積立金明細目錄　別表第三十三號書式ニ依ル

附則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

左ノ大藏省令ハ之ヲ廢止ス

明治二十三年大藏省令第九號
明治二十六年大藏省令第三十二號
明治三十年大藏省令第五號
明治四十年大藏省令第十七號
明治四十二年大藏省令第十六號
明治四十三年大藏省令第四十五號
明治四十五年大藏省令第九號
大正五年大藏省令第三號
大正五年大藏省令第二十一號
大正十年大藏省令第十一號
大正十年大藏省令第十六號

本令施行ノ際現存スル帳簿及用紙ハ當分ノ內之ヲ取締ヒ使用スルコトヲ得

（別表）

第一號書式

支拂豫算書

何省所管　某年度歲出（何々會計歲出）經常部（臨時部）
支出官官氏名　日本銀行何店

款	項	金額
何	何	圓 0
	何	0
	何	0
		0

年　月　日

支拂豫算書ヲ調製スル官吏官氏名㊞
大藏大臣（會計檢查院長）宛

備考

一用紙ハ厚質ヘリヘシ第二ニ本書式中日手ノ支拂店同シ
三本書式ハ畧第五號、第至第三十三號ニ於テハ徵收總報告書ノ付送順序ニ依リ付送スルモノトス
設ケ代ヲ約一寸ノ縱ノ左方ニ
左ノ小切ハ支出官ノ振出ス亦同式書號乃至第十四號及第三號乃至第二號ノ第二十七號ニ於テハ徵收總報告書ヲ添ヘ徵收報告書ヲ付送スルモノトス

第二號書式

支拂豫算更定計算書

何省所管　某年度歲出（何々會計歲出）經常部（臨時部）
支出官官氏名　日本銀行何店

款	項	增	減
何	何	圓 0	圓
	何		0
		0	0

年　月　日

支拂豫算書ヲ調製スル官吏官氏名㊞
大藏大臣（會計檢查院長）宛

第三號書式

年度開始前支出計算書

何省所管　某年度歲出（何々會計歲出）經常部（臨時部）
支出官官氏名　日本銀行何店

款	項	金額
何	何	圓 0
	何	0
		0

年　月　日

年度開始前支出計算書ヲ調製スル官吏官氏名㊞
大藏大臣（會計檢查院長）宛

第四號書式甲

書告報收徵（入歲計會々何）入歲度年某

分　月　何　何年　臨　何　管所省何

款	項	目	事由	調定濟額 本月分	調定濟額 迄月累計	收入濟額 本月分	收入濟額 迄月累計	不納缺損額 本月分	不納缺損額 迄月累計	收入未濟額	現金拂込濟仕譯
經何	常何	部何	〃何	圓 0	圓 0	圓 0	圓 0	圓 0	圓 0	圓 0	前月迄拂込未濟 0
			額納誤外定調	0						0	
	何	何		0	0	0	0	0	0	0	本月中現金領收額 0
	臨時	部	何								本月中現金拂込高 0
何		何		0	0	0	0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0	0	0	翌月へ越高 0
				0	0	0	0	0	0	0	

年　月　日
歲入徵收官　官氏名㊞

考備
一　本書ハ日本銀行ニ於テ徵收シタル歲入ヲ以テ本月分ノ收入金ヲ計上スル爲メ作成スル特別會計官吏甲第五號書式ニ於テ徵收報告書ヲ添付スルモノトス
二　本書ハ突合表ヲ添ヘ徵收報告書ヲ付送スル場合ニハ本書ニ代ヘ現金拂込濟仕譯書ヲ調製シ之ヲ送付スルモノトス

第四號書式乙

現金拂込濟仕譯書

某年度歲入（何々會計歲入）經常部（臨時部）
何省所管　何廳　何年何月分

摘要	金額	備考
前月迄拂込未濟	圓 0	
本月中現金拂込高	0	
翌月へ越高	0	

年　月　日
歲入徵收官　官氏名㊞

備考
歲入調定濟額、收入濟額及不納缺損額ニ異動ナク現金拂込高ノミニ異動アル月ニ於テハ徵收報告書ヲ要セス單ニ本書式ニ依リ現金拂込濟仕譯書ヲ調製シ之ニ日本銀行ノ月計突合表ヲ添ヘ徵收報告書ヲ送付ノ順序ニ依リ送付スルモノトス

第五號書式甲

某年度歲入（何々會計歲入）徵收總報告書

何省所管　　何年何月分

款	項	目	事由	調定濟額 本月分	調定濟額 本月迄累計	收入濟額 本月分	收入濟額 本月迄累計	不納缺損額 本月分	不納缺損額 本月迄累計	收入未濟額	現金拂込濟仕譯
經常部	何々	何		0	0	0	0	0	0	0	前月迄拂込未濟　0
何	何	〃	調定外誤納額	0	0	0	0	0	0	0	本月中現金領收額　0
		何		0	0	0	0	0	0	0	本月中現金拂込高　0
臨時部	何々	何		0	0	0	0	0	0	0	翌月へ越高　0
何	何	何		0	0	0	0	0	0	0	
				0	0	0	0	0	0	0	
				0	0	0	0	0	0	0	

年　月　日

徵收總報告書ヲ調製スル官吏官氏名㊞

備考

一本書ニハ歲入徵收官ヨリ提出スル日本銀行ノ月計突合表ヲ添附スル

モノトス

二大藏省特別會計規則第二十條ノ二ノ徵收集計報告書ハ此ノ書式ヲ準用

第五號書式丙

現金拂込濟總仕譯書

某年度歲入（何々會計歲入）經常部（臨時部）

何省所管　　何年何月分

摘要	金額	備考
前月迄拂込未濟	0	
本月中現金拂込高	0	
翌月へ越高	0	

年　月　日

徵收總報告書ヲ調製スル官吏官氏名㊞

備考

各歲入徵收官トモ單ニ現金拂込濟仕譯書ノミヲ送付セシ月ニ於テハ徵收總報告書ヲ要セス本書式ニ依リ現金拂込濟總仕譯書ヲ調製シ之ニ收入金拂込未濟內計突合表ヲ添ヘ徵收總報告書送付ノ順序ニ依リ送付スルモノトス

第五號書式乙

收入金拂込未濟內譯報告書

某年度歲入（何々會計歲入）經常部（臨時部）

何省所管　　何年何月分

廳名	徵收報告書年月	拂込未濟額	事由
何廳	何　何	0	
何廳	〃	0	
		0	

年　月　日

官　廳　名㊞

備考

一本書ハ徵收總報告書現金拂込濟仕譯ノ欄內ニ內譯トシテ徵收總報告書ニ添附スルモノトス

二拂込遲滯セルモノハ其ノ事由ヲ記載スヘシ

第五號書式丁

徵收總報告書ト日本銀行月計突合表トノ差額仕譯書

某年度歲入（何々會計歲入）

何省所管　　何年何月分

廳名	徵收報告書年月		差額 突合表ノ方超過	差額 突合表ノ方不足	事由
何廳	何	何	0		何々
何廳	〃			0	何々
			0	0	

年　月　日

官　廳　名㊞

備考

本書ハ徵收總報告書ト日本銀行月計突合表トノ差額ノ內譯トシテ徵收總報告書ニ添附スルモノトス

第六號書式

「某年度歲入（何々會計歲入）經常部（臨時部）徵收簿」

何々（款）　　何々（項）何々（目）

年月日	摘要	調定濟額	收入濟額	不納缺損額	收入未濟額
何年					
何何		0	0	0	
〃	調定外誤納額	0			0

備考

一歲入徵收官ノ備フヘキ徵收簿ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外此ノ書式ニ依ル

二調定濟額ノ欄內ニハ收入スヘキ額ノ確定シタルモノ、收入濟額ノ欄內ニハ納官吏又ハ日本銀行ヨリ收納濟ノ報告ヲ受ケタル額、不納缺損額ノ欄內ニハ其ノ缺損ナルコトノ確定シタルモノトス

三調定濟額ニ超過シタル誤納アリタルトキハ摘要欄內ニ調定外誤納額ト記載シ誤納額ニ相當スル額ヲ調定濟額ノ欄內ニ記入スルモノトス

四徵收簿ノ詳細ヲ明ニスル爲要スル補助簿ハ適宜各廳ニ於テ設クルモノトス

五本但シ便宜本簿中ニ統括又ハ款、項、目、節別ノ口座ヲ設クルコトヲ得第七號書式亦同シ

書式中［　］內ハ朱書トシ欄枠ヲ示ス罫線ハ之ヲ朱線トス第七號、第十一號、第十二號及第十四號乃至第二十六號書式亦同シ

第十號書式

繰越計算書

某年度歳出（何々會計歳出）經常部（臨時部）

款	項	豫算定額	小切手振出済額及小切手振出スヘキ額	豫算定額不用額	翌年度ヘ繰越額 繰越承認済額	翌年度ヘ繰越額 繰越要額	事由
		圓	圓	圓	圓	圓	
何	何	0	0	0	0	0	何々ノ事由ニ依リ會計法第何條（何々會計規則第何條）ニ依リ繰越ヲ要ス
	何	0	0	0	0	0	何々
		0	0	0	0	0	

年　月　日

所管大臣　氏名㊞

備考

一小切手振出済額及小切手ヲ振出スヘキ額ノ欄内ニハ既ニ支出済ト爲リタル金額及當該會計ノ整理期限迄ニ支出スヘキ額ヲ掲クルモノトス

二特別會計ニ於テ支出未済トシテ繰越スヘキ金額ハ本書小切手振出済額及小切手ヲ振出スヘキ額欄ノ次ニ支出未済トシテ翌年度ヘ繰越スヘキ額ノ欄ヲ設ケ之ヲ記入スルモノトス

第十一號書式

「某年度歳出（何々會計歳出）經常部（臨時部）支出簿」

何々（款）　何々（項）

年月日	摘要	豫算額	支拂豫算額	支出済額	支拂豫算残額
		圓	圓	圓	圓
何何	年		0		0
何	何			0	
何	何			0	
何	〃			0	
何	〃	定額戻入			0
何	〃	更正減額何々			

備考

支出簿ニ於テ便宜各口座ヲ設ケ但シ歳出簿ノ詳細ヲ明ニスル爲要スル補助簿ハ適宜ノ書式ヲ用ヒ本簿中ニ統括スヘキ豫算ノ款、項、目、節ハ第十二號書式ニ準シ亦同シ

第十二號書式

「某年度歳出（何々會計歳出）經常部（臨時部）歳出簿」

何々（款）　何々（項）

年月日	摘要	豫算額	豫算決定後增加額	支出済額	翌年度繰越額	豫算残額
		圓	圓	圓	圓	圓
何何	年					0
何何	何	0		0		0
何	何		0			
〃	〃	前年度ヨリ越		0		
〃	〃	定額戻入		0		0
何	何	更正減額何々		0		0
何	何	豫備費ヨリ補充	0			0
考		翌年度ヘ越			0	0

備考

一歳出簿ノ詳細ヲ明ニスル爲要スル補助簿ハ適宜各廳ニ於テ設クルモノトス

二大學特別會計規則第三十二條ノ歳出簿ハ此ノ書式ヲ準用ス

第七號書式

「某年度歳入（何々會計歳入）經常部（臨時部）歳入簿」

何々（款）　何々（項）何々（目）

年月日	摘要	徴收報告年月	廳名	豫算額	調定済額	收入済額	不納缺損額	未收入済額	豫算額ト調定済額トノ差
				圓	圓	圓	圓	圓	圓
何	年								
何	何			0					0
何	何	何	何廳		0	0	0		
〃	〃	〃	〃		0			0	0
	調定外誤納額								

備考

一歳入簿ノ詳細ヲ明ニスル爲要スル補助簿ハ適宜各廳ニ於テ設クルモノトス

二大學特別會計規則第二十九條ノ歳入簿ハ此ノ書式ヲ準用ス

第九號書式

支出總報告書

某年度歳出（何々會計歳出）經常部（臨時部）

何省所管　何年何月分

款	項	支出済額 本月分	支出済額 前月迄累計	支出済額 合計	備考
		圓	圓	圓	
何	何	0	0	0	定額戻入 0、更正減
	何	0	0	0	額何々 0、
		0	0	0	

年　月　日

支出官　官氏名㊞

支出備考

總報告書ヲ調製スル官吏官氏名ハ大學特別會計規則第二十九條ノ二號書式ニ準シ此ノ書ニ準ス

第八號書式

支出済額報告書

某年度歳出（何々會計歳出）經常部（臨時部）

何省所管　何年何月分

款	項	支出済額 本月分	支出済額 前月迄累計	支出済額 合計	備考
		圓	圓	圓	
何	何	0	0	0	定額戻入 0、
	何	0	0	0	更正減額何々 0、
		0	0	0	

年　月　日

支出官　官氏名㊞

備考

一定ノ書式ニ特別會計ニ於テ支出済額ノ場合ニ於テハ第九號書式ノ支出總報告書ニ充ツルヘキ官吏ノ奥書シ支出總報告書ヲ送付スルモノトス

二特別會計ニ於テ支出済額ノ場合ニ於テハ第十一號、第十二號及第十三號ニ依リ本省大臣ニ必要ナル事項ヲ記載セシムルモノトス

三本表ニ定額戻入及更正減額ハ金額事由ト共ニ朱書スルモ可ナリ

第十五號書式

「某年度國庫日記簿」

何年何月何日

借 歲出	借 歲出外	科目	貸 歲入	貸 歲入外
圓	圓	某年度各會計勘定	圓	圓
0	0	一般會計	0	0
0	0	何々（特別會計名稱）	0	0
0	0	何々（〃）	0	0
		特別勘定		
	0	小額紙幣發行高		0
	0	何々		0
		現在高勘定		
	0	何々預金		0
0	0		0	
	0			0
	0			0

備考
會計規則第百五十二條ノ日記簿ハ此ノ書式ニ依ル

第十六號書式

「某年度國庫原簿」

某年度一般會計

年月日	摘要	借 歲出	借 歲出外	貸 歲入	貸 歲入外	借或貸	殘
		圓	圓	圓	圓		圓
何年何月何日		0	0	0	0	貸	0
備考							
會計規則第百五十二條ノ原簿ハ此ノ書式ニ依ル							

第十七號書式

「某年度歲入（何々會計歲入）經常部（臨時部）主計簿」

何々（款）　何々（項）

年月日	摘要	省別	豫算額	調定濟額	收入濟額	不納缺損額	未收入濟額	豫算額調定濟額トノ差
			圓	圓	圓	圓	圓	圓
何年								0
何何			0					
何		何省		0	0	0		
〃	調定外誤納額	〃		0			0	0

第十三號書式

「現金領收證書」

（原符）

報告書

第何號　某年度（某年度何々會計）	
何郡市町村何番地　何　某納	
經常（臨時）	何々（款）
何々（項）	何々（目）

金

年月日領收　收入官吏檢印

領收證書

第何號　某年度（某年度何々會計）	
何郡市町村何番地　何　某納	
經常（臨時）	何々（款）
何々（項）	何々（目）

金

上記ノ金額領收濟ニ付報告候也

年月日

何廳主任收入官吏
官氏名印
又ハ何廳主任收入官吏官氏名所屬
何廳分任收入官吏
官氏名印
歲入徵收官官氏名宛

上記ノ金額領收候也

年月日

何廳主任收入官吏
官氏名印
又ハ何廳主任收入官吏官氏名所屬
何廳分任收入官吏
官氏名印

備考
一用紙寸法縱五寸六分橫三寸八分輪廓寸法縱四寸五分橫三寸三分ノモノ三枚接續
二會計規則第三十三條ノ規定ニ依リ交付スヘキ領收證書ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外此ノ書式ニ依ル
三官廳間ノ收入金ニシテ歲出金支拂通知書ニ領收ヲ證シ收納ヲ了シタルトキハ此ノ領收證書ヲ送付セス
四領收證書郵送ノ必要アル場合ニ於テハ式ノ如ク記入シタル郵便葉書ヲ使用スルコトヲ得
五歲入徵收官ト同一官廳内ニ在ル收入官吏ノ收納濟報告書ハ原符ヲ以テ代用シ報告書ヲ省略スルコトヲ得

第十四號書式

「現金出納簿」

年月日	摘要	受 現金	受 預金	受 計	拂 現金	拂 預金	拂 計	殘 現金	殘 預金	殘 計
		圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
何年何月何日	何々金何某ヨリ收入（又ハ受入）	0								
〃	日本銀行何店ヘ拂込				0			0		0
何	何々金支出官何某ヨリ受入	0								
〃	日本銀行何店ヘ預託		0	0	0					
〃	何々金何某ヘ拂渡				0					
〃	何々金何某ヘ拂渡ノ爲小切手振出					0	0	0	0	0
何	何々金日本銀行何店ヨリ預金部預金振込濟ノ通知ヲ受ク									
何	何々金何某ヘ拂渡ノ爲小切手振出		0	0				0	0	0
	備考					0	0	0	0	0
	一本簿ハ便宜縱式ト爲スコトヲ得									
	二現金ヲ預託又ハ預入シタル場合ニ於テハ現金ハ之ヲ拂ノ部ニ揭ケ同時ニ預金ニ受入ノ手續ヲ爲スヘシ									
	三現金又ハ預金ノミノ取扱ヲ爲ス出納官吏ニ在リテハ本書式中ノ現金、預金、計ノ細區分ヲ發シ單ニ受、拂、殘トシテ整理スルモ妨ケナシ									
	四出納員ノ備フヘキ本簿ハ所管大臣ニ於テ本書式ニ準シ適宜ノ樣式ヲ定ムコトヲ得									

第十八號書式

「某年度何省所管歲出（何々會計歲出）經常部（臨時部）主計簿」

何々（款）　何々（項）

年	月	日	摘要	豫算額	豫算決定後增加額	支出濟額	翌年度へ繰越額	豫算殘額
				圓	圓	圓	圓	圓
何	年	何		0				0
何		何				0		0
何		何	前年度ヨリ越		0			0
何		何	豫備費ヨリ補充		0			0
何		何	翌年度ヘ越				0	0

第十九號書式

「某年度何々會計日記簿」
何年何月何日

1

原簿丁數	原簿科目	借	貸
		圓	圓
	國庫	0	
	運轉資本		0
	運轉資本補足金		0
	何々作業費	0	
	國庫		0
	材料及素品		0
	機械運轉用品		0
	備品		0
	損益	0	
	何年何月何日		
	生産品	0	
	材料及素品		0
	機械運轉用品		0
	損益		0
	何年何月何日		
	生産品	0	
	損益		0
	增價契約濟未收物品代價	0	
	生産品		0
	國庫	0	
	何々作業收入		0
	損益	0	
	物品代價未收		0
		0	0

2　何年何月何日

原簿丁數	原簿科目	借	貸
		圓	圓
	材料及素品	0	
	機械運轉用品	0	
	何々作業費		0
	物品代價未渡		0
	何年何月何日		
	國庫	0	
	何々作業收入		0
	損益	0	
	前金受		0
	生産品		0
	何年何月何日		
	何々作業費	0	
	國庫		0
	前金拂	0	
	損益		0
	材料及素品	0	
	前金		0
		0	0

何年何月何日　3

原簿丁數	原簿科目	借	貸
		圓	圓
	損益	0	
	材料及素品		0
	機械運轉用品		0
	生産		0
	毀損變質（不用品ニ組入）		0
	現金未納	0	
	損益		0
	何々	0	
	損益		0
	現金未渡	0	
	何々		0
	何年何月何日		
	何々作業收入	0	
	損益		0
	損益	0	
	何々作業費		0
	損益	0	
	國庫		0
	金拂	0	
	國納		0
		0	0

備考

一、作業會計規則第三十二條ノ日記簿ハ此ノ書式ニ依ル

二、專賣局作業會計規則、海軍工廠資金會計規則、朝鮮總督府專用品資金會計規則及臺灣官設鐵道用品資金會計規則ニ依リ要スル日記簿ハ此ノ書式ヲ準用ス

三、原簿ニ於ケル科目ノ配置ハ下記ニ依ル

運轉資本、運轉資本補足金、損益、何々作業費、物品代價未收、現金未納、物品代價未渡、現金未渡、前金受、前金拂、國庫、生產品、材料及素品、機械運轉用品、備品

第二十號書式

「某年度造幣局會計日記簿」

1

何年何月何日

原簿丁數	原簿科目	借	貸
	國庫	圓	圓
	材料及素品	0	
	機械運轉用品	0	
	備品	0	
	運轉資本		0
	越高		
	材料及素品	0	
	日本銀行	0	
	地金輸納人		0
	越高		
	國庫(資金部)	0	
	資金		0
	越高		
		0	0
	何年何月何日		
	生產品	0	
	損益		0
	損益	0	
	材料及素品		0
	機械運轉用品		0
		0	0

2

何年何月何日

原簿丁數	原簿科目	借	貸
	物品代價未收	圓	圓
	生產品	0	0
	國庫	0	0
	造幣局作業收入	0	0
	損益	0	0
	物品代價未收		0
		0	0
	何年何月何日		
	日本銀行	0	
	生產品		0
	地金輸納人	0	
	日本銀行		0
	現金	0	
	造幣局作業收入		0
	國庫	0	
	現金		0
		0	0

3

何年何月何日

原丁簿數	原簿科目	借	貸
	材料及素品	圓	圓
	機械運轉用品	0	
	物品代價未渡	0	
	造幣局作業費	0	
	國庫		0
	物品代價未渡	0	
	損益		0
		0	0
	何年何月何日		
	國庫		0
	損益	0	
	造幣局作業收入	0	
	前金受		0
	前金受	0	
	生產品		0
		0	0
	何年何月何日		
	國庫	0	
	損益		0
	材料及素品	0	
	前金拂		0
		0	0

4

何年何月何日

原丁簿數	原簿科目	借	貸
	貨幣交換費	圓	圓
	國庫(資金部)	0	
	引揚貨幣		0
	引揚貨幣受入	0	
	作業部		0
	引揚貨幣	0	
	未精算材料		0
	資金部	0	
		0	0
	何年何月何日		
	作業部	0	
	國庫(資金部)		0
	資金	0	
	國庫		0
	同	0	
	造幣局作業費		0
	材料及素品	0	
	國庫		0
	國庫(資金部)	0	
	造幣局資金收入		0
	引揚貨幣拂出	0	
	作業部		0
	追次合計	0	0

5

何年何月何日

原丁簿數	原簿科目	借	貸
	資金前渡部	圓	圓
	合計	0	0
	未精算材料	0	0
	何年何月何日		
	國庫	0	
	造幣局作業收入		0
	資金部	0	
	國庫返戻		0
	國庫(資金部)	0	
	作業部		0
	上	0	0
	何年何月何日		
	損益	0	
	材料及素品		0
	機械運轉用品		0
	毀損變質(不用品ニ組入)	0	
	現金未納		0
	〃	0	
	何		0
	損益	0	
	現金未渡		0
	〃	0	0
	何年何月何日		
	造幣局作業收入	0	
	損益		0
	利益	0	
	造幣局作業費		0
	追次合計	0	0

第二十一號書式

「某年度帝國鐵道會計日記簿」

6　　何年何月何日　　1

原簿丁數	原簿科目	借	貸
	國庫	圓 0	圓
	固定財產	0	
	特有資本		0
	借入資本		0
	越高		
	國庫	0	
	鐵道資金收入		0
	收入高		
	出納官吏	0	
	國庫		0
	繰替拂資金受入		
		0	0
	何年何月何日		
	貯藏物品	0	
	支出未濟		0
	用品購入代		
	鐵道建設及改良費繰替拂	0	
	鐵道用品及工作費繰替拂	0	
	鐵道作業費繰替拂	0	
	出納官吏		0
	繰替拂高		
	支出未濟	0	
	用品工作受拂過不足		0
	用品購入代支拂濟ニ付組替		
		0	0

備考

原簿ニ於ケル科目ノ配置ハ下記ニ依ル

運轉資本、損益、造幣局作業收入、造幣局作業費、物品代價未收、現金未納、物品代價未渡、現金未渡、前金受、前金拂、地金輸納人、資金部、國庫、現金、日本銀行、生產品、材料及素品、機械運轉用品、備品、資金、資金受拂過不足、引揚貨幣受入、引揚貨幣拂出、造幣局資金收入、貨幣交換費、作業部、國庫(資金部)、引揚貨幣

2　　何年何月何日　　3

原簿丁數	原簿科目	借	貸
	收入未濟	圓 0	圓
	貯藏物品		0
	賣拂用品原價		
	收入未濟	0	
	用品工作受拂過不足		0
	賣拂用品ニ對スル割掛		
	出納官吏	0	
	鐵道資金收入		0
	鐵道用品及工作收入		0
	鐵道作業收入		0
	歲入歲出外勘定		0
	收入高		
	用品工作受拂過不足	0	
	收入未濟		0
	用品賣拂代收入濟ニ付組替		
		0	0
	何年何月何日		
	鐵道建設及改良費	0	
	鐵道用品及工作費	0	
	鐵道作業費	0	
	國庫		0
	繰替拂ニ對シ小切手發行		
	國庫	0	
	鐵道建設及改良費繰替拂		0
	鐵道用品及工作費繰替拂		0
	鐵道作業費繰替拂		0
	同上小切手ヲ以テ鐵道資金收入鐵道用品及工作收入鐵道作業收入振換拂込		
		0	0

何年何月何日　　3

原簿丁數	原簿科目	借	貸
	國庫	圓 0	圓
	出納官吏		0
	現金ニテ歲入金拂込(繰替拂資金戻入)		
		0	0
	何年何月何日		
	工場勘定	0	
	用品工作受拂過不足		0
	工作費及電氣費支拂高		
	工場勘定	0	
	貯藏物品		0
	工場ヘ物品引渡		
		0	0
	何年何月何日		
	貯藏物品	0	
	工場勘定		0
	工場ヨリ新製品受入		
	收入未濟	0	
	工場勘定		0
	修繕原價		
	收入未濟	0	
	用品工作受拂過不足		0
	修繕ニ對スル割掛		
		0	0
	何年何月何日		
	特有資本	0	
	固定財產		0
	讓渡(滅失)		
	用品工作受拂過不足	0	
	貯藏物品		0
	毀損變質(又ハ不用品ニ組入)		
		0	0

4　　何年何月何日

原簿丁數	原簿科目		借	貸
	鐵道作業收入		圓 0	圓
		損益		0
	損益		0	
		鐵道作業費		0
	損益		0	
		國庫		0
	鐵道益金繰入			
	國庫		0	
		鐵道資金收入		0
	同上			
			0	0
		何年何月何日		
	鐵道資金收入		0	
		特有資本		0
		借入資本		0
		公債其他差增		0
	資本ニ編入			
	公債其他差増		0	
		特有資本		0
	同上			
	公債其他差損		0	
		借入資本		0
	差損ニ對スル債務額			
	特有資本		0	
		公債其他差損		0
	資本ヨリ控除			
		追次合計	0	0

何年何月何日　5

原簿丁數	原簿科目		借	貸
	前葉合計		圓 0	圓 0
	固定財産		0	
		鐵道建設及改良費		0
	鐵道用品及工作收入		0	
		用品工作受拂過不足		0
	用品工作受拂過不足		0	
		鐵道用品及工作費		0
	用品工作受拂過不足		0	
		特有資本		0
	受拂過剩額資本ニ編入			
	固定財産		0	
		特有資本		0
	收益勘定ニ於テ補充工事ノ爲支出シタル金額			
			0	0

備考

原簿ニ於ケル科目ノ配置ハ下記ニ依ル

特有資本、借入資本、損益、用品工作受拂過不足、鐵道資金收入、鐵道作業收入、鐵道用品及工作收入、鐵道建設及改良費、鐵道作業費、鐵道用品及工作費、何々繰替拂、公債其他差增、公債其他差損、收入未濟、支出未濟、歲入歲出外勘定、國庫、出納官吏、固定財産、貯藏物品、工場勘定

第二十二號書式

「某年度簡易生命保險會計日記簿」

何年何月何日　1

原簿丁數	原簿科目		借	貸
	國庫		圓 0	圓
		簡易生命保險收入		0
	簡易生命保險費		0	
		國庫		0
			0	0
		何年何月何日		
	積立金繰替拂出		0	
		國庫（積立金）		0
	積立金繰替			
	國庫		0	
		積立金繰替受入		0
	同上			
			0	0
		何年何月何日		
	積立金繰替受入		0	
		國庫		0
	繰替返戻			
	國庫（積立金）		0	
		積立金繰替拂出		0
	同上			
			0	0

2　　何年何月何日

原簿丁數	原簿科目		借	貸
	預金（餘裕金）		圓 0	圓
		國庫		0
	國庫		0	
		預金（餘裕金）		0
			0	0
		何年何月何日		
	預金（積立金）		0	
	有價證券		0	
	一般貸付		0	
	出納官吏		0	
		國庫（積立金）		0
			0	0
		何年何月何日		
	契約者貸付		0	
	一般貸付		0	
	有價證券		0	
		出納官吏		0
	出納官吏		0	
		契約者貸付		0
		一般貸付		0
		有價證券		0
			0	0
		何年何月何日		
	有價證券		0	
		有價證券		0
			0	0
		何年何月何日		
	國庫（積立金）		0	
		預金（積立金）		0
		有價證券		0
		一般貸付		0
		出納官吏		0
	缺損		0	
		有價證券		0
		一般貸付		0
		契約者貸付		0
			0	0

第二十二號ノ二書式

「某年度　大藏省預金部會計日記簿」

何年何月何日　1

原簿丁數	原簿科目	借	貸
	何々預金	圓	圓
	當座預金	0	0
	當座預金	0	0
	何々預金	0	0
	利益金	0	0
	當座預金	0	0
		0	0
	何年何月何日		
	何々證券（其他運用科目）		0
	當座預金	0	
	當座預金		0
	損失金	0	
	當座預金		0
	何々證券（其他運用科目）	0	
		0	0
	何年何月何日		
	利益金	0	
	某年度預金部特別會計歲入		0
	損失金	0	
	某年度預金部特別會計歲出		0
	某年度預金部歲出	0	
	當座預金		0
	某年度預金部歲出	0	
	振出小切手支拂未濟		0
	振出小切手支拂未濟	0	
	當座預金		0
		0	0
	追次合計	0	0

2　何年何月何日

原簿丁數	原簿科目	借	貸
	前葉合計	圓 0	圓 0
	何年何月何日		
	何々證券（其他運用科目）		0
	當座預金	0	
	當座預金		0
	減價償却	0	
		0	0
	何年何月何日		
	某年度預金部特別會計歲入	0	
	歲入歲出過不足		0
	某年度預金部特別會計歲出		0
	歲入歲出過不足	0	
	歲入歲出過不足	0	
	減價償却		0
	歲入歲出過不足	0	
	積立金		0
	積立金	0	
	歲入歲出過不足		0
	當座預金	0	
	當座預金		0
		0	0

備考　原簿ニ於ケル科目ノ配置ハ下記ニ依ル

郵便貯金公債金特別會計預金、國債整理基金、特別會計預金、帝國鐵道特別會計預金、簡易生命保險特別會計預金、賠償金特別會計預金、米穀需給調節特別會計預金、對支文化事業特別會計預金、教育基金特別會計預金、教育改善及農村振興基金特別會計預金、貯蓄債券賣却代預金、復興貯蓄債券賣却代預金、其他預金、利益金、某年度預金部特別會計歲入、積立金、歲入歲出過不足、國債證券、外國國債證券、地方債證券、特殊銀行會社社債、歲出債券、四分利付支那債券元利補償證書、貸付金、內地指定預金、在外指定預金、損失金、減價償却、某年度預金部特別會計歲出、當座預金

第二十三號書式

「某年度米穀需給調節會計日記簿」

何年何月何日　3

原簿丁數	原簿科目	借	貸
	簡易生命保險收入	圓 0	圓
	歲入歲出過不足		0
	歲入歲出過不足	0	
	簡易生命保險費		0
	歲入歲出過不足	0	
	國庫		0
	國庫（積立金）	0	
	積立金		0
	積立金	0	
	國庫（積立金）		0
	國庫	0	
	歲入歲出過不足		0
	積立金	0	
	缺損		0
		0	0

備考

原簿ニ於ケル科目ノ配置ハ下記ニ依ル

積立金、歲入歲出過不足、簡易生命保險收入、簡易生命保險費、積立金繰替拂出、積立金繰替受入、國庫、國庫（積立金）、出納官吏預金（餘裕金）、預金（積立金）、有價證券、契約者貸付、一般貸付、缺損

「某年度米穀需給調節會計日記簿」

何年何月何日　1

原簿丁數	原簿科目	借	貸
	國庫	圓 0	圓
	米穀需給調節收入		0
	損益	0	
	借入金		0
		0	0
	何年何月何日		
	米穀	0	
	證券發行未濟		0
	證券發行未濟	0	
	證券發行高		0
		0	0
	何年何月何日		
	米穀	0	
	土地	0	
	建物	0	
	機械及器具	0	
	工作物	0	
	備品	0	
	支出未濟		0
	米穀需給調節費	0	
	國庫		0
	支出未濟	0	
	損益		0
		0	0

第二十四號書式

「某年度何々會計原簿」

何々

年月日	摘要	日記丁數	借	貸	借或貸	殘
			圓	圓		圓
何年何月何日	何々		0		借	0
〃	何々			0		
備考						
特別一式	會計規則ニ依リ要スル原簿ハ此ノ書式ニ依ル					

第二十五號書式

「某年度何々會計補助簿」

何々（原簿科目）　何々（細科目）

年月日	摘要	證憑番號	借	貸	借或貸	殘
			圓	圓		圓
何年何月何日	何々		0			
〃	何々			0	借	0
備考						
特別一式	會計規則ニ依リ要スル原簿ノ補助簿ハ此ノ書ニ依ル					
二本モノトス	簿ハ所管大臣ノ定ムル細目毎ニ口座ヲ設クル					
三本簿	簿ノ外原簿ノ詳細ヲ明ニスルヲ要スル所ノ補助ハ適宜各廳ニ於テ設クルモノトス					

2　何年何月何日

原簿丁數	原簿科目	借	貸
		圓	圓
	米穀需給調節費	0	
	國庫		0
	證券發行高	0	
	借入金	0	
	損益		0
		0	0

何年何月何日

	出納官吏	0	
	米穀需給調節收入		0
	損益	0	
	前金受		0
	國庫	0	
	出納官吏		0
	米穀	0	
	前金受		0
		0	0

何年何月何日　3

原簿丁數	原簿科目	借	貸
		圓	圓
	出納官吏	0	
	歲入歲出外勘定		0
	國庫（歲入歲出外）	0	
	出納官吏		0
	歲入歲出外勘定	0	
	國庫（歲入歲出外）		0
	國庫	0	
	米穀需給調節收入		0
	損益	0	
	米穀		0
		0	0

何年何月何日

	收入未濟	0	
	米穀		0
	國庫	0	
	米穀需給調節收入		0
	損益	0	
	收入未濟		0
		0	0

第二十六號書式

「簿引差高受元拂支計々會年度何々某」

年月日	摘要	支拂元受高	支出濟額	殘額
		圓	圓	圓
何年何月何日	前年度ヨリ越	0		0
何	歲入	0		
何	〃		0	
何	〃		0	
何	〃	0		0
何	〃		0	0
何	〃		0	0

第二十七號書式

某年度何々會計受拂勘定表

受拂			圓
受入	歲入ノ收入濟額	○	○
	收入未濟額	○	
	據置運轉資本ニ屬スル現金ノ持越高	○	○
	何々	○	○
	何々	○	○
	何々	○	○
	合計	○	○
拂出	歲出ノ支出濟額	○	○
	支出未濟額	○	○
	據置運轉資本額	○	○
	何々	○	○
	何々	○	○
	合計	○	○

備考　受入ノ拂出（拂出ノ受入）ニ超過スルコト本表ノ如クナルヲ以テ何圓ノ益金（損失）ヲ生ジタリ

4　何年何月何日

原簿丁數	原簿科目	借	貸
		圓	圓
	預金	0	
	國庫		0
		0	0

何年何月何日

	米穀	0	
	損益		0
		0	0

何年何月何日

	米穀需給調節收入	0	
	損益		0
	損益	0	
	米穀需給調節費		0
		0	0

何年何月何日　5

原簿丁數	原簿科目	借	貸
		圓	圓
	證券發行未濟	0	
	證券發行高		0
	借入金	0	
	前金受		0
	支出未濟	0	
	歲入歲出外勘定		0
	損益	0	
	米穀		0
	土地	0	
	建物		0
	機械及器具	0	
	收入未濟		0
	國庫	0	
	出納官吏		0
	國庫（歲入歲出外）	0	
	損益		0
		0	0

備考

原簿ニ於ケル科目ノ配置ハ下記ニ依ル

損益、米穀需給調節收入、借入金、米穀需給調節費、證券發行高、收入未濟、證券發行未濟、支出未濟、歲入歲出外勘定、國庫、國庫（歲入歲出外）、現金、出納官吏、米穀、土地、建物、機械及器具

第二十八號書式

某年度帝國鐵道會計貸借對照表

借方			貸方		
種目	金額		種目	金額	
現金	○○○○○○	圓	特有資本	○○○○○○	圓
收入未濟	○○○○○		借入資本	○○○○○	
固定財產	○○○○○		支出未濟	○○○○○	
貯藏物品	○○○○○		歲入歲出外勘定	○○○○○	
工場勘定	○○○○○		何々	○○○○○	
何々	○○○○○				
合計	○		合計	○	

第二十九號書式

某年度帝國鐵道會計損益計算表

損失			利益		
種目	金額		種目	金額	
鐵道作業費	○○○○	圓	鐵道作業收入	○○○○	圓
何々	○○○○		何々	○○○○	
差引益金	○○○○				
合計	○		合計	○	

第三十號書式

某年度帝國鐵道會計資本增減表

種目	年度首	增	減	年度末	增減事由
特有資本	○○	○○	○○	○○	圓
借入資本	○○○	○○○	○○○	○○○	
合計	○	○	○	○	

第三十一號書式

某年度帝國鐵道會計固定財產價格增減表

種目	年度首價格	增	減	年度末價格	增減事由
固定財產	○○	○○	○○	○○	圓

第三十二號書式

某年度何々會計固定資本價格增減表

種目	年度首價格	增	減	年度末價格	增減事由
土地	○○	○○	○○	○○	圓
建築	○○	○○	○○	○○	
道路	○○	○○	○○	○○	
機械	○○	○○	○○	○○	
器具	○○	○○	○○	○○	
何々	○○	○○	○○	○○	
合計	○	○	○	○	

備考

第三十三號書式

何年三月三十一日簡易生命保險會計積立金明細目錄

種目	前年積立金額	增	減	增減事由
公債證書	○○○○○○○○	圓	額面又ハ券面	
何々有價證券	○○○○○○○○			
何々貸付金	○○○○○○○○			
何々現金	○○○○○○○○			
何々	○○○○○○○○			
合計	○○○○○○○○			

備考

●會計規則取扱ニ關スル件

明治二十九年十一月二十日
拓殖務省訓令第十六號

會計規則ニ關スル取扱方左ノ通心得ヘシ
但シ此訓令ニ牴觸スル從前ノ訓令指令ハ廢止ス

一會計規則【第六十七條第九十一條】ノ檢查官吏同【第九十二條】ノ立會官吏同【第百條】ノ特命官吏ハ臺灣總督之ヲ命スヘシ但臺灣總督ハ必要ニ從ヒ所屬部局長ニ之ヲ委任スルコトヲ得

一會計規則【第七十條】ノ保證金額ハ臺灣總督之ヲ定ムヘシ

一會計規則【第八十八條第八十九條】ニ該當スルモノアルトキハ臺灣總督其取扱ヲ爲スコトヲ得

一會計規則【第七十五條】ノ豫定價格ハ臺灣總督若クハ部局長之ヲ定ムヘシ

一會計規則【第八十一條】工事及物件ノ賣買貸借ニ關スル契約ハ臺灣總督若クハ部局長之ヲ締結スヘシ

一會計規則【第八十三條】隨意契約ノ場合ニ於テ臺灣總督若ハ部局長ハ請負人ノ保證金ヲ免除スルコトヲ得

●大藏大臣ノ承認ヲ經ルニ非サレハ他ノ費途ノ金額ヲ流用スルコトヲ得サル費途ノ件

大正十二年六月十三日
勅令第三百五號

臨大藏大臣ノ承認ヲ經ルニ非サレハ他ノ費途ノ金額ヲ流用スルコトヲ得サル費途ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

左ノ各種ノ費途ニハ大藏大臣ノ承認ヲ經ルニ非サレハ他ノ費途ノ金額ヲ流用スルコトヲ得ス

一　俸給
二　機密費
三　交際費
四　宴會費
五　接待費
六　渡切費
七　新營費
八　補助費

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●臺灣總督府特別會計法

明治三十年二月二十六日
法律第二號

臨帝國議會ノ協贊ヲ經タル臺灣總督府特別會計法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

臺灣總督府特別會計法

第一條　臺灣總督府ノ會計ハ特別トシ其歲入及一般會計ノ補充金ヲ以テ其歲出ニ充ツ

第二條　前條ノ收入支出ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附　則

第三條　本法ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

●臺灣總督府特別會計規則

明治三十年三月九日
勅令第二十七號

改正　明治三〇年第三一七號、三五年　第二〇一號、大正一一年第四五號

臨臺灣總督府會計規則ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

臺灣總督府特別會計規則

第一條　歲入歲出ノ豫定計算書ハ所管大臣之ヲ調製シ前年度九月三十日マテニ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二條　所管大臣ハ臺灣總督ヲ以テ支出官トシ臺灣總督府特別會計ニ屬スル歲出ヲ支出スル爲小切手ヲ振出サシム

臺灣總督ハ部下ノ官吏ニ分任シテ臺灣總督府特別會計ニ屬スル歲出ヲ支出スル爲小切手ヲ振出サシムルコトヲ得

第三條　臺灣總督ハ每年度決定ノ豫算定額ニ基キ支出官每ニ所要ノ費額ヲ定メ支拂豫算ヲ調製シ大藏大臣及會計檢查院ニ送付シ同時ニ其ノ旨日本銀行ニ通知スヘシ支拂豫算ヲ更定シタルトキ亦同シ

第四條　臺灣總督ハ年度內一時收入金額ニ不足ヲ生スルトキハ其ノ不足金額ヲ豫定シ所管大臣ヲ經由シテ大藏大臣ニ支拂元金ノ繰替ヲ請求スヘシ

大藏大臣ハ前項ノ請求ナキトキハ支拂元金ニ超過シタル小切手ノ支拂ヲ停止セシムルコトアルヘシ

第五條　臺灣總督ハ一般會計規則第十八條ノ勅令ニ基キ第一豫備金ノ支出ヲ爲シタルトキハ其ノ金額理由ヲ示ス所ノ計算書ヲ作リ所管大臣ヲ經由シテ大藏大臣ニ通知スヘシ

第六條　大藏大臣第一豫備金支出ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ會計檢查院ニ通知スヘシ

第六條ノ二　歲入徵收官ハ每月徵收報告書ヲ調製シ參照書類ヲ添ヘ之ヲ臺灣總督ニ送付スヘシ

第六條ノ三　臺灣總督ハ徵收報告書ニ依リ每月徵收總報告書ヲ調製シ參照書類ヲ添ヘ所管大臣ヲ經由シテ其ノ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第六條ノ四　支出官ハ每月支出濟額報告書ヲ調製シ之ヲ臺灣總督ニ送付スヘシ

第六條ノ五　臺灣總督ハ支出濟額報告書ニ依リ每月支出總報告書ヲ調製シ支出濟額報告書ヲ添ヘ所管大臣ヲ經由シテ其ノ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第七條　臺灣總督ハ土地ノ情況ニ依リ一般會計規則第九十九條ノ保證金ヲ免除スルコトヲ得

第八條　歲入歲出ノ決定計算書ハ豫定計算書ト同一ノ區分ニ據リ所管大臣之ヲ調製シ翌年度七月三十一日マテニ大藏大臣ニ送付スヘシ

第九條　臺灣總督府ハ歲入簿ヲ備ヘ歲入ノ豫算額、調定濟額、收入濟額、不納缺損額及收入未濟額ヲ登記スヘシ

第十條　臺灣總督府ハ歲出簿ヲ備ヘ歲出ノ豫算額、豫算決定後增加額、支出濟額、翌年度繰越額及殘額ヲ登記スヘシ

第十一條　本令ニ規定セサルモノハ會計規則ノ定ムル所ニ依ル但シ會計規則第四十二條、第八十五條、第八十八條、第九十二條、第九十七條、第九十八條、第百四條、第百二十五條、第百二十六條、第百二十九條、第百三十四條、第百三十五條、第百三十六條乃至第百三十八條、第百四十四條及第百四十六條中各省大臣又ハ所管大臣トアルハ臺灣總督トス

●臺灣總督府特別會計ニ屬スル返納告知書記載方

明治三十年三月二十四日
拓殖務省訓令第六號

臺灣總督府特別會計ニ屬スル返納告知書ニハ「某年度」ト記スヘキ所ニ「某年度臺灣總督府歲出」ト記シ又納入告知書ニハ「某年度」ト記スヘキ所ニ「某年度臺灣總督府歲入」ト記スヘシ

●國庫出納金端數計算法ヲ朝鮮臺灣及樺太ニ施行スルノ件

大正五年三月三十一日
勅令第五十七號

臨國庫出納金端數計算法ヲ朝鮮臺灣及樺太ニ施行スルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

國庫出納金端數計算法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行ス

附　則

本令ハ大正五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●國庫出納金端數計算法

大正五年一月二十九日
法律第二號

臨帝國議會ノ協贊ヲ經タル國庫出納金端數計算法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

國庫出納金端數計算法

第一條　國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其ノ端數ハ之ヲ切捨ツ其ノ全額一錢未滿ナルトキハ之ヲ一錢トス

第二條　國稅ノ課稅標準額ノ算定ニ付テハ前條ノ規定ヲ準用ス

命令ヲ以テ指定スル國稅ノ課稅標準額ニシテ一圓未滿ノ端數アルトキハ其ノ端數ハ之ヲ切捨ツ

第三條　分割シテ收入又ハ仕拂ノ金額ニ在リテハ其ノ總額ニ付第一條ノ規定ヲ準用ス

第四條　分割シテ收入又ハ仕拂ヲ爲ス場合ニ於テ分割金額一錢未滿ナルトキ又ハ之ニ一錢未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ其ノ分割金額又ハ端數ハ最初ノ收入金又ハ仕拂金ニ之ヲ合算ス但シ地租ノ分納額ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第五條　寶藥印紙稅及郵便切手ヲ以テ納ムル郵便料金ニ付テハ本法ヲ適用セス法律ニ別段ノ定アルモノノ外本法ヲ適用セサルモノハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條　本法ハ北海道府縣郡市町村其ノ他勅令ヲ以テ指定シタル公共團體ノ收入及仕拂ニ關シテ之ヲ準用ス

附　則

第七條　本法ハ大正五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第八條　明治四十年法律第三十一號ハ之ヲ廢止ス但シ本法施行前納入ノ告知ヲ爲シ又ハ仕拂ノ命令ヲ發シタルモノニ付テハ仍其ノ效力ヲ有ス

●國庫出納金端數計算法第五條ニ依ル命令ノ件

大正五年三月三十一日勅令第五十六號

脫國庫出納金端數計算法第五條第二項ニ依ル命令ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

國庫ノ收入及仕拂中左ニ揭クル種目ニハ國庫出納金端數計算法ヲ適用セス

一　切手及印紙類賣下代金

二　沒收金及犯罪ニ基ク追徵金

三　法令ニ依リ當然國庫ニ歸屬スル收入金

四　貨幣交換差金

五　外國貨幣ヲ基礎トスル收入金及仕拂金

六　缺損補塡金

七　切手貯金拂込金

附　則

本令ハ大正五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●公共團體ノ收入及仕拂ニ關シ國庫出納金端數計算法準用ノ件

改正　大正九年勅令第三四三號

脫政府ニ納ムヘキ保證金其ノ他ノ擔保ニ充用スル國債ノ價格ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　國庫出納金端數計算法第六條ノ規定ニ依リ公共團體ヲ指定スルコト左ノ如シ

市制第六條ノ市ノ區

水利組合

北海道土功組合

朝鮮ノ道地方費、府、府郡島學校費、學校組合、面及水利組合

臺灣ノ州、廳地方費、市街庄及水利組合

樺太ノ町村

第二條　國庫出納金端數計算法第六條ノ公共團體ノ收入及仕拂中左ニ揭クル種目ニハ同法ヲ準用セス

一　法令ニ依リ當然公共團體ニ歸屬スル收入金

二　貨幣交換差金

三　外國貨幣ヲ基礎トスル收入金及仕拂金

四　缺損補塡金

附　則

本令ハ大正五年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

●一圓未滿ノ端數ヲ切捨ツヘキ國稅

大正五年四月二十三日　臺灣總督府令第三十號

改正　大正七年第四八號、九年第五四號、一〇年第七三號

國庫出納金端數計算法第二條第二項ニ依リ課稅標準額計算上一圓未滿ノ端數ヲ切捨ツヘキ國稅左ノ通指定ス

一　第一種所得稅【戰時利得稅】

二　第三種所得稅

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●保證金其他ノ擔保ノ充用スル國債ノ價格ニ關スル件

明治四十一年十一月二十八日勅令第二百八十七號

改正　明治四五年第一三六號

脫政府ニ納ムヘキ保證金其ノ他ノ擔保ニ充用スル國債ノ價格ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

政府ニ納ムヘキ保證金其ノ他ノ擔保ニ充用スル國債、帝國鐵道會計法第二條ノ二ノ證券及大藏證券ノ價格ハ其ノ債權金額ニ依ル

明治三十八年勅令第二十號ハ之ヲ廢止ス

●入札又ハ契約ノ保證金ニ關スル件

明治四十三年九月七日勅令第三百四十號

改正　大正九年第五八一號

脫入札又ハ契約ノ保證金ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

入札又ハ契約ニ關シ保證金ヲ徵スヘキ規定ヲキ場合ニ於テモ當該官吏特ニ其ノ必要アリト認メタルトキハ現金又ハ國債ヲ以テ保證金ヲ納付セシムルコトヲ得

落札者契約ヲ結ハサルトキハ其ノ保證金ハ政府ノ所得トス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正九年勅令第五百八十一號）

本令ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前納付シタル國債以外ノ有價證券ハ本令施行ノ日ヨリ五年ヲ限リ本令ノ規定ニ拘ラス仍其ノ效力ヲ有ス

●臺灣總督府特別會計歲入歲出科目設置及經費流用手續

明治四十三年十一月臺灣總督府訓令第二百十四號

改正　大正二年第五七號

法院、州、廳

臺灣總督府所屬官署

臺灣總督府特別會計歲入歲出科目設置及經費流用手續左ノ通相定ム

臺灣總督府特別會計歲入歲出科目設置及經費流用手續

第一條　臺灣官設鐵道用品資金歲入取扱規程第七條　政府ハ毎年臺灣官設鐵道用品資金特別會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト俱ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第八條　臺灣官設鐵道用品資金特別會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九條　臺灣官設鐵道用品資金會計ノ經營ニ妨ナキ限ハ一般ノ需要ニ應シ機械其ノ他ノ製作修理ヲ爲スコトヲ得

本令ハ大正五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●公共團體ノ收入及仕拂ニ關シ國庫出納金端數計算法準用ノ件

改正　大正九年第六八號

脫臺灣官設鐵道用品資金會計規則ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

臺灣官設鐵道用品資金會計規則

第一條　臺灣官設鐵道用品資金ハ貯藏物品賣拂代金並附屬雜收入ヲ以テ歲入トシ物品購入代製作費改製費修理費並附屬諸費ヲ以テ歲出トス

第二條　臺灣官設鐵道用品資金ハ實際ノ歲入額及資金ニ屬スル現金ノ持越高ヲ以テ支拂元受高ヲ超過スルコトヲ得ス

第三條　貯藏物品ノ購入原價ニシテ自然ノ腐朽又ハ毀損變質減量等ニ因リ其ノ價格減少シタルトキハ毎年度ノ終ニ於テ之ヲ改定スヘシ

第四條　貯藏物品ノ損減歩合ハ自然ノ腐朽又ハ不用ニ歸シタルニ因リ生シタル既往ノ損減高及亡失毀損變質減量等ヲ參酌シテ之ヲ定ムルモノトス

第五條　毎年度內ニ於テ收入ヲ爲スヘキ權利ヲ得テ當該年度內ニ收入濟トナラサルモノハ收入未濟トシテ順次翌年度ヘ繰越シ現ニ收入ヲ爲シタル年度ノ歲入ニ組入ルヘシ

第六條　毎年度ニ屬スル歲出ヲ支出スル爲メ小切手ヲ振出スハ當該年度三月三十一日限トス

第七條　毎年度內ニ支拂ヲ爲スヘキ義務ヲ生シ當該年度內ニ小切手ヲ振出ササルモノハ支出未濟トシテ翌次翌年度ニ繰越シ時效完成ニ至ル迄ハ支拂ノ請求アル毎ニ小切手ヲ振出スヘシ但シ支出未濟ノ繰越額ハ支出濟額ト合シテ豫算定額ヲ超過スルコトヲ得ス

第八條　受拂勘定ハ收入未濟トシテ順次翌年度ヘ繰越シ現ニ收入ヲ爲シタル年度ノ歲入ニ組入ルヘシ

第六條　毎年度ニ屬スル歲出ヲ支出スル爲メ小切手ヲ振出スハ當該年度三月三十一日限トス

第七條　毎年度內ニ支拂ヲ爲スヘキ義務ヲ生シ當該年度內ニ小切手ヲ振出ササルモノハ支出未濟トシテ翌次翌年度ニ繰越シ時效完成ニ至ル迄ハ支拂ノ請求アル毎ニ小切手ヲ振出スヘシ但シ支出未濟ノ繰越額ハ支出濟額ト合シテ豫算定額ヲ超過スルコトヲ得ス

第八條　受拂勘定ハ收入未濟トシテ順次翌年度ヘ繰越シ現ニ收入ヲ爲シタル年度ノ歲入ニ組入ルヘシ

第一條　臺灣官設鐵道用品資金歲入取扱規程第七條ニ屬スル歲入ノ鐵道部長之ヲ徵收スヘシ

第二條　歲入徵收官ハ金庫ヨリ鐵道用品資金額及領收濟年月日所屬年度金庫名ヲ仕拂命令官ニ通知スヘシ

第三條　此ノ規程ニ規定セサルモノハ明治三十三年五訓令第百四十號臺灣總督府鐵道部歲入取扱規程ヲ準用ス

●公債金特別會計法

大正八年三月二十五日　法律第十五號

改正　大正九年第九號

脫帝國議會ノ協贊ヲ經タル事業公債金特別會計法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

公債金特別會計法

第一條　各種ノ經費ノ支辨ニ充ツヘキ公債金ノ會計ハ之ヲ特別トシ一般ノ歲入歲出ト區分スヘシ

第二條　公債金ヲ使用セムトスルトキハ之ヲ以テ支辨スヘキ經費ノ屬スル會計ノ歲入ニ繰入ルヘシ

第三條　公債金ニ餘裕アルトキハ之ヲ大藏省預金部ニ預入ルヘシ

第四條　本會計ハ公債ノ發行ニ依ル收入金、運用利殖金及附屬雜收入ヲ以テ其ノ歲入トシ第二條及第六條ノ規定ニ依ル繰入金ヲ以テ其ノ歲出トス

第五條　公債金ニシテ每年度內ニ使用セサルモノハ翌次之ヲ翌年度ニ繰越スヘシ

第六條　公債金ハ之ヲ以テ支辨スヘキ經費每ニ區分整理シ其ノ經費ヲ要セサルニ至リタル後剩餘アルトキハ之ヲ其ノ經費ノ屬シタル會計ノ歲入ニ繰入ルヘシ

第七條　政府ハ每年本會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第八條　本法ハ大正五年法律第四號ニ依リ發行スル公債ノ收入金ニ關シテハ之ヲ適用セス

●臺灣官設鐵道用品資金歲入取扱規程

明治三十五年四月十七日勅令第百四十號

改正　大正一一年第四六號

脫臺灣官設鐵道用品資金會計規則ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　臺灣官設鐵道用品資金ハ貯藏物品賣拂代金並附屬雜收入ヲ以テ歲入トシ物品購入代製作費改製費修理費並附屬諸費ヲ以テ歲出トス

第二條　臺灣官設鐵道用品資金ハ實際ノ歲入額及資金ニ屬スル現金ノ持越高ヲ以テ支拂元受高ヲ超過スルコトヲ得

第三條　貯藏物品ノ購入原價ニシテ自然ノ腐朽又ハ毀損變質減量等ニ因リ其ノ價格減少シタルトキハ每年度ノ終ニ於テ之ヲ改定スヘシ

第四條　貯藏物品ノ損減歩合ハ自然ノ腐朽又ハ不用ニ歸シタルニ因リ生シタル既往ノ損減高及亡失毀損變質減量等ヲ參酌シテ之ヲ定ムルモノトス

第五條　每年度內ニ於テ收入ヲ爲スヘキ權利ヲ得テ當該年度內ニ收入濟トナラサルモノハ收入未濟トシテ順次翌年度ヘ繰越シ現ニ收入ヲ爲シタル年度ノ歲入ニ組入ルヘシ

第六條　毎年度ニ屬スル歲出ヲ支出スル爲メ小切手ヲ振出スハ當該年度三月三十一日限トス

第七條　毎年度內ニ支拂ヲ爲スヘキ義務ヲ生シ當該年度內ニ小切手ヲ振出ササルモノハ支出未濟トシテ翌次翌年度ニ繰越シ時效完成ニ至ル迄ハ支拂ノ請求アル毎ニ小切手ヲ振出スヘシ但シ支出未濟ノ繰越額ハ支出濟額ト合シテ豫算定額ヲ超過スルコトヲ得ス

第八條　受拂勘定ハ收入未濟トシテ順次翌年度ヘ繰越シ現ニ收入ヲ爲シタル年度ノ歲入ニ組入ルヘシ

第一條　臺灣官設鐵道用品資金歲入取扱規程第七條ニ屬スル歲入ノ鐵道部長之ヲ徵收スヘシ

第二條　歲入徵收官ハ金庫ヨリ鐵道用品資金額及領收濟年月日所屬年度金庫名ヲ仕拂命令官ニ通知スヘシ

第三條　此ノ規程ニ規定セサルモノハ明治三十三年五訓令第百四十號臺灣總督府鐵道部歲入取扱規程ヲ準用ス

●公債金特別會計法

大正八年三月二十五日　法律第十五號

改正　大正九年第九號

脫帝國議會ノ協贊ヲ經タル事業公債金特別會計法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

公債金特別會計法

第一條　各種ノ經費ノ支辨ニ充ツヘキ公債金ノ會計ハ之ヲ特別トシ一般ノ歲入歲出ト區分スヘシ

第二條　公債金ヲ使用セムトスルトキハ之ヲ以テ支辨スヘキ經費ノ屬スル會計ノ歲入ニ繰入ルヘシ

第三條　公債金ニ餘裕アルトキハ之ヲ大藏省預金部ニ預入ルヘシ

第四條　本會計ハ公債ノ發行ニ依ル收入金、運用利殖金及附屬雜收入ヲ以テ其ノ歲入トシ第二條及第六條ノ規定ニ依ル繰入金ヲ以テ其ノ歲出トス

第五條　公債金ニシテ每年度內ニ使用セサルモノハ翌次之ヲ翌年度ニ繰越スヘシ

第六條　公債金ハ之ヲ以テ支辨スヘキ經費每ニ區分整理シ其ノ經費ヲ要セサルニ至リタル後剩餘アルトキハ之ヲ其ノ經費ノ屬シタル會計ノ歲入ニ繰入ルヘシ

第七條　政府ハ每年本會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第八條　本法ハ大正五年法律第四號ニ依リ發行スル公債ノ收入金ニ關シテハ之ヲ適用セス

附　則

本法ハ大正八年度ヨリ之ヲ施行ス

事業公債及鐵道公債特別會計法、朝鮮事業公債金特別會計法ハ之ヲ廢止ス

本法施行ノ際前項ノ各特別會計ニ屬スル公債金ハ之ヲ本會計ノ歲入ニ繰入ルヘシ

●臺灣總督府交通局遞信部內會計事務規程

臺灣總督府交通局遞信部內會計事務規程左ノ通相定ム

臺灣總督府交通局遞信部內會計事務規程

第一章　總則

第一條　交通局遞信部內ノ會計事務ハ本令ニ依リ處理スヘシ但シ特ニ規定セサル事項ハ一般ノ例ニ依ル

第二條　郵便局ノ會計事務中特ニ指定スル事項ハ交通局長シテ掌理セシム

第三條　本令ニ依リ難キ事情アルトキハ事由ヲ具シ臺灣總督ニ稟申スヘシ

第二章　歲入

第一節　通則

第四條　一、二等郵便局ニ屬スル歲入ニ關シテハ當該郵便局長ヲシテ歲入徵收分掌官トス

第五條　歲入金ハ歲入ヲ徵收スル官吏之ヲ調定シ分任繰替拂出納官吏（以下單ニ出納官吏又ハ出納員ニ出納ノ事ヲ命シタル官吏ト稱ス）又ハ出納員ニ納付セシムヘシ但シ時宜ニ依リ日本銀行ニ納付セシムルコトヲ得

第六條　窓口ニ於テ收納スル郵便切手類及收入印紙賣捌代金等ハ出納官吏又ハ出納員ニ即納セシムヘシ

前項以外ノ歲入金ニ付テハ出納官吏又ハ出納員ニ即納セシムルコトヲ得

第七條　歲入ヲ徵收スル官吏第十六條ニ依リ出納官吏ヨリ歲入金受入額月計對照表（別記樣式第九）ノ送付ヲ受ケタルトキハ關係帳簿及書類ト照合シ其ノ符合ヲ確ムヘシ

設置ヲ要スルトキハ必要ノ事由ヲ具シ臺灣總督ニ稟申スヘシ

第二條　支出官ニ於テ臨時部費繕及土木費豫算各目節ノ金額ヲ彼此流用使用セムトスルトキハ必要ノ事由ヲ具シ臺灣總督ニ稟申スヘシ

第三條　前條以外ノ目又ハ節ノ流用制限ヲ要スルモノハ其ノ時時之ヲ指定ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十一年四月訓令第七十三號ハ之ヲ廢止ス

●臺灣官設鐵道用品資金會計法

明治三十五年三月八日　法律第十三號

改正　明治四〇年第四號

脫帝國議會ノ協贊ヲ經タル臺灣官設鐵道用品資金會計法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

臺灣官設鐵道用品資金會計法

第一條　鐵道用品ヲ購入貯藏シ臺灣官設鐵道ノ運輸營業竝建設事業ノ需用ニ應スル爲臺灣官設鐵道用品資金ヲ置キ特別ノ會計ヲ立テシム

第二條　臺灣官設鐵道用品資金ハ本法施行ノ年度始現在ノ臺灣總督府鐵道部ニ於ケル貯蓄材料ヲ以テ之ニ充テ尙必要ニ應シ臺灣總督府特別會計ヨリ漸次繰入シテ五十萬圓トス

第三條　臺灣官設鐵道用品資金會計ニ屬スル用品ヲ使用スルトキハ臺灣官設鐵道所屬ノ經費ヲ以テ之ヲ購入スヘシ此ノ場合ニ於テハ前金拂竝概算渡ヲ爲スコトヲ得

第四條　臺灣官設鐵道用品資金ヲ以テ購入貯藏シタル鐵道用品ノ製作、改製及修理ノ費用ハ該資金ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

第五條　臺灣官設鐵道用品資金會計ニ屬スル鐵道用品ノ賣拂價格ハ其ノ自然ノ損減歩合、製作、改製及修理費竝其ノ附屬費用及購入ニ附隨スル諸費ヲ其ノ購入原價ニ加算シテ之ヲ定ムヘシ

第六條　臺灣官設鐵道用品資金特別會計ノ決算上該資金額ニ過剩ヲ生スルトキハ其ノ過剩金ヲ同年度臺灣總督府特別會計ノ歲入ニ

第十三條　一區出金繰替拂ノ入金ヲ以テ前二條ノ出納ヲ為シ尚不足アルトキハ第十二條ノ例ニ準シ他ノ区ヨリ送金ヲ受ケ又ハ送金ヲ為スコトヲ得

第十四條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第十五條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第十六條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第十七條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第十八條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第十九條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第二十條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第二十一條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第二十二條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第二十三條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第二十四條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第二十五條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第二十六條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第二十七條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第二十八條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第二十九條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第三十條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第三十一條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第三十二條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第三十三條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第三十四條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第三十五條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第三十六條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第三十七條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第三十八條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第三十九條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第四十條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第四十一條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第四十二條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第四十三條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第四十四條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第四十五條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第四十六條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第四十七條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第四十八條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第四十九條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

第五十條　各区ニ於ケル出納ノ為替ハ毎月一回ヲ期シテ之ヲ決算シ其ノ差額ヲ翌月ノ初ニ於テ送金又ハ受入ヲ為スヘシ

チ發見シタルトキハ交通局主任出納官吏ニ對シ直ニ之カ訂正チ請求シ其ノ訂正濟ノ通知チ受ケタル後出納官吏カ訂正チ爲シタル月ニ於テ關係帳簿訂正ノ記入チ爲スヘシ

第五十二條　歲入チ徵收スル官吏過誤納ニ係ル歲入金拂戻ノ請求チ受ケタルトキハ諸拂戻金要求書（別記樣式第十三號）チ調製シ債主ノ請求書其ノ他ノ關係書類チ添附シ臺灣總督ニ稟請スヘシ但シ拂戻請求者ヨリ爾後仍徵收スヘキ歲入金アリテ其ノ年度及科目同一ナルトキハ便宜之ト相殺スルコトチ妨ケス

第五十三條　前年度ニ於テ調定シタル歲入金ニシテ現年度四月三十日迄ニ其ノ收入チ了セサルモノアルトキハ之チ前年度ノ收入未濟トシ其ノ金額チ現年度ノ調定濟額ニ繰越スヘシ

第五十四條　前年度ヨリ繰越シタル歲入金ニシテ現年度三月三十一日迄ニ其ノ收入チ了セサルモノアルトキハ之チ現年度ノ調定額ヨリ控除シ遞次翌年度ノ調定濟額ニ繰越スヘシ

第五十五條　歲入徵收分掌官前條ノ繰越チ爲シタルトキハ歲入繰越額計算表チ調製シ翌年度四月五日迄ニ之チ歲入徵收官ニ送付スヘシ

第五十六條　歲入徵收官ハ前條ノ例ニ依リ所管歲入ノ繰越額計算表チ調製シ翌年度四月十五日迄ニ之チ臺灣總督ニ送付スヘシ

第五十七條　出納官吏又ハ出納員出納ノ完結シタル年度ニ屬スル歲入金ノ納付チ受ケタルトキハ總テ現年度ノ歲入トシテ之チ領收シ納入告知書ノ餘白ニ現年度所屬トシテ領收ノ旨朱記シ一般ノ手續ニ依リ處理スヘシ

第二節　歲出事故整理

第五十八條　出納官吏又ハ出納員債主ヨリ繰替拂通知書亡失ノ屆出チ受ケタルトキハ該通知書ニ對スル現金拂渡ノ濟否チ調査シ未拂ナルトキハ直ニ其ノ拂渡チ停止シ爲替再發證書請求書ノ例ニ準シ債主チシテ通知書再發請求書チ作成提出セシメ之ニ對スル證票チ添附シ當該繰替拂ノ通知チ發シタル官吏ニ送付シ拂渡濟ナルトキハ其ノ旨チ債主ニ通知シ且拂渡ノ手續ニ付瑕疵ノ有無チ調査シ相當ノ措置チ爲スヘシ

支出官又ハ繰替拂命令官前項ニ依リ通知書再發請求書及之ニ對スル證票ノ送付チ受ケタルトキハ繰替拂證票及同通知書チ再發シ其ノ表面欄外ニ「　月　日第　號通知書亡失ニ付再發」ト記載シ捺印ノ上證票ハ之チ出納官吏又ハ出納員ニ、通知書ハ之チ債主ニ送付シ亡失通知書ニ對スル證票ニハ再發ノ旨チ記入シテ之チ取消スヘシ

第五十九條　出納官吏又ハ出納員拂渡未濟ノ繰替拂證票チ亡失スルカ若ハ該證票不著ノ爲債主ノ請求ニ對シ拂渡チ爲スコト能ハサル場合ハ債主ニ對シ其ノ旨チ告ケ適宜ノ用紙ニ債主ノ提示セル通知書ノ記號、番號、金額、債主ノ住所氏名及發行年月日チ記載シ亡失其ノ他ノ事由チ陳書シ該繰替拂ノ通知チ發シタル官吏ニ對シ之カ證明チ要求スヘシ

支出官又ハ繰替拂命令官前項ノ要求チ受ケタルトキハ證憑書類ニ對照シ其ノ吻合チ確メタル上要求書餘白ニ證明チ爲シ捺印ノ上之チ返付スヘシ

第六十條　出納官吏又ハ出納員拂渡濟ニ係ル繰替拂ノ領收證書チ亡失シタルトキハ債主チシテ領收濟ノ旨チ證明セシメ之チ正當領收證書ニ代用スヘシ此ノ場合ニ於テ債主ノ居所不明、死亡其ノ他ノ事故ニ因リ證明チ爲サシムルコト能ハサルトキ又ハ債主之レカ證明チ拒ミタルトキハ其ノ事由、拂渡年月日及通知書ノ記號、番號、金額、債主ノ住所氏名、發行年月日チ記載シタル書面チ作リ所屬局長ノ拂渡濟ノ證明書チ受ケ之チ正當領收證書ニ代用スヘシ

第六十一條　繰替拂命令官過年度ニ屬スル經費及第二十三條第二項ノ期限經過後經費ノ支出チ要スルトキハ其ノ債主ノ請求書及其ノ他ノ證憑書類チ取纏メ事由チ具シ第二十四條ノ例ニ依リ處理スヘシ

第六十二條　支出官又ハ繰替拂命令官繰替拂渡チ爲シタル歲出金ノ過誤拂チ發見シタルトキハ返戻通告書（別記樣式第二十四號）チ發スヘシ繰替拂命令官前項ノ返戻通告書チ發シタルトキハ直ニ其ノ旨チ支出官ニ報告スヘシ

第六十三條　出納官吏又ハ出納員返戻通告書ニ依リ返戻金ノ納付チ受ケタルトキハ領收證書及領收報告書（第二十四號ノ二式）ノ如ク記入捺印シ領收證書ハ之チ納入ニ交付シ領收報告書ハ當該返戻通告書チ發シタル官吏ニ送付シ返戻通告書ハ計算規程ニ依リ之チ處理スヘシ但シ定額ニ戻入チ爲シ得ル期間經過後ナルトキハ現年度所屬ノ歲入トシテ之チ領收シ第五十七條ノ例ニ依リ之チ處理スヘシ

繰替拂命令官返戻金領收報告書ノ送付チ受ケタルトキハ遲滯ナク之チ支出官ニ送付スヘシ

第六十四條　支出官返戻金領收報告書ノ送付チ受ケタルトキハ左ノ各號ニ依リ之チ處理スヘシ

一　現金繰替拂領收證書ノ表面金額ノ左側又ハ餘白ニ「內金何程　過誤拂ニ付何年何月何日發行第何號返戻通告書ニ依リ返戻濟」ト朱記シ正當金額ニ對シ小切手チ振出シ一般ノ例ニ依リ處理スヘシ

二　現金補塡ノ小切手振出後ナルトキハ該返戻金チ經費ノ定額ニ戻入スル爲ノ主任出納官吏ニ對シ返納告知書（大正十年第一大藏省令第一號支出官事務規程第四號樣式）チ發スヘシ但シ定額ニ戻入チ爲シ得ル期間經過後ナルトキハ之チ歲入ニ徵收ノ手續チ爲スヘシ

第六十五條　主任出納官吏返納告知書ノ交付チ受ケタルトキハ日本銀行ニ其ノ拂込チ爲シ領收證書ノ交付チ受ケ計算規程ニ依リ處理スヘシ

第六十六條　歲入歲出外現金ノ事故ニ關シテハ本章ノ規定チ準用ス

第六章　帳簿用紙及印章

第六十七條　各局所ハ左ノ帳簿チ設備スヘシ

一　歲入金受入簿（別記樣式第一號）

二　歲出金拂渡簿（別記樣式第十四號）

三　雜部金受拂簿（別記樣式第十五號）

三等郵便局及其ノ出張所ハ爲替振出帳及爲替拂渡帳ニ歲入金受入高、歲出金拂渡高及雜部金受拂高チ登記シ前項ノ帳簿ニ代用スルコトチ得

第六十八條　支出官ハ一般ノ規定ニ依ルモノ外左ノ帳簿チ設備スヘシ

一　經費明細簿（別記樣式第十七號）

二　局別經費明細簿（別記樣式第十六號）

第六十九條　繰替拂命令官ハ經費明細簿チ設備スヘシ

第七十條　出納官吏ハ現金出納簿チ設備スヘシ但シ他ノ規程ニ依ル現金出納簿チ設クルモノハ此ノ限ニ在ラス

主任出納官吏ハ現金出納簿及歲出金受入簿（別記樣式第二號）チ設備スヘシ

第七十一條　前四條ノ外適宜補助簿チ設クルコトチ得

第七十二條　本令ニ依リ使用スル帳簿用紙竝印章ハ別記樣式ニ依ルヘシ但シ他ノ規定ニ依リ樣式ノ定アルモノハ各其ノ規定ニ依ル

附　則

臺灣總督府民政部通信局及郵便局會計事務規程ハ之チ廢止ス

當分ノ內本令ニ依ル支出官ハ交通局遞信部長チ以テ之ニ代フルコトチ得

第一號樣式

簿入受金入歲

（書朱ハ印△）

日月年	摘要	局名	金額	備考
大正4年1月1日	臺灣歲入徵收官吏何何計算號枚分書分	局局局	圓 10,000	厘 0
〃	〃歲入一般何何號分書分	局	50,000	0
〃	〃歲入臺灣何何號分書分	局	5,000	0
〃	計		65,000	0
2月1日	臺灣歲入徵收官吏何何第何號領收證書分	局	50,000	0
〃	〃歲入一般何何第何號領收證書分	局	100,000	0
〃	〃歲入臺灣何何第何號領收證書分	局	250,000	0
〃	計		400,000	0
〃	總計		465,000	0
〃	△自何自	局	△60,000	0
〃	△臺灣歲入一般何何第何號領收證書分	局	250,000	0
〃	△內譯臺灣歲入一般何何第何號領收證書分	局	150,000	0
〃	〃	局	5,000	0

備考

一　局名ノ欄ニハ歲入チ徵收スル官吏ノ在勤局名チ記載スヘシ

二　金額ノ欄ニハ現金チ以テ歲入金チ受入レタルトキ及雜部金チ歲入金ニ振替受入レタルトキ其ノ當日分ノ合計金額チ登記スヘシ但シ納入告知書ニ依ル分ト卽納ニ係ル分トハ之チ區分シ歲入チ徵收スル官吏ノ在勤局毎ニ各別行ニ登記スルコトチ要ス

三　前年度所屬ノ歲入金チ受入レタルトキハ備考ニ其ノ年度チ記載スヘシ

四　本簿ニハ日計及月計チ掲クルノ外尙月計ノ次ニ歲入チ徵收スル官吏在勤局別ノ內譯チ朱書スヘシ但シ其ノ歲入チ徵收スル官吏ノ在勤局カ自局ノミナルトキハ內譯ノ記載チ要セス

第二號樣式

簿入受金出歲

年度	何	正	大
所局	何		

日月年	摘要	命拂番仕令號	金額	備考
大正4年5月1日	何何何何枚枚枚計領收證書	何1 何2 何3	圓 200,000 150,000 250,000 600,000	錢 厘 00 0 00 0 00 0 00 0

備考

一　本簿ニハ支出官ヨリ歲出金ノ繰替拂ニ對スル代リ金振替拂込ノ小切手ト兵ニ債主ノ領收證書チ受ケタルトキ其ノ小切手毎ニ領收證書ノ枚數及金額チ各相當欄ニ記載スヘシ

二　本簿ニハ日計及月計チ附スヘシ

第四號樣式　輪廓寸法　縱三寸五分

書明證入受金入歲

印紙貼用又ハ印刷ノ日入受		右	一金	何	程	第	何	號
		證	金	何	程		（逐次大正	
（費）		明	金	何	程		般總督何年	
		ス					歲府年度	
							入歲	
							徵收局名	
							「何」	
		「何」	局					
		又出ハ納出納官吏						
		官		卽納ニ係ル分ハ納入告知書ニ依ル分		歲入金受入高		
		氏						
		名圓						

局

備考

本表ハ當月ノ歲入金受入高ニ依リ第四號樣式ノ例ニ倣ヒ之ヲ調製スヘシ

第五號樣式　輪廓寸法　縱三寸五分　橫一寸　色赤

表照對計月額入受金入歲

印紙貼用又ハ印刷ノ日出提		右	一金	何	內	金	何	程	第	何	號
		證	金	何	內	金	何	程		（逐次大正	
（費）		明	金	何	內	金	何	程		般總督何年	
		ス								歲府年度	
										入歲	
										徵收局名	
										「何」	
		「何」	局								
		又出ハ納出納官吏									
		官		卽納ニ係ル分ハ納入告知書ニ依ル分							
		氏									
		名圓				歲入金受入高					

「何」年「何」月分歲入金受入高

局

備考

一　本表ハ當月ノ歲入金受入高ニ依リ第四號樣式ノ例ニ倣ヒ之ヲ調製スヘシ

二　本書ハ徵收局ノ備ヘ常ニ歲入ノ種別（歲入ノ部ニ）及所屬年度毎ニ依ルヘシ

三　徵收局名欄ニハ常ニ歲入ノ所屬年度ヲ記載スヘシ

四　年度ノ欄ニハ常ニ歲入ノ徵收スルヘキ年度ヲ記載スヘシ

五　各別ニ調製スヘシ

六　徵收スル官吏ノ在勤局名ヲ記載スヘシ

七　局別ニ調製シ且

第三號樣式　用紙半紙判半截

領第「何」號	大正「何」年度	又出ハ納出納官吏員更
歲入徵收掛拿官㊞	主簿課係調長走㊞㊞	歲歲入入金受取入納簿簽受記㊞㊞
印刷日收領		
○		

歲入金領收報告書

一金「何」程　內　金　金　金

備考

郵便切手類、收入印紙賣下代、海外電報料、自働電話料、同過剩金、電話加入者分拂賣下代等各別ニ調製スヘシ

但シ「何々代」

第六號樣式　用紙寸法　縱九寸　橫一尺三寸

（書朱印△）

（部時臨）（部常經）入歲度年「何」正大

書告報納收分月「何」年「何」正大

局「何」

號「何」第

科目 款	科目 項	科目 目	科目 區分	事由	調定濟額 本月分	調定濟額 迄月累計	收入濟額 本月分	收入濟額 迄月累計	不納缺損額 本月分	不納缺損額 迄月累計	收入未濟額	備考
					圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	本月分收入濟別
何々	何々	何々			0	0	0	0	0	0	0	收入局別額
			何々		0	0	0	0	0	0	0	自局 0
			何々		0	0	0	0	0	0	0	何局 0
		何々			0	0	0	0	0	0	0	何局 0
			何々		0	0	0	0	0	0	0	何局 0
		何々	何々		0	0	0	0	0	0	0	計 0
			何々	何々ノ事由ニヨリ減正更	△0							
			何々	何々ノ事由ニヨリ增正更	0	0	0	0	0	0	0	
			何々									
				計（項）何々	0	0	0	0	0	0	0	
何々	何々	何々	何々									
				合計	0	0	0	0	0	0	0	

大正「何」年「何」月「何」日

歲入徵收官「何」局長官宛

氏名圓

備考

一　調定濟額ニ超過シタル誤納アリタルトキハ「調定濟額」トアル下ニ括弧ニテ「及調定外誤納額」ノ七字ヲ加記シ其ノ理由ヲ事由欄ニ其ノ金額ヲ調定濟額ノ欄ニ揭記スヘシ

二　調定濟トナリタル金額ニシテ滯納處分終結シ不納トナリタルモノ及貸付金トシテ地方廳ヘ引繼キタルモノアルトキハ其ノ理由ヲ事由欄ニ其ノ金額ヲ不納缺損額ノ欄ニ揭記スヘシ

三　本月分收入濟額中ニ繰越ニ係ル歲入金ノ收入ヲ了シタルモノアルトキハ其ノ金額竝ニ納入氏名等ヲ事由欄ニ揭記スヘシ

四　報告濟ニ係ルモノ內歲入ノ科目金額ヲ訂正シタルモノアルトキハ其ノ訂正ヲ爲シタル月ノ各欄本月分ニ其ノ金額ヲ事由欄ニ其ノ理由ヲ揭記スヘシ

五　科目ハ歲入科目ノ順ニ依リ且ツ目ノ內譯モ區分揭記スヘシ

六　用紙ハ礬水引美濃紙若ハ之ニ類似ノ料紙ヲ用ヰ左側ニ曲尺一寸餘ノ綴代ヲ設クヘシ

七　最終收納報告書ニハ備考欄ニ收入未濟額ノ內譯ヲ事由ノ異ル毎ニ科目別ニ區分シ金額、氏名ヲ揭記スヘシ

第七號樣式甲　用紙美濃判半截

大正何年度

収納明細書

何局

収納明細書

郵便電信及電話収入

摘要	金額	備考
切手類賣下代	0	○金額欄ニハ調定濟額ヲ掲クヘシ
郵便収入 郵便料々計 郵便東約何	0 0	
電信収入 電信料々計 電報海外何	0 0	
電話収入 電話料々計 諸収入 使用料々計 交換使 電話加入何	0 0 0	
何々計		
合計		

収納明細書

摘要	数量	金額年額	調定額	備考
在現部一日四月一年何 地敷物建 増ノ 貸月何年何 何同 下々計期 部滿月何 減年何 何同 計引差減増	甲 0 0 0 0 0 0	円 0 0 0 0 0 0	円 0 0 0 0 0 0	○年期、一時ハ二年以上ニ渉リ料金ヲ徴収スルモノナルトキニ依リ區分スヘシ使用許可ハ貸下ノ例ニ倣ヒ年期、一時ニ區分記載スヘシ ○年期貸下減ノ部調定額欄ハ本年度ノ調定金額（前年度調定不足額及過誤納額ヲ除ク）ヲ朱書シ差引計算ヲ爲ササルモノトス
養魚池 （前例ニ倣フ） 何々 （前例ニ倣フ） 建物 （前例ニ倣フ） 下貸 （前例ニ倣フ） 時 地名名々計 地地 物地 土建何	坪			部ノ増年（其ノ何圓） 構造何々ニ對シ評價シ何々ニ對シ 契約毎區分記載スヘシ
可許用使 （前例ニ倣フ） 合計				

第七號樣式乙　用紙美濃判半截

大正何年何月分歳出支拂報告書　第何號

何局

科目	豫算額	豫算額 本月中増減額	豫算現額	繰替拂額	支出 本月分 要求額	支出 繰越分	前月迄累計 繰替拂額	前月迄累計 支出要求額	計	殘額	備考
經常部 何々（款） 何々（項） 何々（目） 何 計											
臨時部（經常部ノ例ニ倣フ） 計											
總計											

大正何年何月何日

支出官　何局長　印

（第八號樣式）

用紙美濃判半截

本月中送付ノ繰替拂額收證書送付書

何號

本月中送付ノ支出要求書

何號

備考

一　豫算額ノ欄ニハ定額豫算ノ通達額ヲ登記スヘシ

二　本月中増減額ノ欄ニハ定額豫算増減ノ通達ヲ受ケタルトキハ其ノ増減シタル金額ヲ登記シ備考欄ニ其ノ事由ヲ掲記スヘシ

三　豫算現額ノ欄ニハ其ノ月末日ニ於ケル豫算ノ現在額ヲ登記スヘシ

四　仕拂濟額ノ欄ニハ繰替拂額（繰替拂電報ヲ發シタルトキハ其ノ電報ノ額ヲ含ム）及支出要求額ヲ登記スヘシ但定額ニ戻入シタルモノ及繰替拂ニ對スル小切手振出前ニ資金ニ戻入シタルモノアルトキハ本月分ノ各相當欄ニ其ノ金額ヲ朱記シ備考欄ニ其ノ事由ヲ附記スヘシ

五　本書ニハ左記書式ノ内譯ヲ餘白ニ掲記スヘシ

繰替拂額收證書送付内譯

前月迄送付濟未濟額	本月中繰替拂支出額	本月中繰替拂收證書送付額	差引送付未濟額	備考
80 000	70 000	120 000	30 000	

第九號樣式　輪廓寸法縦四寸五分横三寸

雜部納付金領收原符

第「何」號　納人住所氏名

年　度　大正「何」年度

納付ノ目的　「何　々」

一金「何　程」

還付日附印　領收日附印

備考

第十號樣式

雜部納付金領收證書

第「何」號　納人住所氏名

年　度　大正「何」年度

納付ノ目的　「何　々」

一金「何　程」

還付日附印　領收日附印

右領收ス

「何」局所
出納官吏
又ハ出納員　官　氏　名印

還付金領收證

右還付相成領收候也

大正「何」年「何」月「何」日

「何」ノ誰㊞

本書ノ金額還付ヲ要ス

大正「何」年「何」月「何」日　何局長（又ハ主務官吏）官　氏　名印

備考

一　納付金ノ內一部ノ拂戻ヲ爲ス場合ハ債主ヨリ別ニ領收證書ヲ徵スヘシ

二　納付金金額ノ拂戻ヲ要スルトキハ當該局長又ハ主務官吏ニ於テ餘白ニ式ノ如ク記載シ拂戻ノ通知ヲ省略スヘシ

三　納付金ニシテ歲入其ノ他ニ振替ヲ爲シタルトキ又ハ一部ノ拂戻ヲ爲シタルトキハ原符ノ備考欄ニ其ノ事由竝金額ヲ記入スヘシ

第十一號樣式　輪廓寸法縦四寸五分横三寸

雜部金受入（拂出）證明書

第「何」號　大正「何」年度

一金「何　程」　雜部金受入（拂出）高

右證明ス

何局所
出納官吏
又ハ出納員　官　氏　名印

受入（拂出）日附印

備考

本證明書ハ雜部金受拂簿統括ノ日座受（拂）ノ部「現金」ノ欄ニ於ケル日計金額ニ依リ其ノ當日分ヲ一併シテ之ヲ調製スヘシ

第十二號樣式

納入告知書

輪廓寸法縦四寸五分横三寸

第「何」號　大正「何」年度　臺灣總督府歲入（一般歲入）

「住　所」
「何　ノ　誰」納

一金「何　程」

發行日附印

但シ「何々（收入ノ目的ヲ記載ス）」

右大正「何」年「何」月「何」日限リ「何郵便局（所）」ヘ納付セラルヘシ

臺灣總督府交通局總長
（何）郵便局長）印

出納官吏又ハ出納員印　領收日附印

領收證書

第「何」號　大正「何」年度　臺灣總督府歲入（一般歲入）

「住　所」
「何　ノ　誰」納

一金「何　程」

領收日附印

領收局所
日附印

輪廓寸法縦四寸五分横二寸

但シ「何々（收入ノ目的ヲ記載ス）」

右領收ス

「何」局所
出納官吏
又ハ出納員　官　氏　名印

歲入徵收局名「何」　局

備考

一　納入ノ住所ハ必要ナキトキハ之ヲ省略スルコトヲ得

二　電話ニ關スル料金ノ納入告知書ニハ納入ノ住所氏名ヲ省略シ「電話何番」ト記載スルコトヲ得

三　歲入徵收局名ハ納入告知書ヲ發行シタル局名ヲ記載スヘシ

四　出納官吏又ハ出納員ニ即納スル場合ノ領收證書ハ本樣式ノ領收證書ヲ使用スヘシ

五　納付局所ハ「何」市內最寄郵便局所ト記載スルモ妨ケナシ

六　臺灣總督府管外ニ居住スル者ニ對シ納入告知書ヲ發スルトキハ納付局所ハ本島內ニ於ケル適宜ノ局所ヲ指定スヘシ

第十三號樣式　用紙半紙半截

第「何」號

大正「何」年「何」月「何」日

「何局」歲入徵收分掌官
官　氏　名印

臺灣總督宛

諸拂戻金要求書

大正「何」年度歲入　大正「何」年「何」月「何」日收入濟

何々（款）何々（項）何々（目）

「住　所」
債主「何　ノ　誰」

一金「何　程」

何々ノ事由ニ依リ何々金中本行ノ金額過（誤）納ト爲リタルニ依リ之カ還付ヲ要ス但シ證憑書類トシテ別紙正當債主ノ請求書及何々「何」通ヲ添附ス

第十四號樣式

簿渡拂金出歳

大正 年度

所局 何

年月日	摘要	局名	金額	備考
大正 年			圓 錢 厘	
4 1	領收證書	自局	50,00,0	
	〃 何枚	何局	20,00,0	
	何枚計		70,00,0	
	日			

備考

一　局名ノ欄ニハ繰替拂命令官ノ在勤局名ヲ記載スヘシ

二　金額ノ欄ニハ歳出金ノ繰替拂渡ヲ爲シタルトキ其ノ當日分ノ合計金額ヲ登記スヘシ但繰替拂命令官在勤局毎ニ區分シ各別行ニ登記スルコトヲ要ス

三　本簿ニハ日計及月計ヲ附スヘシ

第十五號樣式

簿部金受拂雜

大正 何年度

所局 何

統括

（何ノ誰）　（何々）

年月日	摘要	證書番號	種類	受 現金	受 振替	受 計	拂 現金	拂 振替	拂 計	殘	備考
大正 年				圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	
4 1	受入	受 1		100,00,0						10,00,0	
	何々ノ事由ニ依リ歳入	拂 1					30,00,0				
	何々ノ事由ニ依リ何々	拂 2						30,00,0			
	何々ノ事由ニ依リ振替	受 2			30,00,0						
	何日付何種目（種目）ノ何々ノ事由ニ依リ還付	拂 3					60,00,0				
	日計			100,00,0	30,00,0	130,00,0	90,00,0	30,00,0	120,00,0		

備考

一　口座ハ初ニ統括次ニ豫納料金、假納料金、後納料金ニ對スル保證金、入札保證金、契約保證金等ノ種目毎ニ順次之ヲ設置スヘシ但シ豫納料金、假納料金及後納料金ニ對スル保證金ノ類ハ種目別口座ノ外尚納人毎ニ其ノ口座ヲ設置スヘシ

二　受ノ欄ニハ納人ヨリ現金ヲ受領シタルトキ及振替計算ニ依リ雜部金中他ノ種目ヘ拂出シタルトキ各相當欄ニ其ノ金額ヲ登記スヘシ

三　拂ノ欄ニハ納人ニ現金ヲ還付シタルトキ及振替計算ニ依リ歳入ニ納付シ又ハ雜部金中他ノ種目ヘ拂出シタルトキ各相當欄ニ其ノ金額ヲ登記スヘシ但シ振替計算ニ依リ歳入ニ納付シタル金額ハ「現金」ノ欄ニ登記スルコトヲ要ス

四　雜部金中各種目間ニ於ケル交互振替受拂ヲ取扱ハサル局ニ於テハ受及拂ノ内譯欄ヲ省略スルコトヲ得

五　統括ノ摘要欄ニハ「豫納料金又ハ「假納料金」若ハ「何々」ト記載シ種目別ノ口座ノ日計金額ヲ登記スヘシ

六　本簿ニハ日計及月計ヲ附スヘシ

第十六號樣式（交通局及各局設備）

帳簿寸法　縦一尺二寸　横一尺七寸

簿細明費經別局

（目）何々　（項）何々　（款）何々

年月日	摘要	番號	定額 豫算額	支出額 普通支出	支出額 繰替支出	殘額	備考
大正 年			圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	
13 1	豫算通達	號 號 號	1,000,00,0			1,000,00,0	
2	繰替拂送付 枚	何 何 何			200,00,0	800,00,0	
3	支出要求要求 枚	自至自至		50,00,0		750,00,0	
	何月分合計		1,000,00,0	50,00,0	200,00,0		

備考

一　本簿ハ定額豫算ヲ通達シタル局毎ニ調製スヘシ

二　口座ハ款項次ニ各目毎ニ設置スヘシ

三　定額豫算額ノ欄ニハ定額豫算ノ通達及豫算ノ增減アリタルトキ其ノ金額ヲ登記スヘシ

四　支出額欄ニハ繰替拂領收證書ノ送付ヲ受ケタルトキ及普通支出ノ要求アリタル都度登記シ返戻金領收ノ報告又ハ定額戻入ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ金額ヲ朱記スヘシ

第十七號樣式（交通局及各局設備）

帳簿寸法　縦一尺二寸　横一尺七寸

簿細明費經

（目）何々　（項）何々　（款）何々

年月日	摘要	番號 拂替傳票	番號 繰替支出書	番號 普通支出要求	定額 豫算額	支出額 普通支出	支出額 繰替支出	殘額	證書類 拂還	備考
									日 月	
大正 年					圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘		
13 1	額渡達通ノ				1,000,00,0			1,000,00,0		
2	豫算配付誰	1					100,00,0	900,00,0	4 5	
3	何々代ハ何		1			50,00,0		850,00,0		
4	何要求〃						50,00,0	800,00,0	4 10	
	何〃									
	何月分計				1,000,00,0	50,00,0	150,00,0			

備考

一　口座ハ款項次ニ各目毎ニ設置スヘシ

二　定額豫算額ノ欄ニハ定額豫算ノ配付又ハ增減アリタルトキ其ノ金額ヲ登記スヘシ

三　支出額欄ニハ普通支出ノ要求ヲ爲シタルトキ及繰替拂證票ヲ發行シタル都度其ノ要求書及傳票ニ依リ登記シ返戻金領收ノ報告又ハ定額戻入ノ通知ヲ受ケタルトキ其ノ金額ヲ朱記スヘシ

四　支拂證憑書類送付月日欄ニハ當該支拂證憑書類ヲ支出官ヘ送付シタル月日ヲ登記スヘシ

第十八號樣式
（交通局及各局設備）
帳簿寸法　縦一尺二寸
　　横一尺七寸

概算拂金整理簿（大正　年度）

年月日	摘要 事由	受取人官氏名	繰替拂番号	小切手番号	精算未手号	概算額	精算額	戻入額	歳入納付額	計	未精算額	備考
						圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	
五 五八一〇	高張出ヘ足ラヌ分	属何某	1235	504		1,000,000					1,000,000	
	越地ヘ為替ヲ以テ何某ニ送付シ					100,000						
	前々月ヨリ繰越ノ精算未済						100,000			100,000		
	何月何日何某ヨリ小切手第何号ヲ以テ過剰金戻入						600,000	400,000		1,000,000	0	
	計					100,000	700,000	400,000	0	1,100,000		
	累月分計					1,900,000	700,000	400,000	0	1,100,000		

第十九號樣式　用紙半紙判半截

符原付送類書證憑拂支

大正　年　月　日
主任
何々
繰替拂命令官

本項ノ證憑書類送付ヲ要ス

送付書番號	第　號		
科目	繰替拂金額	證書枚數	備考
何々（款）			
何々（項）			
何々（目）			
何々（目）			
合計			

債主ノ氏名　何　某（又ハ何某外何名）

發送日附印

何々簿登記　何々簿登記　何々簿登記

備考
一　本書ハ規程第三十一條ニ依リ支拂證憑書類送付ノ場合ニ使用スヘシ
二　本書ハ各項毎ニ調製スヘシ

第二十號樣式　用紙半紙判半截

支拂證憑書類送付書（票傳出支）

大正　年　月　日
主任
檢査
主計掛長
庶務課長
支出官

本項ノ金額仕拂ヲ要ス

發行日附	小切手番號	第　號
印		

送付書番號　第　號　局　郵便　何ヘ

科目	繰替拂金額	證書枚數	備考
何々（款）			
何々（項）			
何々（目）			
何々（目）			
合計			

債主ノ氏名　何　某（又ハ何某外何名）

以上送付ス

發送日附印　繰替拂命令官印

出納官吏ヘ交付小切手日　月　日

何々簿登記　何々簿登記　何々簿登記

第二十一號樣式　用紙半紙判半截

支出要求書（支出傳票）

大正　年　月　日
主任
主計掛長
庶務課長
支出官

本項ノ金額支出ヲ要ス

△小切手番號第　號
發行日附印
支出要求書番號　大正　年度　第　號
經費明細簿登記　△同
△振替日本銀行名
支出要求ノ理由

債主ノ氏名
債主ノ住所

一金
但何々代別紙請求書（又ハ證憑書）ノ通
右支出ヲ要求ス
何郵便局
發送日附印　局長印　主任印

△　△　△　△　△　△
何々目　金　但何々代　何々簿登記

備考　△印ノ部分ハ要求局ニテ記載スヘカラス

第二十二號樣式ノ一　支出官用
用紙半紙判半截（刷色青）

繰替拂傳票

繰替拂命令　發行日附印　小切手番號第　號
繰替拂命令官
繰替拂命令　大正　年　月　日
主任
繰第　號

一金
內譯
大正　年度　款　項　目　經費明細簿登記　概算拂金整理簿登記
何々目　金　但何々代
何々目　金　但何々代
渡

繰替拂通知書交付月日　月　日
繰替拂所渡局
債主ノ住所
領收證書交通局ヘ送付月日　月　日
本項ノ金額繰替拂ヲ要ス

第二十二號樣式ノ二　繰替拂命令官用
用紙半紙判半截

繰替拂傳票

繰替拂命令　發行日附印　小切手番號第　號
繰替拂命令官
繰第　號
大正　年　月　日
主任
繰替拂命令

一金
內譯
大正　年度　款　項　目　經費明細簿登記　概算拂金整理簿登記
何々目　金　但何々代
何々目　金　但何々代
渡

繰替拂通知書交付月日　月　日
繰替拂所渡局
債主ノ住所
領收證書交通局ヘ送付月日　月　日
本項ノ金額繰替拂ヲ要ス

第二十三號樣式　用紙美濃判四ツ切

支出總括表

小切手	第　號	小切手出納官吏交付月日	振出月日	月　日
科目	何々（款）			何々（項）
金額	金			
債主	何某外何名			
繰替拂領收證書枚數	枚			
出納官吏小切手領收證	印	主計掛長	檢査	主任
日附印				

備考
一　本表ハ繰替拂ニ對スル小切手振出ノ際支出傳票ノ總括ニ使用スヘシ
二　小切手ヲ出納官吏ニ交付シタルトキハ證印ヲ受クヘシ

用紙　縦二四寸五分　横三四寸五分ノモノ一枚

第　何　號	送戻人住所氏名	書留郵便物受領證	大正何年度	記號番號	金額	日附印

一金何程	但シ何ノ爲	右ノ金額正ニ受領シマシタ	大正何年何月何日	受取人住所氏名	印

用紙　縦二四寸五分　横三四寸五分ノモノ二枚接續

第　何　號	送戻人住所氏名	書留郵便物受領證	大正何年度	記號番號	金額	日附印

一金何程	但シ何ノ爲	右ノ金額正ニ受領シマシタ	大正何年何月何日	受取人住所氏名	印

備考　一、送戻人ノ住所ハ必ス市内ノ何ノ町何番地ト記載スルコトヲ得

二、送戻人ノ住所ハ必ス郵便局所在ノ何ノ町何番地ト記載スルコトヲ得

第二十五號樣式

第　何　號	送戻人住所氏名	書留郵便物受領證	大正何年度	記號番號	金額	日附印

一金何程	但シ何ノ爲メ設定額ノ貯金ヲ戻入ヲ要スル分	右ノ金額ヲ以テ何ノ爲メ設定ノ貯金ヲ直ニ戻入シマシタ	大正何年何月何日	受取人住所氏名	印

備考　一、送戻人ノ住所ハ必ス市内ノ何ノ町何番地ト記載スルコトヲ得

二、送戻人ノ住所ハ必ス郵便局所在ノ何ノ町何番地ト記載スルコトヲ得

第　何　號	送戻人住所氏名	書留郵便物受領證	大正何年度	記號番號	金額	日附印

一金何程	但シ何ノ爲メ設定額ノ貯金ヲ戻入ヲ要スル分	右ノ金額ヲ以テ何ノ爲メ設定ノ貯金ヲ直ニ戻入シマシタ	大正何年何月何日	受取人住所氏名	印

第　何　號	送戻人住所氏名	書留郵便物受領證	大正何年度	記號番號	金額	日附印

一金何程	但シ何ノ爲メ設定額ノ貯金ヲ戻入ヲ要スル分	右ノ金額ヲ以テ何ノ爲メ設定ノ貯金ヲ直ニ戻入シマシタ	大正何年何月何日	受取人住所氏名	印

第　何　號	送戻人住所氏名	書留郵便物受領證	大正何年度	記號番號	金額	日附印

一金何程	但シ何ノ爲メ設定額ノ貯金ヲ戻入ヲ要スル分	右ノ金額ヲ以テ何ノ爲メ設定ノ貯金ヲ直ニ戻入シマシタ	大正何年何月何日	受取人住所氏名	印

第　何　號	送戻人住所氏名	書留郵便物受領證	大正何年度	記號番號	金額	日附印

一金何程	但シ何ノ爲メ設定額ノ貯金ヲ戻入ヲ要スル分	右ノ金額ヲ以テ何ノ爲メ設定ノ貯金ヲ直ニ戻入シマシタ	大正何年何月何日	受取人住所氏名	印

第　何　號	送戻人住所氏名	書留郵便物受領證	大正何年度	記號番號	金額	日附印

一金何程	但シ何ノ爲メ設定額ノ貯金ヲ戻入ヲ要スル分	右ノ金額ヲ以テ何ノ爲メ設定ノ貯金ヲ直ニ戻入シマシタ	大正何年何月何日	受取人住所氏名	印

第　何　號	送戻人住所氏名	書留郵便物受領證	大正何年度	記號番號	金額	日附印

一金何程	但シ何ノ爲メ設定額ノ貯金ヲ戻入ヲ要スル分	右ノ金額ヲ以テ何ノ爲メ設定ノ貯金ヲ直ニ戻入シマシタ	大正何年何月何日	受取人住所氏名	印

第　何　號	送戻人住所氏名	書留郵便物受領證	大正何年度	記號番號	金額	日附印

一金何程	但シ何ノ爲メ設定額ノ貯金ヲ戻入ヲ要スル分	右ノ金額ヲ以テ何ノ爲メ設定ノ貯金ヲ直ニ戻入シマシタ	大正何年何月何日	受取人住所氏名	印

第　何　號	送戻人住所氏名	書留郵便物受領證	大正何年度	記號番號	金額	日附印

一金何程	但シ何ノ爲メ設定額ノ貯金ヲ戻入ヲ要スル分	右ノ金額ヲ以テ何ノ爲メ設定ノ貯金ヲ直ニ戻入シマシタ	大正何年何月何日	受取人住所氏名	印

第　何　號	送戻人住所氏名	書留郵便物受領證	大正何年度	記號番號	金額	日附印

一金何程	但シ何ノ爲メ設定額ノ貯金ヲ戻入ヲ要スル分	右ノ金額ヲ以テ何ノ爲メ設定ノ貯金ヲ直ニ戻入シマシタ	大正何年何月何日	受取人住所氏名	印

第　何　號	送戻人住所氏名	書留郵便物受領證	大正何年度	記號番號	金額	日附印

一金何程	但シ何ノ爲メ設定額ノ貯金ヲ戻入ヲ要スル分	右ノ金額ヲ以テ何ノ爲メ設定ノ貯金ヲ直ニ戻入シマシタ	大正何年何月何日	受取人住所氏名	印

第　何　號	送戻人住所氏名	書留郵便物受領證	大正何年度	記號番號	金額	日附印

一金何程	但シ何ノ爲メ設定額ノ貯金ヲ戻入ヲ要スル分	右ノ金額ヲ以テ何ノ爲メ設定ノ貯金ヲ直ニ戻入シマシタ	大正何年何月何日	受取人住所氏名	印

第　何　號	送戻人住所氏名	書留郵便物受領證	大正何年度	記號番號	金額	日附印

一金何程	但シ何ノ爲メ設定額ノ貯金ヲ戻入ヲ要スル分	右ノ金額ヲ以テ何ノ爲メ設定ノ貯金ヲ直ニ戻入シマシタ	大正何年何月何日	受取人住所氏名	印

第　何　號	送戻人住所氏名	書留郵便物受領證	大正何年度	記號番號	金額	日附印

一金何程	但シ何ノ爲メ設定額ノ貯金ヲ戻入ヲ要スル分	右ノ金額ヲ以テ何ノ爲メ設定ノ貯金ヲ直ニ戻入シマシタ	大正何年何月何日	受取人住所氏名	印

第一項　資金繰入

科目	何年度豫算	前年度豫算	比較增減	備考
第一目　用途指定寄附金利子繰入				
第二目　何々				
合計				

支出

第一款　神社費

科目	何年度豫算	前年度豫算	比較增減	備考
第一項　社費				
第一目　祭典費				
第一節　神饌費				
第二節　祭具費				
第三節　雜品費				
第四節　雜費				
第二目　俸給				
第一節　神職俸給				
第二節　履員俸給				
第三節　神職報酬				
第三目　雜給				
第一節　傭人料				
第二節　何々				
第四目　廳費				
第一節　備品費				
第二節　筆紙墨文具費				
第三節　圖書及印刷費				
第四節　神符大麻調製費				
第五節　消耗品費				
第六節　通信運搬費				
第七節　賄費				
第八節　被服費				
第九節　雜費				
第五目　旅費				
第六目　境内外地諸費				
第一節　傭人料				
第二節　雜費				
第三節　諸稅				
第四節　何々				
第七目　寄贈金				
第一節　何々寄贈				
第二項　營繕費				
第一目　何々新營				
第二目　何々增營				
第三目　何々修繕				
第四目　各所修繕				
第三項　豫備金				
第一目　豫備金				
合計				

備考

一　決算ハ表末ニ備考ヲ設ケ「收支差引殘高金何圓ハ基金ニ編入ス」ト記スヘシ

一　科目ハ本表ノ外必要ニヨリ增置又ハ省略スルコトヲ得

一　永代ノ資金トシテ整理スヘキモノ及資金ニ對スル寄贈金ハ本豫算ニ編入セス別ニ之ヲ整理ス

一　境内外地諸費ニハ境内外掃除樹木ノ植付保護竝境外地管理ニ關スル費用ヲ豫算スルモノトス

一　營繕費中新營、增築及一廓金二百圓以上ノ修繕ハ特ニ目ヲ設クヘシ

何年度官幣社用途指定寄附資金明細書　　年三月三十一日調

用途指定區分	本年度受入	本年度支拂	現在	保管方法	摘要
	越高				
	利子				
	計				

何年度官幣社基金明細書　　年三月三十一日調

種類	越高	本年度受入	本年度支拂	現在	摘要
公債					
臺灣銀行定期預金					
同當座預金					
現金					
何々					
計					

何年度官幣社基金有價證券明細書　　年三月三十一日調

區分	額面種類	枚數	額面合計	摘要
受 前年度越高	何々公債	四	圓	
受 何回年度高	國庫債券			
何公債員入				
計				
拂 何公債償還				
何々				
計				
現在 何々公債				
何々	國庫債券			
計				

●官有神社地及神社所有地取扱方

明治三十六年十月臺灣總督府訓令第百四十七號

官有神社地及神社所有地ハ左ノ通取扱フヘシ

官幣大社臺灣神社宮司

一　官有神社地ヲ他人ニ使用セシムルトキ又ハ神社所有地ヲ他人ニ貸下若ハ讓渡ストキハ其ノ坪數料金及期限ヲ定メ繪圖面ヲ添ヘ臺灣總督ノ認可ヲ受クヘシ但シ祭典等ニ際シ一時使用スルモノハ宮司限リ之ヲ聽許スルコトヲ得

一　竹木ノ伐採及枯損木障碍木ノ處分ニ關スルモノハ其ノ數量價格ヲ定メ臺灣總督ノ認可ヲ受クヘシ但シ生立ノ爲目通三尺以下ノ雜木及神社ノ用ニ供スヘキ雜竹ノ伐採ハ宮司限リ處分スルコトヲ得

●會計檢查規程

明治三十七年三月臺灣總督府訓令第八十八號

改正　大正九年第一六七號

臺灣總督府　州廳　法院

檢察局　臺灣總督府所屬官署

明治二十九年八月訓令第八十六號會計檢查規程左ノ通改正ス

會計檢查規程

第一條　臺灣總督ハ定期（三月三十一日）又ハ臨時（死亡、滯免其ノ他必要ト認メタルトキ）檢查員ヲ命シ出納官吏ノ帳簿、金櫃保管物件又ハ其ノ他會計事務ニ關スル檢查ヲ執行セシム

第二條　檢查員ハ臨檢章ヲ携帶スヘシ

臨檢章ハ出納官吏又ハ主任官吏其ノ閱覽ヲ求メタルトキハ之ヲ示スヘシ

第三條　檢查員ハ休日又ハ執務時間外ト雖當該官廳ニ通知シテ檢查ヲ行フコトヲ得

第四條　檢查員ハ出納官吏ヨリ別記第一號樣式ノ計算書ヲ差出サシメ之ヲ帳簿及現金ニ照合スヘシ但シ時宜ニ依リ計算書ノ提出ヲ俟タス檢查ニ著手スルコトヲ得

第五條　檢查員檢查中所屬長官ノ立會ヲ必要ト認メタルトキハ之ヲ求ムルコトヲ得檢查上官衙以外ノ場所ニ就キ檢查ノ必要ヲ認メタルトキハ所屬長官ニ請求シ主任官吏立會ノ上檢查ヲ爲スコトヲ得

第六條　檢查員ハ檢查ニ關シ必要ト認メタルトキハ當該官吏又ハ當該官廳ヨリ說明書ヲ徵シ若ハ質問書ヲ發シ答辯ヲ求ムルコトヲ得但シ當該官吏ヨリ差出ス書類ハ所屬長官ヲ經由スヘシ

第七條　檢查員檢查中官金費消其ノ他重大ナル事故ヲ發見シタルトキハ臺灣總督ニ即報

スヘシ

第八條　檢查員現金檢查ニ際シテハ臺灣總督ノ指揮命令ヲ承クルニアラサレハ檢查ヲ中止スルコトヲ得ス

第九條　檢查員出納官吏ノ帳簿、金櫃ヲ檢了シタルトキハ別記第二號樣式ノ檢定書二通ヲ調製シ一通ヲ本人ニ交付シ一通ハ臺灣總督ニ進達スヘシ

定期檢查關係書類ハ各官廳長官【民政部ニ在リテハ各其ノ長ニ於テ部ニ在リテハ】【通信局ニ在リテハ】之ヲ監查シ別記第三號樣式ニ依リ其ノ成績ヲ報告スヘシ但シ事故アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十條　檢查員出納官吏ノ帳簿ヲ檢查シタルトキハ帳簿表紙ノ裏面ニ何年何月何日迄ノ出納ヲ檢查スト記載シ之ニ檢查年月日ヲ附記シ署名捺印スヘシ

第十一條　檢查員檢查ヲ了シタルトキハ直ニ關係書類ヲ添附シ檢查ノ成績ヲ臺灣總督ニ復命スヘシ

第十二條　各官廳長官ニ於テ檢查員ヲ命シ檢查ヲ爲サシムル場合ニ於テハ此ノ規程ニ依ルヘシ但シ第八條ノ臺灣總督ノ職權ハ各官廳長官之ヲ行ヒ第七條第十一條ノ場合ニ於テハ所屬長官ヲ經由シテ臺灣總督ニ報告スヘシ

第十三條　州、市、郡、街庄及地方費ノ會計又ハ州、市若ハ郡ニ於テ保管スル團體又ハ個人ノ資產及法令ノ規定ニ依リ監督ヲ要スル團體ノ會計檢查ニ關シテハ此ノ規程ヲ準用ス

別記

（第一號樣式）

大正何年度現金出納計算書（一年度ヲ通セサル間）

受ノ部

一金何程　内譯
- 金何程　前年度繰越高（又ハ前任者ヨリ引受高）
- 金何程　本年度收入高（又ハ受入高）

拂ノ部

一金何程　内譯
- 金何程　日本銀行（又ハ支店、代理店）ヘ拂込高（又ハ歲入ヘ納付高）
- 金何程　拂出高（又ハ返納高等）

殘ノ部

一金何程　内譯
- 金何程　通貨
- 金何程　諸證券（拂出切符、郵便爲替證書、小切手ノ類ヲ云フ）
- 金何程　何々ニ保管

右ノ通相違無之候也

年　月　日

何（官衙）何（出納官吏）　官氏名　㊞

備考

現金出納ナキトキハ左ノ文例ニ從フ

檢定書

何局何出納官吏官氏名（ニ對シ）又ハ（死亡、轉免其ノ他必ヘシ）定期（臨時）檢查ヲ執行候處現金出納無之候也

（以下前例ニ倣フ）

（第三號樣式）

大正何年度末出納官吏定期檢查成績報告

官衙名	出納官吏名	官氏名	檢查執行期間	越高又ハ受繼高又ハ受	拂高	殘高	檢查成績	檢查員官氏名
何廳收入官吏屬何某			自　月　日至　月　日	何圓	何程	何圓	何程	何町	屬何某

一　各出納官吏每ニ例示スルノ繁ヲ避ケ一例ヲ示ス

二　定期檢查及死亡轉免ニ因ル臨時檢查ノ場合ヲ除ク會計檢查ニハ前各號ノ內譯ヲ略スルコトヲ得

現金受拂ナキトキハ左ノ文例ニ從フ

大正何年度現金出納計算書（一年度ヲ通セサル間）

一現金受拂ナシ

右ノ通相違無之候也

（以下前例ニ倣フ）

（第二號樣式）

檢定書

現保管高（收入官吏及收入官吏ニシテ歲入歲出外現金出納官吏ヲ兼ネスル者ヲ除ク外他ノ出納官吏ニ係ル檢定書ニハ內譯ヲ省ク）

一金何程　内譯
- 金何程　一般歲入
- 金何程　臺灣歲入
- 金何程　歲入歲出外

但シ出納官吏現金出納簿殘ノ部記載ノ金額ニ符合スル（若符合セサルトキハ「金何圓超過又ハ不足別紙理由書ノ如シ」ト記載シ理由書ヲ添附スヘシ）

此譯

金何程　手許現在高
- 金何程　日本銀行（又ハ支店、代理店）ヘ預託高（又ハ預金高）

右ハ何（官衙）何出納官吏官氏名（ニ對シ）又ハ（死亡、轉免其ノ他必ヘシ）定期（臨時）檢查ヲ執行候處前記ノ通候也

年　月　日

檢查員　官氏名　㊞認印

何（官衙）何（出納官吏）　官氏名　㊞職印

備考

現金出納ナキトキハ左ノ文例ニ從フ

檢定書

何局何出納官吏官氏名（ニ對シ）又ハ（死亡、轉免其ノ他必ヘシ）定期（臨時）檢查ヲ執行候處現金出納無之候也

（以下前例ニ倣フ）

（第三號樣式）

大正何年度末出納官吏定期檢查成績報告

官衙名	出納官吏名	官氏名	檢查執行期間	越高又ハ受繼高又ハ受	拂高	殘高	檢查成績	檢查員官氏名
何廳收入官吏屬何某			自　月　日至　月　日	何圓	何程	何圓	何程	何町	屬何某

何局歲入歲出外現金出納官吏同	何局現金出納官吏同	何支局同	何出張所同	何所同	何官廳長官氏名
同	同	同	同	否	書記官某
同	同	同	同	可	同

右及報告候也

年　月　日

總督　宛

備考

檢查成績否ノ場合ニハ別紙復命書ノ通ト記載シ其ノ復命書ヲ添附スヘシ

●會計法規ニ基ク出納計算ノ數字及記載事項ノ訂正ニ關スル件

大正十一年五月三十日
大藏省令第四十三號

會計法規ニ基ク出納計算ノ數字及記載事項ノ訂正ニ關スル件左ノ通之ヲ定ム

第一條　會計法規ニ基ク出納計算ニ關スル諸書類帳簿ニ記載スル金額其ノ他ノ數量ニシテ「一」「二」「三」「十」「廿」「卅」ノ數字ハ「壹」「貳」「參」「拾」「貳拾」「參拾」ノ字體ヲ用ユヘシ

第二條　會計法規ニ基ク出納計算ニ關スル諸書類帳簿ノ記載事項ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス

前項ニ規定スル諸書類帳簿ノ記載事項ニ付訂正、挿入又ハ創除ヲ爲サムトスルトキハ二線ヲ劃シテ其ノ右側又ハ上位ニ正書シ其ノ字數ヲ欄外ニ記載シ作製者之ニ認印スルコトヲ要ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治二十三年六月十二日勅令第八十四號

第二款　物品會計

●物品會計規則

明治二十二年六月十二日勅令第八十四號

改正　明治二十四年第七七號、三三年第三一八號、大正一一年第四八號

物品會計規則ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

物品會計規則

第一條　此ノ規則ニ於テ物品ト稱スルハ政府ニ屬スル器具器械備品消耗品動物其ノ他一切ノ動產ヲ云フ但シ陸海軍ノ兵備ニ關ルモノハ各其ノ規則ニ依ル

政府ノ保管ニ屬スル物品ニシテ各省大臣ニ於テ特ニ指定スルモノハ本規則ヲ準用ス此場合ニ於テハ各省大臣ヨリ會計檢查院ヘ通知スヘシ

第二條　物品ノ會計ハ總テ年度ヲ以テ區分シ每年四月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル十二箇月ヲ以テ一年度トス

第三條　物品ノ會計ハ現ニ其ノ出納ヲ執行シタル日ヲ以テ年度ノ所屬ヲ區分スヘシ

第四條　物品ヲ保管シ之カ出納ヲ掌ル者ヲ物品會計官吏トス

第五條　總テ物品ハ責任アル官吏ノ保管ニ付スヘシ

第六條　物品會計官吏ハ各省大臣ノ定メタル規程ニ據リタル命令アルニアラサレハ物品ヲ出納スルコトヲ得ス

第七條　物品會計官吏ハ其ノ故意怠惰ニ由リ保管ノ物品ヲ亡失毀損シタルトキハ辨償ノ責ニ任スヘシ

第八條　各省大臣ノ定メタル規程ニ據リ各官吏以下ノ使用ニ供シタル物品ノ亡失毀損ニ就テハ物品會計官吏ハ合規ノ監督ヲ怠リタル場合ノ外其ノ責任ヲ免ルコトヲ得

第九條　物品會計官吏ハ各省大臣ノ命シタル代理官ノ所屬ニ就テハ物品會計官吏タルノ責任ヲ免ルコトヲ得ス

第十條　物品會計官吏ハ物品ノ出納帳簿ヲ備ヘ其ノ出納ノ事實ヲ登記スヘシ

物品ノ消耗毀拂亡失毀損生產ノ爲メノ消費及其他物品會計官吏ノ保管ヲ離ルルヲ出ト シテ買入生產及其ノ他其ノ保管ニ屬スルヲ納トス

第十條ノ二　各省大臣ハ檢查ノ官吏ヲ命シ四年以內ヲ以テ一期トシ物品會計官吏ノ保管スル物品ノ全部ヲ精細ニ檢查セシメ其調書ヲ作ラシムヘシ但シ廳費ニ屬スル物品ハ各省大臣適宜ニ檢查ノ方法ヲ設クヘシ

第十一條　當時出納ヲナササル倉庫若ハ貯藏所ノ物品ハ各省大臣ヨリ每年一回若ハ物品會計官吏交替ノ際檢查ノ官吏ヲ命シ日錄ト現在品ノ照合ヲナサシメ其ノ調書ヲ作ラシムヘシ

第十二條　在外各廳其ノ他特ニ主任ノ官吏ヲ置ク能ハサル支部局ニアル物品ハ各省大臣ヨリ每年一回若ハ物品會計官吏交替ノ際檢查ノ官吏ヲ命シテ現在品及出納ノ實況ヲ調查セシメ其ノ調書ヲ作ラシムヘシ

第十三條　第十條ノ二、第十一條第十二條ノ調書ニハ檢查官吏及檢查ヲ受タル物品會計官吏若ハ特ニ命セラレタル立會人之ニ署名スヘシ

第十四條　削除

第十五條　物品會計官吏ハ會計檢查院ノ檢查判決ヲ受クル爲メ物品出納計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ所管大臣ヲ經由シテ之ヲ會計檢查院ニ差出スヘシ

物品會計官吏交替ナシタルトキ前任官吏ハ前項ニ準シテ計算書ヲ差出スヘシ但シ前任官吏死亡其ノ他ノ事故ニ由リ自身計算書ヲ調製シ難キ場合ニ於テハ各省大臣ヨリ每年一回若ハ物品會計官吏交替ノ際檢查ノ官吏ヲ命シテ之ヲ調製セシムヘシ

第十六條　前條第二項但書ニ據リ調製シタル計算書ハ責任ヲ有スル物品會計官吏ノ自身ニ調製シタルモノト同一ニ見做シ會計檢查院ニ於テ檢查判決ヲナスヘシ

第十七條　削除

第十八條　常時出納ヲナササル倉庫若ハ貯藏所ノ物品又ハ在外各廳其ノ他特ニ主任ノ官吏ヲ置ク能ハサル支部局ノ物品ヲ保管スル物品會計官吏ハ第十一條又ハ第十二條ノ調書ヲ以テ第十五條ノ計算書ニ代ヘ責任ノ解除ヲ會計檢查院ニ求ムルコトヲ得

第十八條ノ二　會計檢查院法第十六條ニ依リ委託檢查ニ付シタル物品ニ對シテハ帳簿ヲ以テ出納ヲ證明セシメ第十五條ノ計算書ヲ省略スルコトヲ得

第十九條　會計規則第七十五條、第百二十五條、第百二十六條、第百三十二條乃至第百三十五條及第百四十四條ハ物品會計官吏ニ準用ス

第二十條　物品ノ保管出納ニ關スル規定及帳簿ノ樣式ハ各省大臣之ヲ定メ發布前會計檢查院ヘ通知スヘシ

第二十一條　官吏ノ執務上必要ナル物品ノ交付及其ノ交付ヲ受タル官吏ノ責任ニ就テハ各省大臣之ヲ規定スヘシ

第二十二條　此ノ規則ハ明治二十二年十月一日ヨリ施行ス

●臺灣總督府物品出納規程

明治三十四年五月臺灣總督府訓令第百七十一號

改正　大正八年第一六九號、一一年第一二六號

臺灣總督府　法院　州　廳

臺灣總督府所屬官署

明治二十九年七月訓令第五十八號臺灣總督府物品出納規程左ノ通改正ス

臺灣總督府物品出納規程

第一章　總則

第一條　此規程ニ於テ物品ト稱スルハ物品會計規則第一條ニ定ムル諸品ヲ謂フ

第二條　此ノ規程ニ於テ部局長ト稱スルハ總務長官及各廳長官ヲ謂フ

第三條　物品出納ノ命令ハ各部局長ニ委任ス但本廳ヲ離ルル支部局ニ於テハ部局長ノ代理トシテ支部局長物品出納ノ命令ヲ發スルコトヲ得

第三條ノ二　物品ノ出納ニ關スル記錄ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ別ニ樣式ヲ定メテ之ヲ調製スヘシ

第四條　物品ハ其ノ性質ニ應シ適當ノ方法ヲ以テ之ヲ保管スヘシ

第五條　物品ハ其ノ保管ヲ主任ノ官吏ニ委任スヘシ但シ主任ノ官吏ヲシテ其ノ職務ヲ行ハシムル爲メ必要アルトキハ其ノ主任ノ官吏ノ指揮ニ從ヒ物品ヲ保管セシムルコトヲ得

第六條　物品ハ其ノ保管ヲ主任ノ官吏ニ委任スル場合ヲ除ク外之ヲ他ノ官吏ニ保管セシムルコトヲ得ス

第七條　物品ハ其ノ保管ヲ主任ノ官吏ニ委任スル場合ヲ除ク外之ヲ他ノ官吏ニ保管セシムルコトヲ得ス

第八條　物品ハ其ノ保管ヲ主任ノ官吏ニ委任スル場合ヲ除ク外之ヲ他ノ官吏ニ保管セシムルコトヲ得ス

第九條　物品ハ其ノ保管ヲ主任ノ官吏ニ委任スル場合ヲ除ク外之ヲ他ノ官吏ニ保管セシムルコトヲ得ス

第十條　物品ハ其ノ保管ヲ主任ノ官吏ニ委任スル場合ヲ除ク外之ヲ他ノ官吏ニ保管セシムルコトヲ得ス

第十一條　物品ハ其ノ保管ヲ主任ノ官吏ニ委任スル場合ヲ除ク外之ヲ他ノ官吏ニ保管セシムルコトヲ得ス

第十二條　物品ハ其ノ保管ヲ主任ノ官吏ニ委任スル場合ヲ除ク外之ヲ他ノ官吏ニ保管セシムルコトヲ得ス

第十三條　物品ハ其ノ保管ヲ主任ノ官吏ニ委任スル場合ヲ除ク外之ヲ他ノ官吏ニ保管セシムルコトヲ得ス

第十四條　物品ハ其ノ保管ヲ主任ノ官吏ニ委任スル場合ヲ除ク外之ヲ他ノ官吏ニ保管セシムルコトヲ得ス

第十五條　物品ハ其ノ保管ヲ主任ノ官吏ニ委任スル場合ヲ除ク外之ヲ他ノ官吏ニ保管セシムルコトヲ得ス

第十六條　物品ハ其ノ保管ヲ主任ノ官吏ニ委任スル場合ヲ除ク外之ヲ他ノ官吏ニ保管セシムルコトヲ得ス

第十七條　物品ハ其ノ保管ヲ主任ノ官吏ニ委任スル場合ヲ除ク外之ヲ他ノ官吏ニ保管セシムルコトヲ得ス

第十八條　物品ハ其ノ保管ヲ主任ノ官吏ニ委任スル場合ヲ除ク外之ヲ他ノ官吏ニ保管セシムルコトヲ得ス

第十九條　物品ハ其ノ保管ヲ主任ノ官吏ニ委任スル場合ヲ除ク外之ヲ他ノ官吏ニ保管セシムルコトヲ得ス

（別記樣式ノ分但シ此ノ規程施行ニ關スル細則ハ部内ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ得）

四　三　二　一　凡例

一　消耗品出納簿ハ物品ノ出納ニ關スル事項ヲ記入スル引繼管理等必要ナル事項ヲ摘要ニ記載スヘシ

二　消耗品ノ價格ハ物品ノ出納ニ關スル事項ヲ記入スル引繼管理等必要ナル事項ヲ摘要ニ記載スヘシ

三　消耗品出納簿ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ別ニ樣式ヲ定メテ之ヲ調製スヘシ

四　消耗品出納簿ハ物品ノ出納ニ關スル事項ヲ記入スル引繼管理等必要ナル事項ヲ摘要ニ記載スヘシ

式樣簿納出品備（書圖品耗消械器）

品目

年月日	摘要	記號	單位ノ稱	單價	受之部 數量 越高	買入	生產	保管轉換	何々	計	價格	拂之部 數量 賣拂	亡失毀損	生產ノ爲轉換	保管	給與	何々	計	價格	現在之部 數量 供用	貸出	在庫	計	價格	備考
年																									

動物出納簿樣式

品目

年月日	摘要	記號	單位ノ稱	單價	受之部 數量 越高	買入	生產	保管轉換	何々	計	價格	拂之部 數量 賣拂	死亡	解剖	撲殺	何々	計	價格	現在之部 數量	價格	備考
年																					

苗木出納簿樣式

品目

年月日	摘要	單位ノ稱	單價	受之部 數量 越高	生產	買入	保管轉換	何々	計	價格	拂之部 數量 賣下	贈與	試驗	枯死	保管轉換	何々	計	價格	現在之部 數量	價格	備考
年																					

第一 臺灣總督府物品出納規程

第二條 第二章 物品ハ總テ臺灣總督府ノ所屬ニ屬ス

第三條 後ノ各條ニ於テ部局ト稱スルハ臺灣總督官房及臺灣總督府ノ各局部ヲ謂フ

第四條 物品ノ出納ニ關スル事務ハ臺灣總督官房會計課ニ於テ之ヲ掌理ス

第五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第三十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第三十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第三十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第三十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第三十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第三十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第三十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第三十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第三十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第三十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第四十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第四十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第四十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第四十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第四十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第四十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第四十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第四十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第四十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第四十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第五十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第五十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第五十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第五十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第五十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第五十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第五十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第五十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第五十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第五十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第六十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第六十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第六十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第六十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第六十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第六十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第六十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第六十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第六十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第六十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第七十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第七十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第七十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第七十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第七十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第七十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第七十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第七十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第七十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第七十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第八十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第八十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第八十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第八十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第八十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第八十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第八十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第八十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第八十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第八十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第九十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第九十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第九十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第九十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第九十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第九十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第九十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第九十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第九十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第九十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百二十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百二十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百二十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百二十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百二十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百二十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百二十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百二十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百二十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百二十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百三十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百三十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百三十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百三十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百三十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百三十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百三十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百三十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百三十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百三十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百四十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百四十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百四十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百四十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百四十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百四十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百四十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百四十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百四十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百四十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百五十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百五十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百五十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百五十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百五十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百五十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百五十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百五十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百五十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百五十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百六十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百六十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百六十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百六十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百六十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百六十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百六十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百六十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百六十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百六十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百七十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百七十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百七十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百七十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百七十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百七十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百七十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百七十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百七十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百七十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百八十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百八十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百八十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百八十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百八十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百八十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百八十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百八十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百八十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百八十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百九十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百九十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百九十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百九十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百九十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百九十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百九十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百九十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百九十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第百九十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百二十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百二十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百二十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百二十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百二十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百二十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百二十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百二十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百二十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百二十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百三十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百三十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百三十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百三十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百三十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百三十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百三十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百三十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百三十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百三十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百四十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百四十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百四十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百四十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百四十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百四十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百四十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百四十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百四十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百四十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百五十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百五十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百五十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百五十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百五十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百五十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百五十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百五十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百五十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百五十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百六十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百六十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百六十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百六十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百六十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百六十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百六十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百六十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百六十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百六十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百七十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百七十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百七十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百七十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百七十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百七十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百七十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百七十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百七十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百七十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百八十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百八十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百八十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百八十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百八十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百八十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百八十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百八十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百八十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百八十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百九十條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百九十一條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百九十二條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百九十三條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百九十四條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百九十五條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百九十六條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百九十七條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百九十八條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第二百九十九條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第三百條 物品ノ出納ハ臺灣總督府ノ各部局ニ於テ之ヲ掌理ス

第五號樣式　有形固定資產及特定無形固定資產原簿（用紙縱長）

種類	名稱	番號	取得年月日	取得價格	耐用年數	償却方法	償却率	償却額	償却累計額	帳簿價額	摘要
何	何	何	明治何年何月何日	何	何年	何	何	何	何	何	何

備考　一　本簿ハ固定資產ノ種類ニ從ヒ適當ノ區分ヲ爲シ各區分ニ付一葉ヲ使用スルモノトス

二　本簿ハ第三條ノ區分ヲ爲スヘシ

第六號樣式　有形固定資產及特定無形固定資產臺帳（用紙縱長）

種類	名稱	番號	取得年月日	取得價格	耐用年數	償却方法	償却率	償却額	償却累計額	帳簿價額	摘要
何	何	何	明治何年何月何日	何	何年	何	何	何	何	何	何

備考　一　本簿ハ第三條ノ區分ヲ爲シ各區分ニ付一葉ヲ使用スルモノトス

二　償却方法ハ定額法、定率法、生產高比例法、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

三　償却率ハ償却方法ニ從ヒ定額法ニ在リテハ償却額ノ取得價格ニ對スル割合、定率法ニ在リテハ償却額ノ帳簿價額ニ對スル割合ヲ記載スルモノトス

四　償却額ハ當該年度ニ於ケル償却額ヲ記載スルモノトス

五　償却累計額ハ當該年度末ニ於ケル償却累計額ヲ記載スルモノトス

六　帳簿價額ハ當該年度末ニ於ケル帳簿價額ヲ記載スルモノトス

七　摘要ハ除却、廢棄、滅失、賣却、交換、轉用、移管、改良、修繕、災害、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

第七號樣式　有形固定資產及特定無形固定資產異動報告書（用紙縱長）

種類	名稱	番號	異動年月日	異動事由	異動價格	異動後ノ耐用年數	異動後ノ償却方法	異動後ノ償却率	異動後ノ償却額	異動後ノ償却累計額	異動後ノ帳簿價額	摘要
何	何	何	明治何年何月何日	何	何	何年	何	何	何	何	何	何

備考　一　本簿ハ第三條ノ區分ヲ爲シ各區分ニ付一葉ヲ使用スルモノトス

二　異動事由ハ除却、廢棄、滅失、賣却、交換、轉用、移管、改良、修繕、災害、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

三　異動價格ハ異動事由ニ從ヒ除却價額、廢棄價額、滅失價額、賣却價額、交換價額、轉用價額、移管價額、改良費、修繕費、災害損失額、其ノ他ノ價額ヲ記載スルモノトス

四　異動後ノ耐用年數ハ改良ニ因リ耐用年數ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ耐用年數ヲ記載スルモノトス

五　異動後ノ償却方法ハ改良ニ因リ償却方法ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却方法ヲ記載スルモノトス

六　異動後ノ償却率ハ改良ニ因リ償却率ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却率ヲ記載スルモノトス

七　異動後ノ償却額ハ當該年度ニ於ケル異動後ノ償却額ヲ記載スルモノトス

八　異動後ノ償却累計額ハ當該年度末ニ於ケル異動後ノ償却累計額ヲ記載スルモノトス

九　異動後ノ帳簿價額ハ當該年度末ニ於ケル異動後ノ帳簿價額ヲ記載スルモノトス

第八號樣式　有形固定資產及特定無形固定資產除却報告書（用紙縱長）

種類	名稱	番號	除却年月日	除却事由	除却價額	除却時ノ耐用年數	除却時ノ償却方法	除却時ノ償却率	除却時ノ償却額	除却時ノ償却累計額	除却時ノ帳簿價額	摘要
何	何	何	明治何年何月何日	何	何	何年	何	何	何	何	何	何

備考　一　本簿ハ第三條ノ區分ヲ爲シ各區分ニ付一葉ヲ使用スルモノトス

二　除却事由ハ除却、廢棄、滅失、賣却、交換、轉用、移管、改良、修繕、災害、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

三　除却價額ハ除却事由ニ從ヒ除却價額、廢棄價額、滅失價額、賣却價額、交換價額、轉用價額、移管價額、改良費、修繕費、災害損失額、其ノ他ノ價額ヲ記載スルモノトス

四　除却時ノ耐用年數ハ改良ニ因リ耐用年數ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ耐用年數ヲ記載スルモノトス

五　除却時ノ償却方法ハ改良ニ因リ償却方法ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却方法ヲ記載スルモノトス

六　除却時ノ償却率ハ改良ニ因リ償却率ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却率ヲ記載スルモノトス

七　除却時ノ償却額ハ當該年度ニ於ケル除却時ノ償却額ヲ記載スルモノトス

八　除却時ノ償却累計額ハ當該年度末ニ於ケル除却時ノ償却累計額ヲ記載スルモノトス

九　除却時ノ帳簿價額ハ當該年度末ニ於ケル除却時ノ帳簿價額ヲ記載スルモノトス

第九號樣式　有形固定資產及特定無形固定資產臺帳（用紙縱長）

種類	名稱	番號	取得年月日	取得價格	耐用年數	償却方法	償却率	償却額	償却累計額	帳簿價額	摘要
何	何	何	明治何年何月何日	何	何年	何	何	何	何	何	何

備考　一　本簿ハ第三條ノ區分ヲ爲シ各區分ニ付一葉ヲ使用スルモノトス

二　償却方法ハ定額法、定率法、生產高比例法、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

三　償却率ハ償却方法ニ從ヒ定額法ニ在リテハ償却額ノ取得價格ニ對スル割合、定率法ニ在リテハ償却額ノ帳簿價額ニ對スル割合ヲ記載スルモノトス

四　償却額ハ當該年度ニ於ケル償却額ヲ記載スルモノトス

五　償却累計額ハ當該年度末ニ於ケル償却累計額ヲ記載スルモノトス

六　帳簿價額ハ當該年度末ニ於ケル帳簿價額ヲ記載スルモノトス

七　摘要ハ除却、廢棄、滅失、賣却、交換、轉用、移管、改良、修繕、災害、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

第十號樣式　有形固定資產及特定無形固定資產異動報告書（用紙縱長）

種類	名稱	番號	異動年月日	異動事由	異動價格	異動後ノ耐用年數	異動後ノ償却方法	異動後ノ償却率	異動後ノ償却額	異動後ノ償却累計額	異動後ノ帳簿價額	摘要
何	何	何	明治何年何月何日	何	何	何年	何	何	何	何	何	何

備考　一　本簿ハ第三條ノ區分ヲ爲シ各區分ニ付一葉ヲ使用スルモノトス

二　異動事由ハ除却、廢棄、滅失、賣却、交換、轉用、移管、改良、修繕、災害、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

三　異動價格ハ異動事由ニ從ヒ除却價額、廢棄價額、滅失價額、賣却價額、交換價額、轉用價額、移管價額、改良費、修繕費、災害損失額、其ノ他ノ價額ヲ記載スルモノトス

四　異動後ノ耐用年數ハ改良ニ因リ耐用年數ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ耐用年數ヲ記載スルモノトス

五　異動後ノ償却方法ハ改良ニ因リ償却方法ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却方法ヲ記載スルモノトス

六　異動後ノ償却率ハ改良ニ因リ償却率ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却率ヲ記載スルモノトス

七　異動後ノ償却額ハ當該年度ニ於ケル異動後ノ償却額ヲ記載スルモノトス

八　異動後ノ償却累計額ハ當該年度末ニ於ケル異動後ノ償却累計額ヲ記載スルモノトス

九　異動後ノ帳簿價額ハ當該年度末ニ於ケル異動後ノ帳簿價額ヲ記載スルモノトス

第十一號樣式　有形固定資產及特定無形固定資產除却報告書（用紙縱長）

種類	名稱	番號	除却年月日	除却事由	除却價額	除却時ノ耐用年數	除却時ノ償却方法	除却時ノ償却率	除却時ノ償却額	除却時ノ償却累計額	除却時ノ帳簿價額	摘要
何	何	何	明治何年何月何日	何	何	何年	何	何	何	何	何	何

備考　一　本簿ハ第三條ノ區分ヲ爲シ各區分ニ付一葉ヲ使用スルモノトス

二　除却事由ハ除却、廢棄、滅失、賣却、交換、轉用、移管、改良、修繕、災害、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

三　除却價額ハ除却事由ニ從ヒ除却價額、廢棄價額、滅失價額、賣却價額、交換價額、轉用價額、移管價額、改良費、修繕費、災害損失額、其ノ他ノ價額ヲ記載スルモノトス

四　除却時ノ耐用年數ハ改良ニ因リ耐用年數ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ耐用年數ヲ記載スルモノトス

五　除却時ノ償却方法ハ改良ニ因リ償却方法ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却方法ヲ記載スルモノトス

六　除却時ノ償却率ハ改良ニ因リ償却率ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却率ヲ記載スルモノトス

七　除却時ノ償却額ハ當該年度ニ於ケル除却時ノ償却額ヲ記載スルモノトス

八　除却時ノ償却累計額ハ當該年度末ニ於ケル除却時ノ償却累計額ヲ記載スルモノトス

九　除却時ノ帳簿價額ハ當該年度末ニ於ケル除却時ノ帳簿價額ヲ記載スルモノトス

第十二號樣式　有形固定資產及特定無形固定資產臺帳（用紙縱長）

種類	名稱	番號	取得年月日	取得價格	耐用年數	償却方法	償却率	償却額	償却累計額	帳簿價額	摘要
何	何	何	明治何年何月何日	何	何年	何	何	何	何	何	何

備考　一　本簿ハ第三條ノ區分ヲ爲シ各區分ニ付一葉ヲ使用スルモノトス

二　償却方法ハ定額法、定率法、生產高比例法、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

三　償却率ハ償却方法ニ從ヒ定額法ニ在リテハ償却額ノ取得價格ニ對スル割合、定率法ニ在リテハ償却額ノ帳簿價額ニ對スル割合ヲ記載スルモノトス

四　償却額ハ當該年度ニ於ケル償却額ヲ記載スルモノトス

五　償却累計額ハ當該年度末ニ於ケル償却累計額ヲ記載スルモノトス

六　帳簿價額ハ當該年度末ニ於ケル帳簿價額ヲ記載スルモノトス

七　摘要ハ除却、廢棄、滅失、賣却、交換、轉用、移管、改良、修繕、災害、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

第十三號樣式　有形固定資產及特定無形固定資產異動報告書（用紙縱長）

種類	名稱	番號	異動年月日	異動事由	異動價格	異動後ノ耐用年數	異動後ノ償却方法	異動後ノ償却率	異動後ノ償却額	異動後ノ償却累計額	異動後ノ帳簿價額	摘要
何	何	何	明治何年何月何日	何	何	何年	何	何	何	何	何	何

備考　一　本簿ハ第三條ノ區分ヲ爲シ各區分ニ付一葉ヲ使用スルモノトス

二　異動事由ハ除却、廢棄、滅失、賣却、交換、轉用、移管、改良、修繕、災害、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

三　異動價格ハ異動事由ニ從ヒ除却價額、廢棄價額、滅失價額、賣却價額、交換價額、轉用價額、移管價額、改良費、修繕費、災害損失額、其ノ他ノ價額ヲ記載スルモノトス

四　異動後ノ耐用年數ハ改良ニ因リ耐用年數ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ耐用年數ヲ記載スルモノトス

五　異動後ノ償却方法ハ改良ニ因リ償却方法ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却方法ヲ記載スルモノトス

六　異動後ノ償却率ハ改良ニ因リ償却率ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却率ヲ記載スルモノトス

七　異動後ノ償却額ハ當該年度ニ於ケル異動後ノ償却額ヲ記載スルモノトス

八　異動後ノ償却累計額ハ當該年度末ニ於ケル異動後ノ償却累計額ヲ記載スルモノトス

九　異動後ノ帳簿價額ハ當該年度末ニ於ケル異動後ノ帳簿價額ヲ記載スルモノトス

第十四號樣式　有形固定資產及特定無形固定資產除却報告書（用紙縱長）

種類	名稱	番號	除却年月日	除却事由	除却價額	除却時ノ耐用年數	除却時ノ償却方法	除却時ノ償却率	除却時ノ償却額	除却時ノ償却累計額	除却時ノ帳簿價額	摘要
何	何	何	明治何年何月何日	何	何	何年	何	何	何	何	何	何

備考　一　本簿ハ第三條ノ區分ヲ爲シ各區分ニ付一葉ヲ使用スルモノトス

二　除却事由ハ除却、廢棄、滅失、賣却、交換、轉用、移管、改良、修繕、災害、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

三　除却價額ハ除却事由ニ從ヒ除却價額、廢棄價額、滅失價額、賣却價額、交換價額、轉用價額、移管價額、改良費、修繕費、災害損失額、其ノ他ノ價額ヲ記載スルモノトス

四　除却時ノ耐用年數ハ改良ニ因リ耐用年數ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ耐用年數ヲ記載スルモノトス

五　除却時ノ償却方法ハ改良ニ因リ償却方法ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却方法ヲ記載スルモノトス

六　除却時ノ償却率ハ改良ニ因リ償却率ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却率ヲ記載スルモノトス

七　除却時ノ償却額ハ當該年度ニ於ケル除却時ノ償却額ヲ記載スルモノトス

八　除却時ノ償却累計額ハ當該年度末ニ於ケル除却時ノ償却累計額ヲ記載スルモノトス

九　除却時ノ帳簿價額ハ當該年度末ニ於ケル除却時ノ帳簿價額ヲ記載スルモノトス

第十五號樣式　有形固定資產及特定無形固定資產臺帳（用紙縱長）

種類	名稱	番號	取得年月日	取得價格	耐用年數	償却方法	償却率	償却額	償却累計額	帳簿價額	摘要
何	何	何	明治何年何月何日	何	何年	何	何	何	何	何	何

備考　一　本簿ハ第三條ノ區分ヲ爲シ各區分ニ付一葉ヲ使用スルモノトス

二　償却方法ハ定額法、定率法、生產高比例法、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

三　償却率ハ償却方法ニ從ヒ定額法ニ在リテハ償却額ノ取得價格ニ對スル割合、定率法ニ在リテハ償却額ノ帳簿價額ニ對スル割合ヲ記載スルモノトス

四　償却額ハ當該年度ニ於ケル償却額ヲ記載スルモノトス

五　償却累計額ハ當該年度末ニ於ケル償却累計額ヲ記載スルモノトス

六　帳簿價額ハ當該年度末ニ於ケル帳簿價額ヲ記載スルモノトス

七　摘要ハ除却、廢棄、滅失、賣却、交換、轉用、移管、改良、修繕、災害、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

第十六號樣式　有形固定資產及特定無形固定資產異動報告書（用紙縱長）

種類	名稱	番號	異動年月日	異動事由	異動價格	異動後ノ耐用年數	異動後ノ償却方法	異動後ノ償却率	異動後ノ償却額	異動後ノ償却累計額	異動後ノ帳簿價額	摘要
何	何	何	明治何年何月何日	何	何	何年	何	何	何	何	何	何

備考　一　本簿ハ第三條ノ區分ヲ爲シ各區分ニ付一葉ヲ使用スルモノトス

二　異動事由ハ除却、廢棄、滅失、賣却、交換、轉用、移管、改良、修繕、災害、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

三　異動價格ハ異動事由ニ從ヒ除却價額、廢棄價額、滅失價額、賣却價額、交換價額、轉用價額、移管價額、改良費、修繕費、災害損失額、其ノ他ノ價額ヲ記載スルモノトス

四　異動後ノ耐用年數ハ改良ニ因リ耐用年數ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ耐用年數ヲ記載スルモノトス

五　異動後ノ償却方法ハ改良ニ因リ償却方法ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却方法ヲ記載スルモノトス

六　異動後ノ償却率ハ改良ニ因リ償却率ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却率ヲ記載スルモノトス

七　異動後ノ償却額ハ當該年度ニ於ケル異動後ノ償却額ヲ記載スルモノトス

八　異動後ノ償却累計額ハ當該年度末ニ於ケル異動後ノ償却累計額ヲ記載スルモノトス

九　異動後ノ帳簿價額ハ當該年度末ニ於ケル異動後ノ帳簿價額ヲ記載スルモノトス

第十七號樣式　有形固定資產及特定無形固定資產除却報告書（用紙縱長）

種類	名稱	番號	除却年月日	除却事由	除却價額	除却時ノ耐用年數	除却時ノ償却方法	除却時ノ償却率	除却時ノ償却額	除却時ノ償却累計額	除却時ノ帳簿價額	摘要
何	何	何	明治何年何月何日	何	何	何年	何	何	何	何	何	何

備考　一　本簿ハ第三條ノ區分ヲ爲シ各區分ニ付一葉ヲ使用スルモノトス

二　除却事由ハ除却、廢棄、滅失、賣却、交換、轉用、移管、改良、修繕、災害、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

三　除却價額ハ除却事由ニ從ヒ除却價額、廢棄價額、滅失價額、賣却價額、交換價額、轉用價額、移管價額、改良費、修繕費、災害損失額、其ノ他ノ價額ヲ記載スルモノトス

四　除却時ノ耐用年數ハ改良ニ因リ耐用年數ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ耐用年數ヲ記載スルモノトス

五　除却時ノ償却方法ハ改良ニ因リ償却方法ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却方法ヲ記載スルモノトス

六　除却時ノ償却率ハ改良ニ因リ償却率ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却率ヲ記載スルモノトス

七　除却時ノ償却額ハ當該年度ニ於ケル除却時ノ償却額ヲ記載スルモノトス

八　除却時ノ償却累計額ハ當該年度末ニ於ケル除却時ノ償却累計額ヲ記載スルモノトス

九　除却時ノ帳簿價額ハ當該年度末ニ於ケル除却時ノ帳簿價額ヲ記載スルモノトス

第十八號樣式　有形固定資產及特定無形固定資產臺帳（用紙縱長）

種類	名稱	番號	取得年月日	取得價格	耐用年數	償却方法	償却率	償却額	償却累計額	帳簿價額	摘要
何	何	何	明治何年何月何日	何	何年	何	何	何	何	何	何

備考　一　本簿ハ第三條ノ區分ヲ爲シ各區分ニ付一葉ヲ使用スルモノトス

二　償却方法ハ定額法、定率法、生產高比例法、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

三　償却率ハ償却方法ニ從ヒ定額法ニ在リテハ償却額ノ取得價格ニ對スル割合、定率法ニ在リテハ償却額ノ帳簿價額ニ對スル割合ヲ記載スルモノトス

四　償却額ハ當該年度ニ於ケル償却額ヲ記載スルモノトス

五　償却累計額ハ當該年度末ニ於ケル償却累計額ヲ記載スルモノトス

六　帳簿價額ハ當該年度末ニ於ケル帳簿價額ヲ記載スルモノトス

七　摘要ハ除却、廢棄、滅失、賣却、交換、轉用、移管、改良、修繕、災害、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

第十九號樣式　有形固定資產及特定無形固定資產異動報告書（用紙縱長）

種類	名稱	番號	異動年月日	異動事由	異動價格	異動後ノ耐用年數	異動後ノ償却方法	異動後ノ償却率	異動後ノ償却額	異動後ノ償却累計額	異動後ノ帳簿價額	摘要
何	何	何	明治何年何月何日	何	何	何年	何	何	何	何	何	何

備考　一　本簿ハ第三條ノ區分ヲ爲シ各區分ニ付一葉ヲ使用スルモノトス

二　異動事由ハ除却、廢棄、滅失、賣却、交換、轉用、移管、改良、修繕、災害、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

三　異動價格ハ異動事由ニ從ヒ除却價額、廢棄價額、滅失價額、賣却價額、交換價額、轉用價額、移管價額、改良費、修繕費、災害損失額、其ノ他ノ價額ヲ記載スルモノトス

四　異動後ノ耐用年數ハ改良ニ因リ耐用年數ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ耐用年數ヲ記載スルモノトス

五　異動後ノ償却方法ハ改良ニ因リ償却方法ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却方法ヲ記載スルモノトス

六　異動後ノ償却率ハ改良ニ因リ償却率ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却率ヲ記載スルモノトス

七　異動後ノ償却額ハ當該年度ニ於ケル異動後ノ償却額ヲ記載スルモノトス

八　異動後ノ償却累計額ハ當該年度末ニ於ケル異動後ノ償却累計額ヲ記載スルモノトス

九　異動後ノ帳簿價額ハ當該年度末ニ於ケル異動後ノ帳簿價額ヲ記載スルモノトス

第二十號樣式　有形固定資產及特定無形固定資產除却報告書（用紙縱長）

種類	名稱	番號	除却年月日	除却事由	除却價額	除却時ノ耐用年數	除却時ノ償却方法	除却時ノ償却率	除却時ノ償却額	除却時ノ償却累計額	除却時ノ帳簿價額	摘要
何	何	何	明治何年何月何日	何	何	何年	何	何	何	何	何	何

備考　一　本簿ハ第三條ノ區分ヲ爲シ各區分ニ付一葉ヲ使用スルモノトス

二　除却事由ハ除却、廢棄、滅失、賣却、交換、轉用、移管、改良、修繕、災害、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

三　除却價額ハ除却事由ニ從ヒ除却價額、廢棄價額、滅失價額、賣却價額、交換價額、轉用價額、移管價額、改良費、修繕費、災害損失額、其ノ他ノ價額ヲ記載スルモノトス

四　除却時ノ耐用年數ハ改良ニ因リ耐用年數ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ耐用年數ヲ記載スルモノトス

五　除却時ノ償却方法ハ改良ニ因リ償却方法ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却方法ヲ記載スルモノトス

六　除却時ノ償却率ハ改良ニ因リ償却率ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却率ヲ記載スルモノトス

七　除却時ノ償却額ハ當該年度ニ於ケル除却時ノ償却額ヲ記載スルモノトス

八　除却時ノ償却累計額ハ當該年度末ニ於ケル除却時ノ償却累計額ヲ記載スルモノトス

九　除却時ノ帳簿價額ハ當該年度末ニ於ケル除却時ノ帳簿價額ヲ記載スルモノトス

第二十一號樣式　有形固定資產及特定無形固定資產臺帳（用紙縱長）

種類	名稱	番號	取得年月日	取得價格	耐用年數	償却方法	償却率	償却額	償却累計額	帳簿價額	摘要
何	何	何	明治何年何月何日	何	何年	何	何	何	何	何	何

備考　一　本簿ハ第三條ノ區分ヲ爲シ各區分ニ付一葉ヲ使用スルモノトス

二　償却方法ハ定額法、定率法、生產高比例法、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

三　償却率ハ償却方法ニ從ヒ定額法ニ在リテハ償却額ノ取得價格ニ對スル割合、定率法ニ在リテハ償却額ノ帳簿價額ニ對スル割合ヲ記載スルモノトス

四　償却額ハ當該年度ニ於ケル償却額ヲ記載スルモノトス

五　償却累計額ハ當該年度末ニ於ケル償却累計額ヲ記載スルモノトス

六　帳簿價額ハ當該年度末ニ於ケル帳簿價額ヲ記載スルモノトス

七　摘要ハ除却、廢棄、滅失、賣却、交換、轉用、移管、改良、修繕、災害、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

第二十二號樣式　有形固定資產及特定無形固定資產異動報告書（用紙縱長）

種類	名稱	番號	異動年月日	異動事由	異動價格	異動後ノ耐用年數	異動後ノ償却方法	異動後ノ償却率	異動後ノ償却額	異動後ノ償却累計額	異動後ノ帳簿價額	摘要
何	何	何	明治何年何月何日	何	何	何年	何	何	何	何	何	何

備考　一　本簿ハ第三條ノ區分ヲ爲シ各區分ニ付一葉ヲ使用スルモノトス

二　異動事由ハ除却、廢棄、滅失、賣却、交換、轉用、移管、改良、修繕、災害、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

三　異動價格ハ異動事由ニ從ヒ除却價額、廢棄價額、滅失價額、賣却價額、交換價額、轉用價額、移管價額、改良費、修繕費、災害損失額、其ノ他ノ價額ヲ記載スルモノトス

四　異動後ノ耐用年數ハ改良ニ因リ耐用年數ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ耐用年數ヲ記載スルモノトス

五　異動後ノ償却方法ハ改良ニ因リ償却方法ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却方法ヲ記載スルモノトス

六　異動後ノ償却率ハ改良ニ因リ償却率ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却率ヲ記載スルモノトス

七　異動後ノ償却額ハ當該年度ニ於ケル異動後ノ償却額ヲ記載スルモノトス

八　異動後ノ償却累計額ハ當該年度末ニ於ケル異動後ノ償却累計額ヲ記載スルモノトス

九　異動後ノ帳簿價額ハ當該年度末ニ於ケル異動後ノ帳簿價額ヲ記載スルモノトス

第二十三號樣式　有形固定資產及特定無形固定資產除却報告書（用紙縱長）

種類	名稱	番號	除却年月日	除却事由	除却價額	除却時ノ耐用年數	除却時ノ償却方法	除却時ノ償却率	除却時ノ償却額	除却時ノ償却累計額	除却時ノ帳簿價額	摘要
何	何	何	明治何年何月何日	何	何	何年	何	何	何	何	何	何

備考　一　本簿ハ第三條ノ區分ヲ爲シ各區分ニ付一葉ヲ使用スルモノトス

二　除却事由ハ除却、廢棄、滅失、賣却、交換、轉用、移管、改良、修繕、災害、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

三　除却價額ハ除却事由ニ從ヒ除却價額、廢棄價額、滅失價額、賣却價額、交換價額、轉用價額、移管價額、改良費、修繕費、災害損失額、其ノ他ノ價額ヲ記載スルモノトス

四　除却時ノ耐用年數ハ改良ニ因リ耐用年數ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ耐用年數ヲ記載スルモノトス

五　除却時ノ償却方法ハ改良ニ因リ償却方法ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却方法ヲ記載スルモノトス

六　除却時ノ償却率ハ改良ニ因リ償却率ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却率ヲ記載スルモノトス

七　除却時ノ償却額ハ當該年度ニ於ケル除却時ノ償却額ヲ記載スルモノトス

八　除却時ノ償却累計額ハ當該年度末ニ於ケル除却時ノ償却累計額ヲ記載スルモノトス

九　除却時ノ帳簿價額ハ當該年度末ニ於ケル除却時ノ帳簿價額ヲ記載スルモノトス

第二十四號樣式　有形固定資產及特定無形固定資產臺帳（用紙縱長）

種類	名稱	番號	取得年月日	取得價格	耐用年數	償却方法	償却率	償却額	償却累計額	帳簿價額	摘要
何	何	何	明治何年何月何日	何	何年	何	何	何	何	何	何

備考　一　本簿ハ第三條ノ區分ヲ爲シ各區分ニ付一葉ヲ使用スルモノトス

二　償却方法ハ定額法、定率法、生產高比例法、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

三　償却率ハ償却方法ニ從ヒ定額法ニ在リテハ償却額ノ取得價格ニ對スル割合、定率法ニ在リテハ償却額ノ帳簿價額ニ對スル割合ヲ記載スルモノトス

四　償却額ハ當該年度ニ於ケル償却額ヲ記載スルモノトス

五　償却累計額ハ當該年度末ニ於ケル償却累計額ヲ記載スルモノトス

六　帳簿價額ハ當該年度末ニ於ケル帳簿價額ヲ記載スルモノトス

七　摘要ハ除却、廢棄、滅失、賣却、交換、轉用、移管、改良、修繕、災害、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

第二十五號樣式　有形固定資產及特定無形固定資產異動報告書（用紙縱長）

種類	名稱	番號	異動年月日	異動事由	異動價格	異動後ノ耐用年數	異動後ノ償却方法	異動後ノ償却率	異動後ノ償却額	異動後ノ償却累計額	異動後ノ帳簿價額	摘要
何	何	何	明治何年何月何日	何	何	何年	何	何	何	何	何	何

備考　一　本簿ハ第三條ノ區分ヲ爲シ各區分ニ付一葉ヲ使用スルモノトス

二　異動事由ハ除却、廢棄、滅失、賣却、交換、轉用、移管、改良、修繕、災害、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

三　異動價格ハ異動事由ニ從ヒ除却價額、廢棄價額、滅失價額、賣却價額、交換價額、轉用價額、移管價額、改良費、修繕費、災害損失額、其ノ他ノ價額ヲ記載スルモノトス

四　異動後ノ耐用年數ハ改良ニ因リ耐用年數ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ耐用年數ヲ記載スルモノトス

五　異動後ノ償却方法ハ改良ニ因リ償却方法ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却方法ヲ記載スルモノトス

六　異動後ノ償却率ハ改良ニ因リ償却率ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却率ヲ記載スルモノトス

七　異動後ノ償却額ハ當該年度ニ於ケル異動後ノ償却額ヲ記載スルモノトス

八　異動後ノ償却累計額ハ當該年度末ニ於ケル異動後ノ償却累計額ヲ記載スルモノトス

九　異動後ノ帳簿價額ハ當該年度末ニ於ケル異動後ノ帳簿價額ヲ記載スルモノトス

第二十六號樣式　有形固定資產及特定無形固定資產除却報告書（用紙縱長）

種類	名稱	番號	除却年月日	除却事由	除却價額	除却時ノ耐用年數	除却時ノ償却方法	除却時ノ償却率	除却時ノ償却額	除却時ノ償却累計額	除却時ノ帳簿價額	摘要
何	何	何	明治何年何月何日	何	何	何年	何	何	何	何	何	何

備考　一　本簿ハ第三條ノ區分ヲ爲シ各區分ニ付一葉ヲ使用スルモノトス

二　除却事由ハ除却、廢棄、滅失、賣却、交換、轉用、移管、改良、修繕、災害、其ノ他ノ別ヲ記載スルモノトス

三　除却價額ハ除却事由ニ從ヒ除却價額、廢棄價額、滅失價額、賣却價額、交換價額、轉用價額、移管價額、改良費、修繕費、災害損失額、其ノ他ノ價額ヲ記載スルモノトス

四　除却時ノ耐用年數ハ改良ニ因リ耐用年數ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ耐用年數ヲ記載スルモノトス

五　除却時ノ償却方法ハ改良ニ因リ償却方法ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却方法ヲ記載スルモノトス

六　除却時ノ償却率ハ改良ニ因リ償却率ヲ變更シタル場合ニ於テ變更後ノ償却率ヲ記載スルモノトス

七　除却時ノ償却額ハ當該年度ニ於ケル除却時ノ償却額ヲ記載スルモノトス

八　除却時ノ償却累計額ハ當該年度末ニ於ケル除却時ノ償却累計額ヲ記載スルモノトス

九　除却時ノ帳簿價額ハ當該年度末ニ於ケル除却時ノ帳簿價額ヲ記載スルモノトス

第二十七號樣式　有形固定資產及特定無形固定資產臺帳（用紙縱長）

| 種類 | 名稱 | 番號 | 取得年月日 | 取得價格 | 耐用年數 |

三　手許保管欄ニハ共用中ノモノヲ控除シタル現在在庫品ノ總計數ヲ記入スルコト
四　現在數欄ニハ現ニ供用及在庫中ニ係ル物品ノ總計數ヲ掲記スルコト
五　廢棄ヲ要スル物品ハ物品會計官吏ヘ返納拂トシ物品會計官吏ニ於テ相當手續ヲ爲スコト
六　燒失、流失其ノ他亡失等ノ場合ハ受ノ欄ニ朱書シ墨書總數ヨリ之ヲ控除シ整理ノコト但シ此ノ場合ハ其ノ旨物品會計官吏ニ報告スヘシ
七　本簿ハ數年繼續シテ使用スルコトヲ得

第八號樣式　消耗品受拂簿　（用紙半紙）

年月日	摘要	受	拂	殘	受領者印

品名　單位稱

備考
本簿ハ月計及累計ヲ爲スヘシ

第九號樣式　（用紙半紙大洋紙）

監獄長　物品會計官吏　主任

在監者食糧日表　大正　年　月　日

等級	一食ノ量	人員	數量	品名	一人一數量
		朝 晝 夕	計		回ノ量 朝 晝 夕 計
一等	八合七勺			米 甘藷	
二等	七合八勺			米 甘藷	
三等	六合九勺			常	
四等	五合七勺			菜	
五等	四合八勺			特別	
六等	三合九勺				

弐	減	粥食

第十號樣式　藥品受拂簿　（用紙美濃半切大洋紙）

年月日	摘要	入	拂出 現拂	拂出 假拂	在庫 現殘	在庫 假拂殘
		受	本	假		

品名　單位稱

備考
一　本簿ハ左ニ記載シタルモノノ外單位ノ稱呼ヲ瓦ト爲スヘシ
油類、澱粉、蒸溜水、綿撒絲及脫絲綿ハ封拂、酒類ハ壜拂、絆創膏ハ寸拂、「リント」ハ尺拂、木綿ハ反拂
二　壜入、鑵入、包裝物ノ類ヲ開封シタルトキハ拂ノ部假拂ノ項ニ記入スヘシ其ノ開封シタルモノヲ費消シ盡シタルトキハ之ヲ拂出ニ記入スヘシ
三　拂出ハ一日又ハ數日間ノ處方箋ヲ集計シタル數量ヲ記帳スヘシ風化減、秤量減、又ハ最リ出シ等ハ調査ノ都度之ヲ記帳スヘシ
四　合劑ハ總テ處方箋ニ依リ之ヲ爲シ原藥ヲ拂出シ別ニ口座ヲ設ケ製劑ヲ記入シテ受拂ヲ爲スヘシ
五　受拂ノ記帳ハ其ノ都度醫務係主任ノ決議ヲ受クヘシ
六　假拂殘ハ現品調査又ハ檢査ノ場合若ハ年度末ヲ除クノ外之ヲ記入ヲ省略スルコトヲ得

第十一號樣式

	計
差引	
購入	
合計	

菜

特別菜週一度何人、二度何人、三度何人　計何人

第十二號樣式　領置品基票　（用紙美濃半切大洋紙）

年月日	摘要	領置 記號	領置 點數	領置 評價	拂 點數	拂 評價	殘 點數	殘 評價	及備考

領置物品出納簿

郵便切手類 受 價格	郵便切手類 拂 價格	郵便切手類 殘 價格
圓	圓	圓

郵便切手類

年月日	摘要	受	拂	殘	年月日	摘要	受	拂	殘

受番號　氏名　被番號

上記拜承　何某　印

年月日	番號	品目	受 箇數	受 評價	拂 箇數	拂 評價	殘 箇數	殘 評價	及備考
	1	茶麻衫	1	.40					
	2	同上袴	1	.40					
	3	木綿黒帶	1	.05					
	4	黒皮靴	1	.05					
	5	認印黒角製	1	.00					
	6	黒縞子洋傘	1	.30					
	7	第3400號 銀十八形片硝子時計	1	2.50					領置別紙
		計	7	4.15					

備考
一　品目ノ欄ハ衣類ニ付テハ品目品質色合編柄等ヲ記入スヘシ
二　時計、指環、手環ノ類ニシテ品位ノ判明セサルモノハ其ノ旨ヲ附記スヘシ
三　貴重品トシテ保管スルモノハ「特別領置」ノ符號印ヲ附シ別ニ特別領置品書留簿（第十三號樣式）ヲ設ケテ之カ受拂ヲ記入スヘシ
四　領置品ノ評價ハ本人又ハ差入人ノ申立ヲ參考トシテ之ヲ評定スヘシ但シ在監中購入シタル物品ハ其ノ購買價格ニ依リ郵便切手及端書ハ其ノ額面金額ニ依ル
五　入監ノ際領置ヲ爲シタルトキ及出監ノ際交付シタルトキハ式ノ如ク本簿ニ記入シ署名捺印セシムヘシ
六　本票ハ在監者ノ種類ニ依リ稱呼番號順ニ假綴シ出入監者アリタルトキハ領置物人名錄ト共ニ直ニ之ヲ加除スヘシ
七　本票ハ郵便切手類ノ二號用紙ヲ作リ使用スルコトヲ得
八　移監ノ場合ハ本票ノ謄本ヲ作成シテ送致金品目錄ニ代用スルコトヲ得

第十三號樣式　特別領置品書留簿　（用紙美濃半切大洋紙）

品目	摘要	箇數	實價又ハ評價格	領置 年月日	下付 年月日	稱呼番號	氏名
時計	銀側片硝子	一箇	二〇〇〇	六二五		被 六八二	何某
實印	實	一箇	〇	六二五		被 弐二	何某

備考
摘要欄ニハ品質時計ハ其ノ番號及形、印章ハ其ノ印影ヲ押捺スヘシ

第十四號樣式　領置物人名錄　（用紙美濃半切大洋紙）

稱呼番號	氏名	事由	年月日	氏名	事由	年月日	氏名	事由	年月日	氏名	事由	年月日
一												
二												
三												
四												
五												

備考
一　本簿ハ在監者ノ種類ニ依リ口座ヲ別ツヘシ
二　出監又ハ死亡シタルトキハ年月日及事由ヲ記入シ朱線ヲ以テ其ノ氏名ヲ抹消スヘシ
三　本簿ハ領置金人名錄ニ兼用スルモノトス
四　領置金基票ヲ作成シタルトキハ「氏名」ノ下ニ㊞ノ符號印ヲ押捺スヘシ

第十五號樣式　遺留領置品(金)整理簿

刑、病、變死又ハ逃走		在監種別及		點數又	
年月日	區別	稱呼番號	氏名	ハ金額	處理要領及年月日

（用紙美濃紙又ハ半切大洋紙）

備考
一　死亡者又ハ逃走者アリタルトキハ領置金人名錄ヲ抹消スルト同時ニ一旦本簿ニ記入シタル後之ヲ整理スヘシ
二　本簿ハ數年繼續使用スルモノトス

第十六號樣式　領置郵便端書交付及發送簿

（用紙半紙半切大洋紙）

交付					發送	
月	日	番號	氏名	領置額面	月	日
				受領印	發送印	

備考
一　本簿ハ在監者郵便端書ヲ以テ發信スル爲領置係ヨリ端書ヲ行刑係ニ交付シ及之カ發送ヲ明確ナラシムヘシ
二　本簿ハ必要ニ應シ甲乙ノ符號ヲ付シ數冊ニ分チ使用スヘシ

第十七號樣式　預置金基票

第二十二號樣式　作業賞與金基票

（用紙硬質洋紙）

囚番號	稱呼番號	刑入監	被告	大正年月日	刑	懲役	禁錮	拘留	留置	年	月	日	答數	日

氏名	被稱呼番號	年 月 日	摘要	領置金 受	領置金 拂	領置金 殘	作業賞與金計算高 受	作業賞與金計算高 拂	作業賞與金計算高 殘
				㊞	㊞	㊞	㊞	㊞	㊞

備考
一　本票ハ在監者ノ携有又ハ差入ニ係ル領置金及作業賞與金計算高ヲ登記スヘシ
二　領置金ノ受入ハ決議當ニ依リ作業賞與金計算高ノ受入ハ報告當ニ依リ登記スヘシ

三　領置金及作業賞與金ノ仕拂ハ決議書類ニ依リ登記スヘシ
四　本票ハカード式ト爲シ左ノ方法ニ依ルヘシ
イ　「カード」ハ一定ノ區劃ヲ設ケタル鎖鑰アル容器ニ藏ムヘシ
ロ　「カード」ハ在監者ノ種別ニ依リ稱呼番號順ニ收メ死亡又ハ逃走者ノ遺留ニ關ハルモノハ之ヲ區別シ保管スヘシ但シ在監者ノ多數ナルトキハ適宜組ヲ分チ一組毎ニ小口面ニ一定ノ著色ヲ施シ他ノ組トノ混合ヲ防クノ用ニ供スヘシ
ハ　「カード」ハ一用紙ノ盡ルニ至リタルトキニ於テ受拂殘ノ合計ヲ爲シテ之ヲ新用紙ニ移記シ舊用紙ハ身分帳ニ添綴スヘシ但シ新舊用紙ニハ其ノ連絡ヲ認メ得ヘキ符號ノ子番號ヲ附スヘシ
ニ　「カード」ハ其ノ全部又ハ各組毎ニ統括「カード」ヲ作リ枚數及金額ノ集計ヲ明ニスヘシ其ノ小口面ノ著色ニ就テハ「ロ」號但書ノ例ニ依ル
ホ　釋放其ノ他ノ事由ニ依リ計算ヲ終了シタル「カード」ハ之ヲ取除キ最終計算高ノ下ニ事由ヲ記入シ締切ヲ爲シ二線ヲ劃シ決議書ト共ニ順次編綴スヘシ

第十八號樣式　作業賞與金受拂及繰替拂整理簿

仕拂年月日	摘要	稱呼番號氏名	受(戻入) 月日	受(戻入) 金額	拂(繰替)	殘高
				㊞	㊞	㊞

備考
一　本簿ハ仕拂命令官ヨリ受領シタル作業賞與金ヲ受(戻入)トシ在監者又ハ釋放者ニ給與シタルモノヲ拂(繰替拂)トシテ登記スヘシ
二　仕拂高ハ在監者一人毎ニ登記スヘシ
三　繰替拂ヲ爲シタル賞與金ニ對スル戻入(即チ支拂)ヲ受ケタルトキハ其金額ヲ受(即チ戻入)トシテ記入スルノ外其ノ人名毎ニ戻入年月日ヲ記入スヘシ
四　年度ノ終ニハ繰替拂ノ繰越ヲ整理スヘシ
五　本簿ハ數年繼續使用スルコトヲ得但シ年度ノ區分ヲ爲スヘシ

前項報告書ノ內譯ハ日課表ヲ以テスヘシ

第十九號樣式　保證金其他受拂簿

（用紙美濃半切大洋紙）

年月日	摘要	金額 受入	金額 拂出	金額 殘	處分 月日	處分 順末

備考
本簿ハ數年繼續使用スルコトヲ得但シ年度ノ區分ヲ爲スヘシ

第二十號樣式

監獄長㊞

表計集歲入歲出外現金

在現日　大正　年　月　日

保管金 區分	保管金 金額	締高帳簿及基票 區分	締高帳簿及基票 金額
	㊞		㊞
預金		領置金基票締高	
手許在高		同上遺留金締高	
作業賞與金繰替高		保證其他金	
計		計	

大正　年　月　日

吏官納出金現外出歲入歲
官　氏　名　印
檢查員
官　氏　名　印

（用紙半紙竪五寸五分橫五寸）

第二十一號樣式　作業賞與金計算高集計簿

年月日	摘要	受	拂	殘
		円	円	円

備考　本簿ハ月計及累計ヲ爲スヘシ

第二十三號樣式　（用紙中紙）

第　號　大正　年　月　日

作業賞與金仕譯書

一金　作業賞與金

但（何某外何人分）左記内譯ノ通

金額	摘要	番號	氏名	備考

●物品會計官吏ノ保管物品水火盜難ニ罹リタルトキノ整理手續

明治三十九年二月臺灣總督府訓令第三十二號

【民政部】【法院、廳】【所屬民政各官廳】

物品會計官吏ノ保管物品及法令ノ規定ニ依リ政府ニ於テ保管ノ義務ヲ有スル物品ニシテ水火盜難ニ罹リタルトキハ其ノ保管責任者ヨリ被害品目錄ヲ調製シ直ニ所屬長官ヲ經由シ臺灣總督ニ報告スヘシ

第一條　物品會計官吏ノ保管物品及法令ノ規定ニ依リ政府ニ於テ保管ノ義務ヲ有スル物品ニシテ水火盜難ニ罹リタルトキハ其ノ保管責任者ヨリ被害品目錄ヲ調製シ直ニ所屬長官ヲ經由シ臺灣總督ニ報告スヘシ

第二條　所屬長官ニ於テ罹災ノ事實ヲ知リタルトキハ檢査員ヲ命シテ檢査ヲ行ヒ調書ヲ作ラシメ意見ヲ付シ之ヲ臺灣總督ニ進達スヘシ

第三條　罹災ノ原因犯罪行爲ニ關係シ加害者ニ對スル公訴竝私訴ノ裁判確定シタルトキハ其ノ判決謄本ヲ添ヘ臺灣總督ニ報告スヘシ

續

第四條　所屬長官ハ辨償金整理簿ヲ設ケ會計檢査院ノ判決又ハ司法裁判ノ結果辨償者確定シタルトキハ之ヲ登記シ置キ其ノ辨償金ヲ納付シタル毎ニ整理スヘシ

第五條　所屬長官ハ毎年度經過後二箇月以内ニ辨償金整理簿ノ結果ニ依リ辨償金報告書ヲ調製シ臺灣總督ニ送付スヘシ

●物品會計官吏ノ物品及帳簿檢査ノ件

明治三十七年八月臺灣總督府訓令第二百二十九號

【民政部】【法院、廳】【所屬民政各官廳】

物品會計官吏ノ保管スル物品及帳簿ハ所屬各官廳長官ニ於テ檢査員ヲ命シ一箇年一回檢査ヲ行フヘシ但シ支部局長ニ委任シテ行ハシムルコトヲ得

●物品出納計算ノ檢查成績報告ニ關スル件

明治三十三年十二月臺灣總督府訓令第三百五十三號

【縣】【廳】

會計檢査院法第十六條ニ依リ委託ニ係ル明治三十一年度以降物品出納計算ノ檢査成績報告ハ當府ヲ經由スヘシ

●小切手用紙保管規程

大正十一年四月一日臺灣總督府訓令第五十四號

臺灣總督府、法院、州、廳　臺灣總督府所屬官署

小切手用紙保管規程左ノ通相定ム

第一條　支出官小切手用紙ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ文書ヲ以テ其ノ小切手ノ支拂店ニ之ヲ請求スヘシ

第二條　支出官前條ニ依リ小切手用紙ノ交付ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ特別保管者ニ交付スヘシ

特別保管者ハ會計專務ノ官吏中ヨリ特ニ之ヲ命スヘシ

第三條　特別保管者ハ小切手用紙ノ交付ヲ受ケタルトキハ之ヲ帳簿ニ記入シ且其ノ受拂ノ狀況ヲ明ニスヘシ

第四條　特別保管者ハ小切手用紙ノ殘高ヲ毎日計算シ其ノ殘高ヲ帳簿ニ記入シ且其ノ殘高ヲ證明スヘシ

第五條　特別保管者ハ小切手用紙ヲ亡失シ又ハ毀損シタルトキハ其ノ事實ヲ詳具シ會計官吏ニ報告スヘシ

第六條　特別保管者ハ小切手用紙ヲ受拂シタルトキハ其ノ都度受拂簿ニ登記スヘシ

第七條　特別保管者ハ小切手用紙ヲ保管スルニ當リテハ鎖鑰アル鐵庫若ハ堅牢ノ函ニ藏置シ其ノ鎖鑰ハ自ラ之ヲ所持スヘシ

第八條　特別保管者ハ小切手用紙ノ殘高ヲ調査シ直ニ其ノ顚末ヲ支出官ニ報告シ指揮ヲ乞フヘシ

第九條　特別保管者ハ小切手用紙受拂簿ヲ備ヘ枚數ニ依リ毎日其ノ受拂殘高ヲ登記シ毎月末日集計ヲ附シ支出官ノ閱覽ニ供スヘシ

第十條　支出官支拂豫算ノ委任ヲ解除セラレタルトキハ直ニ小切手用紙ノ殘高ヲ調査シ之ヲ其ノ小切手ノ支拂店ニ返付スヘシ但シ死亡轉免等ノ爲後任者直ニ之ヲ繼承スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十一條　支出官自ラ小切手用紙ヲ保管スルトキハ第四條及前條ノ外本令ニ依ラサルコトヲ得

第十二條　第三條乃至第七條ノ規定ハ出納官吏其ノ預託金ヲ取扱フ日本銀行（代理店）ヨリ交付ヲ受ケタル小切手用紙ノ保管ニ付之ヲ準用ス但シ第五條及第六條ノ支出官ハ當該長官トス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治二十九年第一六九號、一一年第二一四號

●郵便切手類及收入印紙出納規程

明治四十五年六月臺灣總督府訓令第百二十三號

改正　大正八年第一六九號、一一年第二一四號

臺灣總督府

一、二等郵便局

郵便切手類及收入印紙出納規程左ノ通相定ム

第一條　本令ニ於テ郵便切手類及收入印紙ト稱スルハ明治四十五年五月府令第五十三號郵便切手類及收入印紙賣下實物規則ニ依ル郵便切手類、印紙ヲ謂フ

第二條　本令ニ於テ出納官吏ト稱スルハ郵便局ニ在リテハ郵便局長、其ノ他ノ官署ニ在リテハ會計官吏ヲ謂フ

第三條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第四條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第五條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第六條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第七條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第八條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第九條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第十條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第十一條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第十二條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第十三條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第十四條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第十五條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第十六條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第十七條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第十八條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第十九條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第二十條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第二十一條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第二十二條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第二十三條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第二十四條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第二十五條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第二十六條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第二十七條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第二十八條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第二十九條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第三十條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第三十一條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第三十二條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第三十三條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第三十四條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第三十五條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第三十六條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第三十七條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第三十八條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第三十九條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第四十條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第四十一條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第四十二條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第四十三條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第四十四條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第四十五條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第四十六條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第四十七條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第四十八條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第四十九條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第五十條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第五十一條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第五十二條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第五十三條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第五十四條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第五十五條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第五十六條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第五十七條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第五十八條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第五十九條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第六十條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第六十一條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第六十二條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第六十三條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第六十四條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第六十五條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第六十六條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第六十七條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第六十八條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第六十九條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第七十條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第七十一條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第七十二條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第七十三條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第七十四條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第七十五條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第七十六條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第七十七條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第七十八條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第七十九條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第八十條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第八十一條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第八十二條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第八十三條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第八十四條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第八十五條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第八十六條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第八十七條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第八十八條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第八十九條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第九十條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第九十一條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第九十二條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第九十三條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第九十四條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第九十五條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第九十六條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第九十七條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第九十八條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第九十九條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

第百條　出納官吏ハ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシムル爲メ臺灣總督ノ指定スル保證金ヲ供スヘシ

官及一、二等郵便局長ヲ謂フ

第三條　郵便切手類及收入印紙會計官吏（以下單ニ會計官吏ト稱スル）ヲ遞信局及一、二等郵便局ニ置ク

一、二等郵便局及同出張所窓口ニ賣捌主任ヲ置キ郵便切手類及收入印紙ノ賣捌ヲ取扱ハシム

第三條ノ二　會計官吏ハ部局長之ヲ命免シ別記樣式ニ依リ五日内ニ臺灣總督ニ報告スヘシ

第四條　部局長ハ證憑書類ニ依リ當該部局ニ於ケル郵便切手類及收入印紙ノ出納ニ關スル命令ヲ發スヘシ但シ部局長ハ臺灣總督ノ認可ヲ受ケ部下ノ官吏ヲシテ之ヲ發セシムルコトヲ得

第五條　會計官吏ハ前條ノ命令アルニ非サレハ郵便切手類及收入印紙ノ出納ヲ爲スコトヲ得ス

第六條　會計官吏郵便切手類及收入印紙ノ受入ヲ爲シタルトキハ領收證書ヲ發シ其ノ拂出ヲ爲シタルトキハ領收證書ヲ徵スヘシ但シ領收證書ニ代ハルヘキ證憑アルトキ又ハ現金ト引換ニ拂出シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七條　窓口ニ於テ賣捌クヘキ郵便切手類及收入印紙ハ會計官吏其ノ常備數ヲ定メ之ヲ賣捌主任ニ假出シ賣捌キタル數量ヲ以テ拂出ヲ執行スヘシ

第八條　郵便切手類及收入印紙ノ出納ハ其ノ都度會計官吏ニ於テ受拂簿ニ登記スヘシ

第九條　郵便切手類及收入印紙ハ會計官吏之ヲ保管スヘシ

第七條ニ依リ假出シタルモノハ當該主任之ヲ保管スヘシ

會計官吏ハ前項ノ郵便切手類及收入印紙ニ對シ取締上監督ノ責アルモノトス

第十條　郵便切手類及收入印紙ハ倉庫、鐵匣若ハ鎖鑰アル容器ニ藏シ且固著ヲ防クヘキ適當ノ方法ヲ以テ之ヲ保管スヘシ

第十一條　第九條ノ保管ノ責アル者故意又ハ怠情ニ因リ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ價格ヲ辨償セシム

直接ニ保管ノ責ナキ者故意又ハ怠情ニ因リ亡失又ハ毀損シタルトキ亦同シ

第十二條　第九條第二項ニ依リ保管スル郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ檢査員ヲ命シテ檢査ヲ行ヒ調書ヲ作ラシメ意見ヲ付シ之ヲ臺灣總督ニ報告スヘシ

第十三條　會計官吏前條ノ報告ヲ受クルカ若ハ自己ノ保管スル郵便切手類及收入印紙（運送途中ノモノヲ包含ス）ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ事實ヲ詳具シ部局長ノ認定ヲ求ムヘシ

部局長ハ前項ノ場合ニ於テ水火盜難又ハ故意怠情ニ因ルト認メタルトキハ檢査員ヲ命シテ檢査ヲ行ヒ調書ヲ作ラシメ意見ヲ附シ之ヲ臺灣總督ニ進達スヘシ

第十四條　部局長ハ毎月一回以上會計官吏ノ保管ニ屬スル郵便切手類及收入印紙ノ現在數ヲ檢査スヘシ但シ部局長ハ部下ノ官吏ヲシテ之ヲ執行セシムルコトヲ得

第十五條　物品會計規則第十五條ニ依ル計算書ハ會計官吏之ヲ調製シ部局長ニ提出スヘシ

前項ノ計算書ハ部局長之カ下檢査ヲ遂ケ臺灣總督ニ進達スヘシ

第十六條　會計官吏ハ每月郵便切手類及收入印紙ノ受拂表二通ヲ調製シ一通ハ部局長ニ、一通ハ臺灣總督ニ提出スヘシ

第十七條　本令施行ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

附　則

本令ハ明治四十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治二十九年八月訓令第十五號臺灣總督府郵便切手類出納規程及明治三十一年七月訓令第百九十三號臺灣總督府印紙類出納規程ハ之ヲ廢止ス

●郵便切手類及收入印紙出納規程施行細則

明治四十五年六月臺灣總督府訓令第百二十四號

改正　大正七年第一四六號、八年第二九號

【民政部】一、二等局

郵便切手類及收入印紙出納規程施行細則左ノ通相定ム

郵便切手類及收入印紙出納規程施行細則

第一條　一、二等郵便局（以下單ニ一、二等局ト稱ス）長ハ一箇年度ヲ四期（第一期自四月至六月、第二期自七月至九月、第三期自十月至十二月、第四期自一月至三月）ニ分チ其ノ期間需要ノ郵便切手類及收入印紙（以下單ニ切手、印紙ト稱ス）ニ對スル請求書ヲ調製シ每期前月末日迄ニ【通信局】長ニ提出スヘシ但シ臨時至急ヲ要スルモノハ其ノ都度事由ヲ詳記シ請求スルコトヲ得

第二條　一、二等局ニ於テ臨時至急ヲ要シ請求ノ暇ナキトキハ他ノ一、二等局ヨリ一時繰替ヲ受ケルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ成ルヘク速ニ返戻スヘシ

第三條　會計官吏切手類、印紙ノ送付ヲ受ケタルトキハ他ノ官吏ヲシテ立會ハシメ其ノ封緘ノ現狀ヲ確認シタル後封緘部分ヲ損傷セサル樣開封點檢スヘシ

印刷局ニ於テ封緘ヲシタル儘送付ヲ受ケタルトキハ其ノ封緘ニ異狀ノ有無ヲ調査シ異狀ナキトキハ其ノ儘領收スルコトヲ確認シタル場合ハ更ニ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

會計官吏ハ前項ノ郵便切手類及收入印紙ニ對シ取締上監督ノ責アルモノトス

第四條　送付ヲ受ケタル切手類、印紙ニ過不足アルトキハ其ノ旨當該部局長ニ報告スヘシ部局長ハ開封ノ手續ヲ記シ立會者ノ證明書ヲ添ヘ差立部局ニ通報スヘシ

第五條　法令ニ依リ國庫ニ歸屬シタル切手類、印紙ノ引繼ヲ受ケタルトキハ關係書類ニ對照シ其ノ符合ヲ認メタル後受入ヲ爲スヘシ

第六條　切手類、印紙ニシテ固著ノ虞アルモノヲ藏置スルトキハ之ヲ重積セス橫ニ竝列スヘシ

貯藏ノ切手類、印紙ハ其ノ受入ノ最古キモノヨリ順次之ヲ拂出スヘシ

第七條　切手類、印紙ハ左ノ科目ニ據リ出納スヘシ

受入ノ部

一　元受

二　返納

三　買戻（一圓、五分、三分等割引歩合ヲ異ナル毎ニ區別スヘシ）

四　交換

五　保管轉換（物品會計官吏ヨリ保管轉換ヲ受クル場合ニ限ル）

六　繰替

七　生產（民政部通信局ニ限ル）

拂出ノ部

一　部局渡

二　實捌（定價、五分、三分等價格ノ異ナル毎ニ區別スヘシ）

三　還付

四　交換

五　返納

六　繰替

七　亡失

八　見本（民政部通信局ニ限ル）

九　贈與（同上）

十　拨却（同上）

十一　保管轉換（物品會計官吏ニ保管轉換スル場合ニ限ル）

十二　生產（民政部通信局ニ限ル）

前項ノ外科目ノ設置ヲ要スルトキハ臺灣總督ノ認可ヲ受クヘシ

第八條　會計官吏切手類、印紙ヲ送付セムトスルトキハ毀損ヲ防止シ得ヘキ適當ノ包裝ヲ爲シタル上證重ニ封緘スヘシ

官等	名	任命大正　年　月　日
		就職大正　年　月　日
		俸職大正　年　月　日

所在地　何々（出納官吏名）官職氏名

前項ノ場合ニ於テハ他ノ官吏チシテ立會檢査セシメ其ノ封シ目ニ會計官吏及立會者檢印スヘシ

切手類、印紙チ送付セムトスルトキハ送付書チ調製シ同時ニ發送スヘシ

第九條　切手類、印紙運送途中亡失又ハ毀損シタルトキハ差立部局ニ於テ其ノ事實チ審査シ認定ノ手續チ爲スヘシ但シ受取部局ニ於テ之チ發見シタルトキハ其ノ事實チ審査シ證憑書類チ添ヘ差立部局ニ通報スヘシ

第十條　法令ニ依リ郵便切手チ以テ料金ノ還付チ要スルトキ又ハ國際返信切手券ノ引換チ要スルトキハ審査ノ上之カ拂出チ爲スヘシ

三等局ニ於テ還付シタル料金又ハ引換タル國際返信切手券ニ對スル代切手ノ交付チ要スルトキハ料金受領者ノ領收證書又ハ引換濟國際返信切手券ト對照審査ノ上之カ拂出チ爲スヘシ

第十一條　切手類、印紙ノ交換又ハ買戻ノ請求チ受ケタルトキハ其ノ事實チ審査シ之カ交換又ハ買戻チ爲スヘシ

第十二條　一、二等局會計官吏ハ毀損認定濟ノ切手類、印紙チ一箇月每ニ取纏メ貼付用紙ニ貼付シ之チ【民政部通信局】（以下單ニ【通信局】ト稱ス）ニ送付スヘシ

【通信局】ニ於テ前項ニ依リ毀損切手類、印紙ノ受入チ爲シタルトキ及自局ニ於ケル毀損認定濟ノ切手類、印紙ハ臺灣總督ノ認可チ受ケ燒却スヘシ

前項ニ依リ燒却チ爲ストキハ會計官吏及他ノ官吏立會ノ上之チ執行シ其ノ顚末チ臺灣總督ニ報告スヘシ

第十三條　【通信局】ニ於テ見本及贈與ノ爲拂出チ要スルトキハ臺灣總督ノ認可チ受クヘシ

第十四條　一、二等局會計官吏ハ齎捌主任ヘ假渡ノ切手類、印紙チ本局ハ每日一回、支局ハ每月數回適宜ノ方法ニ依リ檢査スヘシ

第十五條　請求書、受拂命令書、送付書、領收證、切手類印紙受拂簿及受拂表ノ樣式ハ別記第一號乃至第六號樣式ニ依ルヘシ

第十六條　郵便切手類及收入印紙出納規程第十五條ニ依ル計算書ハ通信局チ經由提出スヘシ

第十七條　本令ニ於テ毀損ト稱スルハ汚斑、損傷、變色、褪色、固着、表面ノ謄寫附著其ノ他效用チ阻ク𠮟キ慶アルモノチ謂フ

附　則

本令ハ明治四十五年七月一日ヨリ之チ施行ス

明治三十七年二訓令第五十四號郵便切手類取扱順序ハ之チ廢止ス

從來ノ樣式ニ依リ調製シタル帳簿用紙ハ當分ノ內其ノ儘使用スルコトチ得

（別記）

第一號樣式

明治　年度第　期（又ハ臨時）郵便切手類印紙請求書　何郵便局

種類	請求數量	請求當時ノ現在數量	請求數量算出ノ根據
切手			
五厘	何々		
葉書	何々		
收入印紙	何々		

右請求ス

年　月　日

【通信局長】宛

何郵便局長　氏　名印

備考

一　請求數量算出ノ根據ニハ最近三箇月間ニ於ケル賣下數量及請求數量算出標準チ詳記スヘシ

二　郵便切手類ト收入印紙トハ各別ニ調製スヘシ

任主行發日　月　年　明治

檢查

局長

吏官計會紙印類手切

拂出日　月　年　號　第　令命出拂

先　渡

種類	數枚	價格
切手五厘		
何々		
計		
葉書一錢五厘		
何々		
計		
封皮三錢五厘長形		
何々		
計		

種類	數枚	價格
封入長形合計		
貯金臺紙五厘		
何々		
計		
收入印紙何錢		
何錢		
計		
合計		

事由

拂出科目

受拂簿登記

備考

一　價格欄ニハ割引賣下ニ係ルモノハ其ノ割引シタル價格チ記入スヘシ

二　賣捌ニ非サル拂出ニハ價格欄ニ斜線チ畫クヘシ

三　切手類ト印紙トハ各別ニ調製スルコトチ得

四　延納ニ係ルモノハ拂出科目ノ下ニ延納ト朱書スヘシ

五　本書ハ本樣式ニ準シ一種類每ニ一葉チ調製スルコトチ得

甲

切手類印紙送付書原符

大正　年　月　日

局　殿
長　殿
主任　殿

局　會計官吏
切手類印紙

種類	數量	種類	數量
五厘切手			
壹錢切手			
壹錢五厘切手		價格表記小形封皮	
貳錢切手		無印小形封緘紙	
參錢切手			
四錢切手		壹厘印紙	
五錢切手		貳厘印紙	
拾錢切手		參厘印紙	
貳拾錢切手		五厘印紙	
貳拾五錢切手		壹錢印紙	
壹圓切手		貳錢印紙	
		參錢印紙	
壹錢五厘切手帖		五錢印紙	
參錢切手帖		拾錢印紙	
外國切手帖		五拾錢印紙	
		壹圓印紙	
壹錢五厘葉書		五圓印紙	
參錢往復葉書		拾圓印紙	
參錢封緘葉書		五拾圓印紙	
四錢聯合葉書		百圓印紙	

摘要

立合者　主任　事務第二十二號

備考

一　本書ハ會計官吏ヨリ出張所、三等局ヘ送付スル場合ニ限リ使用スルモノトス

乙

切手類印紙送付書領收證

第　號送付
第　號送付

大正　年　月　日

局　殿
長　殿
主任　殿

局　會計官吏
切手類印紙

種類	數量	種類	數量
五厘切手			
壹錢切手			
壹錢五厘切手		價格表記小形封皮	
貳錢切手		無印小形封緘紙	
參錢切手			
四錢切手		壹厘印紙	
五錢切手		貳厘印紙	
拾錢切手		參厘印紙	
貳拾錢切手		五厘印紙	
貳拾五錢切手		壹錢印紙	
壹圓切手		貳錢印紙	
		參錢印紙	
壹錢五厘切手帖		五錢印紙	
參錢切手帖		拾錢印紙	
外國切手帖		五拾錢印紙	
		壹圓印紙	
壹錢五厘葉書		五圓印紙	
參錢往復葉書		拾圓印紙	
參錢封緘葉書		五拾圓印紙	
四錢聯合葉書		百圓印紙	

上記ノ通リ領收ス

大正　年　月　日

局
（所）官氏名印

事務第二十二號

備考

一　本書ハ會計官吏ヨリ出張所、三等局ヘ送付スル場合ニ限リ使用スルモノトス

甲

切手類印紙拂出命令書

科目

明治　年　月　日　主任
命令官　切手類印紙會計官吏
（何課掛長）
（何々）檢查

拂出命令番號　第　號　渡先

種類	數量	種類	數量
切手五厘一錢		種紙五厘	
何々		何々	
葉書何々			
何々			
		合計	

拂出事由

備考　運送方法　發送日附印

發送者　立會者

乙

切手類印紙送受入命令書

科目

明治　年　月　日　主任
命令官　切手類印紙會計官吏
（何課掛長）
（何々）檢查

受入命令番號　第　號　受入年月日　年　月　日

種類	數量					

受拂簿登記　送付番號　第　號

運送方法　發送日附印

備考

以上送付ス

局

切手類印紙會計官吏

局御中

丙

切手類印紙領收證書

送付番號　第　號

種類	數量					

備考

發送部局　受日印附

以上領收ス

明治　年　月　日

局

切手類印紙會計官吏

局切手類印紙會計官吏殿

受拂簿登記

備考

一　他管廳ノ保管轉換又ハ買戻交換等ニ依リ受入チ爲ス場合ノ受入命令書ハ乙號チ使用スルモノトス

二　發送及領收證受付日附印欄ニハ一、二等局ニ於テハ年月日チ記載スルコトチ得

三　郵便切手類ト收入印紙トハ各別ニ調製スルコトチ得

四　本書ハ本樣式ニ準シ一種類每ニ一葉チ調製スルコトチ得

第五號樣式（郵便切手類收入印紙受拂簿）　第六號樣式

年月日	摘要	單位（々何）（々何）	殘 計	殘 毀損	殘 完全	備考	部ノ受 計	部ノ受 何々	部ノ受 替繰	部ノ受 保管轉換	部ノ受 交換	部ノ受 返納	部ノ受 元受	部ノ受 戻分減買	部ノ受 高越	部ノ受 毀損	部ノ受 完全	部ノ拂 計	部ノ拂 何々	部ノ拂 保管轉換	部ノ拂 燒却	部ノ拂 贈與	部ノ拂 見本	部ノ拂 亡失	部ノ拂 繰替	部ノ拂 返納	部ノ拂 交換	部ノ拂 還付	部ノ拂 賣捌 價格	部ノ拂 賣捌 何分	部ノ拂 賣捌 定價	部ノ拂 賣捌 部局渡
																												厘銭			
																												枚	枚	枚

得チ（ト）コトルス略省チ之ヲハ在ニ局信通但シヘスル附チ計累及計ハニ簿本　一　考備

表拂受紙印類手便郵切

明治　年　月

科目 種別	部ノ受 計	部ノ受 何々	部ノ受 替繰	部ノ受 保管轉換	部ノ受 交換	部ノ受 返納	部ノ受 元受	部ノ受 戻分減買	部ノ受 高越	部ノ受 毀損	部ノ受 完全	部ノ拂 計	部ノ拂 何々	部ノ拂 保管轉換	部ノ拂 燒却	部ノ拂 贈與	部ノ拂 見本	部ノ拂 亡失	部ノ拂 繰替	部ノ拂 返納	部ノ拂 交換	部ノ拂 還付	部ノ拂 賣捌 價格	部ノ拂 賣捌 何分	部ノ拂 賣捌 定價	部ノ拂 賣捌 部局渡	殘 計	殘 毀損	殘 完全	備考
部厘錢々部厘々部形々部々計																							厘銭							
ノ手五壹何																							回錢							
計書錢何																														
皮形三計紙入																														
封角何封																														
切																														
枚枚何																														
合																														

●通信事業及事務用物品交付規程

明治三十五年四月臺灣總督府訓令第百十八號

【民政部】郵便局通信事業及事務用物品交付規程別冊ノ通相定ム但シ別冊ハ別ニ頒ツ

明治三十年十二訓令第百七十三號遞信事業及事務用物品交付規程ハ廢止ス

第一條　臺灣總督府郵便官署ノ使用ニ供スル物品ノ中別表ニ記スルモノハ現金ヲ以テ交付ス將來別表ヲ改正スルトキハ通信公報告知欄ニ揭載ス

第二條　交付物品ノ出納ハ明治三十四年（五月）訓令第百七十一號臺灣總督府物品出納規程及同年（同月）訓令第百七十二號臺灣總督府物品出納規程施行細則ニ依ル外尙此ノ規程ニ從ヒ處理スヘシ

第三條　交付物品ハ一、二等郵便局（以下單ニ一、二等局ト稱ス）ハ【民政部通信局】ヨリ、三等郵便局（以下單ニ三等局ト稱ス）ハ【民政部通信局】又ハ特ニ指定スル一、二等局ヨリ、其ノ他ノ局所ハ所屬局ヨリ之ヲ交付ス但シ別表中特殊取扱ノ用紙ハ【民政部通信局】ヨリ直接ニ各局所ニ交付ス

第四條　前條ニ依リ三等局ヘ交付スル物品特殊取扱用紙ノ取扱方ハ別ニ定ムル所ニ依ルヘシ

第四條ノ二　交付物品中定數ヲ設クル必要アルトキハ【通信局】長之ヲ定ムヘシ定數ヲ設ケタル物品ニ對シテハ事由ノ如何ヲ問ハス一、二等局ニ於テ定數ノ設定又ハ變更ノ必要ヲ認メタルトキハ第八號書式ニ依リ【通信局】長ニ申請スヘシ

第五條　一、二等局ハ每年一月ニ於テ所轄局所ノ分ト每年度所要ノ消耗品（郵便、電信及電話事業用雜品、外國郵便及爲替用式紙、爭券、帳簿並印紙ヲ除ク）ヲ豫算シ第一號書式ニ依リ調書ヲ作リ同月末日限其局ヲ差立テ【民政部通信局】ニ差出スヘシ

第六條　豫算調書ノ當用數量ハ當年度並前二箇年度ノ使用高ヲ標準トシテ算定シ其ノ數量ニ著シキ增減アルモノハ詳ニ其ノ理由ヲ說明スヘシ

第六條ノ二　豫算數ハ【通信局】長之ヲ查定シ當該局ニ通牒スヘシ

局所ノ廢設又ハ事務ノ伸縮等ニ因リ一、二等局ニ於テ豫算數變更ノ必要ヲ認メタルトキハ其ノ事由ヲ詳記シ通信局長ニ申請スヘシ

第七條　交付物品ハ一箇年度ヲ三期（第一期自六月至九月第二期自十月至翌年一月第三期自二月至五月）ニ分チ豫算數ニ基キ其ノ期間需要ノ數量ヲ查定シ前月中ニ到著ノ見込ヲ以テ【民政部通信局】ニ於テ發送スヘシ但シ需要數量ノ僅少ナル又ハ容器ノ都合ニ因リ分割交付スルヲ不便ト認ムルモノハ便宜一期間分以上ノ數量ヲ一時ニ交付スルコトヲ得

豫算數ノ定メナキ物品及特別ノ事情ニ因リ臨時交付ノ必要アルモノハ其ノ事由ヲ詳記シ第二號書式ニ依リ其ノ都度請求スヘシ

第八條　【民政部通信局】ヨリ物品ヲ發送セムトスルトキハ第三號甲號送付書ヲ豫メ當該局ニ送付シ第三號乙號送付書ヲ現品ニ添附スヘシ

第九條　一、二等局ニ於テ前條甲號送付書ヲ受ケタルトキハ豫メ受入命令ヲ調製シ置キ現品ノ到著ヲ俟チ直ニ其ノ手續ヲ執行スヘシ

第十條　現品到著シタルトキハ運搬受負人ニ依リタルモノハ運搬方法ノ如何ニ拘ラス總テ其ノ受負人若ハ代理人ヲ立會ハシメ若立會人ナキトキハ局長ノ指定シタル局員二名以上立會ノ上先ツ其ノ外裝ニ異狀ナキヤ否ヲ點檢シ之ヲ甲乙送付書ニ照合シ種別員數及毀損ノ有無ヲ取調ヘ異狀ナキモノハ卽日乙號送付書領收ノ部ニ物品會計官吏記名捺印シ民政部通信局物品會計官吏宛送付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ運搬受負人又ハ其ノ代人ヨリ領收證ヲ求ムルトキハ便宜調製交付スヘシ

第十一條　到達ノ物品毀損其ノ他ノ事故アルトキハ其ノ區別ニ從ヒ處理スヘシ

一　送付書ニ比シテ現品ノ不足アル場合ハ其ノ到達數ニ對シテ特ニ便宜ノ領收證チ作製スルト同時ニ不足數報告書チ作リ立會人ノ證印チ求メ速ニ【民政部通信局】物品會計官吏ニ宛送付スヘシ

二　毀損品又ハ不良品到達ノ場合ハ其ノ運搬受負人若ハ代理人アルモノハ之ニ保管セシメ預リ證チ徵シ若其ノ受負人又ハ代理人ナキ場合ハ其ノ儘當該局ニ保管シ毀損又ハ不良報告書チ作リ立會人ノ證印チ求メ速ニ【民政部通信局】ニ差出スヘシ但シ毀損又ハ不良品ニシテ到達地ニ於テ修理チ加フレハ使用ニ堪ユヘキ見込アルモノハ其ノ費用ヲ見積リ調書チ作リ該報告書ニ添附スヘシ

第十二條　【民政部通信局】ニ於テ前條ノ報告チ受ケタルトキハ其ノ事實チ審査シ成規ニ從ヒ相當處理スヘシ毀損修理ニ在テハ機宜ニ從ヒ直接又ハ依託修理ノ手續チ爲スヘシ

第十三條　各局ニ於テ已ニ交付チ受ケタル物品ノ修理ハ各局（三等局使用ノ物品ハ所轄局）經費チ以テ支辨スヘシ但シ郵便保護鍊及襷衿ニシテ自局所在地ニ於テ修理シ得サルモノハ現品ニ第四號書式ノ請求書チ添ヘ【民政部通信局】ヘ送付スヘシ

電氣通信及試驗用機械竝附屬器具ノ修理ニ關シテハ大正三年七月訓令第百五十九號郵便局電氣修理手續ニ依リ處理スヘシ

第十四條　前條但書ニ依リ修理中執務ニ差支チ生スル廣アルトキハ豫メ代品チ請求シ代品到達ノ上速ニ修理品チ送付スヘシ

第十五條　交付物品ノ中使用ニ堪ユルモ將來使用ノ見込ナキモノハ第五號書式ノ返納報告書チ作リ【民政部通信局】長ニ報告スヘシ

第十六條　【民政部通信局】長前條ノ報告チ受ケタルトキハ返納實却若ハ他局ヘ保管轉換等適宜ノ處理方チ通報スヘシ

第十六條ノ二　交付物品チ改造シ又ハ交付物品チ以テ他ノ物品チ生產セムトスルトキハ豫メ【通信局】長ノ承認チ受クヘシ

第十七條　既ニ交付チ受ケタル物品ニシテ甚シク毀損シ修理チ加フルモ使用ノ見込ナキモノハ臺灣總督府物品出納規程竝臺灣總督府物品出納規程施行細則中不用物品處分ノ例ニ依リ處理スヘシ

第十八條　一、二等局ニ於テハ左ノ報告表チ調製シ【通信局】長ニ差出スヘシ

一　消耗品現在數報告表　第六號書式乙　每年度一回

第十九條　臺灣總督府物品出納規程第十五條ノ計算書ハ【民政部通信局】チ經由スヘシ（書式略之）

●三等郵便局ニ對スル物品交付局指定

明治四十五年一月臺灣總督府訓令第三號

【民政部】一、二、三等局

明治三十五年四月訓令第百十八號通信事業及事務用物品交付規程第三條ニ依リ三等郵便局ニ對シ物品ノ交付チ爲スヘキ一、二等郵便局左ノ通指定ス

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之チ施行ス

一、二等局	交付區域
阿緱郵便局	【阿緱廳】管下三等郵便局
花蓮港郵便局	花蓮港廳管下三等郵便局
臺東郵便局	臺東廳管下三等郵便局

●電信取扱所交付物品ノ取扱ニ關スル件

明治四十四年六月臺灣總督府訓令第百八號

【民政部】一、二等局

電信取扱所

左ノ電信取扱所ニ於ケル交付物品ノ取扱ニ關シテハ明治三十五年四月訓令第百十八號通信事業及事務用物品交付規程第一條乃至第四條及明治三十九年十二訓令第二百十一號三等局交付物品取扱心得チ準用ス但シ交付スヘキ物品ノ種類數量ハ【通信局】長之チ制限スルコトチ得

第一條　電信電話工事用物品整理規程左ノ通相定ム

電信電話工事用物品整理規程

第一條　電信電話工事用物品ハ本令ニ依リ整理スヘシ

前項物品ノ取扱チ爲サシムル爲【民政部通信局】及電信電話技術官駐在地ニ工事用物品取扱主任チ置ク

第二條　前條ノ物品チ分チ左ノ四種トス

第一種　經常部支辨ニ屬スル物品

第一類　尋常保守用ノ器具竝材料

第二類　保守用豫備材料

第三類　修築其ノ他通信局長ノ指定スル經常部工事材料

第二種　臨時部支辨ニ屬スル物品

第三種　工事竣功後ニ於ケル第一種第三類品及第二種品ノ殘餘竝定數更正等ニ依リ過剩トナリタル第一種第一類品及第二類品

第四種　修築、改築若ハ廢線等ニ依リ撤收シタル古材料但シ再用ノ價値ナキモノヲ除ク

第三條　第一種第一類品ハ使用定數、常備定數チ、第一種第二類品ハ常備定數チ定メ豫メ適當ノ地ニ配付シ置クモノトス其ノ定數及配付地ハ【民政部通信局】長之チ定ムヘシ

第一種第三類品及第二種品ハ其ノ用途チ指定シ適宜ノ地ニ配置交付ス

第四條　第一種第一類品ハ其ノ目的ニ從ヒ任意之チ使用スヘシ

第一種第二類品ハ特ニ指定チ受ケ又ハ認可チ得タル用途ニ使用スルモノトス但シ天災事變其ノ他豫期セサル事故ニ因リ應急ノ設備チ爲スノ必要生シタルモ指示チ受クル迄ナキトキハ取扱主任限リ之チ使用スルコトチ得此ノ場合ニ於テハ拂出後十日以內ニ別記第一號樣式ニ依リ【民政部通信局】長ニ報告スヘシ

第一種第三類品及第二種品ハ指定ノ用途以外ニ使用スルコトチ得ス

第五條　電信電話線路ノ延長、短縮及電話加入者ノ增減ニ因リ第一種第一類品ノ使用定數ニ變更チ要スルトキ又ハ特種ノ事情ニ因リ一時限リ其ノ數量ノ增加チ要スルトキハ別記第二號、第三號樣式ニ依リ其ノ變更若ハ增加方チ申請スヘシ

第六條　第一種第三類品及第二種品中ノ器具及機械ハ工事竣功後別記第六號樣式甲ノ引

第二號樣式

四百磅鐵線	品名	現使用定數	改正使用定數	摘要
第一種第一類品使用報告書	位置	常備定數	使年用數度	
駐第一所部	配付地	常備定數	使年用數度	
九	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	見用增均三
				算十ノ二年
				出貫何本度
				ス及々年ノ
				テ線度采

右　明治　年　月　日

通信局長宛

工事用物品取扱主任

第二號樣式

第一種第一類品使用定數變更申請書

五四三二一

使用配使品
年月付數
日及地量名
由

第一種第二類品使用報告書

過力何地盛五百磅鐵線
怠何月何十三貫
キ何日何地間中及
ニ依事ニ電
リ中ニ雷
何必要信
月要テ風
何ルノ暴
日使怠
用シ工
物ヲ事
品ヲ用
取ノ
扱ニ
主テ
任雷
信
線
不
通
ヲ
以
テ
指
示
ス
ル
チ
ノ

備考

通信局長宛

創除

加増ス

第四號樣式

五四三二一

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第五號樣式

五四三二一

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年告　月ス　日

通信局長宛

第六號樣式

五四三二一

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

證渡引換機具器（甲）

右及引渡候也	摘要	數量	品名	第　號
何電信電話技術管	何番へ新加入者何番、設備ノ分	箇	デルビル電話機	年　月　日

氏名　印

引渡	摘要	數量	品名	第　號
年　月　日局	何番へ新加入者何番、設備ノ分	箇	デルビル電話機	年　月　日

保存

出納保常年證月日提　年　月　日

備付局所　何

右保管ス

證管保械機具器（乙）

出納局所	摘要	數量	品名	第　號
郵便局長	何番へ新加入者何番、設備ノ分	箇	デルビル電話機	年　月　日

氏名　印

第十一條　政部通信局長ノ指定ニ依リ取扱フヘシ

本令ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十條　通信局長ニ報告スヘキ事項ハ一般物品ノ例ニ依リ處分ヲ要スルモノト雖モ其ノ報告ノ方法ニ關シ特ニ指定スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第九條　物品ノ取扱主任ノ保管ニ係ル物品ニシテ左ノ場合ニ該當スルモノハ遲滯ナク都度之ヲ報告スヘシ

一　亡失毀損シタルトキ

二　受入ハ一類品ノ受拂並ニ種別ヲ異ニスル物品ヲ受入レタルトキ

三　分任ノ取扱主任ヲ變更シタルトキ

四　本令ニ依リ取扱フヘキ物品ヲ新ニ受入レタルトキ

五　其ノ他物品ニ關シ特ニ報告スヘキ事由アルトキ

第十條　通信局長ニ報告スヘキ事項ハ一般物品ノ例ニ依リ處分ヲ要スルモノト雖モ其ノ報告ノ方法ニ關シ特ニ指定スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第八條　通信局長ノ指定ニ依リ處理スヘキ事項ハ一般物品ノ例ニ依リ處分ヲ要スルモノト雖モ其ノ報告ノ方法ニ關シ特ニ指定スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七條　物品ノ取扱主任ハ自局ニ於テ修理シ得ヘキモノト雖モ其ノ修理ニ關シ特ニ指定スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第六條　物品ノ取扱主任ハ自局ニ於テ修理シ得ヘキモノト雖モ其ノ修理ニ關シ特ニ指定スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第五條　物品ノ取扱主任ハ自局ニ於テ修理シ得ヘキモノト雖モ其ノ修理ニ關シ特ニ指定スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第四條　物品ノ取扱主任ハ自局ニ於テ修理シ得ヘキモノト雖モ其ノ修理ニ關シ特ニ指定スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第三條　物品ノ取扱主任ハ自局ニ於テ修理シ得ヘキモノト雖モ其ノ修理ニ關シ特ニ指定スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二條　物品ノ取扱主任ハ自局ニ於テ修理シ得ヘキモノト雖モ其ノ修理ニ關シ特ニ指定スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第一條　物品ノ取扱主任ハ自局ニ於テ修理シ得ヘキモノト雖モ其ノ修理ニ關シ特ニ指定スルモノハ此ノ限ニ在ラス

本令ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十一條　政部通信局長ノ指定ニ依リ取扱フヘシ

第十條　通信局長ニ報告スヘキ事項ハ一般物品ノ例ニ依リ處分ヲ要スルモノト雖モ其ノ報告ノ方法ニ關シ特ニ指定スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第九條　物品ノ取扱主任ノ保管ニ係ル物品ニシテ左ノ場合ニ該當スルモノハ遲滯ナク都度之ヲ報告スヘシ

一　亡失毀損シタルトキ

二　受入ハ一類品ノ受拂並ニ種別ヲ異ニスル物品ヲ受入レタルトキ

三　分任ノ取扱主任ヲ變更シタルトキ

四　本令ニ依リ取扱フヘキ物品ヲ新ニ受入レタルトキ

五　其ノ他物品ニ關シ特ニ報告スヘキ事由アルトキ

第十條　通信局長ニ報告スヘキ事項ハ一般物品ノ例ニ依リ處分ヲ要スルモノト雖モ其ノ報告ノ方法ニ關シ特ニ指定スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第八條　通信局長ノ指定ニ依リ處理スヘキ事項ハ一般物品ノ例ニ依リ處分ヲ要スルモノト雖モ其ノ報告ノ方法ニ關シ特ニ指定スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七條　物品ノ取扱主任ハ自局ニ於テ修理シ得ヘキモノト雖モ其ノ修理ニ關シ特ニ指定スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第六條　物品ノ取扱主任ハ自局ニ於テ修理シ得ヘキモノト雖モ其ノ修理ニ關シ特ニ指定スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第五條　物品ノ取扱主任ハ自局ニ於テ修理シ得ヘキモノト雖モ其ノ修理ニ關シ特ニ指定スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第四條　物品ノ取扱主任ハ自局ニ於テ修理シ得ヘキモノト雖モ其ノ修理ニ關シ特ニ指定スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第三條　物品ノ取扱主任ハ自局ニ於テ修理シ得ヘキモノト雖モ其ノ修理ニ關シ特ニ指定スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二條　物品ノ取扱主任ハ自局ニ於テ修理シ得ヘキモノト雖モ其ノ修理ニ關シ特ニ指定スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第一條　物品ノ取扱主任ハ自局ニ於テ修理シ得ヘキモノト雖モ其ノ修理ニ關シ特ニ指定スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二號樣式（別記）

第一號樣式

五四三二一

使用配使品
年月付數
日及地量名
由

第一種第二類品使用報告書

過力何地盛五百磅鐵線
怠何月何十三貫
キ何日何地間中及
ニ依事ニ電
リ中ニ雷
何必要信
月要テ風
何ルノ暴
日使怠
用シ工
物ヲ事
品ヲ用
取ノ
扱ニ
主テ
任雷
信
線
不
通
ヲ
以
テ
指
示
ス
ル
チ
ノ

備考

通信局長宛

創除

加増ス

第四號樣式

五四三二一

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年告　月ス　日

通信局長宛

第五號樣式

五四三二一

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第六號樣式

五四三二一

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年告　月ス　日

通信局長宛

第七號樣式

五四三二一

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第八號樣式

五四三二一

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第九號樣式

五四三二一

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第十號樣式

五四三二一

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

第三號樣式

五四三二一　備考

使用配使品
年月付數
日及地量名
由

第一種第一類品使用定數變更申請書

過力何地盛五百磅鐵線
怠何月何十三貫
キ何日何地間中及
ニ依事ニ電
リ中ニ雷
何必要信
月要テ風
何ルノ暴
日使怠
用シ工
物ヲ事
品ヲ用
取ノ
扱ニ
主テ
任雷
信
線
不
通
ヲ
以
テ
指
示
ス
ル
チ
ノ

通信局長宛

創除

加増ス

第四號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年告　月ス　日

通信局長宛

第五號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第六號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年告　月ス　日

通信局長宛

第七號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第八號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第九號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第十號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

第二號樣式（別記）

第一號樣式

五四三二一　備考

使用配使品
年月付數
日及地量名
由

第一種第一類品使用定數變更申請書

過力何地盛五百磅鐵線
怠何月何十三貫
キ何日何地間中及
ニ依事ニ電
リ中ニ雷
何必要信
月要テ風
何ルノ暴
日使怠
用シ工
物ヲ事
品ヲ用
取ノ
扱ニ
主テ
任雷
信
線
不
通
ヲ
以
テ
指
示
ス
ル
チ
ノ

通信局長宛

創除

加増ス

第四號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年告　月ス　日

通信局長宛

第五號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第六號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年告　月ス　日

通信局長宛

第七號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第八號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第九號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第十號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

第三號樣式

五四三二一　備考

使用配使品
年月付數
日及地量名
由

第一種第一類品使用定數變更申請書

過力何地盛五百磅鐵線
怠何月何十三貫
キ何日何地間中及
ニ依事ニ電
リ中ニ雷
何必要信
月要テ風
何ルノ暴
日使怠
用シ工
物ヲ事
品ヲ用
取ノ
扱ニ
主テ
任雷
信
線
不
通
ヲ
以
テ
指
示
ス
ル
チ
ノ

通信局長宛

創除

加増ス

第四號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年告　月ス　日

通信局長宛

第五號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第六號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年告　月ス　日

通信局長宛

第七號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第八號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第九號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第十號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

第二號樣式（別記）

第一號樣式

五四三二一　備考

使用配使品
年月付數
日及地量名
由

第一種第一類品使用定數變更申請書

過力何地盛五百磅鐵線
怠何月何十三貫
キ何日何地間中及
ニ依事ニ電
リ中ニ雷
何必要信
月要テ風
何ルノ暴
日使怠
用シ工
物ヲ事
品ヲ用
取ノ
扱ニ
主テ
任雷
信
線
不
通
ヲ
以
テ
指
示
ス
ル
チ
ノ

通信局長宛

創除

加増ス

第四號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年告　月ス　日

通信局長宛

第五號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第六號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年告　月ス　日

通信局長宛

第七號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第八號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第九號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第十號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

第三號樣式

五四三二一　備考

使用配使品
年月付數
日及地量名
由

第一種第一類品使用定數變更申請書

過力何地盛五百磅鐵線
怠何月何十三貫
キ何日何地間中及
ニ依事ニ電
リ中ニ雷
何必要信
月要テ風
何ルノ暴
日使怠
用シ工
物ヲ事
品ヲ用
取ノ
扱ニ
主テ
任雷
信
線
不
通
ヲ
以
テ
指
示
ス
ル
チ
ノ

通信局長宛

創除

加増ス

第四號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年告　月ス　日

通信局長宛

第五號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第六號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年告　月ス　日

通信局長宛

第七號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第八號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第九號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第十號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

第二號樣式（別記）

第一號樣式

五四三二一　備考

使用配使品
年月付數
日及地量名
由

第一種第一類品使用定數變更申請書

過力何地盛五百磅鐵線
怠何月何十三貫
キ何日何地間中及
ニ依事ニ電
リ中ニ雷
何必要信
月要テ風
何ルノ暴
日使怠
用シ工
物ヲ事
品ヲ用
取ノ
扱ニ
主テ
任雷
信
線
不
通
ヲ
以
テ
指
示
ス
ル
チ
ノ

通信局長宛

創除

加増ス

第四號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年告　月ス　日

通信局長宛

第五號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第六號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年告　月ス　日

通信局長宛

第七號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第八號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第九號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第十號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

第三號樣式

五四三二一　備考

使用配使品
年月付數
日及地量名
由

第一種第一類品使用定數變更申請書

過力何地盛五百磅鐵線
怠何月何十三貫
キ何日何地間中及
ニ依事ニ電
リ中ニ雷
何必要信
月要テ風
何ルノ暴
日使怠
用シ工
物ヲ事
品ヲ用
取ノ
扱ニ
主テ
任雷
信
線
不
通
ヲ
以
テ
指
示
ス
ル
チ
ノ

通信局長宛

創除

加増ス

第四號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年告　月ス　日

通信局長宛

第五號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第六號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年告　月ス　日

通信局長宛

第七號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第八號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第九號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第十號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

第二號樣式（別記）

第一號樣式

五四三二一　備考

使用配使品
年月付數
日及地量名
由

第一種第一類品使用定數變更申請書

過力何地盛五百磅鐵線
怠何月何十三貫
キ何日何地間中及
ニ依事ニ電
リ中ニ雷
何必要信
月要テ風
何ルノ暴
日使怠
用シ工
物ヲ事
品ヲ用
取ノ
扱ニ
主テ
任雷
信
線
不
通
ヲ
以
テ
指
示
ス
ル
チ
ノ

通信局長宛

創除

加増ス

第四號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年告　月ス　日

通信局長宛

第五號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第六號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年告　月ス　日

通信局長宛

第七號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第八號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第九號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第十號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

第三號樣式

五四三二一　備考

使用配使品
年月付數
日及地量名
由

第一種第一類品使用定數變更申請書

過力何地盛五百磅鐵線
怠何月何十三貫
キ何日何地間中及
ニ依事ニ電
リ中ニ雷
何必要信
月要テ風
何ルノ暴
日使怠
用シ工
物ヲ事
品ヲ用
取ノ
扱ニ
主テ
任雷
信
線
不
通
ヲ
以
テ
指
示
ス
ル
チ
ノ

通信局長宛

創除

加増ス

第四號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年告　月ス　日

通信局長宛

第五號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第六號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年告　月ス　日

通信局長宛

第七號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第八號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第九號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第十號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

第二號樣式（別記）

第一號樣式

五四三二一　備考

使用配使品
年月付數
日及地量名
由

第一種第一類品使用定數變更申請書

過力何地盛五百磅鐵線
怠何月何十三貫
キ何日何地間中及
ニ依事ニ電
リ中ニ雷
何必要信
月要テ風
何ルノ暴
日使怠
用シ工
物ヲ事
品ヲ用
取ノ
扱ニ
主テ
任雷
信
線
不
通
ヲ
以
テ
指
示
ス
ル
チ
ノ

通信局長宛

創除

加増ス

第四號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年告　月ス　日

通信局長宛

第五號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第六號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年告　月ス　日

通信局長宛

第七號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第八號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第九號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

右　明治　年　月　日

通信局長宛

第十號樣式

五四三二一　備考

處分ヲ要スル方法

品ノ例

（以上處分品ノ例）

自局ニ於テ修理シ得ヘキモノトテ區別記載スヘシ

修理ヲ能ハス

工事用物品取扱主任

第三號樣式

五四三二一　備考

使用配使品
年月付數
日及地量名
由

第一種第一類品使用定數變更申請書

過力何地盛五百磅鐵線
怠何月何十三貫
キ何日何地間中及
ニ依事ニ電
リ中ニ雷
何必要信
月要テ風
何ルノ暴
日使怠
用シ工
物ヲ事
品ヲ用
取ノ
扱ニ
主テ
任雷
信
線
不
通
ヲ
以
テ
指
示
ス
ル
チ
ノ

通信局

何々局電信線改築工事用材料受拂及第四種品受入報告書

品名	單位稱呼	受入 第三種及第四種品使用指定數	受入 交付數	受入 購入數	受入 計	拂出 使用數	拂出 工事中減失數	拂出 亡失毀損數	拂出 計	殘高 內課 殘高 第三種へ組入	殘高 內課 第四種へ組入	第八號樣式 備考
四六二何 百匁	鐵線貫目	100.000 40 150	50.000 50		150.000 90 150	140.000 80 100	 5		140.000 80 105	10.000 10 45	10.000 2 0	0 8 45	支線用 支柱用
第四種品へ受入レタル撤收品 四 無何	鐵柵子々	久本											
	鐵電柱			50.000 5	50.000 5					50.000 5		50.000 5	
	鐵注入	久本											
	十八尺々												

備考

一　削除

二　第四種品ヘ受入レタル撤收品ハ其ノ用途ノ見込ヲ備考ニ附記スヘシ

三　第三種品及第四種品ニ組入レタル物品ハ其ノ所在ノ地名及數量ヲ備考ニ記入スヘシ

●三等局交付物品取扱心得

明治三十九年十二月　臺灣總督府訓令第二百十一號

（沿革略ス）

一、一、一　三等局

三等局交付物品取扱心得別册ノ通相定ム但シ別册ハ別ニ之ヲ頒ツ

本令ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ四十年度ノ豫算調書ハ明治三十九年十二月末日迄ニ差出スヘシ

（別册略之）

●特別文具備付規則

明治三十年十月　臺灣總督府訓令第百二十號

【民政部】【法院】【縣】

臺灣總督府特別文具備付規則左ノ通相定ム

臺灣總督府特別文具備付規則

第一條　左ニ揭クル物品ハ特別用文具トシテ各官廳ニ備置キ事務上ノ須要ニ依リ隨時使用スルコトヲ得

文鎭　製圖用

圖引道具（コンパス）　製圖用製表用

繪具（烏口ノ類）　製圖用

鉛筆　同

ペン先　製圖用簿記用

毛筆　製圖用簿記用複寫版用摺示

字消護謨　製圖用標本等大文字認メ用ノ類

インキ　製圖用簿記用複寫版用

墨　（朱墨白）　製圖用雜令用複寫版用摺示用

（墨丁モ）

木　定（三角定木）　製圖用雜令用

（長定木丸）

（比例尺ノ類）

（尺ノ類）

尺　（朱肉ノ類）　製圖用簿記用製表用

印　官文書押捺用

肉　同

池　同

前條ノ外雜品ハ硯水入硯箱ノ類ハ會議

第二條　所應接所人民控所等ニ備付共用ト爲スコトヲ得

第三條　特別用文具ハ取扱主任者ヲ定メ實際ノ必要ヲ査覈シ交付スルモノトス

第四條　第一條第二條ニ揭クルモノノ外特別ニ備付ノ必要アルモノハ其事由ヲ具申シ認可ヲ經ヘシ

●臺灣總督府【營林局】林產物出納規程

大正二年十一月　臺灣總督府訓令第二百四十二號

【營林局】

臺灣總督府【營林局】林產物出納規程左ノ通相改ム

臺灣總督府【營林局】林產物出納規程

第一條　【營林局】林產物ノ出納ハ本令ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

第二條　本令ニ於テ林產物ト稱スルハ【營林局】ノ管理ニ屬スル林野ノ產物ニシテ丸太、柚角、板、貫、薪炭其ノ他產物ノ加工又ハ製造品竝副製品ヲ總稱ス

第三條　物品會計官吏ハ別記第一號樣式ニ依リ林產物出納簿ヲ備ヘ左ノ區分ニ依リ其ノ受拂ヲ登記スヘシ

一　受入

（イ）作業地ニ於テ伐採又ハ製作シタル木材其ノ他ノ產物ハ嘉義出張所構內ニ到達シタルトキ但シ阿里山又ハ其ノ沿道ニ於テ處分スルモノハ其ノ場所ニ到達シタルトキ

（ロ）嘉義製材工場ニ於テ又ハ嘉義製材工場ヨリ他ニ搬送シテ製作シタル製品ハ製材主任ヨリ受領シタルトキ

（ハ）保管轉換ノ場合ハ現品ヲ受領シタルトキ

二　拂出

（イ）木材ヲ製作原料トスル場合ハ其ノ製材ヲ製材主任ニ引渡シタルトキ

（ロ）保管轉換ノ場合ハ現品ヲ引渡シタルトキ

（ハ）賣拂其ノ他ノ拂出ヲ爲ス場合ハ其ノ物品ヲ買受人又ハ受取人ニ引渡シタルトキ

（ニ）亡失毀損ノ場合ハ其ノ決定アリタルトキ

第四條　林產物品ヲ物品會計官吏ニ引渡サムトスルトキハ當該主任ハ別記第二號樣式甲、乙、丙ニ依リ林產物送付券ヲ作リ現品ト共ニ乙、丙ヲ物品會計官吏ニ送付スヘシ但シ前條第一號（イ）但書ノ場合ハ現品ヲ受取タル官吏ノ領收證ヲ以テ現品ニ代フヘシ

資材ニ在リテハ前項ニ依ルノ外番號、樹種、寸法等ヲ其ノ材ニ刻入スヘシ

第五條　物品會計官吏前條ノ送付券ヲ受ケタルトキハ現品ト對照シ受領ノ上丙ハ之ヲ當該主任ニ交付スヘシ

送付券ト現品ト符合セサルトキハ直ニ別記第二號樣式丁ニ依リ調書ヲ作リ【營林局】長ノ決裁ヲ經テ林產物出納簿ニ登記スヘシ

前項ノ場合ニ於テ當該主任ニ交付スヘキ領收證ニハ其ノ欄外ニ不突合ノ點ヲ朱書シ何月何日受入認可ト附記スヘシ

第六條　製材主任資材ノ必要ヲ生シタルトキハ別記第三號樣式甲、乙、丙ニ依リ資材請求券ヲ作リ乙ヲ以テ物品會計官吏ニ請求シ其ノ交付ヲ受ケタルトキハ丙ヲ差出スヘシ

第七條　製材主任ハ製品ニ記號、材種、品種、品等ヲ明白ニ表示シ別記第四號樣式（イ）又ハ（ロ）ニ依リ甲、乙、丙ヲ作リ、乙、丙ハ現品ト共ニ物品會計官吏ニ引渡スヘシ

第八條　物品賣却ノ場合ハ販賣主任ハ別記第五號樣式甲、乙ニ依リ販賣品引渡通知書ヲ作リ乙ヲ物品會計官吏ニ廻付シ物品會計官吏ハ之ニ依リ買受人又ハ受取人ニ現品ヲ引渡シ受領印ヲ徵スヘシ

第九條　物品會計官吏其ノ保管ニ屬スル物品ヲ他ノ物品會計官吏ノ保管ニ移サムトスルトキハ別記第六號樣式甲、乙、丙ニ依リ保管轉換引繼書ヲ作リ甲ニ依リ出納命令官ノ決裁ヲ受ケ乙ヲ以テ他ノ物品會計官吏ニ引繼ヲ爲シ丙ノ領收證ヲ徵スヘシ

第十條　物品會計官吏其ノ保管ニ係ル物品ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ直ニ別記第七號樣式甲、乙ニ依リ調書ヲ作リ乙ニ事由書ヲ添ヘ【營林局】長ニ報告スヘシ但シ水火盜難ニ罹リ亡失又ハ毀損シタルトキハ別ニ定ムル所ニ依リ處理スヘシ

第十一條　物品會計官吏ハ林產物出納簿ノ外必要ニ應シ適宜補助簿ヲ設クルコトヲ得

第十二條　製材主任ハ物品受拂ヲ明ニスル爲適宜ノ帳簿ヲ設ケ詳細ニ資材ト製品トノ關係ヲ登記スヘシ其ノ帳簿樣式ハ直ニ之ヲ【營林局】長ニ報告スヘシ

第十三條　伐木其ノ他林產物關係主任ハ適宜ノ帳簿ヲ設ケ其ノ取扱物品ノ受拂ヲ登記スヘシ其ノ帳簿樣式ハ直ニ之ヲ【營林局】長ニ報告スヘシ

第十四條　製材主任又ハ伐木其ノ他林產物關係主任其ノ保管ニ屬スル物品ヲ故意若ハ怠惰ニ因リ亡失毀損シタルトキハ【營林局】長ハ之ニ對スル辨償ヲ命スヘシ

第十五條　前條ノ主任者以外ノ者ト雖故意若ハ怠惰ニ因リ物品ヲ亡失毀損シタルトキ亦前條ニ同シ

第十六條　物品會計官吏ハ既ニ交付シタル物品ト雖取締上ニ關シテハ總テ監督ノ責ヲ有ス

第十七條　【營林局】長ハ每年二回以上物品會計官吏、製材主任及伐木其ノ他林產物關係主任ノ帳簿及現品ヲ檢査シ其ノ結果ヲ臺灣總督ニ報告スヘシ

第十八條　林產物品ノ名稱、單位ノ稱呼竝材積算出法及受入單價ハ【營林局】長之ヲ定ムヘシ

第十九條　本令ニ規定セサル事項ハ臺灣總督府物品出納規程及臺灣總督府物品出納規程施行細則ニ依ル

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

簿　納　出

本　（位單）

品名	備考	格價 總價格	格價 單價	部ノ在現 積材	部ノ在現 數量	部ノ 雜 積材	部ノ 雜 數量	部ノ 與贈 積材	部ノ 與贈 數量	部ノ 換轉管保 積材	部ノ 換轉管保 數量	部ノ 損毀失亡 積材	部ノ 損毀失亡 數量	部ノ 拂 積材
	記載例 一　口座ハ止ムヲ得サルモノノ外材種、樹種、材積、單位、品等ニ依リ記載スヘシ 二　價格ハ出納ヲ爲ス每ニ記載ヲ要セス裏却、亡失、毀損及累計ヲ爲シタル場合竝必要ト認メタル場合ニ記載スレハ足ル													

照不突合調書

大正　年　月　日　　送券主任官氏名

對照現品								
材種	樹種	番號	寸法 長	寸法 幅	寸法 厚	品等	材積	

然哉

取扱者

丙

林産物領收證

現品屬先

送第　號　貨車　號　　大正　年　月　日

材種	樹種	番號	寸法 長	寸法 幅	寸法 厚	品等	材積 尺〆

上記之通ニ領收候也

領收者官姓名物品會計官吏　　發送主任官姓名

第三號樣式　甲

資材請求原票

長

製材主任

請求第　號　請求　年　月　日

番號	材種	樹種	品等	寸法 長	寸法 幅	寸法 厚	材積 尺〆

領受　大正　年　月　日

丁

送券現品對

現品屬先

送第　號　貨車　號

送券記入 材種	樹種	番號	寸法 長	寸法 幅	寸法 厚	品等	材積 尺〆

上記之通送付券ニ相違アルヲ認メ候條現品ニ據リ受入可

物品會計官吏　　長

第一號樣式（別記）

林産物

（材種）　端切材　　（樹種）　込

年月日	摘要	受ノ部 越高 數量	受ノ部 越高 材積	受ノ部 生産 數量	受ノ部 生産 材積	受ノ部 保管轉換 數量	受ノ部 保管轉換 材積	受ノ部 雜 數量	受ノ部 雜 材積	排 生産ノ爲 數量	排 生産ノ爲 材積	排 賣 數量

乙

命令官　受入命令　月　日第　號　物品會計官吏

現品屬先　林産物送付券　出納簿登記

送第　號　貨車　號　　大正　年　月　日

材種	樹種	番號	寸法 長	寸法 幅	寸法 厚	品等	材積 尺〆	記事

上記之通送付候條御査收相成度候也

領收者官姓名物品會計官吏　　發送主任官姓名

第二號樣式　甲

林産物送付券單票

現品屬先

送第　號　貨車　號　　大正　年　月　日

材種	樹種	番號	寸法 長	寸法 幅	寸法 厚	品等	材積 尺〆

（材種ト小丸太又ハ角材等）

大正　年　月　日領收證到著

領收者官姓名物品會計官吏　　發送主任官姓名

(イ)
乙

命令官　　受入命令　月　日　　物品會計官吏

製品引渡書　　出納簿登記

引渡第　號　　大正　年　月　日　　長

(材種)　　(樹種)　　製材主任

品種	品等	寸法												合計	
		束數	坪數	束數	坪數	束數	坪數	束數	坪數	束數	坪數	束數	坪數	束數	坪數

(イ)
丙

製品領收證　　大正　年　月　日

引渡第　號　　大正　年　月　日　　物品會計官吏

(材種)　　(樹種)

品種	品等	寸法												合計	
		束數	坪數	束數	坪數	束數	坪數	束數	坪數	束數	坪數	束數	坪數	束數	坪數

丙

資材領收證

命令官　長　物品會計官吏

命令號　製材主任　出納簿記帳

受領第號　受領年月日　引渡月日第號

番號	材種	樹種	品等	寸法 長	寸法 幅	寸法 厚	材積 尺〆	記事

乙

資材請求券

命令官　長　物品會計官吏

命令號　製材主任　出納簿記帳

請求第號　請求年月日　引渡月日第號

番號	材種	樹種	品等	寸法 長	寸法 幅	寸法 厚	材積 尺〆	記事

第四號樣式

(イ)
甲

製品引渡書原票

引渡第　號　　引渡　年　月　日　　長

(材種)四分板　　(樹種)　扁柏　　製材主任

品種	品等	寸法												合計	
		束數	坪數	束數	坪數	束數	坪數	束數	坪數	束數	坪數	束數	坪數	束數	坪數
柾目	無節														
杢目	同														
板目	小節														

備考　坪數單位ト スルモノハ本樣式ニ依ルヘシ

（ロ）丙

大正　年　月　日

製品領收書

物品會計官吏

引渡第　號　　大正　年　月　日

材種　　樹種

品種	品等	寸法 長	幅	厚	束數	一束ノ本數	總本數	材積 尺〆		記事

第五號樣式　甲

販賣品引渡通知書原票

掛長

引渡事由

代金（又ハ擔保品）納付濟　年　月　日　　販賣主任

引渡請求　年　月　日第　號　　掛員

受取人氏名	
住所	
引渡場所	
引渡期限	年　月　日

材種	品種	品等	寸法 長	幅	厚	員數	材積 尺〆		價格 單價	代價

（ロ）甲

製品引渡書原票

引渡第　號　　大正　年　月　日　　長

材種　　樹種　　製材主任

品種	品等	寸法 長	幅	厚	束數	一束ノ本數	總本數	材積 尺〆		記事

備考　材積ヲ單位トスルモノハ本樣式ニ依ルヘシ

（ロ）乙

命令官　　受入命令　月　日第　號　　物品會計官吏

製品引渡書　　出納簿登記

引渡第　號　　大正　年　月　日　　長

材種　　樹種　　製材主任

品種	品等	寸法 長	幅	厚	束數	一束ノ本數	總本數	材積 尺〆		記事

乙

保管轉換引繼書

送達地

第　　號　　事由　　運送方法

材種	品種	品等	寸法 長	寸法 幅	寸法 厚	員數	材積	價格 單價	價格 代價
							尺〆		

上記之通保管轉換トシテ及引繼候也

大正　年　月　日　　物品會計官吏

物品會計官吏　　殿

乙

命令官　　命令號　　販賣品引渡通知書

所長

物品會計官吏　　引渡事由　　販賣主任

出納簿記帳　　代金(又ハ擔保品)納付濟　年　月　日

大正　年　月　日　　引渡請求　年　月　日第　號　　掛員

受取人氏名	
住所	
引渡場所	
引渡期限	年　月　日

材種	品種	品等	寸法 長	寸法 幅	寸法 厚	員數	材積	價格 單價	價格 代價
							尺〆		

上記之物品正ニ領收候也

大正　年　月　日　　住所

買受人

丙

保管轉換物品領收證

送達地

第　　號　　事由　　運送方法

材種	品種	品等	寸法 長	寸法 幅	寸法 厚	員數	材積	價格 單價	價格 代價
							尺〆		

上記之通保管轉換相成正ニ領收候也

大正　年　月　日　　物品會計官吏

物品會計官吏　　殿

第六號樣式　甲

命令官　　保管轉換命令原票　　年　月　日第　號　　物品會計官吏

引繼場所　　事由　　出納簿記帳

領收者官氏名　　保管引繼第　號

引繼期限　年　月　日　　運送方法　　引繼濟　年　月　日

材種	品種	品等	寸法 長	寸法 幅	寸法 厚	員數	材積	價格 單價	價格 代價
							尺〆		

甲第七號樣式

亡失又ハ毀損品調書原票

第　　號

受入 年月日	受入 番號	經過時期	理由	材種	寸法 厚	寸法 幅	寸法 長	樹種	品種	等品	數量 積材	數量 坪	數量 本	單價	代價

上記之理由相違無之ニ付證ス

大正　年　月　日

長　　取扱擔當者

乙

命令官

長

第　　號

拂出命令　年　月　日第　號

亡失又ハ毀損品調書

物品會計官吏

出納簿記帳

大正　年　月　日記帳

受入 年月日	受入 番號	經過時期	理由	材種	寸法 厚	寸法 幅	寸法 長	樹種	品種	等品	數量 積材	數量 坪	數量 本	單價	代價

上記之通相違無之ニ付證ス

物品會計官吏　　長　　取扱擔當者

第三款　豫算

◉歲入歲出豫算概定順序

明治二十二年三月二十七日
閣令第十二號

改正　明治二六年第二號

第一條　歲入歲出豫算概定順序

歲入歲出豫算概定順序

各官廳

第一條　歲入ノ事務管理廳ハ毎年度歲入概算書ヲ調製シ前年度五月三十一日マテニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二條　歲入概算書ハ經常ト臨時トニ大別シ更ニ之ヲ款項目ニ區分シ前年度ニ比シ增減ノ理由ヲ說明スヘシ

第三條　各省大臣ハ毎年度歲出概算書ヲ調製シ前年度五月三十一日マテニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四條　歲出概算書ハ各省ノ所管經費ヲ經常ト臨時トニ大別シ更ニ之ヲ款項ニ區分シ前年度ノ豫算ニ比シ增減ノ理由ヲ說明スヘシ

第五條　大藏大臣ハ各廳ノ歲入概算書及歲出概算書ヲ檢案シ歲入出ヲ對照調理シ歲入出總概算書ヲ調製シ前年度六月三十日マテニ之ヲ閣議ニ提出スヘシ

第六條　歲入出總概算書ハ歲入出共ニ經常ト臨時トニ大別シ更ニ之ヲ款項ニ區分シ前年度ニ比シ增減ノ理由ヲ說明スヘシ

第七條　內閣ニ於テハ前年度七月十五日マテニ歲入出總概算書ヲ決定スヘシ

第八條　各省大臣ハ內閣ニ於テ決定シタル各省所管經費每項ノ概算額以內ニ於テ節約ヲ旨トシ每年度ノ各省豫定經費要求書ヲ調製シ前年度八月三十一日マテニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第九條　歲入概算書及歲出概算書ノ樣式ハ大藏大臣之ヲ定ムヘシ

第十條　明治二十三年度豫算ニ限リ前各條ノ期限ヲ一箇月間延スコトヲ得

明治二十二年四月二日
大藏省訓令第二十一號

改正　明治二三年第三號

府縣

本年三月閣令第十二號歲入歲出概算順序定メラレ候ニ付歲入概算書樣式別冊ノ通相定候條左ノ期限ニ依リ調製送付スヘシ

但樣式ハ別ニ之ヲ頒ツ（樣式略ス）

一第一款租稅（稅目區畫ノ概算書ハ前々年度二月二十八日迄ニ當省ヘ送付スヘシ

但二十三年度ニ限リ四月二十日迄ニ送付スヘシ

一第二款以下其他ノ歲入概算書ハ前々年度三月三十一日限

但二十三年度ニ限リ四月三十日迄ニ送付スヘシ

◉豫定經費算出方ノ件

明治二十二年六月十一日
內務省訓令第二十五號

警視廳　府縣【集治監假留監】

豫定經費算出方ノ儀者本年六月閣令第十九號算出概則ノ通心得ヘシ

◉災害費豫算取扱手續

明治三十九年八月
臺灣總督府訓令第百五十八號

【民政部】【法院】【廳】

【所屬民政各官廳】

災害費豫算取扱手續左ノ通相定ム

災害費豫算取扱手續

第一條　豫定經費算出概則

豫定經費算出概則

第一條　經費ヲ算出スルニハ其必要ヲ生スル法律命令契約其他經費ヲ請求スル確實ノ理由ヲ示スヘシ

第二條　經費中其給與ニ屬スルモノハ一人當リノ給額ヨリ積算シ又其物件ニ屬スルモノハ一箇當リノ費用ヨリ積算スヘシ

第三條　一人當リノ給額ヲ算出スルニハ規定ノ給額アルモノハ其規定ノ額ヲ基トシ又規定ノ給額ナキモノハ各其據ル所ヲ示スヘシ

第四條　一箇當リノ費用ヲ算出スルニハ規定ノ價格アルモノハ其價額ヲ基トシ又規定ノ價格ナキモノハ時々ノ相場ニ據リ其據ル所ヲ示スヘシ

第五條　給與ニ屬スル經費ヲ積算スルニハ員アルモノハ定員ヲ限度トシ定員ナキモノハ前年度四月一日ノ現員ヲ標準トスヘシ但事務ノ繁閑ニ隨ヒ臨時傭入及解傭ヲナスヘキ人員ハ前々年度以前三箇年度ノ人員ノ平均ヲ標準トスヘシ

第六條　物件ニ屬スル經費ヲ積算スルニハ定ノ箇數アルモノハ規定ノ箇數ヲ限度トシ規定ノ箇數ナキモノハ前々年度以前三箇年度間ニ實際使用ニ供シタル箇數ノ平均ヲ標準トスヘシ

第七條　國債償還ノ金額（定期アルモノヲ除ク）ハ財政ノ都合ニ依リ其利子及手數料ノ定規ニ據リ之ヲ豫算スヘシ

第八條　常例ノ旅行ニ屬スル旅費ハ各用務每ニ人員、旅費等級、里程及滯在日數ヲ概定シテ豫算スヘシ

第九條　法律命令契約ニ據リ支出スヘキ總金額ノ定リタルモノハ其總金額ヲ以テ豫算額トスヘシ

第十條　前各條ニ據ルヘカラサル經費ハ最モ適實ノ方法ヲ以テ豫算シ其計算ノ基ク所ヲ示スヘシ

（別記）

第一號樣式

災害復舊費見込額報告書

一金　　總見込額

內金

區別	箇所數	復舊見込額	摘要
本廳			
廳舍	何箇所	、、、、	
官舍	同	、、、、	
何々（支廳）		、、、、	
、、		、、、、	
、、		、、、、	
、、		、、、、	

土木費

第一條　風水震災等ニ因リ道路橋梁及各官所屬建設物ノ損害復舊工事ニ要スル經費ハ此ノ手續ニ依リ要求スヘシ但シ經常費ヲ以テ支辨シ得ヘキ修繕費ハ此ノ限ニ在ラス

第二條　前條ノ經費ハ被害後十日以內ニ別記第一號樣式ニ依リ災害復舊見込額ヲ報告シ十五日以內ニ第二號樣式ニ依リ災害費豫算要求書ヲ提出スヘシ

第三條　前條ノ報告書及要求書ハ其ノ被害物件ノ費途所屬臺帳ニ依リ國庫ト地方稅トニ區分シ各別ニ之ヲ調製スヘシ

第四條　被害物件ニシテ應急工事ヲ施スニアラサレハ其ノ被害程度ヲ增大スルカ又ハ倒潰危險ノ虞アルモノハ前條ノ手續ニ依ラス一時危險又ハ損害防禦ノ工事ヲ施行シ總督ノ承認ヲ受クヘシ

第五條　災害費豫算ハ仕拂計算書（地方稅ニ在リテハ豫算配賦表）ニ於テ指定スル目的以外ノ事業ニ使用スルコトヲ得ス但シ其ノ目的ヲ遂行シ剩餘ヲ生シタル場合ニ於テハ豫メ總督ノ認可ヲ經他ノ指定事業ニ流用スルコトヲ得

一金 内金 内訳 災害費豫算要求書

第二號樣式

年 月 日

總督 閣下

右之通及報告候也

（種類ヲ異ニスル毎ニ取調拘記スベシ以下同シ）

區別	何々間路線	道路	橋梁	啼同	何箇所數	復舊見込額	摘要
筒所數		何箇所	同	同			
復舊見込額		〃	〃	〃			
摘要		〃	〃	〃			

一金 内金 内訳

區別	本廳	事務所	廳長官舍	何々支廳	計	何々道	路線名	所在地點	種類	被害箇所	被害程度	復舊方法	數量	單價	金額	摘要
被害箇所	廳舍	屋根	下金	所々					橋道路	缺壞	流失	新架				
被害程度	廳長官舍	屋根	下金	所々					橋梁	流失	新架					
復舊方法	廳舍	屋根	下金	所々					道路	缺壞	流失	新架				
數量	廳舍	屋根	下金	所々					種類	被害程度	復舊方法	數量	單價	金額	摘要	
單價	廳舍	屋根	下金	所々					所在地點							
金額	廳舍	屋根	下金	所々					路線名							
摘要	廳舍	屋根	下金	所々					何々道							

土木 費 督 繕 費 小 計 工 費 督 繕 費 小 計

一金何千何百何十何圓何十何錢也

内訳 此工費

名稱	品種	長	幅厚	數量	單位	單價	金額	仕樣摘要
計								
、、石工								
、、、								
、、、								
、、、

契約ニ關スル委任事項

契約ニ關スル一般競爭加入資格ニ關スル件

第一條 契約ニ關スル一般競爭ニ加入セントスル者ハ左ノ資格ヲ具ヘサルヘカラス

一 成年ニ達シタル者

二 禁治産者又ハ準禁治産者ニアラサル者

三 破産ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得サル者

四 官吏ニ在リテハ懲戒ノ處分ニ依リ免職又ハ停職ノ處分ヲ受ケ其ノ期間ヲ經過セサル者

五 禁錮以上ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

六 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

七 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

八 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

九 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

十 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

十一 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

十二 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

十三 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

十四 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

十五 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

十六 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

十七 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

十八 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

十九 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

二十 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

二十一 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

二十二 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

二十三 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

二十四 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

二十五 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

二十六 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

二十七 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

二十八 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

二十九 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

三十 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

三十一 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

三十二 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

三十三 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

三十四 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

三十五 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

三十六 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

三十七 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

三十八 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

三十九 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

四十 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

四十一 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

四十二 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

四十三 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

四十四 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

四十五 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

四十六 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

四十七 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

四十八 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

四十九 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

五十 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

五十一 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

五十二 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

五十三 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

五十四 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

五十五 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

五十六 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

五十七 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

五十八 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

五十九 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

六十 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

六十一 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

六十二 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

六十三 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

六十四 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

六十五 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

六十六 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

六十七 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

六十八 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

六十九 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

七十 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

七十一 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

七十二 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

七十三 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

七十四 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

七十五 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

七十六 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

七十七 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

七十八 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

七十九 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

八十 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

八十一 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

八十二 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

八十三 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

八十四 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

八十五 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

八十六 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

八十七 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

八十八 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

八十九 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

九十 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

九十一 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

九十二 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

九十三 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

九十四 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

九十五 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

九十六 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

九十七 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

九十八 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

九十九 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百一 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百二 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百三 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百四 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百五 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百六 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百七 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百八 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百九 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百十 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百十一 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百十二 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百十三 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百十四 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百十五 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百十六 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百十七 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百十八 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百十九 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百二十 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百二十一 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百二十二 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百二十三 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百二十四 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百二十五 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百二十六 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百二十七 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百二十八 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百二十九 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百三十 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百三十一 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百三十二 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百三十三 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百三十四 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百三十五 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百三十六 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百三十七 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百三十八 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百三十九 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百四十 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百四十一 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百四十二 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百四十三 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百四十四 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百四十五 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百四十六 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百四十七 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百四十八 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百四十九 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

百五十 陸軍刑法第一條ニ掲ケタル罪ニ依リ陸軍刑法ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル後三年ヲ經過セサル者

入札人ヲシテ自ラ其員額ヲ檢セシメ之ヲ封書トシテ差出サシムヘシ

主任官吏ハ前項ノ封金ヲ受領シ領收證書ヲ當該入札人ニ交付スヘシ

第七條　本則第二條及第六條ノ手續ヲ了リタルモノニアラサレハ入札ヲ許スヘカラス

入札代理者ナルトキハ委任狀ヲ差出サシメ入札ヲ許スヘシ

第八條　入札書ハ入札人ヲシテ自ラ入札函ニ投入セシムヘシ

第九條　入札時刻ヲ過ルトキハ入札ヲ許スヘカラス

第十條　主任官吏ハ入札人ノ面前ニ於テ入札函ヲ開キ入札書ヲ取出シ之ヲ開封シテ金額入名ヲ朗讀シ最後ニ豫定價格ヲ開封シテ落札者ヲ決定スヘシ

第十一條　入札書ニ記載シタル金額ニ誤記アリタルトキハ訂正ヲ許スヘカラス但單ニ內譯金額ノ誤記ニ止ルモノハ此限ニアラス

第十二條　誤字、脫字又ハ汚染、塗抹、毀損等ニ依リ金額又ハ人名ノ認知シ難キ入札ハ無效トス

第十三條　落札者決定シタルトキハ直ニ自餘ノ入札人ニ入札保證金ヲ還付シ前ニ交付シタル領收證書ヲ取戻スヘシ

落札者ノ入札保證金ハ落札者契約保證金ヲ差出シタル後還付スヘシ

第十四條　開札ノ上各入札悉ク豫定價格ノ制限ニ達セサルトキハ會計規則【第七十七條】ニ依リ直ニ再度ノ入札ヲ擧行スルコトヲ得

前項ノ場合ニ在テハ更ニ本則第十條ノ手續ヲ爲スヘシ

第十五條　再度入札ヲ擧行セス若ハ之ヲ擧行スト雖入札ヲ爲スモノナク又ハ再度ノ入札悉ク豫定價格ノ制限ニ達セサルトキハ主任官吏ハ當日ノ競爭成立セサル旨ヲ宣言シ入札保證金ヲ還付シテ入札場ヲ閉ツヘシ

第十六條　本則第五條ニ依リ縱覽セシムヘキ入札人心得書ハ左ノ事項ヲ要件トシ適宜規定スヘシ

一　入札人ハ入札人心得書ノ要領ヲ遵守シ主任官吏ノ指揮ニ從ヒ入札ヲ爲シ又ハ契約締結ノ手續ヲ爲スヘキコト

二　入札人ハ入札前縱覽面、說明書、設計書、仕樣書、見本、現品、契約書案等ヲ熟覽スヘキコト

三　契約保證金額又ハ其算定ノ標準

四　入札又ハ契約保證金ハ現金又ハ公債證書ヲ以テ納ムヘキコト竝公債證書ノ價格ハ官廳ノ指定ニ依ルヘキコト

五　本則第二條及第六條乃至第十五條ノ要領

六　會計規則【第七十一條第七十六條第二項及第七十八條】ノ要領

七　第三章　契約

第十七條　契約書ハ落札者決定シタル後契約書案ニ依リ調製シ工事ノ名稱若ハ品目數量單價及落札ニ依リ定マリタル契約金額ヲ明記シ契約擔任者及對手人記名調印ノ上縱覽面仕樣書類ト共ニ各一通ヲ交換シ置クモノトス

第十八條　契約書、縱覽面、設計書、仕樣書其他契約ニ關スル書類中文字ノ訂正刪除又ハ追加ヲ要スルコトアルトキハ朱書ヲ以テ之ヲ爲シ其部分ニ雙方調印シ欄外上部ニ其訂正刪除又ハ追加ヲ爲シタル旨ヲ明記シ雙方調印スヘシ

第十九條　契約書案ハ概ネ左ノ事項ヲ基準トシ適宜補修加除シテ豫メ定メ置キ本則第五條ニ依リ縱覽セシムヘシ

一　設計仕樣

二　落成期限受渡期限及受渡場所

三　對手人ヨリ官廳ニ對シ契約保證金ヲ差出置クコト

四　契約金額受拂ノ期日

五　契約一部變更ヲ要スル事項ヲ生シ之カ爲契約金額ニ異動ヲ生スヘキトキハ雙方協議ノ上之ヲ定メ協議調ハサルトキハ雙方官廳ニ於テ指定シタル評定人ヲ選定シテ評定セシムヘキコト

工事又ハ物件供給ノ場合ニ於テ竣功又ハ調達了シタルトキハ對手人ノ申出ニ依リ監督官吏ニ於テ檢查ヲ遂ケタル上之ヲ受領スヘキコト

第二十條　前項ニ依リ檢查ヲナシタル上契約ノ要件ニ相違スルモノアルトキハ改正ヲ命スヘキコト

工事施行中又ハ物品調達中官廳ニ於テ契約ノ要件ニ相違スル雇ヲ認メタルトキハ何時タリトモ改正ヲ命シタルトキハ對手人其命ニ從ハサルトキハ官廳ハ對手人ニ告知シ其契約ヲ解除スヘキコト

對手人天災其他避ク可カラサル事故ナクシテ落成期限受渡期限內ニ義務ヲ完了セサルトキハ官廳ハ對手人ニ告知シ其契約ヲ解除スヘキコト

第二十一條　第九項及第十項ニ依リ契約ヲ解除シタルトキハ契約保證金ヲ對手人ニ還付セサルコト

第二十二條　第十項ノ場合ニ在テハ官廳ノ都合ニ依リ契約ヲ解除セシテ延滯償金ヲ徵シ若ハ契約金額ヲ減シ其契約ヲ持續スルコトアルヘキコト竝其償金額又ハ減スヘキ金額

第二十三條　第九項及第十項ニ依リ契約ヲ解除シタルトキハ雖官廳ノ都合ニ依リ相當ト認ムル代金ヲ交付シテ工事ノ既成部分又ハ物品ノ既納部分ヲ引渡サシムルコトアルヘキコト

第二十四條　契約保證金ハ契約金額受渡期日ニ於テ還付スヘキコト

●政府ニ於テ物品ノ販賣ヲ間屋業者ニ委託スルコトヲ得ル場合ニ關スル件

大正十二年六月七日
勅令第二百九十九號

政府ニ於テ物品ノ販賣ヲ間屋業者ニ委託スルコトヲ得ル場合ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

政府ニ於テ物品ノ販賣ヲ間屋業者ニ委託スルコトヲ得ル場合ニ關スル件

第一條　政府ニ於テ物品ノ販賣ヲ間屋業者ニ委託スルコトヲ得ル場合ハ左ノ場合ニ限リ間屋業者ニ其ノ販賣ヲ委託スルコトヲ得

一　輸出ノ目的ヲ以テ物品ヲ販賣スルトキ

二　專賣品又ハ其ノ副產物ヲ販賣スルトキ

三　林產物又ハ鑛產物ヲ販賣スルトキ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正二年勅令第二百八十號ハ之ヲ廢止ス

●官廳ニ於テ印刷局製造ノ物件買入ニ關スル件

明治四十年三月二日
法律第五號

股帝國議會ノ協贊ヲ經タル官廳ニ於テ印刷局製造ノ物件買入ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

官廳ニ於テ印刷局製造ノ物件ヲ買入ルル場合ニ於テハ前金拂ヲ爲スコトヲ得

●臺灣總督府【營林局】林產物製品賣拂ニ關スル件

大正三年八月二十三日
臺灣總督府令第五十號

改正　大正四年第四三號

臺灣總督府【營林局】林產物ノ製品ノ賣拂ニ關シテハ明治三十五年三月府令第二十號官有森林原野產物賣渡及官有森林原野貸渡極印規則ヲ準用ス

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●臺灣總督府【營林局】殖林地域內ニ於ケル林產物ノ賣下ニ關スル件

大正六年十二月三十一日
臺灣總督府令第七十三號

改正　大正八年第一三三號

臺灣官有森林原野及產物特別處分令ニ依ル臺灣總督府【營林局】殖林地、同附屬林業試驗場竝試驗地域內ニ於ケル林產物（樟木、芳樟木及樟腦製造用ニ供スル木竹ヲ除ク）ノ賣下ニ關シテハ【營林局】長ヲシテ之ヲ取扱ハシム

前項ノ規定ニ依ル林產物賣下願書ハ直接【營林局】長ニ差出スヘシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●政府ヨリ貸拂ノ代金ノ延納ニ關スル件

大正二年勅令第二〇號、一四年第七號

改正　大正一二年第二一二號

政府ヨリ貸拂ノ代金ノ延納ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

政府ニ於テ物件ヲ賣拂フトキハ擔保トシテ國債ヲ提供セシメ代金ノ延納ヲ許スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ擔保ノ必要ナシト認ムルトキハ特ニ擔保ノ提供ヲ免除スルコトヲ得

延納ヲ許スコトヲ得ル場合、延納期間及擔保ヲ免除スルコトヲ得ル場合ニ關シテハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム但シ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、關東州ニ在リテハ關東長官、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官ノ所管大臣ヲ經由シ大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム

附　則

本令ハ大正十年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

左ノ勅令ハ之ヲ廢止ス

明治三十五年勅令第二百十一號

明治三十五年勅令第二百十一號

明治四十年勅令第二百六十五號

明治四十一年勅令第二百六十九號

明治四十二年勅令第二百五號

明治四十二年勅令第二百十八號

明治四十二年勅令第三百十八號

明治四十三年勅令第十一號

明治四十三年勅令第二百四號

明治四十四年勅令第二百二十一號

大正二年勅令第二百八十二號

大正五年勅令第百九十四號

本令施行前提供シタル國債以外ノ擔保ハ本令施行ノ日ヨリ五年ヲ限リ本令ノ規定ニ拘ラス仍其ノ效力ヲ有ス

●物件賣拂代金延納ニ關スル件

大正十年十月一日
臺灣總督府令第五十五號

改正　大正一一年第一四三號

物件賣拂代金延納ニ關スル件左ノ通相定ム

物件賣拂代金延納ニ關スル件

第一條　大正十年勅令第三百七十四號ニ依リ延納ヲ許可スルハ左ノ物件賣拂代金ニシテ一時ニ納付スルコト能ハサル場合ニ限ル

一　樟腦、樟腦油、食鹽、煙草、阿片、煙膏及酒

二　國有林野產物及其ノ製品

三　度量衡器

第二條　延納期間ハ煙草及酒ニ在リテハ四月內其ノ他ニ在リテハ六月內トス但シ當分ノ內國有林野產物及其ノ製品ニ限リ一年內ノ延納ヲ許可スルコトヲ得

第三條　國有林野產物及其ノ製品賣拂代金ニシテ左ノ各號ノ一ニ該ルトキハ其ノ擔保ヲ免除スルコトヲ得

一　公共團體ニ賣拂フトキ

二　法人ニ賣拂フ場合ニ於テハ信用確實ニシテ延納金ノ總額カ其ノ拂込資本金額ノ二分ノ一ヲ超エサルトキ

三　個人ニ賣拂フ場合ニ於テハ信用確實ニシテ延納金ノ總額カ其ノ資產ノ二分ノ一ヲ超エサルトキ

附　則

本令ハ大正十年九月一日ヨリ之ヲ適用ス

從前ノ規定ニ依リ延納ヲ許可シタルモノハ其ノ期間滿了ノ日マテ仍其ノ效力ヲ有ス

●陸軍ニ於ケル豫備馬ノ無償貸渡及無償付與ノ件

大正十年九月二十八日
勅令第四百十五號

改正　大正一二年第二〇號、一四年第七號

陸軍豫備馬貸付規則左ノ通定ム

陸軍豫備馬貸付規則

第一條　貸付豫備馬ノ貸付ノ際四年以上軍用ニ堪ユル見込アルモノナリヤ之ヲ充ツ

第二條　貸付時期ハ每年秋季演習終了後トシ秋季演習ニ參加セサル部隊ニ在リテハ十一月トス

第三條　貸付主任長官、管理官竝貸付及管理區域ハ別表ニ依ル

第四條　馬ノ貸付ヲ受ケムトスル者ハ七月末日迄ニ主任長官宛願書（第一號樣式）ヲ市町村長ハ（朝鮮ニ在リテハ府尹、郡守又ハ島司、臺灣ニ在リテハ郡長、郡守又ハ市尹、關東州ニ在リテハ民政署長又ハ警務署長、南滿洲鐵道附屬地ニ在リテハ同鐵道地方事務所長又ハ警務支署長ヲ謂フ以下同シ）ニ差出スヘシ但シ第十六條ノ證書ヲ付與セラレタル者ニ在リテハ願書ニ其ノ馬匹名簿寫（評價ヲ記入スルモノヲ添ヘ八月末日迄ニ所管長官ニ報告スヘシ

第六條　所管長官ハ委員ヲ設ケ貸付豫定馬ヲ檢查セシメ其ノ採否及評價ヲ決定シ順序ヲ經テ關係部隊長ニ通達スヘシ

主任長官ニ非サル所管長官ハ前項ノ決定ニ基キ貸付豫定馬連名簿（第二號樣式）ヲ九月十五日迄ニ當該主任長官ニ通報スヘシ

第七條　主任長官ハ馬ノ在隊當時ノ用役ト貸付後ノ用途トヲ顧慮シ適當ト認ムル者ニ貸付クルモノトス

第八條　主任長官ハ九月末日（朝鮮、關東州及南滿洲鐵道附屬地ニ在リテハ同日）記入シタルモノニ添ヘ順序ヲ經テ十二月末日迄ニ主任長官ニ送付スヘシ

主任長官ハ貸付豫定馬連名簿（第四號樣式ニ準ス）ニ當該主任長官ノ在隊スル部隊ノ馬ヲ記入シ主任長官ハ貸受證及馬匹名簿ノ內他ノ管理官宛ノモノアルトキハ之ヲ當該管理官ニ送付スヘシ

第九條　借受人前條第三項又ハ第四項ノ通知ヲ受ケタルトキハ指定ノ日時及場所ニ於テ貸付馬保管部隊長ニ借受人居住地ノ管理官宛ノ借受證（第六條ノ評價及貸付年月日記入シタルモノニ添ヘ）ヲ提出シ馬匹名簿寫（第六條ノ評價及貸付年月日記入シタルモノヲ除ク）ニ馬ヲ受領スヘシ

第四條　第三項ノ下士兵卒所屬ノ部隊長竝貸付馬ノ引渡ヲ爲スヘキ部隊長ニ通牒スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ十月十日迄ニ之ヲ關係町村長ニ通達スヘシ

町村長前項ノ通達ヲ受ケタルトキハ十月二十日迄ニ之ヲ借受人ニ通知スヘシ

市長第一項ノ通知ヲ受ケタルトキハ亦前項ニ同シ

第四條　第三項ノ下士兵卒所屬ノ部隊長第一項ノ通牒ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ旨本人ニ達スヘシ

第五條　借受人ハ前條第三項又ハ第四項ノ通知ヲ受ケタルトキハ指定ノ日時及場所ニ於テ貸付馬保管部隊長ニ借受人居住地ノ管理官宛ノ借受證（第三號樣式）ヲ提出シ馬匹名簿寫（第六條ノ評價及貸付年月日記入シタルモノヲ除ク）ニ馬ヲ受領スヘシ

第六條　借受人ハ前條第三項又ハ第四項ノ通知ヲ受ケタルトキハ指定ノ日時及場所ニ於テ貸付馬保管部隊長ニ借受人居住地ノ管理官宛ノ借受證（第三號樣式）ヲ提出シ馬匹名簿寫（第六條ノ評價及貸付年月日記入シタルモノヲ除ク）ニ馬ヲ受領スヘシ

第七條　部隊長ハ借受證ヲ馬匹名簿（第六條ノ評價及貸付年月日記入シタルモノニ添ヘ）順序ヲ經テ十二月末日迄ニ主任長官ニ送付スヘシ主任長官ハ借受證及馬匹名簿ノ內他ノ管理官宛ノモノアルトキハ之ヲ當該管理官ニ送付スヘシ

第八條　主任長官ハ貸付豫備馬連名簿（第四號樣式ニ準ス）ニ當該主任長官ノ在隊スル部隊ノ馬ヲ記入シ主任長官ハ借受證及馬匹名簿ノ內他ノ管理官宛ノモノアルトキハ之ヲ當該管理官ニ送付スヘシ

第九條　貸付豫備馬ニ異動ヲ生シタルトキハ指定馬ヲ變更シ又ハ貸付ヲ取消スコトヲ得此ノ場合ニ在リテハ主任長官ハ前條ニ準シ速ニ其ノ旨ヲ借受人ニ通知スルモノトス

第十條　部隊長ハ借受證ヲ馬匹名簿（第六條ノ評價及貸付年月日記入シタルモノニ添ヘ）順序ヲ經テ十二月末日迄ニ主任長官ニ送付スヘシ主任長官ハ借受證及馬匹名簿ノ內他ノ管理官宛ノモノアルトキハ之ヲ當該管理官ニ送付スヘシ

第十一條　借受人貸付ヲ受ケタルトキハ十日以內ニ第九條ノ規定ニ依リ受領シタル馬匹名簿寫ヲ添ヘ現住地ノ市町村長ニ届出ツヘシ

納ニ關スル件

大正十一年八月八日
勅令第三百七十四號

改正　大正一一年第二一二號

脫政府ヨリ賣拂フ代金ノ延納ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

政府ニ於テ物件ヲ賣拂フトキハ擔保トシテ國債ヲ提供セシメ代金ノ延納ヲ許スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ擔保ノ必要ナシト認ムルトキハ特ニ擔保ノ提供ヲ免除スルコトヲ得

延納ヲ許スコトヲ得ル場合、延納期間及擔保ヲ免除スルコトヲ得ル場合ニ關シテハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム

附　則

本令ハ大正十年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

左ノ勅令ハ之ヲ廢止ス

明治三十五年勅令第二百十一號

明治三十五年勅令第二百十一號

明治四十年勅令第二百六十五號

明治四十一年勅令第二百六十九號

明治四十二年勅令第二百五號

明治四十二年勅令第二百十八號

明治四十二年勅令第三百十八號

明治四十三年勅令第十一號

明治四十三年勅令第二百四號

明治四十四年勅令第二百二十一號

大正二年勅令第二百八十二號

大正五年勅令第百九十四號

本令施行前提供シタル國債以外ノ擔保ハ本令施行ノ日ヨリ五年ヲ限リ本令ノ規定ニ拘ラス仍其ノ效力ヲ有ス

●物件賣拂代金延納ニ關スル件

大正十年十月一日
臺灣總督府令第五十五號

改正　大正一一年第一四三號

物件賣拂代金延納ニ關スル件左ノ通相定ム

物件賣拂代金延納ニ關スル件

第一條　大正十年勅令第三百七十四號ニ依リ延納ヲ許可スルハ左ノ物件賣拂代金ニシテ一時ニ納付スルコト能ハサル場合ニ限ル

一　樟腦、樟腦油、食鹽、煙草、阿片、煙膏及酒

二　國有林野產物及其ノ製品

三　度量衡器

第二條　延納期間ハ煙草及酒ニ在リテハ四月內其ノ他ニ在リテハ六月內トス但シ當分ノ內國有林野產物及其ノ製品ニ限リ一年內ノ延納ヲ許可スルコトヲ得

第三條　國有林野產物及其ノ製品賣拂代金ニシテ左ノ各號ノ一ニ該ルトキハ其ノ擔保ヲ免除スルコトヲ得

一　公共團體ニ賣拂フトキ

二　法人ニ賣拂フ場合ニ於テハ信用確實ニシテ延納金ノ總額カ其ノ拂込資本金額ノ二分ノ一ヲ超エサルトキ

三　個人ニ賣拂フ場合ニ於テハ信用確實ニシテ延納金ノ總額カ其ノ資產ノ二分ノ一ヲ超エサルトキ

附　則

本令ハ大正十年九月一日ヨリ之ヲ適用ス

從前ノ規定ニ依リ延納ヲ許可シタルモノハ其ノ期間滿了ノ日マテ仍其ノ效力ヲ有ス

●陸軍豫備馬貸付規則

改正　大正一二年第二〇號、一四年第七號

陸軍豫備馬貸付規則左ノ通定ム

陸軍豫備馬貸付規則

第一條　貸付豫備馬ノ貸付ノ際四年以上軍用ニ堪ユル見込アルモノナリヤ之ヲ充ツ

第二條　貸付時期ハ每年秋季演習終了後トシ秋季演習ニ參加セサル部隊ニ在リテハ十一月トス

第三條　貸付主任長官、管理官竝貸付及管理區域ハ別表ニ依ル

第四條　馬ノ貸付ヲ受ケムトスル者ハ七月末日迄ニ主任長官宛願書（第一號樣式）ヲ市町村長ハ（朝鮮ニ在リテハ府尹、郡守又ハ島司、臺灣ニ在リテハ郡長、郡守又ハ市尹、關東州ニ在リテハ民政署長又ハ警務署長、南滿洲鐵道附屬地ニ在リテハ同鐵道地方事務所長又ハ警務支署長ヲ謂フ以下同シ）ニ差出スヘシ但シ第十六條ノ證書ヲ付與セラレタル者ニ在リテハ願書ニ其ノ馬匹名簿寫（評價ヲ記入スルモノヲ添ヘ八月末日迄ニ所管長官ニ報告スヘシ

第六條　所管長官ハ委員ヲ設ケ貸付豫定馬ヲ檢查セシメ其ノ採否及評價ヲ決定シ順序ヲ經テ關係部隊長ニ通達スヘシ

主任長官ニ非サル所管長官ハ前項ノ決定ニ基キ貸付豫定馬連名簿（第二號樣式）ヲ九月十五日迄ニ當該主任長官ニ通報スヘシ

第七條　主任長官ハ馬ノ在隊當時ノ用役ト貸付後ノ用途トヲ顧慮シ適當ト認ムル者ニ貸付クルモノトス

第八條　主任長官ハ九月末日（朝鮮、關東州及南滿洲鐵道附屬地ニ在リテハ同日）記入シタルモノニ添ヘ順序ヲ經テ十二月末日迄ニ主任長官ニ送付スヘシ

主任長官ハ貸付豫備馬連名簿（第四號樣式ニ準ス）ニ當該主任長官ノ在隊スル部隊ノ馬ヲ記入シ主任長官ハ借受證及馬匹名簿ノ內他ノ管理官宛ノモノアルトキハ之ヲ當該管理官ニ送付スヘシ

第九條　貸付豫備馬ニ異動ヲ生シタルトキハ指定馬ヲ變更シ又ハ貸付ヲ取消スコトヲ得此ノ場合ニ在リテハ主任長官ハ前條ニ準シ速ニ其ノ旨ヲ借受人ニ通知スルモノトス

第十條　部隊長ハ借受證ヲ馬匹名簿（第六條ノ評價及貸付年月日記入シタルモノニ添ヘ）順序ヲ經テ十二月末日迄ニ主任長官ニ送付スヘシ主任長官ハ借受證及馬匹名簿ノ內他ノ管理官宛ノモノアルトキハ之ヲ當該管理官ニ送付スヘシ

第十一條　借受人貸付ヲ受ケタルトキハ十日以內ニ第九條ノ規定ニ依リ受領シタル馬匹名簿寫ヲ添ヘ現住地ノ市町村長ニ届出ツヘシ

第十章 財務

第三章 會計

第四款 契約

貸付管理區域	主任長官	部隊
滿洲駐割	近衛師團長	近衛師團貸付部隊
	陸軍省	陸軍補充部本部
	陸軍士官學校	
	陸軍工兵學校	
第一師團管區除ク	第一師團長	第一師團貸付部隊
	教育總監部	
	陸軍步兵學校	
	陸軍砲工學校	
第十四師團管區除ク	第十四師管所在地所管師團長	第十四師管內貸付部隊
	參謀本部	
	陸軍大學校	
第三師團管區除ク	第三師團長	第三師管內貸付部隊
	陸軍重砲兵學校	
	第二、第四乃至第十二、第十六師團長	第二、第四乃至師管內貸付部隊
朝鮮	朝鮮軍司令官	朝鮮ニ在ル貸付部隊
臺灣	臺灣軍司令官	臺灣ニ在ル貸付部隊
關東州及南滿洲鐵道附屬地	關東軍司令官	滿洲ニ在ル貸付部隊

徵發事務ノ施行ニ關スル區分	主任長官	部隊
近衛師團徵發區除ク	近衛師團長	近衛師團
第一師管區除ク	第一師團長	第一師管
第十四師管區除ク	第十四師團長	第十四師管
第三師管區除ク	第三師團長	第三師管
朝鮮	朝鮮軍司令官	朝鮮
臺灣	臺灣軍司令官	臺灣
關東州及南滿洲鐵道附屬地	關東軍司令官	關東州及南滿洲鐵道附屬地

第五款　收入

●臺灣歲入取扱規程

大正二年八月臺灣總督府訓令第百八十三號

改正　大正三年第二四號、第二四一號、四年第二七號、第一〇〇號、五年第九五號、六年第一六〇號、八年第五一號、九年第一七二號、第二九五號、一一年第八號、第二四號、一二年第一三號、一三年第一一五號、一四年第一一號、第七〇號、第八五號

臺灣總督府法院、州廳

郡　臺灣總督府所屬官署

臺灣歲入取扱規程ノ左ノ通相定ム

臺灣歲入取扱規程

第一章　通則

第一條　臺灣歲入ノ徵收ニ關シテハ特別ノ規定アルモノノ外本令ニ依リ取扱フヘシ

第二條　本令中法トアルハ國稅徵收法、規則トアルハ臺灣國稅徵收規則、施行規則トアルハ臺灣國稅徵收規則施行規則、徵收官トアルハ總務長官、交通局總長、專賣局長、稅關長、知事又ハ廳長、分掌官トアルハ徵收官ノ事務ヲ分掌スル者ヲ謂フ

第三條　總務長官ハ總督府及第二項ニ屬セサル所屬各官署ノ歲入ヲ徵收スヘシ

交通局總長、專賣局長、稅關長、知事及廳長ハ各本廳及所屬官署ノ其ノ部課長又ハ部下ノ官吏、所屬官署長（長ナキ官署ニ在リテハ其ノ首席官吏）若ハ支出官タル官吏ニ委任シテ其ノ徵收事務ヲ分掌セシムルコトヲ得但シ部下ノ官吏ニ分掌セシメ難キ場合ニ限ル

第四條　徵收官ハ各其ノ部課長又ハ部下ノ官吏、所屬官署長（長ナキ官署ニ在リテハ其ノ首席官吏）若ハ支出官タル官吏ニ委任シテ其ノ徵收事務ヲ分掌セシムルコトヲ得但シ部下ノ官吏ニ分掌セシメ難キ場合ニ限ル

第五條　歲入ノ所屬年度ハ會計規則第一條及第三十二條ニ依リ科目ハ當該年度ノ歲入科目表ニ依リ整理スヘシ

第六條　大正十一年大藏省令第二號出納官吏事務規程又ハ同年同省令第三十八號歲入年度等誤謬ノ場合訂正手續ニ依ル歲入ノ所屬年度、主管廳及ハ會計名等ノ更正ハ別記第一號書式ニ依ルヘシ但シ同一官廳內ニ在勤スル徵收官、分掌官又ハ出納官吏相互間ニ於テハ其ノ官廳ノ名稱ヲ以テ之ヲ為スコトヲ得

第七條　翌年度六月一日以降ニ於テ歲入ノ誤謬ヲ發見シタルトキハ誤謬ノ儘整理シ其ノ顚末ヲ分掌官ハ徵收官ニ、徵收官ハ臺灣總督ニ申報スヘシ

第八條　歲入金ノ繰越ニ付テハ明治二十四年八大藏省訓令第六十八號同二十五年四大藏省訓令第二十五號同三十一年月大藏省訓令第十二號ニ依リ整理シ其ノ繰越額計算表ハ繰越ヲ為シタル月ノ徵收報告書又ハ收納報告書ト共ニ送付スヘシ但シ甲年度ヨリ乙年度ニ繰越タル歲入金ニ付テハ其ノ收入未濟ノ事由ヲ繰越ヲ為シタル月ノ徵收報告書又ハ收納報告書ノ餘白ニ記載シ繰越額計算表ノ送付ヲ省略スヘシ

第九條　乙年度ニ繰越タル歲入金（丙年度以下皆同シ）ノ年度內收入又ハ缺損等ニ依リ翌年度ヘ繰越スモノヲ場合ト雖其ノ金額ヲ繰越額計算表相當欄ニ記入シ前條ニ依リ送付スヘシ

第九條ノ二　租稅及租稅外歲入ノ月割額ハ年額ニ月數ヲ乘シ之ヲ十二分シテ定ムヘシ

第十條　過誤納額ハ左ノ區分ニ依リ整理シ權利者ノ請求ヲ俟ツテ下戻ノ手續ヲ為スヘシ

一　過誤調定（告知書ノ誤記ヲ含ム）又ハ納入後免稅處分等ノ為過納トナリタルモノハ調定超過トス

二　調定以外ノ金額ヲ領收シ又ハ誤拂込ノ為過納トナリタルモノハ調定外誤納トス

前項過誤納ハ之ヲ權利者ニ通知スヘシ但シ相當ノ注意ニ依リ其ノ事實ヲ知リ得ラルヘキモノト認メタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十一條　會計檢查院ニ提出スル徵收額計算書若ハ出納計算書ニ關スル審理ニ對スル答辯書ハ臺灣總督ヲ經由スヘシ

第二章　租稅徵收

第十二條　租稅ノ徵收ハ納期內ノ完納ヲ目的トシ殊ニ市、街庄又ハ區長ヲシテ徵收セシムル國稅ニ付テハ特定ノ時ニ先チ其ノ調定ヲ為シ納稅義務者ヲシテ納稅ノ準備ヲ為サシムヘシ

第十三條　納稅告知書發付後施行規則第五條ニ依リ納期日ノ變更ヲ通知スル場合ハ別記第二號書式ニ依ルヘシ

第十四條　市、街庄又ハ區長ノ領收シタル稅金ハ領收ノ日ヨリ遲クモ五日內ニ之ヲ送付セシムヘシ但シ五百圓未滿ノ金額ハ適宜期日ヲ定メ送付セシムルコトヲ得

第十五條　納稅告知書發付後施行規則第五條ニ依リ納期日ノ變更ヲ通知スル場合ハ別記第二號書式ニ依ルヘシ

第十六條　市、街庄又ハ區長ノ領收シタル稅金ハ領收ノ日ヨリ遲クモ五日內ニ之ヲ送付セシムヘシ但シ五百圓未滿ノ金額ハ適宜期日ヲ定メ送付セシムルコトヲ得

第十七條　施行規則第七條ノ滯納報告書送付前ニ於テ市、街庄又ハ區長ニ稅金ヲ納付セムトスル者アルトキハ之ヲ領收ヲ為サシムヘシ

第十八條　削除

第十九條　規則第三條ニ依リ過誤納ニ係ル稅金ヲ爾後ノ納期ニ於テ徵收スヘキ稅金ニ充當スル場合ハ其ノ徵收スヘキ稅金額ヨリ過誤納額ヲ控除シタル殘額ニ付調定ヲ為シ其ノ事由ヲ收納簿、納稅告知書及領收證書ヘ附記スヘシ（第二十條ヨリ第六條迄削除）

ノ場合ニ於テ繰上徵收ノ納稅告知書又ハ通知書ヲ發スルトキハ破產管財人又ハ清算人ニ送達スヘシ

第二十一條　督促狀ニ記載スヘキ指定期日ハ其ノ發送ノ翌日ヨリ十日內ニ於テ適宜之ヲ定ムヘシ

第二十二條　稅金、督促手數料ヲ日本銀行ヘ納付セシムルモノニシテ施行規則第十三條ノ二第二項ニ依リ督促狀ニ添附セサル納付書ハ豫メ日本銀行ニ同付シ置クヘシ但シ滯納處分其ノ他ノ事由ニ因リ日本銀行ヘ納付セシムル必要ナキニ至リタルトキハ其ノ旨日本銀行ニ通知スヘシ

第二十三條　滯納處分ノ為出張スル收稅官吏ハ別記第三十二號書式ノ滯納處分票ヲ携帶整理シ歸廳後ニ別記第三十三號書式ノ滯納處分集計票ヲ添附シ復命書ニ代ヘ之ヲ提出スヘシ

第二十四條　財產ノ差押ヲ為ストキハ左記各號ニ依リ取扱フヘシ

一　差押ニ先チ滯納者ニ對シ納付スヘキ旨ヲ諭示スルコト

二　差押ヲ為ストキハ便宜立會人ヲ指定シテ敏速ニ之ヲ行ヒ滯納者ノ業務ヲ妨クルコトナキヲ期スルコト

三　財產ノ差押ハ徵收スヘキ金額ニ充ツルヲ目的トシ徵收ニ便利ニシテ且ツ運搬保管ニ便利ナルモノヲ先ニスルコト

四　差押財產力質權設定ノモノナルトキハ其ノ年月日、元本、利息其ノ他必要ト認ムル事項ヲ調査スルコト

第二十五條　財產ノ差押ニ際シ通貨ヲ以テ督促手數料、延滯金及滯納稅金ヲ完納セムトスル者アルトキハ差押ノ手續ニ依ラス收入ノ手續ヲ為スヘシ

第二十六條　法第四條ノ一ニ該當スル場合ニ於テ施行規則第五條ニ依リ繰上徵收ノ納稅告知書又ハ通知書ヲ發シタルトキハ其ノ納期經過後左記各號ニ依リ取扱フヘシ但シ繰上徵收ノ原因止ミ相當納期ニ到リ完全ニ徵收シ得ヘキコトヲ認メタルトキハ繰上徵收ノ處分ヲ取消スコトヲ得

一　法第四條ノ一第一號、第七號該當ノ場合ニ直ニ滯納處分ヲ執行スヘシ但シ第一號該當ノ場合ニ成ルヘク前ノ滯納稅金ト同時ニ處分執行スルコトニ注意スヘシ

二　法第四條ノ一第二號、第三號又ハ第五號該當ノ場合ハ直ニ當該官廳、公共團體、執行法院、執達者、强制管理人ニ滯納稅金ノ交付ヲ求ムヘシ

三　法第四條ノ一第四號、第六號該當ノ場合ハ直ニ破產主任官又ハ清算人ニ滯納稅金ノ交付ヲ求ムヘシ

前項第二號、第三號ニ依リ交付ヲ受ケタル金額ヲ滯納稅金ニ充テ不足スルトキハ其ノ不足額ニ付テハ相當納期經過後督促狀ヲ發シ徵收ノ手續ヲ為スヘシ

第二十七條　滯納處分ヲ執行スルニ當リ法第四條ノ一第二號乃至第六號ニ該當スル場合ニ於テハ前條第一項第二號又ハ第三號ニ準シ取扱フヘシ但シ法第四條ノ一第二號、第三號又ハ第五號該當ノ場合ニ於テ他ニ差押フヘキ財產アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十八條　民事訴訟法第六百五十四條ニ依リ法院ヨリ債權ノ有無及限度ヲ申出ツヘキ催告アリタル場合ニ於テ繰上徵收ヲ要スルモノアルトキハ速ニ其ノ申出期間內ニ於テ納期ヲ定メ納稅告知書ヲ發シ其ノ納期經過後滯納稅金ノ交付ヲ求ムヘシ

第二十九條　第二十六條第一項第二號第三號、第二十七條又ハ前條ニ依リ滯納稅金交付ノ請求後納稅者又ハ第三者ヨリ納稅シタルトキ又ハ其ノ他ノ事由ニ因リ納稅義務消滅シタルトキハ其ノ請求ノ取消ヲ為スヘシ

第三十條　收稅官吏金錢ヲ目的トスル債權又ハ金錢ヲ以テスル財產權ノ差押ヲ為ストキハ債務者ニ對シ其ノ金錢ヲ歲入歲出外現金出納官吏ニ支拂フヘキ旨ヲ通知スヘシ

第三十一條　差押財產力天然又ハ法定ノ果實ヲ生スヘキモノニシテ第三者ヨリ其ノ果實ノ引渡又ハ仕拂ヲ受クヘキ場合ニ於テハ別記第三號書式ニ依リ第三者ニ通知スヘシ

第三十二條　假差押又ハ假處分ヲ爲タル財產ヲ差押フルトキハ別記第四號書式ニ依リ執行法院、執達者又ハ强制管理人ニ通知シ物件ノ引渡ヲ求ムヘシ

第三十三條　收稅官吏差押ノ為土地ノ分割ヲ要スルトキハ臺灣地租規則施行規則ニ依リ土地分割ノ請求ヲ為シ分割後ノ土地臺帳謄本ヲ添ヘ別記第四號ノ二書式ニ依リ分割登記ノ囑託ヲ為スヘシ

第三十四條　削除

第三十五條　法第二十三條ノ二同第二十三條ノ三ニ依リ差押其ノ他ニ關シ登記ノ囑託ヲ要スル場合ハ別記第五號書式ニ依リ之ヲ為スヘシ但シ商法第五百三十八條第二項及第五百四十條第二項ノ船舶ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項差押登記囑託ノ場合ニ於テ其ノ地上權、永小作權、賃借權又ハ不動產カ未登記ノモノナルトキハ囑託書ニ左記書類ヲ添附スヘシ但シ地上權者、永小作人、賃借人又ハ所有主カ死亡シタルモノニ付テハ戶日抄本（全部抄本）及本島人ニ在リテハ其ノ子孫ノ全部ヲ知ルニ足ル書面ヲモ添附スヘシ

一　地上權、永小作權、賃借權ニ付テハ之ヲ證スヘキ書類

二　土地ニ付テハ土地臺帳謄本

三　建物ニ付テハ圖面

第三十六條　地上權、永小作權、賃借權、不動產又ハ船舶ノ差押登記ヲ囑託スル場合ニ於テ既登記事項ノ變更又ハ相續ニ因ル權利移轉ノ登記ヲ要スルトキハ變更登記ニ付テハ別記第五號書式相續登記ニ付テハ別記第十一號書式ニ準シ囑託書ヲ作リ之ニ登記名義人變更及相續登記ニ付テハ戶日抄本（全部抄本）及本島人ニ在リテハ其ノ子孫ノ全部ヲ知ルニ足ル書面ヲ添ヘ差押登記ノ囑託ト同時ニ變更又ハ相續登記ノ囑託ヲ為スヘシ

第三十七條　施行規則第二十一條ニ依リ債務者ニ對シ債權差押通知書ヲ發シタル場合ニ於テ債務者義務ノ履行ヲ為サルトキハ債權ノ賣却ヲ為スカ若ハ訴求ノ手續ヲ為スヘキ旨ヲ通知スヘシ

第三十八條　施行規則第二十三條ノ公賣公告ハ別記第六號書式ニ依リ之ヲ為スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ別記第七號書式ノ入札人心得書ヲ調製シ置クヘシ

第四十條　政府保管金差押ノ為日本銀行ニ債權差押ノ通知ヲ為シタル場合ニ於テ債務ノ履行ヲ受ケムトスルトキハ明治二十七年二月大藏省令第二號第五條ニ相當スル書類ヲ提出スヘシ

第四十一條　加入保證金又ハ契約保證金ハ別記第八號書式ノ提供書、財產賣却代金ハ別記第九號書式ノ納付書ヲ添ヘ提出セシメ歲入歲出外現金出納官吏之ヲ領收シ別記第十

現金拂込調査簿ニ照査スヘシ

第八十一條　徵收官ハ徵收簿及現金拂込調査簿ニ依リ毎月徵收報告書ヲ調製シ歲入金月計突合表ヲ添ヘ翌月十日迄ニ其ノ地ヲ發シ臺灣總督ニ送付スヘシ但シ調定濟額、收入濟額、不納缺損額ニ異動ナク現金受拂高ノミニ異動アル月ニ於テハ現金拂込濟仕譯書ヲ調製シ徵收報告書ノ調製ヲ要セス

徵收報告書又ハ現金拂込濟仕譯書ト歲入金月計突合表ト符合セサルモノアルトキハ別記第二十八號書式ノ差額仕譯書、現金拂込未濟額アルトキハ別記第二十九號書式ノ現金拂込未濟內譯報告書ヲ添附スヘシ

徵收報告書及現金拂込濟仕譯書ハ大正十一年大藏省令第二十號ノ書式ニ依ルヘシ

第八十一條ノ二　徵收官ハ別記第三十號書式ニ依リ每月三日限前月中自己ノ取扱ニ係ル日本銀行領收濟額ヲ調查シ關係日本銀行ニ通知スヘシ

第八十二條　徵收官ハ相續財團ニシテ納稅告知書又ハ納入告知書ヲ受取ルヘキ者ナキトキハ民法第千五十二條ノ規定ニ基キ財產管理人ノ選任ヲ法院ニ請求スルカ又ハ便宜其ノ旨ヲ檢察官ニ通知シ管理人ノ設定ヲ待チ告知書ノ送達ヲ爲スヘシ

第八十三條　徵收官ノ任命又ハ更迭アリタルトキハ左記各號ニ依リ取扱フヘシ

一　新任又ハ後任徵收官ハ其ノ官氏名又ハ更迭年月日ヲ日本銀行（統轄店及常時拂込ヲ爲ス支店又ハ代理店ニ通知スヘシ但シ其ノ任命又ハ更迭ヲ府報ニ依リ認メ得ヘキ場合ハ此ノ限ニ在ラス

二　前任徵收官ハ其ノ取扱ニ係ル全部ノ調定濟額、收入濟額、不納缺損額、收入未濟額及處理未濟事項ヲ後任官ニ引繼クヘシ但シ帳簿ノ締切ハ之ヲ爲ササルモノトス

三　後任官ハ引繼ヲ受ケタル員額ヲ其ノ儘自己ノ取扱額ニ併算整理スヘシ

第八十四條　徵收官ハ第五十五條ノ不納缺損額ニシテ賠償ヲ求ムルノ要アルモノ及第七十一條ノ不納缺損額ニシテ後日徵收ノ必要アルモノハ別記第二十五號書式ノ缺損額臺帳ニ登記シ每年度始ニ於テ所在及資產等ヲ調查シ相當ノ手續ヲ爲スヘシ

第八十五條　削除

第五章　分掌官

第八十六條　分掌官ハ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

收納簿

繰越額收納簿

收納合計簿

調定超過額整理簿

分納臺帳

滯納額整理簿

缺損額臺帳

稅關支署長ノ備フヘキ收納簿及繰越額收納簿ハ明治三十二年七月大藏省訓令第五十三號

納額整理簿ノ書式ニ依ルコトヲ得

第八十七條　分掌官ハ自己ノ名ヲ以テ納稅告知書又ハ納入告知書ヲ發スヘシ

第八十八條　分掌官ハ收納簿ニ依リ每月別記第三十一號書式ノ收納報告書ヲ調製シ翌月三日迄ニ其ノ地ヲ發シ徵收官ニ送付スヘシ

徵收官ニ於テ必要ト認ムル場合ハ前項ノ報告書ニ其ノ關係書類ヲ添附セシムルコトヲ得

第八十九條　分掌官ハ日本銀行ヨリ領收濟通知書ノ送付ヲ受ケ又ハ收入官吏ヨリ現金領收濟報告書、現金拂込仕譯書及歲計算書ノ送付ヲ受ケタルトキハ左記各號ニ依リ取扱フヘシ

一　現金拂込仕譯書ハ之ニ依リ收納報告書ノ現金拂込仕譯欄ニ登記シ收納報告書ト共ニ徵收官ニ送付スヘシ

二　出納計算書ハ現金出納簿ト對照シ符合スルヤ否ヤ及現在金ハ現金出納簿ノ殘高ニ符合スルヤ否ヤヲ調查シ之ヲ徵收官ニ送付スヘシ

第九十條　第七十三條乃至第七十六條及第八十一條第一項但書、第八十二條ノ二乃至第八十四條ノ規定ハ之ヲ分掌官ニ準用ス

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ諸帳簿（滯納額整理簿ヲ除ク）ニ關スル書式ハ大正二年度分ヨリ之ヲ適用ス

第七十三條ノ納入告知書及第八十八條ノ收納報告書ハ從來ノ式紙アルモノハ當分ノ內之ヲ使用スルコトヲ得

明治三十年十二月訓令第百九十一號同三十一年四月訓令第六十八號同三十二年七月訓令第二百三十五號同三十三年二月訓令第十八號臺灣租稅滯納處分方心得同年四月訓令第百二十五號臺灣歲入取扱規程同年八月訓令第二百四十三號同年十二月訓令第三百七十號臺灣歲入不納處理規程同三十五年五月訓令第百四十五號臺灣租稅滯納處分引繼整理手續ハ之ヲ廢止ス

附　則（大正八年訓令第五十一號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十三年五月訓令第百三十八號及本令ニ牴觸又ハ重複スル從來ノ通達ハ之ヲ廢止ス

附　則（大正十四年訓令第七十號）

本令中書式ニ付テハ大正十四年度分ヨリ之ヲ適用ス但シ既ニ調製シタルモノニ付テハ仍從前ノ書式ニ依ルコトヲ得

（別記）

第一號書式（一）（「內」ハ朱書）

歲入金年度（又ハ主管廳）訂正請求書

一金何程

但シ大正何年度歲入　何省主管何廳歲入徵收官官氏名（又ハ內金何程）

此ノ訂正「大正何年度臺灣總督府歲入（又ハ「何省主管」）

右ハ何年何月何日第　號納稅（入）告知書（又ハ現金拂込書）ヲ以テ納付（又ハ拂込）ノ分誤謬發見ニ付朱書ノ通訂正相成度此段及請求候也

年　月　日

歲入徵收官（又ハ何廳歲入徵收分掌官）

收入官吏　官　氏　名㊞

第二號書式

日本銀行宛

納期日變更通知書

年　月　日第　號納稅告知書

何年度何期分何稅（目）

右何々ニ付國稅徵收法第四條ノ一ニ依リ繰上徵收ノ爲メ納期日ヲ　年　月　日ニ變更ス

年　月　日　住所　氏　名

何知事又ハ廳長　官　氏　名㊞

備　考

市ニ於テ取扱フ分ニ付テハ稅金ノ納否及告知書番號ヲ照會シ速ニ手續ヲ爲スヘキモノトス

第三號書式

通知書

住所

滯納者　氏　名

一金何程

金何程　何年度何期分何稅（目）

金何程　督促手數料

金何程　延滯金

金何程　滯納處分費

前記金額徵收ノ爲メ左記ノ財產ヲ差押ヘタルニ依リ何年　月　日（期限ナキ場合ハ年）滯納者何某ニ對シ引渡スヘキ何々何程（仕拂フヘキ何々金額何程）ハ何年　月　日迄ニ本官ニ引渡スヘシ（仕拂フヘシ）此ノ通知ヲ受ケタル後滯納者ニ對シ引渡（仕拂）ヲ爲スモ其ノ引渡（仕拂）ハ無效タルヘシ

右通知ス

年　月　日

何廳收稅官吏

官　氏　名㊞

住所

氏　名宛

何地何番地

一田　何程

何地何番地

一瓦葺平家建木造本家　一棟

此ノ建坪何程

備　考

本書中何廳收稅官吏トアルハ稅關又ハ稅關支署ニ在リテハ其ノ稅關官吏トス以下書式亦同シ

第四號書式

通知書

住所　氏　名

何地何番地

一田　何程

一何々

右財產貴院（貴職）ニ於テ假差押（假處分）中ノ處何某ハ何年度何期分何稅（目）滯納ニ付差押處分執行候條（差押處分執行ヲ要シ候條「物件引渡」ヲ「封印解除」和歲度）臺灣國稅徵收規則施行規則第十七條ニ依リ通知候也

年　月　日

何地方法院（執達者又ハ强制管理人）宛

何廳收稅官吏

官　氏　名㊞

第四號ノ二書式

土地分割登記囑託書

一分割シタル土地表示

何地何番地ノ一

一田

一現在ノ土地表示

何地何番地

一田

一登記原因及其ノ日附

一登記ノ目的

一土地所有者

何地何番地

住所　何　某

一附屬書類　囑託書副本一　土地臺帳謄本一

右國稅滯納處分上必要有之候條分割登記相成度國稅徵收法第二十三條ノ三ニ依リ及囑託候也

年　月　日

何地方法院（支部又ハ出張所）宛

何知事又ハ廳長

備　考

合併登記囑託ニ付テハ本書式ニ準シ調製スルモノトス

第五號書式

差押登記囑託書

一土地ノ表示

何地何番地

一田　何程

一建物ノ表示

何地何番地

一煉瓦造瓦葺三階建住家　一棟

此ノ建坪何坪

外二階何坪三階何坪

一附屬建物木造瓦葺二階建倉庫　一棟

此ノ建坪何坪

外二階何坪

一登記原因及其ノ日附

何年何月何日差押調書

一登記ノ目的

國稅滯納處分ニ因ル差押登記

一權利者　國

一義務者　何地何番地　何某

右國稅徵收法第十條ニ依リ差押執行候條登記相成度別紙差押調書相添此段及囑託候也

年　月　日　何知事又ハ廳長　氏　名㊞

何地方法院（支部又ハ出張所）宛

備　考

一　地上權、永小作權、賃借權及船舶ノ差押登記、抹消登記、變更登記ノ囑託ハ本書式ニ準シ調製シ書式ニ示スモノノ外必要ナル事項ハ適宜之ヲ記載スルモノトス

二　土地ト建物ノ囑託書ハ各別紙ニ調製スルモノトス

三　本書中何廳長トアルハ稅關又ハ稅關支署ニ在リテハ稅關長又ハ稅關支署長トス以下書式亦同シ

第六號書式

公　告

住　所
氏

右ノ者何年度何期分何稅（目）滯納ニ付國稅徵收法第十條ニ依リ差押ヘタル左記ノ財產公賣執行候條望ノ者ハ當廳ニ就キ（何所ニ出頭シ）現品竝入札人心得書熟覽ノ上同日午前（後）何時迄ニ何所ニ入札書差出スヘシ開札ハ同日午前（後）何時トス

此ノ入札加入保證金買受見積價格百分ノ（何）（契約保證金……）トス

右公告ス

年　月　日

記

一何々　何箇

但シ何々（賣却物品ノ性質其ノ他重要ナル事項）

何地何番地

一田　何程

地租金何程

以上

備　考

本書式ニ示ササル事項ハ適宜記入スルモノトス

第七號書式

入札人心得書

一　入札人ハ公賣現品ヲ調査シ左ノ書式ニ依リ入札書ヲ作リ定時限迄ニ封書トシテ公賣執行ノ場所ニ差出スヘシ

入札書

何地何番地

一田　何程

此ノ入札金何程

一何々　何箇

此ノ入札金何程

合計金何程

右ノ通

年　月　日

住　所
氏

名㊞

廳

二　入札書ハ字體ヲ鮮明ニ書シ改竄、塗抹又ハ訂正ノ箇所ニハ認印スヘシ

三　入札加入保證金ヲ要スル場合ハ入札前之ヲ納付スルニ非サレハ入札ニ加入スルコトヲ得ス

四　保證金ハ提供書ヲ添ヘ納付スヘシ但シ加入保證金ハ落札者ニ對シテハ賣買契約ノ締結ヲ了シタルトキ其ノ他ニ對シテハ買受人確定ノトキ之ヲ還付シ契約保證金ハ代金完納ノトキ之ヲ還付ス

五　落札人契約ヲ結ハサルトキ又ハ納付期日迄ニ代金ヲ完納セサルトキハ該入札ハ無效トシ其ノ保證金アルモノハ之ヲ還付セス

六　落札ノ順序ハ入札價格ノ最高者ヲ以テ落札トシ同價ノ入札二名以上アルトキハ其ノ同價入札人ヲシテ追加入札ヲ爲サシメ落札者ヲ定ム追加入札ノ價格仍同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

七　入札價格官廳ノ見積價格ニ達セサルトキハ總テノ入札ヲ無效トシ又時宜ニ依リ公賣ノ取消ヲナスコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ入札者ハ故障ヲ申立ツルコトヲ得ス

年　月　日

何　廳

備　考

一　本書ハ表紙ヲ附シテ袋綴ト爲シ官印ヲ以テ契印スルモノトス

二　本書中改竄、塗抹又ハ訂正ノ箇所ニハ認印ヲ要ス

三　本書ニ示シタルモノノ外賣却處分上必要ト認ムル事項ハ之ヲ列記スルモノトス

四　公賣物件ノ種類夥多ニシテ之ヲ數號ニ分チ入札セシムルトキハ入札書ニハ其ノ號名及入札價格ヲ記載セシメ品名數量ヲ省略スルコトヲ得但シ負擔附其ノ他ノ事由ニ依リ物件每ノ價格ヲ要スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第八號書式　加入（契約）保證金提供書

一金何程

右ハ何某國稅滯納處分ニ依ル公賣物件入札致度ニ付（入札ノ上落札致候ニ付）加入（契約）保證金トシテ提供ス

年　月　日

住　所
氏

何知事又ハ廳長　氏　名宛　名㊞

第九號書式　納付書

一金何程　何某國稅滯納處分ニ依ル公賣物件買受代金

內

金何程　何々

金何程　何箇代

右納付ス　何々　何箇代

年　月　日

住　所
氏

何知事又ハ廳長　氏　名宛　名㊞

備　考

債權差押ノ通知ヲ爲シタル收稅官吏ハ第三債務者ヨリ債務ノ履行ヲ受ケ或ハ天然又ハ法定果實ノ引渡又ハ仕拂ヲ受クルトキハ本書式ニ準シタル納付書ヲ添附セシムルモノトス

第十號書式　領收證

一金　何程

但シ何某國稅滯納處分ニ依ル（「公賣物件賣却代」「差押物件公賣加入（契約）保證金」）

右領收ス

年　月　日

住　所
氏

何廳歲入歲出外現金出納官吏

名㊞

備　考

債權差押ノ通知ヲ爲シタル收稅官吏ハ第三債務者ヨリ債務ノ履行ヲ受ケ或ハ天然又ハ法定果實ノ引渡又ハ仕拂ヲ受ケタルトキハ本書式ニ準シタル領收證ヲ交付スルモノトス

第十一號書式

收入印紙　所有權移轉登記囑託書

一土地（建物）ノ表示（差押登記囑託書ニ同シ）

一登記原因及其ノ日附　何年何月何日公賣處分ニ因リ賣却

一登記ノ目的　所有權移轉ノ登記

一取得者ノ氏名住所　何地何番地

一前所有者ノ氏名住所　何地何番地

一課稅標準　價格（落札代金）金何程

一登錄稅　金何程

右國稅徵收法第二十四條ニ依リ公賣執行候條登記相成度賣却通知書及代金領收證書相添此段及囑託候也

年　月　日

何知事又ハ廳長　氏

何　某

住　所
氏

名㊞

何地方法院（支部又ハ出張所）宛

備　考

一　地上權、永小作權、賃借權及船舶ノ公賣處分ニ因ル登記ノ囑託ハ本書ニ準シ調製シ書式ニ示スモノノ外必要ナル事項ハ適宜之ヲ記載スルモノトス

二　土地ト建物ノ囑託書ハ各別紙ニ調製スルモノトス

第十二號書式

收入印紙　乙種登錄國債登錄變更請求書

原記名　何　某

住　所

新記名　何　某

一記名何公債證書額面何圓

但シ何年何月渡以降利札附屬

內譯

此ノ證券何枚

右證券國稅徵收法ニ依リ公賣處分致候ニ付登錄變更相成度財產賣却通知書及證券相添此段及請求候也

年　月　日

何知事又ハ廳長　氏

日本銀行宛

名㊞

備　考

甲種登錄國債ニ付テハ本書式ニ準シ調製スルモノトス

第十三號書式　事由書

一記名何公債證書額面何圓

但シ何年何月渡以降利札附屬

內譯

此ノ證券何枚

記名何某

券面種類	記號番號
何圓	何

券面種類	記號番號
何圓	何

右ハ記名者ニ於テ何年度何期分何稅（目）滯納ニ付國稅徵收法ニ依リ右證券ヲ差押ヘ何年月日住所氏名ヘ賣却シタルモノニシテ同人名義ニ登錄ノ變更ヲ要スルモノナリ

年　月　日

何知事又ハ廳長　氏

名㊞

備　考

甲種登錄國債ニ付テハ本書式ニ準シ調製スルモノトス

第十四號書式　缺損額調書

住　所
滯納者　氏　名

一　金何程
二　金何程
一　金何程

何年度何期分何稅（目）
督促手數料
延滯金

右ハ　年　月　日財産差押ノ爲本人宅ニ臨ミタルニ凡ソ何坪位ノ藁葺竹柱ノ住屋一棟ノ外何々何程ヲ所有シ何々ノ收入ニ依リ生活ヲ營ム實況ニシテ其ノ財產ノ賣却見積價格約何程位ニ過キス之カ差押ヲ爲スモ到底處分費ヲ償フニ足ラサルモノト認メラレ尙隣佑當該市、街庄又ハ區長及駐在巡査等ニ就キ取調ヲ爲シタルモ他ニ財產無之ニ付滯納處分ヲ中止スルモノ也

年　月　日

何廳收稅官吏　官氏　名㊞

備考

一　本書式ニ示スモノノ外ハ事例ノ異ナル毎ニ生活ノ實況、資產ノ有無、現在資產ノ名稱、數量、見積價格、調査ノ順末等ヲ詳記スルモノトス

二　所在不明且ツ遺留財產ナキモノニ付テハ再應ノ調査ヲ爲シタル上ニテ本調書ヲ調製スルモノトス

第十五號書式

納付書

一　金何程　何稅法違犯罰金（科料）
一　金何程　通告書送達費（何々費）
但シ何　年　月　日附通告處分ヲ受ケタル分
右納付ス
年　月　日

住所
氏　名㊞

何廳長（何支廳長）氏名宛

第十六號書式　削除

第十七號書式

何年度

收納簿

（本簿ハ適宜ノ料紙ヲ以テ洋式帳簿ニ調製スルモ妨ケナシ以下諸帳簿亦同シ）

何廳

納入告知書番號月日	納期	摘要	調定金額	收入月日	不納缺損事由	納入住所氏名
一 四月一日	四月五日	何々金（收入ノ目的）	圓			
二 四月十五日	何々金		五〇〇〇	四月二日	何地何番地何某	
三 五月十五日（何々金五月十日取消）			一〇〇〇〇	何々ニ依リ五月五日缺損	同何某	
			三〇〇〇		同何某	

何々（目）（　）內ハ朱線ニテ消除シ「　」內ハ朱書トス）

納入告知書番號月日	納期	摘要	調定金額	收入月日	不納缺損事由	納入住所氏名
一 四月一日	四月五日	何々金（收入ノ目的）	圓			
二 四月十五日	何々金		五〇〇〇	四月二日	何地何番地何某	
三 五月十五日（何々金五月十日取消）			一〇〇〇	何々ニ依リ五月五日缺損	同何某	
			三〇〇〇		同何某	

備考

一　本簿ハ市、街庄又ハ區長ニ於テ徵收スル收入科目ニ適用ス

二　本簿ハ各科目各市、街庄又ハ各區毎ニ口座ヲ設ケ月計及累計ヲ附シ更ニ各科目毎ノ總計ヲ附スルモノトス、但シ滯納報告後ハ總計口座ノ記載ニ止ムルコトヲ得

三　本簿ハ市ニ於テ徵收スル歲入（地所擔下ノ收納簿ニ倂用ス）ノ代ヲ除ク

四　州又ハ廳地方費歲入ニ屬スル附加稅ハ適宜增補整理スルコトヲ得

第十八號書式

何年度地租（又ハ何々）

何街庄區　收納簿

何州廳

納稅（入）告知書番號	調定月日	納期	調定金額	收入月日	摘要	納入住所氏名
一	七月二十日	何期	圓			
	二月二十日	何期				
二						
計						

備考

一　本簿ハ市ニ於テ徵收スル地租、第三種所得稅及營租ニ之ヲ適用ス

二　本簿ハ一大字毎ニ調製スヘシ但シ臨時收入滯納處分ノ如キノ分ハ各別ニ登記スヘシ

三　調定月日ハ定期ノ分ニ在リテハ各冊共初行ノ記載ニ止メ次行以下記載ヲ要セス後期稅額又ハ納入住所氏名カ前期分ト同一ナルトキ若ハ地租官租以外ノ收入ニ係ル納入住所ハ之レカ記載ヲ要セス但シ後期分ノ徵收ヲ爲サル場合ニ在リテハ金額欄ニ斜線ヲ施スヘシ

四　既往（本年分ヲ除ク）ニ溯リ賦課シタルモノハ本年分ト區分揭上シ其ノ事由ヲ摘要欄ニ記載スルモノトス

六　摘要欄ニハ調定額ノ增減、臨時調定、滯納處分ノ引繼引受、年度科目等ノ組替、不納缺損等ノ事由及其ノ年月日ヲ記載スルモノトス

七　州又ハ廳地方費歲入ニ屬スル附加稅ハ適宜增補整理スルコトヲ得

八　前各號ニ記載スルモノ外第十七號書式ノ記載例ヲ準用ス

九　督促狀發付後ハ本簿ヲ使用セス但シ稅金ト督促手數料ト所屬年度ヲ異ニスル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十九號書式

何年度

繰越額收納簿

何廳

納入告知書番號月日	納期	摘要	調定金額	收入月日	不納缺損事由	納入住所氏名
一 四月一日	四月五日	何々金（收入ノ目的）	圓			
二 四月十五日	何々金		四〇〇〇	四月二日	何地何番地何某	
三 五月十五日（何々金五月十日取消）			一〇〇〇	何々ニ依リ五月五日缺損	同何某	
			三〇〇〇		同何某	

何々（目）

納入告知書番號月日	納期	摘要	調定金額	收入月日	不納缺損事由	納入住所氏名
			圓			

備考

一　本簿ハ繰越ヲ爲シタル甲年度ニ於テ調製シ處分結了迄使用スルモノトス但シ租稅及官租ニ付テハ第二十四號書式ニ準シ調製スルモノトス

二　前號ノ外第十七號及第二十四號書式ノ記載例及備考ヲ準用スルモノトス

第二十號書式

何年度

收納合計簿

何州廳

何々（目）

月日	摘要	調定濟額	收入濟額	不納缺損額	收入未濟額

何市、街、庄、區長　何某

第二十一號書式

調定超過額整理簿

何廳

年度	調定超過額	調定外誤納額	決定年月日	事由	請求年月日	下戻年月日	債主住所氏名	備考
元年度	圓 五〇〇〇		元年十月四年十月付前期分過納	何地何番地田四十五日	元年十一月十五日	元年十二月五日	何地何番地何某	
同	〇〇一〇		二年三月九日	元年後期分告知書誤記	同	同	何某	七年四月期滿免除
同	一〇〇〇		二年三月十日	元年後期分拂込ニ際シ私金ヲ混入誤拂込	二年四月十日	二年五月日	同何某	
同	一〇〇〇〇		二年七月五日	何地何番地畑四十一年十月道路成ニ付全年分過納	二年八月十日	同	何某	
計	一二、〇一〇	一〇〇〇			一二、〇〇〇			

備考

一　本簿ハ果年之ヲ使用シ處分決定ノ時時記載シ徵收額計算書提出期迄ノ計ヲ附スルモノトス

二　本簿ハ租稅及租稅外諸收入ニ大別シ各本年度分過年度分ニ區分シ各目毎ノ口座ヲ設ケ見出紙ヲ附スルモノトス但シ適宜分冊スルモ妨ケナシ

三　決定年月日欄ニハ調定超過ヲ決定シ又ハ調定外誤納トナリタル年月日ヲ記載スルモノトス

四　過誤納金ヲ次ノ納期ニ於テ差引調定ヲ爲シタルトキハ其ノ旨及年月日ヲ備考欄ニ記載シ其ノ金額ハ計ニ算入セサルモノトス

五　計ヲ附スルトキハ下戻年月日欄ニ下戻濟額ヲ記載スルモノトス

六　調定超過額及調定外誤納額ニシテ其ノ所屬年度ト收入年度ヲ異ニスルトキハ備考欄ニ何年度收入ト墨書スルモノトス

七　本書式ニ示スモノノ外ハ事由ノ異ナル毎ニ記載スルモノトス

備考

一　本簿ハ會計年度毎ニ調製シ其ノ年度收入金ノ拂込チ了スル迄記載スルモノトス但シ五月迄計ハ四月以降ノ計トス

二　出納計算書チ會計檢査院ニ提出シタルトキハ氏名ノ下ニ「年月日出納計算書提出」ト朱書スルモノトス

第二十三號書式

分納臺帳

何廳

第二十二號書式

簿査調込拂金現

何廳

某（收入官吏名）

年月日	摘要	受	拂	殘
		圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘
三月迄計				
五月迄計				

何々（日）

住所　氏名

納入告知書番號	調定金額	分納許可年月日	分納金額	分納期限	分納金調定年月日	摘要	徵收課長掛長主任官印
月日	圓		圓	月日			印 印 印

備考

一　本簿ハ各科目毎ニ區分見出紙チ附シ累年之チ使用スルモノトス

二　摘要欄ニハ收入年月日、許可取消等ノ事由及其ノ年月日チ記載スルモノトス

三　分納金ノ調定決議ハ本簿チ以テ之チ爲スモノトス

第二十四號書式

何年度

滯納額整理簿

何廳

何何（日）

（△印ハ朱書）

徵收課掛主督	告知書番號	滯納金額	納期日	手數料	督促月日	延滯金	指定月日	處分費	顚末	住所	氏名
○	一	一二一	七月二十五日	一〇〇	八月五日	三一〇	八月十五日	一五七	△九月十五日何廳ヘ引繼		
○		一〇〇〇〇〇	五一〇	五〇〇					八月二十六日財産差押、九月五日公賣決行		
○									八月十日納付濟		
○									九月十日收入（何月何日手數料處分費及延滯金ノ內何程收入、殘金何程何月何日決損處分）九月十日計算書作製	何地何番地	何某
○	二	一〇〇〇〇〇	七月二十五日	一〇〇	八月五日	三一〇	八月十五日	一五七	△九月十五日何廳ヘ引繼		
○										同	何某

| | | | | | | | | | |

何々	何年度	100000	年月日何々	同	何某	年月日貸付金ニ編入認可
何々	何々年度	100000	年月日何々	同	何某	債權消滅ニ付年月日消除
何々	何年度	100000	年月日何々	同	何某	何々

備考

本簿ハ累年之ヲ使用スルモノトス

第二十六號書式

用紙適宜（縦四寸五分三厘横三寸三分）三枚接續

注意　本書ハ納金スルトキ添附スヘシ

年　月　日領收㊞　分掌官在勤廳名

第　號　臺灣總督府　年度歲入　納入住所氏名納

經常（臨時）　款　項　目　何省主管　取扱廳名　歲入徵收官「官氏名」

一金

但

年月日限　何日本銀行（又ハ何廳）ヘ納付

年月日　納入告知書發行者　官氏　名㊞

日本銀行又ハ收入官吏割印　分掌官在勤廳名

報告書（收入官吏）通知書

第　號　臺灣總督府　年度歲入　納入住所氏名納

經常（臨時）　款　項　目　何省主管取扱廳名

一金

年月日領收

（又ハ）何廳收入官吏　何日本銀行㊞　名㊞

日本銀行又ハ收入官吏割印

領收證書

第　號　臺灣總督府　年度歲入　納入住所氏名納

取扱廳名

一金

但

年月日領收

（又ハ）何廳收入官吏　何日本銀行㊞　名㊞

第二十七號書式

納稅（入）告知書取消通知書

年月日第　號納稅（入）告知書

何年度何期分何稅

右ハ何々（取消ノ事由ヲ簡記スルヲ要ス）ニ付取消ス

年月日　納稅（入）告知書發行者　官氏　名㊞

第二十八號書式

年度　歲入

第　號　書譯仕拂書　差額照對計算表ト日本銀行月分徵收報告書トノ照對

廳名	事由	差額 足不方ノ表照對 圓	錢	厘	差額 過超方ノ表照對 圓	錢	厘
	本書ハ分掌官在勤廳毎ニ區分揭上スルモノトス						
合計	差引照對何程過（足不）方ノ表						

年　月　日　官　官　氏　名㊞

歲入徵收

備考

一　領收證書及通知書ノ金額、年度、科目等ハ納入告知書發行者ニ於テ記入スルモノトス

二　削除

三　通知書及領收證書中納入ノ住所ハ之カ記載ヲ省略スルコトヲ得

四　納入告知書及通知書ノ取扱廳名ハ歲入徵收官ノ在勤廳名ヲ記入スルモノトス

五　收入官吏ニ於テ領收ヲ爲ストキハ納入告知書ノ餘白ニ領收濟年月日ヲ記入捺印シ領收濟報告書ニ代用スルコトヲ得

六　歲入徵收分掌官ノ發スル納入告知書及通知書ニハ其ノ在勤廳名ヲ欄外ニ記入スルモノトス

第二十九號書式

（部）臨時　經常　歲入　年度

第　號　書告報譯內濟未込拂金現分月　年

由	事	込拂銀行濟未日本額	月	年	名氏吏官收入	名	廳
		厘 錢 圓					
				合計			
			日	月			
			官收徵入歲	年			
			官氏名㊞				

備考

一　本書ハ收入官吏毎ニ區分揭上シ合計金高ハ徵收報告書現金拂込仕譯欄差引翌月ヘ越高ト符合スヘキモノトス

二　年月欄ニハ當初拂込未濟ノ月ヲ揭クルモノトス

第三十號書式

何年何月分臺灣總督府歲入（又ハ一般歲入）通知書

一金何程

一金何程　何年度

右及通知候也　何年度

年月日

何廳歲入徵收官又ハ何廳歲入徵收分掌官

官氏　名㊞

何地日本銀行宛

備考

本書ハ主管廳又ハ會計ノ異ナル毎ニ調製スルモノトス

第三十一號書式

大正　年度何々歲入收納報告書

分月何大正何年　何廳名取扱　何省所管

款	項	目	事由	調定濟額 本月分	調定濟額 本月迄累計	收入濟額 本月分	收入濟額 本月迄累計	不納缺損額 本月分	不納缺損額 本月迄累計	收入未濟額	現金拂込仕譯
				圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
經常	部	何々	何々ニ依リ缺損	100,000	1,500,000	110,000	1,200,000	5,000	25,000		
何々	常	何々	前年度ヨリ繰越ノ分	0	70,000	10,000	30,000	0	0	315,000	前月迄拂込未濟 30,000
	同	何々		9,000	116,000	14,000	111,000	0	0	5,000	本月中現金收額 100,000
	同	何々	何々ニ依リ調定外誤納	10,000							
	「同」	何々	「何々ニ依リ減」	「5,000」							合計 130,000
	何々	何々		1,000	2,000	0	1,000	1,000	1,000	0	本月中現金拂込高 121,000
	何々	何々		3,000	3,000	2,000	2,000	0	0	1,000	
		計		123,000	1,691,000	136,000	1,344,000	6,000	26,000	321,000	翌月へ越高 10,000
				「5,000」							
	何々	何々		4,000	10,000	1,000	4,000	0	0	6,000	
		何々		2,000	8,000	2,000	8,000	0	0	0	
		計		6,000	18,000	3,000	12,000	0	0	6,000	
		合計		129,000	1,709,000	139,000	1,356,000	6,000	26,000	327,000	
				「5,000」							
	臨時（以下前ノ例ニ倣ヒ）	部									
		總計									

備考

一　收入濟額本月分ニ前月迄拂込未濟額ヲ加ヘ翌月ヘ越高ヲ減シタル額ト日本銀行收額ト符合セサルトキハ本調ニ其ノ事由ヲ一廉毎ニ詳記スヘシ

二　前年度ヨリ繰越ノ分ト本年度調定ノ分ハ區分揭記スルモノトス「」ヲ附シタルモノハ朱書

大正　年　月　日　收入徵收分掌官　官氏　名㊞

第三十二號書式　用紙西洋紙（縦五寸五分　横三寸五分）

（表）

大正　何年度滞納処分票

税目	納期	税額	手数料	延滞金	処分費	領収印	督促番號

納人住所氏名

出張月日　摘要　処分官吏認印

出張月日　摘要　処分官吏認印

著手終了時

（裏）

備考

一　本票ハ滞納処分ノ爲出張ノトキ滞納額整理簿又ハ繰越額収納簿ニ依リ登載シ爾後処分結了ニ至ルマテ使用スルモノトス

二　徴収嘱託又ハ滞納処分引継ニ係ルモノハ欄外ニ其ノ旨記載スルモノトス

三　租税ト租税外ト所属年度ヲ異ニスルトキハ租税外金額ニ其ノ年度ヲ傍書スルモノトス

四　摘要欄ニハ左記ノ外參考トナルヘキ事項ヲ記載スルモノトス

イ　滞納者ノ所在不明ナリシトキハ其ノ所在及財産捜索ノ顛末

ロ　滞納者カ任意納付ヲ爲シタルトキハ之ヲ領収シタル事實

ハ　滞納ノ原因、滞納者ノ資産状況、財産差押、見積価格、立會人及差押財産保管方法等ノ要領

ニ　差押財産公賣ニ關スル事實

第三十三號書式　用紙寸法第三十二號書式ニ同シ

滞納処分集計票

摘要	人員	件數	巡回里數	宿所	備考
発著			月日	宿泊所	
現金収入					
差押					
公賣執行					
無財産					
所在不明					
納付済ノモノ					
計					

年月日　官氏名㊞

備考

一　出張ヲ要セシ總滞納者ノ市街庄區別人員及異常ノ事項ハ備考欄ニ記載スルモノトス

現金何程　領収済報告書　何枚　此金何程

●臺灣總督府鐵道部歲入取扱規程

明治三十三年五月　臺灣總督府訓令第百四十號

【民政部】鐵道部

臺灣總督府鐵道部歲入取扱規程左ノ通相定ム

臺灣總督府鐵道部歲入取扱規程

第一章　總則

第一條　臺灣總督府鐵道部ニ屬スル歲入ハ鐵道部長之ヲ徴收スヘシ

第二條　鐵道部歲入中各驛ニ於ケル運輸收入ハ第十八條ニ依リ直ニ收入セシメ其他ノ收入ハ鐵道部長納入告知書ヲ發シ金庫又ハ收入官吏ニ納付セシムヘシ但納付ヲ要スルモノハ此限ニアラス

第三條　歲入ノ種類ハ鐵道部長之ヲ定ム

第二章　徴收要求及納通知

第四條　支部長課長出張所長運輸事務所長又ハ運輸事務所主任及驛長ハ主管事務ノ歲入ニ對シ左ノ手續ヲ爲スヘシ

一　隨時ノ收入アルトキハ徴收要求書ニ必要書類ヲ添附シ歲入徴收官ニ送付スルコト

二　納スヘキモノアルトキハ歲入徴收官ニ代リ納通知書ヲ收入官吏ニ送付シ同時ニ納報告書ニ關係書類ヲ添ヘ歲入徴收官ニ送付スルコト

三　定期收入トナルヘキモノハ當該年度ノ始ニ於テ徴收要求書ニ納入氏名期限金

額ノ仕譯書ヲ添ヘ報告スルモノトス但異動アル毎ニ更正報告ヲ爲スコト

第四條　支部長課長出張所長運輸事務所長又ハ運輸事務所主任及各驛長ニ於テ已ニ發行シタル徴收要求書ノ納通知書又ハ納報告書ニ誤謬アリタルコトヲ覺知シタルトキハ歲入徴收官又ハ所屬收入官吏ニ相當ノ更正書ヲ發送スヘシ

第三章　歲入ノ徴收

第五條　歲入徴收官ハ成規ノ徴收ノ外徴收内譯簿及現金拂込調査簿ヲ設備スヘシ

第六條　歲入徴收官ハ徴收要求書ニ依リ調定ヲ爲シ納入告知書ヲ發シ徴收簿ニ登記スヘシ

第七條　歲入徴收官ハ各驛收入報告書若ハ各驛收入合計表金庫ノ領收濟通知書（收入官吏ノ拂込ニ屬セサル分ヲ）及卽納報告書ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ徴收簿ニ登記スヘシ

第八條　各驛ノ運輸收入ハ鐵道部運輸課長ニ於テ每日之ヲ審査シ更正ヲ要スルモノアルトキハ更正通知書ヲ收入官吏及驛長ニ交付シ其金額事由ヲ歲入徴收官ニ通知スヘシ

第九條　鐵道部運輸課長ハ前條審査ノ結果ニ依リ每月運輸收入審査額報告書ヲ歲入徴收官ニ送付スヘシ

第十條　歲入徴收官卽ニ發シタル納入告知書ノ金額ニ錯誤アルコトヲ覺知シタルトキ增額ニ係ルモノハ增額ニ對スル納入告知書ヲ發シ其減額ニ係ルモノハ更ニ納入告知書ヲ發シ前ニ發シタル納入告知書ノ取消スヘシ

第十一條　歲入徴收官收入官吏ノ現金拂込ニ對シ金庫ヨリ領收濟通知書ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ徴收簿ニ照合シ拂込未濟又ハ其他ノ事故アルトキハ收入官吏ニ通知スヘシ

第十二條　歲入徴收官卽納報告書ノ金額ヲ減少スヘキ更正報告ヲ受ケタルトキハ收入官吏ニ於テ未タ金庫ニ拂込マサル分ハ之ヲ更正シ已ニ拂込濟ノ分ハ其旨卽納報告書發行者ニ通知スヘシ

第十三條　驛長ハ當該驛當日ノ收入事項ヲ審査シ其ノ翌日收入報告書ヲ調製シ出納員現金託送列車ニテ之ヲ歲入徴收官ニ送付スヘシ

前項收入報告書ノ調製ヲ要セスト認メタルトキハ之ヲ省略スルコトヲ得

第十四條　削除

第十五條　歲入徴收官收入官吏ヨリ現金拂込調査簿ニ登記スヘシ

第十六條　歲入徴收官ハ徴收簿及現金拂込調査簿ノ結果ニ依リ每月徴收報告書ヲ調製シ歲入金月計對照表ヲ添ヘ翌月十日マテニ臺灣總督ニ送付スヘシ

第四章　收入官吏及出納員

第十七條　收入官吏ハ成規ノ現金出納簿及現金出納内譯簿及各驛收入内譯簿ヲ設ケヘシ

第十八條（後拂ヲ除ク）及卽納ニ屬スル收入ヲ收入スヘシ

第十九條　各驛出納員當日ノ收入ヲ了シタルトキハ再ヒ事項ヲ審査シ現金ヲ計算シ現金出納簿ニ記シ現金ハ拂込書ヲ添ヘ部長ノ指定シタル列車ニテ所屬收入官吏ニ拂込ムヘシ

第二十條ノ二　第十三條第二項ノ場合ニ於テ收入官吏前條現金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ各驛收入合計表ヲ調製シ歲入徴收官ニ送付スヘシ

第二十條　出納員前條ノ收入金ヲ列車ニ搭載スルトキハ現金及書類ヲ封緘シ護送ノ車長ト立會ノ上該列車内ノ容器ニ入レ同車長ノ認印ヲ領置スヘシ

第二十一條　護送車長收入官吏所在地ニ著シタルトキハ該容器ヲ收入官吏ニ交付シ立會ノ上該容器ヲ開キ封緘ノ儘各驛分ヲ引渡シ相當ノ領收證ヲ受クヘシ

第二十一條ノ二　收入官吏收入金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ現金拂込書ト對照シ成規ノ領收證ト出納員ニ交付シ現金出納簿及現金拂込内譯簿ニ登記スヘシ若シ過不足アルトキハ

第一號樣式（用紙半紙）

第　號　徴收要求書

右記之通徴收有之度候也

明治　年　月　日

支部長、出張所長、課長、驛長

官　氏　名㊞

歲入徴收官官氏名宛

（款）

一合金　（項）

（目）

内譯　年度分

臺灣總督府鐵道部歲入取扱規程關係書式

第一號樣式　徴收要求書

第二號樣式　卽納通知書

第三號樣式　卽納報告書

第四號樣式　徴收要求更正書

第五號樣式　卽納通知更正書

第六號樣式　更正通知書

第七號樣式　運輸收入審査額報告書

第八號樣式　收入報告書（日表）

第九號樣式　現金拂込調査簿

第十號樣式　現金拂込濟仕譯書

第十一號樣式　出納員現金拂込書

第十二號樣式　徴收内譯簿

第十三號樣式　各驛收入内譯簿

第十四號樣式　現金出納内譯簿

第十五號樣式　各驛收入合計表

納入告知書（明治三十三年四月訓令第百二十五號臺灣歲入取扱規程第一號書式適用）

各驛收入内譯簿（徴收簿ノ書式ニ準ス）

各驛出納員現金拂込内譯簿（現金拂込調査簿樣式ニ準ス）

第二號樣式（用紙半紙）

區間解疏名	事由	解疏金額	計金額	納期	納入住所氏名

第一號　郎納通知書

一合金

內譯　某年度分

金額	事由	納入住所氏名
圓 ○○○○		
○○○○	何所何某	
○○○○	同	同

右郎時ニ徵收有之度候也

明治　年　月　日

收入官吏氏名宛

支部長、出張所長、課長、驛長

官　氏　名印

第三號樣式（用紙半紙）

第　號　郎納報告書

一合金

內譯　收入官吏氏名扱

金額	事由	郎納通知書番號	納入氏名
○○○○			
○○○○	第　號	何	某
○○○○	第　號	何	某

右報告候也

明治　年　月　日

歲入徵收官氏名宛

支部長、出張所長、課長、驛長

官　氏　名印

第四號樣式（用紙半紙）

第　號　徵收要求更正書

何年何月何日徵收要求書ノ內

一金　但シ何々金　納入人何某

右何々更正ヲ要スル理由ニ付何々更正ノ目的相成度候也

明治　年　月　日

歲入徵收官氏名宛

支部長、出張所長、課長、驛長

官　氏　名印

第五號樣式（用紙半紙）

第　號　郎納通知更正書

一金　但シ何々金

年　月　日第　號郎納通知書

納入人何某

右何々更正ヲ要スル理由ニ付何々更正ノ目的相成度候也

明治　年　月　日

歲入徵收官吏氏名宛

支部長、出張所長、課長、驛長

官　氏　名印

第六號樣式乙（用紙半紙）

第　號　更正通知書

明治　年　月　日何驛收入中（收入不足ニ付更正ヲ要スル分又ハ科目編入誤ニ付更正ヲ要スル分）

一金　壹　書（日）（解疏）

更正朱書（日）（解疏）

明治　年　月　日

收入官吏氏名宛

運輸課長

備考

郎納報告更正書ハ本樣式ニ準シ歲入徵收官ヘ送付スヘシ

第六號樣式甲（用紙半紙）

第七號樣式

運輸收入審查額報告書

明治　年　月　日分

項目	解疏	金額	備考
		圓 錢 厘	
	道部運輸課長	官氏名	〔印〕
鐵			
歲入	收官官吏氏名宛		
		明治　年　月　日	

第　號　更正通知書

收入年月日	金額	科目	事由
明治　年　月　日	圓 ○○○○	（目）何々（解疏）何々 朱書（日）何々（解疏）何々	何々ニ付朱書ノ通更正ヲ要ス

右及通知候也

明治　年　月　日

何驛運氏名宛

運輸課長

第八號樣式

驛收入報告書

明治　年　月　日分

項目	解疏	收入高	備考
		圓	
何々	何々	0	
	何々	0	
	小計	0	郎納ノ分
何々	何々	0	
	合計		
	收入驛	官吏（驛長）氏名	印
	明治　年　月　日		

第九號樣式

（簿查調込拂金現）

何　廳　收入名更官吏

年月日	摘要	受	拂	殘
		圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘
明治三十年三月	何分	100000	100000	0
十五年四月	何分	200000	200000	0
六年五月	何分			0

第十號様式

何年度臺灣總督府歳入　經常部（又）臨時部）歳入
内務省所管　明治何年何月分現金拂込濟仕譯書　第何號

摘要	金額	備考
	圓 錢 厘	
前月迄拂込未濟	0	備考　差引翌月ヘ越高アルトキハ其ノ事由ヲ備考ニ記載スヘシ
本月中現金領收額	0	
計	0	
本月中現金拂込高	0	
差引翌月ヘ越高	0	

日　　明治　年　月
歳入徵收官吏　何廳（又ハ驛）收入官吏　氏名㊞

第十一號様式

現金拂込書

第　號　　明治　年　月　日分

科目	金額	備考
	圓 錢 厘	
鐵道收入	0	
客車收入	0	
貨車收入	0	
雜收	0	

上記ノ金額拂込候也
年　月　日
何驛出納員官氏名㊞
收入官吏官氏名　宛

第十二號様式

簿譯内收徵

日 年月	摘要	鐵道收入 客收	鐵道收入 貨收	鐵道收入 雜收	辨償金	雜入	計
		圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘

備考
一　本簿ハ各驛ノ現金收入ノ分ヲ毎日總括シ其ノ總括高ヲ逐次登記スルモノトス
一　即納及後拂ニ屬スル分ハ即納ニアリテハ即納報告ヲ以テ登記シ後拂ニアリテハ徵收要求書ニ由リ登記スルモノトス

第十三號様式

簿譯内入收驛各

日 年月	摘要	入收 圓	錢	厘

備考　各驛出納員別ニテ登記ス

第十四號様式

簿譯内納出金現

日 年月	摘要	受 圓	錢	厘	拂 圓	錢	厘	殘 圓	錢	厘

備考　本簿ハ左ノ如ク口座別ニ登記スルモノトス
臺灣歳入
鐵道收入ニ屬スル分
但シ摘要ニ即納、後拂、各驛出納員收入ヲ區分スヘシ
一般歳入ニ屬スル分
用品資金ニ屬スル分
歳入歳出外ニ屬スル分

第十五號様式

各驛收入合計表

第　號　　明治　年　月　日分

項目	解	金額 圓	錢	厘	備考
有官收入及官業財產 鐵道收入	客車收入	0			
	貨車收入	0			
	雜收	0			
	計	0			

上記ノ通報告候也
年　月　日
歳入徵收官吏官氏名　宛

●國庫納金收納取扱手續

大正十三年三月二十三日　臺灣總督府訓令第二十六號

臺灣總督府法院、州廳、臺灣總督府所屬官署

國庫納金收納取扱手續左ノ通相定ム

國庫納金收納取扱手續

第一條　臺灣總督府所屬國庫納金ノ收納ハ大正十二年勅令第四百三十九號恩給金額分擔及國庫納金收入等取扱規則及同年大藏省令第三十號恩給金額分擔及國庫納金收入等事務取扱細則ニ依ルノ外本令ニ依リ取扱フヘシ

第二條　恩給金額分擔及國庫納金收入等取扱規則第十條ニ依リ國庫納金ヲ控除シタルトキハ出納官吏事務規程附屬第五號書式ニ準シタル仕譯書ヲ調製シ之ヲ歳入ヲ徵收スル

官吏ニ送付スヘシ

第三條　恩給金額分擔及國庫納金收入等事務取扱細則第三條ノ規定ニ依ル國庫納金ハ其ノ廳ニ於テ常時收入金ヲ領收スル收入官吏ニ送付スヘシ

第四條　恩給金額分擔及國庫納金收入等事務取扱細則第六條ニ依リ當該公務員ニ俸給ヲ給スル經濟ヨリ提出スル報告書ハ每年四月五日及十月五日限リ之ヲ其ノ廳歲入徵收官ニ送付スヘシ但シ臺灣神社ニ在リテハ臺灣總督府歲入徵收官ニ送付スルモノトス

附　則

明治三十一年訓令第三十六號及大正八年訓令第四十九號ハ之ヲ廢止ス

●恩給令額分擔及國庫納金收入等取扱規則

大正十二年十月九日勅令第四百三十九號

朕恩給金額分擔及國庫納金收入等取扱規則ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

恩給金額分擔及國庫納金收入等取扱規則

第一條　內閣恩給局長ハ國庫ヨリ府縣其ノ他國庫以外ノ經濟ニ對シ請求スヘキ各經濟別恩給金額分擔額ヲ前年四月一日ヨリ其ノ年三月三十一日迄ノ間ニ於ケル恩給支給義務額ニ依リ調查シ各經濟每ニ仕譯書二通ヲ作成シ每年七月三十一日迄ニ分擔金額ノ請求ヲ爲スヘキ當該經濟ニ對シ仕譯書一通ヲ添附シタル恩給金額分擔請求通知書ヲ發シ同時ニ仕譯書一通ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二條　府縣其ノ他國庫以外ノ經濟前條ノ規定ニ依ル恩給金額分擔請求通知書ノ送付ヲ受ケタルトキハ翌年三月三十一日迄ニ其ノ分擔額ヲ日本銀行ニ拂込ムヘシ

第三條　府縣其ノ他國庫以外ノ經濟ハ國庫ニ對シ請求スヘキ恩給金額分擔額ヲ前年四月一日ヨリ其ノ年三月三十一日迄ノ間ニ於ケル恩給支給義務額ニ依リ調查シ仕譯書ヲ作成シ之ヲ恩給金額分擔請求書ニ添附シ每年七月三十一日迄ニ內閣恩給局長ニ送付スヘシ

內閣恩給局長前項ノ分擔請求書ヲ受ケタルトキハ之ヲ調查シ同年九月三十日迄ニ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四條　大藏大臣前條ノ恩給金額分擔請求書ノ送付ヲ受ケタルトキハ翌年三月三十一日迄ニ其ノ分擔額ヲ當該經濟ニ交付スヘシ

第五條　府縣其ノ他國庫以外ノ經濟ハ國庫以外ノ他ノ經濟ニ對シ請求スヘキ恩給金額分擔額ヲ前年四月一日ヨリ其ノ年三月三十一日迄ノ間ニ於ケル恩給支給義務額ニ依リ調查シ仕譯書ヲ作成シ之ヲ恩給金額分擔請求書ニ添附シ每年七月三十一日迄ニ內閣總理大臣ニ送付スヘシ

第六條　前條ノ恩給金額分擔請求書ノ送付ヲ受ケタル經濟ハ翌年三月三十一日迄ニ其ノ分擔額ヲ之カ請求ヲ爲シタル當該經濟ニ交付スヘシ

第七條　國庫ト府縣其ノ他國庫以外ノ經濟トノ間又ハ國庫以外ノ經濟相互間ニ於ケル分擔ノ請求ヲ爲ストキ普通恩給又ハ扶助料ノ裁定ヲ爲シタル官廳ハ裁定後直ニ普通恩給又ハ扶助料ノ分擔請求ヲ受クヘキ經濟ニ當該公務員ノ履歷書ヲ添附シ其ノ裁定ノ要項ヲ通知スヘシ

前項ノ場合ニ於テ國庫ニ對スル通知ハ內閣恩給局長ニ宛テ之ヲ爲スモノトス

第八條　內閣恩給局長以外ノ官廳カ國庫ヨリ支給スヘキ普通恩給又ハ扶助料ノ裁定ヲ爲シタルトキハ當該公務員ノ履歷書ヲ添附シ直ニ其ノ要項ヲ內閣恩給局長ニ通知スヘシ

內閣恩給局長カ國庫以外ノ經濟ヨリ支給スヘキ普通恩給又ハ扶助料ノ裁定ヲ爲シタルトキハ當該公務員ノ履歷書ヲ添附シ直ニ其ノ要項ヲ當該經濟ニ通知スヘシ

第九條　前二條ノ規定ニ依リ通知シタル裁定ノ要項ニ變更ヲ生シタル場合ニ於テハ前二條ノ規定ニ準シ之ヲ通知スヘシ

普通恩給權又ハ扶助料權ノ消滅シタル場合亦前項ニ同シ此ノ場合ニ於テハ履歷書ノ添附ヲ要セス

第十條　文官、敎育職員又ハ待遇職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケル者ノ恩給法第五十九條規定ニ依リ國庫ニ納付スヘキ金額ハ俸給ノ支拂ヲ爲ス際支出官之ヲ控除スヘシ但シ出納官吏俸給ノ支拂ヲ爲ス場合ニ於テハ當該出納官吏之ヲ控除スヘシ

前項ノ規定ニ依リ控除シタル金額ヲ歲入ニ組入レムトスル場合ニ於テハ當該支出官之カ歲入徵收官トシテ徵收ノ手續ヲ爲スヘシ

第十一條　文官又ハ敎育職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケサル者ノ恩給法第五十九條ノ規定ニ依リ收入ノ手續ヲ爲ス際其ノ支拂ヲ爲ス當該官吏又ハ吏員之ヲ控除スヘシ

前項ノ規定ニ依リ國庫納金ヲ控除シタルトキハ之ニ其ノ計算ヲ明ニシタル仕譯書ヲ添附シ每翌月十日迄ニ之ヲ歲入徵收官ノ定ムル出納官吏ニ納付スヘシ

第十二條　待遇職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケサル者ノ恩給法第五十九條ノ規定ニ依リ府縣其ノ他國庫以外ノ經濟ニ納付スヘキ金額ハ俸給ノ支拂ヲ爲ス際其ノ支拂ヲ爲ス當該官吏又ハ吏員之ヲ控除スヘシ

前項ノ規定ニ依リテ控除シタル納金ハ當該經濟ノ定ムル所ニ依リ收入ノ手續ヲ爲スヘシ

第十三條　轉任、轉職、休職又ハ死亡等ニ因リ過渡俸給ノ返納ヲ要スルトキハ其ノ百分ノ一ヲ返納者ニ於テ控除スヘシ

第十四條　國庫ヨリ恩給ヲ給スルモ俸給ヲ給セサル公務員ニ俸給ヲ給スル經濟カ恩給法第十八條第一項ノ規定ニ依リ國庫ニ納付スヘキ金額ハ每年四月十日及十月十日迄ニ其ノ前六月分ヲ日本銀行ニ拂込ムヘシ

第十五條　府縣其ノ他國庫以外ノ經濟ヨリ恩給ヲ給スルモ俸給ヲ給セサル公務員ニ俸給ヲ給スル經濟カ恩給法第十八條第二項ノ規定ニ依リ國庫以外ノ經濟ニ納付スヘキ金額ハ每年四月十日及十月十日迄ニ其ノ前六月分ヲ當該經濟ニ交付スヘシ

第十六條　府縣其ノ他國庫以外ノ經濟ヨリ恩給ヲ給スルモ俸給ヲ給セサル公務員ニ恩給ヲ給スル經濟カ恩給法第十八條第二項ノ規定ニ依リ國庫以外ノ經濟ニ納付スヘキ金額ハ每年四月十日及十月十日迄ニ其ノ前六月分ヲ當該經濟ニ交付スヘシ

第十七條　本令施行ニ關シ必要ナル規定ハ其ノ收入支出ニ關スルモノニ付テハ大藏大臣、其ノ他ノ事項ニ關スルモノニ付テハ內閣總理大臣之ヲ定ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

左ノ勅令ハ之ヲ廢止ス

一　官吏遺族扶助法納金收入規則

一　府縣立師範學校長俸給竝公立學校職員退隱料及遺族扶助料法納金收入規則

明治四十五年勅令第七十一號

本令施行前內閣總理大臣以外ノ官廳カ裁定シタル國庫支辨ノ年金タル恩給、退隱料、遺族扶助料其ノ他之ニ準スヘキモノニシテ本令施行ノ際現ニ其ノ權利ノ存續スルモノニ付テハ當該裁定官廳ハ遲滯ナク裁定ノ要項ヲ內閣恩給局長ニ通知スヘシ

第九條ノ規定ハ前項ノ恩給、退隱料、遺族扶助料其ノ他之ニ準スヘキモノニ付之ヲ準用ス

●恩給金額分擔及國庫納金收入等事務取扱細則

大正十二年十二月七日
大藏省令第三十號

恩給金額分擔及國庫納金收入等事務取扱細則ヲ左ノ通相定ム

恩給金額分擔及國庫納金收入等事務取扱細則

第一條　恩給金額分擔及國庫納金收入等取扱規則第一條ニ規定スル恩給金額分擔請求通知書ハ別紙第一號書式ニ依リ仕譯書ハ第二恩給金額分擔及國庫納金收入等取扱規則第三條及第五條ニ規定スル恩給金額分擔請求書及仕譯書ハ前項ニ規定スル恩給金額分擔請求通知書及仕譯書ニ準シ之ヲ調製スヘシ

第二條　恩給金額分擔及國庫納金收入等取扱

規則第十條第一項ノ出納官吏國庫納金ヲ控除シタル場合ニ於テハ收入官吏トシテ總テ其ノ規定ニ依リ整理スヘシ

第三條　恩給金額分擔及國庫納金收入等取扱規則第十一條第一項ノ規定ニ依リ俸給ノ支拂ヲ爲スヘキ當該經濟ニ對シ仕譯書一通ヲ添附シタル恩給金額分擔請求通知書ヲ發シ同時ニ仕譯書一通ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二條　府縣其ノ他國庫以外ノ經濟前條ノ規定ニ依ル恩給金額分擔請求通知書ノ送付ヲ受ケタルトキハ翌年三月三十一日迄ニ其ノ分擔額ヲ日本銀行ニ拂込ムヘシ

第三條　府縣其ノ他國庫以外ノ經濟ハ國庫ニ對シ請求スヘキ恩給金額分擔額ヲ前年四月一日ヨリ其ノ年三月三十一日迄ノ間ニ於ケル恩給支給義務額ニ依リ調查シ仕譯書ヲ作成シ之ヲ恩給金額分擔請求書ニ添附シ每年七月三十一日迄ニ內閣恩給局長ニ送付スヘシ

內閣恩給局長カ國庫以外ノ經濟ヨリ支給スヘキ普通恩給又ハ扶助料ノ裁定ヲ爲シタルトキハ當該公務員ノ履歷書ヲ添附シ直ニ其ノ要項ヲ當該經濟ニ通知スヘシ

第四條　內閣恩給局長以外ノ官廳カ國庫ヨリ支給スヘキ普通恩給又ハ扶助料ノ裁定ヲ爲シタルトキハ當該公務員ノ履歷書ヲ添附シ直ニ其ノ要項ヲ內閣恩給局長ニ通知スヘシ

第五條　前二條ノ規定ニ依リ通知シタル裁定ノ要項ニ變更ヲ生シタル場合ニ於テハ前二條ノ規定ニ準シ之ヲ通知スヘシ

普通恩給權又ハ扶助料權ノ消滅シタル場合亦前項ニ同シ此ノ場合ニ於テハ履歷書ノ添附ヲ要セス

第六條　國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケル者ノ恩給法第五十九條規定ニ依リ國庫ニ納付スヘキ金額ハ俸給ノ支拂ヲ爲ス際支出官之ヲ控除スヘシ但シ出納官吏俸給ノ支拂ヲ爲ス場合ニ於テハ當該出納官吏之ヲ控除スヘシ

前項ノ規定ニ依リ控除シタル金額ヲ歲入ニ組入レムトスル場合ニ於テハ當該支出官之カ歲入徵收官トシテ徵收ノ手續ヲ爲スヘシ但シ臺灣神社ニ在リテハ臺灣總督府歲入徵收官ニ送付スルモノトス

附　則

明治三十一年訓令第三十六號及大正八年訓令第四十九號ハ之ヲ廢止ス

●恩給令額分擔及國庫納金收入等取扱規則

大正十二年十月九日
勅令第四百三十九號

朕恩給金額分擔及國庫納金收入等取扱規則ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

恩給金額分擔及國庫納金收入等取扱規則

第一條　內閣恩給局長ハ國庫ヨリ府縣其ノ他國庫以外ノ經濟ニ對シ請求スヘキ各經濟別恩給金額分擔額ヲ前年四月一日ヨリ其ノ年三月三十一日迄ノ間ニ於ケル恩給支給義務額ニ依リ調查シ各經濟每ニ仕譯書二通ヲ作成シ每年七月三十一日迄ニ分擔金額ノ請求ヲ爲スヘキ當該經濟ニ對シ仕譯書一通ヲ添附シタル恩給金額分擔請求通知書ヲ發シ同時ニ仕譯書一通ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二條　府縣其ノ他國庫以外ノ經濟前條ノ規定ニ依ル恩給金額分擔請求通知書ノ送付ヲ受ケタルトキハ翌年三月三十一日迄ニ其ノ分擔額ヲ日本銀行ニ拂込ムヘシ

第三條　府縣其ノ他國庫以外ノ經濟ハ國庫ニ對シ請求スヘキ恩給金額分擔額ヲ前年四月一日ヨリ其ノ年三月三十一日迄ノ間ニ於ケル恩給支給義務額ニ依リ調查シ仕譯書ヲ作成シ之ヲ恩給金額分擔請求書ニ添附シ每年七月三十一日迄ニ內閣恩給局長ニ送付スヘシ

內閣恩給局長前項ノ分擔請求書ヲ受ケタルトキハ之ヲ調查シ同年九月三十日迄ニ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四條　大藏大臣前條ノ恩給金額分擔請求書ノ送付ヲ受ケタルトキハ翌年三月三十一日迄ニ其ノ分擔額ヲ當該經濟ニ交付スヘシ

第五條　府縣其ノ他國庫以外ノ經濟ハ國庫以外ノ他ノ經濟ニ對シ請求スヘキ恩給金額分擔額ヲ前年四月一日ヨリ其ノ年三月三十一日迄ノ間ニ於ケル恩給支給義務額ニ依リ調查シ仕譯書ヲ作成シ之ヲ恩給金額分擔請求書ニ添附シ每年七月三十一日迄ニ內閣總理大臣ニ送付スヘシ

第六條　前條ノ恩給金額分擔請求書ノ送付ヲ受ケタル經濟ハ翌年三月三十一日迄ニ其ノ分擔額ヲ之カ請求ヲ爲シタル當該經濟ニ交付スヘシ

第七條　國庫ト府縣其ノ他國庫以外ノ經濟トノ間又ハ國庫以外ノ經濟相互間ニ於ケル分擔ノ請求ヲ爲ストキ普通恩給又ハ扶助料ノ裁定ヲ爲シタル官廳ハ裁定後直ニ普通恩給又ハ扶助料ノ分擔請求ヲ受クヘキ經濟ニ當該公務員ノ履歷書ヲ添附シ其ノ裁定ノ要項ヲ通知スヘシ

前項ノ場合ニ於テ國庫ニ對スル通知ハ內閣恩給局長ニ宛テ之ヲ爲スモノトス

第八條　內閣恩給局長以外ノ官廳カ國庫ヨリ支給スヘキ普通恩給又ハ扶助料ノ裁定ヲ爲シタルトキハ當該公務員ノ履歷書ヲ添附シ直ニ其ノ要項ヲ當該經濟ニ通知スヘシ

內閣恩給局長カ國庫以外ノ經濟ヨリ支給スヘキ普通恩給又ハ扶助料ノ裁定ヲ爲シタルトキハ當該公務員ノ履歷書ヲ添附シ直ニ其ノ要項ヲ內閣恩給局長ニ通知スヘシ

第九條　前二條ノ規定ニ依リ通知シタル裁定ノ要項ニ變更ヲ生シタル場合ニ於テハ前二條ノ規定ニ準シ之ヲ通知スヘシ

普通恩給權又ハ扶助料權ノ消滅シタル場合亦前項ニ同シ此ノ場合ニ於テハ履歷書ノ添附ヲ要セス

第十條　文官、敎育職員又ハ待遇職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケル者ノ恩給法第五十九條規定ニ依リ國庫ニ納付スヘキ金額ハ俸給ノ支拂ヲ爲ス際支出官之ヲ控除スヘシ但シ出納官吏俸給ノ支拂ヲ爲ス場合ニ於テハ當該出納官吏之ヲ控除スヘシ

前項ノ規定ニ依リ控除シタル金額ヲ歲入ニ組入レムトスル場合ニ於テハ當該支出官之カ歲入徵收官トシテ徵收ノ手續ヲ爲スヘシ

第十一條　文官又ハ敎育職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケサル者ノ恩給法第五十九條ノ規定ニ依リ國庫ニ納付スヘキ金額ハ俸給ノ支拂ヲ爲ス當該官吏又ハ吏員之ヲ控除スヘシ

前項ノ規定ニ依リ國庫納金ヲ控除シタルトキハ之ニ其ノ計算ヲ明ニシタル仕譯書ヲ添附シ每翌月十日迄ニ之ヲ歲入徵收官ノ定ムル出納官吏ニ納付スヘシ

第十二條　待遇職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケサル者ノ恩給法第五十九條ノ規定ニ依リ府縣其ノ他國庫以外ノ經濟ニ納付スヘキ金額ハ俸給ノ支拂ヲ爲ス際其ノ支拂ヲ爲ス當該官吏又ハ吏員之ヲ控除スヘシ

前項ノ規定ニ依リテ控除シタル納金ハ當該經濟ノ定ムル所ニ依リ收入ノ手續ヲ爲スヘシ

第十三條　轉任、轉職、休職又ハ死亡等ニ因リ過渡俸給ノ返納ヲ要スルトキハ其ノ百分ノ一ヲ返納者ニ於テ控除スヘシ

第十四條　國庫ヨリ恩給ヲ給スルモ俸給ヲ給セサル公務員ニ俸給ヲ給スル經濟カ恩給法第十八條第一項ノ規定ニ依リ國庫ニ納付スヘキ金額ハ每年四月十日及十月十日迄ニ其ノ前六月分ヲ日本銀行ニ拂込ムヘシ

第十五條　府縣其ノ他國庫以外ノ經濟ヨリ恩給ヲ給スルモ俸給ヲ給セサル公務員ニ俸給ヲ給スル經濟カ恩給法第十八條第二項ノ規定ニ依リ國庫以外ノ經濟ニ納付スヘキ金額ハ每年四月十日及十月十日迄ニ其ノ前六月分ヲ當該經濟ニ交付スヘシ

第十六條　府縣其ノ他國庫以外ノ經濟ヨリ恩給ヲ給スルモ俸給ヲ給セサル公務員ニ恩給ヲ給スル經濟カ恩給法第十八條第二項ノ規定ニ依リ國庫以外ノ經濟ニ納付スヘキ金額ハ每年四月十日及十月十日迄ニ其ノ前六月分ヲ當該經濟ニ交付スヘシ

第十七條　本令施行ニ關シ必要ナル規定ハ其ノ收入支出ニ關スルモノニ付テハ大藏大臣、其ノ他ノ事項ニ關スルモノニ付テハ內閣總理大臣之ヲ定ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

左ノ勅令ハ之ヲ廢止ス

一　官吏遺族扶助法納金收入規則

一　府縣立師範學校長俸給竝公立學校職員退隱料及遺族扶助料法納金收入規則

明治四十五年勅令第七十一號

本令施行前內閣總理大臣以外ノ官廳カ裁定シタル國庫支辨ノ年金タル恩給、退隱料、遺族扶助料其ノ他之ニ準スヘキモノニシテ本令施行ノ際現ニ其ノ權利ノ存續スルモノニ付テハ當該裁定官廳ハ遲滯ナク裁定ノ要項ヲ內閣恩給局長ニ通知スヘシ

第九條ノ規定ハ前項ノ恩給、退隱料、遺族扶助料其ノ他之ニ準スヘキモノニ付之ヲ準用ス

●恩給金額分擔及國庫納金收入等事務取扱細則

大正十二年十二月七日
大藏省令第三十號

恩給金額分擔及國庫納金收入等事務取扱細則ヲ左ノ通相定ム

恩給金額分擔及國庫納金收入等事務取扱細則

第一條　恩給金額分擔及國庫納金收入等取扱規則第一條ニ規定スル恩給金額分擔請求通知書ハ別紙第一號書式ニ依リ仕譯書ハ第二恩給金額分擔及國庫納金收入等取扱規則第三條及第五條ニ規定スル恩給金額分擔請求書及仕譯書ハ前項ニ規定スル恩給金額分擔請求通知書及仕譯書ニ準シ之ヲ調製スヘシ

第二條　恩給金額分擔及國庫納金收入等取扱

第二號書式

分　年何　（又ハ給料恩給扶助料遺族恩給）（普通）書譯仕求請分擔額金給恩廳何

摘要	額金	備考
	圓	
文官		
何某外何名ノ分	0	
軍人		
何某外何名ノ分	0	
警察監獄職員		
何某外何名ノ分	0	
敎育職員		
何某外何名ノ分	0	
待遇職員		
何某外何名ノ分	0	
合計	0	

年　月　日

內閣恩給局長

何廳官職氏名宛

備考　仕譯書ハ恩給金額分擔及國庫納金收入等取扱規則第一條ニ規定スル恩給金額分擔請求通知書ニ依リ整理スヘシ

第七條　恩給金額分擔及國庫納金收入等取扱規則第十五條ノ規定ニ依リ當該公務員ニ俸給ヲ給スル經濟ノ國庫以外ノ經濟ニシテ恩給ヲ給スル者ニ納付スヘキ金額ニ付テハ其ノ計算ヲ明ニシタル書類ヲ添附シ當該經濟ノ定ムル規定ニ從ヒ交付ノ手續ヲ爲スヘシ

第八條　恩給金額分擔及國庫納金收入等取扱規則第十一條及第十四條ノ規定ニ依リ收入ノ手續ヲ爲サシムヘシ

附　則

本令ハ恩給金額分擔及國庫納金收入等取扱規則施行ノ日ヨリ之ヲ適用ス

左ノ大藏省訓令ハ之ヲ廢止ス

官吏遺族扶助法納金收入規則ニ依ル收入官吏トシテ總テ

第一號書式

恩給金額分擔請求通知書

一金

右大正何年分恩給金額分擔額及請求條ヲ給スル經濟ヨリ國庫ニ納付スヘキ金額ニ付テハ歲入徵收官ハ其ノ計算ヲ明ニシタル書類ヲ添附シ當該經濟ニ交付スヘシ

之ヲ分ニ付テハ料助扶族遺ト給恩通普ハ書譯仕求請通知書ヲ發シ同時ニ仕譯書一通ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

（別記）

裁定要項通知書

退職當時ノ官職又ハ公務員トノ續柄	氏名	退職當時ノ官職又ハ公務員トノ續柄	氏名
恩給金額 總在職年	年月	恩給金額 總在職年	年月
勤務廳 事項	在職年數 最終俸給年額	勤務廳 事項	在職年數 最終俸給年額

右通知ス

年　月　日

廳

廳御中

●臺灣總督府醫院收納規程

大正八年三月三十日
臺灣總督府訓令第二十八號

改正　大正一一年第七號

臺灣總督府　醫院

臺灣總督府醫院收納規程左ノ通相定ム

臺灣總督府醫院收納規程

第一條　臺灣總督府醫院ハ本令ニ定ムルモノノ外臺灣歲入取扱規程ニ依リ取扱フヘシ

第二條　外來患者ノ診察券料ハ別記第一號書式ノ納入票ニ依リ收入官吏之ヲ領收スヘシ

收入官吏前項ノ料金ヲ領收シタルトキハ診察券ニ有效期間ヲ記載シ料金領收證印ノ上之ヲ患者ニ交付スヘシ

醫員ハ診察券ノ有效期間及料金ノ納付ヲ認メタル後診察ヲ爲スヘシ

第三條　外來患者ノ藥價又ハ雜品代ハ別記第二號書式ノ處方箋ニ依リ收入官吏之ヲ領收スヘシ

收入官吏前項ノ規定ニ依リ現金ヲ領收シタルトキハ處方箋及納入票ニ式ノ如ク記入捺印ノ上處方箋ハ患者ニ交付シ之ヲ藥局ニ差出サシムヘシ

藥局員ハ處方箋ニ依リ納金ノ領收ヲ認メタル後現品ノ交付ヲ爲スヘシ

第四條　外來患者ヨリ手術又ハ處置ノ請求ヲ受ケタルトキハ醫員ハ別記第三號書式ノ治療箋ヲ交付シ之ニ現金ヲ添ヘ收入官吏ニ納付セシムヘシ但シ患者ノ請求ニ依リ一週間以內ノ治療箋ヲ交付スルコトヲ得此ノ場合ニ於ケル前納料金ハ如何ナル場合ト雖還付セサルコトニ取扱フヘシ

收入官吏前項ノ納金ヲ領收シタルトキハ治療箋及納入票ニ式ノ如ク記入捺印シ治療箋ハ醫員ニ差出サシムヘシ

醫員ハ治療箋ニ依リ納金ノ領收ヲ認メタル後治療ヲ爲スヘシ

第五條　診斷書、處方箋、鑑定書及檢案書等ノ下付ノ請求ヲ爲ス者アリタルトキハ醫員ハ別記第四號樣式ノ通知書ヲ交付シ之ニ現金ヲ添ヘ收入官吏ニ納付セシムヘシ

收入官吏前項ノ納金ヲ領收シタルトキハ通知書及納入票ニ式ノ如ク記入捺印シ通知書ハ醫員ニ差出サシムヘシ

醫員ハ前項ノ通知書ニ依リ納金ノ領收ヲ認メタル後診斷書、處方箋、鑑定書及檢案書等ノ交付ヲ爲スヘシ

第六條　外來患者カ官廳又ハ確實ト認ムル會社ヨリ治療ノ請求ヲ受ケタルモノナルトキハ前四條ノ料金ハ一月分ヲ取纏メ收納スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ處方箋、治療箋、通知書及納入票中收入月日ノ記入ニ代ヘ「料金後納」ノ印章ヲ押捺スヘシ

第七條　院外往診ヲ爲シタルモノアルトキハ醫員ハ別記第五號書式ニ依リ其ノ旨歲入徵收分掌官ニ通知スヘシ

歲入徵收分掌官前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ徵收ノ手續ヲ爲スヘシ

第八條　第二條乃至第五條ノ納入票ハ別記第六號書式ノ現金領收濟報告書ヲ添ヘ之ヲ歲入徵收分掌官ニ送付スヘシ

歲入徵收分掌官前項ノ納入票ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ各種目毎ニ料金領收ノ日ヲ以テ調定收入ノ整理ヲ爲スヘシ

第九條　第六條ノ納入票ハ一月分ヲ取纏メ所屬官署又ハ會社別ニ別記第七號書式ノ後納料金通知書ヲ添ヘ歲入徵收分掌官ニ送付スヘシ

歲入徵收分掌官前項ノ通知書ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ各種目毎ニ官廳又ハ會社名ヲ以テ調定ノ手續ヲ爲スヘシ

第十條　入院、退院又ハ轉室シタルモノアルトキハ醫員ハ別記第八號書式ノ入退院診斷書又ハ第九號書式ノ轉室證ヲ以テ其ノ旨歲入徵收分掌官ニ通知スヘシ但シ入退院診斷書轉室事由欄ヲ以テ轉室證ニ代フルコトヲ得

歲入徵收分掌官前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ別記第十號書式ノ入院臺帳ニ登記整理スヘシ

第十一條　入院患者ニ對シテハ別記第十一號書式ノ入院願書ヲ徵シ必要アル場合ハ保證金ヲ徵スヘシ

前項ノ保證金ハ歲入歲出外現金出納官吏ニ於テ之ヲ保管スヘシ

第十二條　入院患者ノ入院料及其ノ他ノ料金ハ左ノ區分ニ依リ取扱フヘシ

一　官廳又ハ確實ト認ムル會社ヨリ治療ノ請求ヲ受ケタルモノハ一年度ヲ四期ニ分チ每期ノ末日ニ於テ官廳又ハ會社名ヲ以テ其ノ期ノ分ヲ調定ス

第一期　四月一日ヨリ六月三十日迄
第二期　七月一日ヨリ九月三十日迄
第三期　十月一日ヨリ十二月三十一日迄
第四期　一月一日ヨリ三月三十一日迄

二　前號以外ノ者ハ每月一日、十一日、二十一日ノ三回ニ其ノ前日迄ノ分ヲ調定ス但シ三月二十一日ヨリ三月三十一日迄ノ分ハ三月三十一日調定ス

三　退院若ハ死亡シタルトキハ其ノ時時調定ス

第十三條　入院患者ノ治療ヲ請求シタル官廳、會社又ハ入院患者ヨリ入院料以外ノ料金ヲ徵收スル必要アル場合ハ醫員ハ其ノ時時別記第十二號書式ノ通知書ヲ以テ其ノ旨歲入徵收分掌官ニ通知スヘシ

歲入徵收分掌官前項ノ通知書ヲ受ケタルトキハ之ヲ入院臺帳ニ登記シ入院料ト同時ニ徵收ノ手續ヲ爲スヘシ

第十四條　入院患者ノ轉室ニ依リ入院料ニ增減アル場合ニ於ケル轉室當日ノ入院料ハ前室相當ノ料金ヲ徵收スヘシ

第十五條　保證金ヲ納付シタル入院患者カ納期ヲ過クルモ料金ヲ納付セス又ハ退院スルトキ料金ノ未納アル場合ハ之ヲ保證金ヨリ引去リ收入官吏ニ引繼ヲ爲スヘシ

第十六條　藥價規定上小兒トハ十五歲未滿ノ者ヲ謂フ

第十七條　死亡診斷書及同際本ノ下付ニ付テハ遺族ノ利益ノ爲ニスルノ外料金ヲ徵收セス

第十八條　入院患者ノ入院料及其ノ他ノ料金ニ對シテハ收納簿及納入告知書ノ納入住所氏名ハ之ヲ省略シ（領收證ハ納入名トスル）入院臺帳番號ヲ記入スルコトヲ得

第十九條　臺灣歲入取扱規程ニ依リ收納報告書ニ添附スヘキ仕譯書ハ別記第十三號及第十四號書式ニ依ルヘシ

第二十條　講習所授業料ノ徵收ニ關シテハ大正八年訓令第四十八號臺灣官立學校歲入取扱規程ヲ準用ス

附　則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十二年八月訓令第二百四十八號及本令ニ抵觸スル從來ノ通達ハ之ヲ廢止ス

（別記）

第一號書式

納入票				
取扱者印	患者氏名	摘要	診察券料金何程	收入事由及證印
	殿			「何月何日印」
	年 月			
		大正年月日		何醫院

第二號書式

處方箋				
主任醫印	號	第科何號	第藥投	收入事由及證印
	處方			「何月何日印」
氏名				大正年月日
				何醫院
殿				
年 月				

納票				
主任醫印	號	第科何	摘要	收入事由及證印
	處方			「何月何日印」
氏名		藥價	金額	
		雜品料		
殿		手術料		
年 月				

備考

一　本書式ノ內容ハ醫院ノ情況ニ依リ變更スルコトヲ得第三號及第四號書式亦同シ

二　同一人ニシテ治療ヲ要スルモノアルトキハ第三號書式ノ治療箋ヲ添附シ之ニ對スル處方並ニ料金ハ本納入票ニ併記スルモ妨ケナシ

第三號書式

治療箋				
主任醫印	號	第科何		收入事由及證印
	處方			「何月何日印」
氏名				大正年月日
				何醫院
殿				
年 月				

納入票				
主任醫印	號	第科何	摘要	收入事由及證印
	處方			「何月何日印」
氏名		藥價	金額	
		雜品料		
殿		手術料		
年 月				

備考

一　同一人ニシテ投藥ヲ要スルモノアルトキハ第二號書式ノ處方箋ヲ添附シ之ニ對スル處方並料金ハ本納入票ニ併記スルモ妨ケナシ

第四號書式

通知書

主任醫印　第　科　何　號

摘要

氏名

殿

年　月

大正　年　月　日　何醫院

收入事由及證印

「何月何日印」

納入票

主任醫印　第　科　何　號

摘要

氏名

殿

年　月

金額

診斷書料　四

處方箋料

手術料

雜品料

診察券料

收入事由及證印

「何月何日印」

第五號書式

年月日　院長

院外往診通知書

主任　庶務課長

歲入徵收分掌官

調定金額

納期

調定月日

年月日	金額	摘要	納入住所氏名

備考

一　院外往診料ノ調定決議ハ本書ニ依リ之ヲ爲スモノトス

第六號書式

年月日　收入官吏

何月何日現金領收濟報告書

一金何程

但シ何某外何人分別紙ノ通

內譯

主任

庶務課長

歲入徵收分掌官

種目	摘要	金額
藥價		四
處置料		
手術料		
診斷書料		
處方箋料		
雜品料		
診察券料		

備考

一　即納ニ係ル藥價及其ノ他ノ料金ノ調定決議ハ本書ニ依リ之ヲ爲スモノトス

第七號書式

年月日　院長

後納料金通知書

「所屬官廳名」又ハ「會社名」

何年何月分

庶務課長

主任

歲入徵收分掌官

調定金額

調定月日

納期

種目	摘要	金額
藥價		四
處置料		
手術料		
診斷書		
處方箋料		
雜品料		
診察券料		
計		

備考

一　後納料金ノ調定決議ハ本書ニ依リ之ヲ爲スモノトス

第八號書式

入退院診斷書

原籍	現住	第入院長	科名	病名	指定事項	第室病長
		主任醫			食物	主任醫
		庶務係			檢溫	庶務係
		出納係			轉室事由	出納係
		入院 大正 年 月 日			何年何月何日第何號何等ニ轉室印	退院 大正 年 月 日 歸

職　氏名　齡

第九號書式

轉室	院長　庶務課長	前主任醫
患者姓名		現主任醫
轉出室 第　號　等病室		
轉入室 第　號　等病室	年月日　登記濟	
證備考	年月日入院	

備考

一　轉室ジタルトキハ主任醫ニ於テ轉室事由ヲ式ノ如ク記入捺印スヘシ

二　第十條第一項但書ニ依リ轉室事由欄ヲ以テ轉室證ニ代フルトキハ院長、庶務課長及主任醫等ノ欄ヲ設ケ捺印スヘシ

第十號書式

入院臺帳

第　號

（表面）

氏名			
病名		轉室	
入院月日	年月日	室號及等級	年月日	室號及等級
退院月日	全治			
	未治			
死亡月日				
歲入徵收分掌官	庶務課長	主任	調定月日	摘要	金額
	㊞	㊞	四月十一日	自四月一日入院料至四月十日	一〇〇〇四
	㊞	㊞	四月二十一日	四月十四日處置料	五〇〇〇
	㊞	㊞	四月二十一日	自四月十一日入院料至四月二十日	一〇〇〇〇

（裏面）

歲入徵收庶務分掌官　課長　主任　調定月日　摘要　金額

					圓

備考

一　本簿ハ厚質紙ヲ用ヰ兩面刷ニ爲スヘシ

二　本簿ハカード式ニ依リ等級別トシ番號順ヲ以テ整理スヘシ

三　本簿ハ年度毎ニ調製シ前年度末現在患者ハ年度始ニ於テ移記スルモノトス此ノ場合ニ於ケル番號ハ新番號ヲ附スヘシ

四　入院患者ノ入院料及其ノ他ノ料金調定決議ハ本簿ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ多數ノ患者ヲ收容スル醫院ニシテ之ヲ不便トスルトキハ適宜ノ方法ニ依リ決議ヲ爲スコトヲ得

五　定期調定ノ場合ニ在リテハ調定年月日ノ記載ヲ省略スルモ妨ケナシ

第十一號書式

入院願

保證金　圓納付　　原籍
　　現住所
參錢收入印紙貼用　　身分　職業
　　（電話　番）患者

年月日生

右入院治療相願候上ハ御院ノ御規則ヲ遵守致スヘキハ勿論入院料其ノ他ノ料金ハ御指定ノ期日ニ相納メ可申候若シ滯納ノ節ハ保證人ヨリ速ニ代納可致且其ノ身上ニ係ル事柄ハ一切保證人ニ於テ引受ケ可申候此段相願候也

但シ保證人ニ於テ旅行若ハ他ニ轉住ノ際ハ直ニ屆出テ許可ヲ得テ相當代人相立テ可申候

右

大正　年　月　日　　本人
　　原籍
　　現住所
　　職業
（電話　番）　　身元保證人
　　原籍
　　現住所

第十二號書式

何醫院長宛　（電話　番）　身元保證人　職業

年　月　日　　院長

手術、處置、診斷書下附其ノ他ノ通知書

請求官廳名	
患者氏名	
種別	
年月日	「月　日處置」「月　日下附」
主任醫印	

第十三號書式

年　月　日　　歲入徵收分掌官

何年度何月分醫院收入調定濟額仕譯書

區分	延人員	一人當料金	金額	備考
入院料 特等			圓	
入院料 何等				
入院料 、、、、				
入院料 、、、、				
入院料 計				
藥價				
何々				

合計	、、、、				

備考

一　本書ハ納入告知書又ハ現金領收證發行ノモノノミヲ揭記スヘシ

二　前月中ノ調定濟額ニ對シ本月中減額ヲ爲シタルモノアルトキハ合計ノ次ニ其ノ事由金額ヲ朱記シ差引ヲ爲ササルモノトス

第十四號書式

年　月　日　　歲入徵收分掌官

何年度何月分醫院收入調定及收入濟額仕譯書

區分	延人員	金額	備考
藥價		圓	
處置料			
外來患者手術料			
診斷書料			
處方箋料			
雜品料			
診察券料			
計			

備考

一　本書ニハ納入告知書又ハ現金領收證ヲ發セス處方箋等ニ依リ卽納ニ係ルモノノミヲ揭記スヘシ

●臺灣總督府結核療養所收納規程

大正十四年三月十一日　臺灣總督府訓令第二十四號

臺灣總督府結核療養所收納規程左ノ通相定

ム　臺灣總督府結核療養所患者諸料金ノ收納ニ關シテハ大正八年訓令第二十八號臺灣總督府醫院收納規程ヲ準用ス

附　則

本令ハ大正十四年三月九日ヨリ之ヲ施行ス

●法院、醫院歲入調定事務及收納監督分掌ノ件

改正　大正八年第一六九號

法院【製藥所】【國語學校】、醫院

明治三十一年【訓令第三十五號】及第三十六號ニ依リ其官衙ニ於テ收入スヘキ歲入ニシテ總務長官ノ取扱フヘキ調定事務及收納ノ監督ヲ分掌スヘシ

●醫院歲入調定額計算書提出方

明治三十一年八月臺灣總督府訓令第二百三十四號　醫院

明治三十年度以降ニ於ケル歲入ノ調定ニ係ルモノハ【明治三十六年六月訓令第六十五號歲入調定額證明方心得】ニ依リ調理シ三十年度計算書ハ九月十日限三十一年度以降ノ分ハ翌年度六月十五日限民政長官ニ送付スヘシ

●醫學校歲入調定事務及收納監督分掌ノ件

明治三十一年八月臺灣總督府訓令第二百三十八號

改正　大正八年第一六九號

【民政部】、醫院、醫學校

明治三十一年【訓令第三十五號及同第三十六號】ニ依リ醫學校ニ於テ收入スヘキ歲入ニシテ總務長官ノ取扱フヘキ調定事務及收納ノ監督ハ醫院長ニ於テ分掌スヘシ

●郵便官署ヲシテ歲入金ノ受入及歲出金ノ繰替拂渡ニ關スル事務ヲ取扱ハシムルノ件

大正四年一月二十八日　勅令第六號

改正　大正一一年第六六號

郵便官署ヲシテ歲入金ノ受入及歲出金ノ繰替拂渡ニ關スル事務ヲ取扱ハシムルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

郵便官署ハ各官廳ノ徵收スル歲入金ノ受入及日本銀行ノ本店、支店又ハ代理店ノ所在地外ニ於テ支拂ヲ要スル歲出金ノ繰替拂渡ニ關スル事務ヲ取扱フコトヲ得其ノ範圍及取扱ニ關スル規程ハ遞信大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム

附　則

本令ハ大正四年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

●郵便官署ヲシテ歲入金ノ受入及歲出金ノ繰替拂ヲ取扱ハシムル件ニ關スル規程

大正四年一月二十八日　大藏省令第一號

改正　大正四年第一九號、一〇年第二三號、一一年第二一號

大正四年勅令第六號ニ依リ郵便官署ヲシテ歲入金ノ受入及歲出金ノ繰替拂ヲ取扱ハシムル件ニ關スル規程左ノ通相定ム

第一條　大正四年勅令第六號ニ依リ郵便官署ヲシテ取扱ハシムルコトヲ得ル歲入金ノ受入及歲出金ノ繰替拂ハ左ニ揭クルモノニ限ル

一　稅務署ノ直接徵收スル國稅金

二　北海道廳、府縣、稅務署、稅務監督局ノ收納スル國庫ノ諸收入金

三　收入官吏カ日本銀行（本店、支店又ハ代理店ヲ謂フ以下同シ）ニ拂込ムヘキ前二號ノ收入金

四　市（區）町村カ日本銀行ニ送付スヘキ國稅金

五　日本銀行所在地外ニ於テ債主ニ支拂ヲ要スル歲出金

第二條　歲入徵收官（分掌官ヲ含ム以下同シ）ハ其ノ在勤廳所在地ノ道廳府縣管內ニ在ル納入ニ對シ前

條第一號及第二號ノ國稅金又ハ諸收入金ヲ徵收セムトスルトキハ納入ニ對シ第一號書式ノ納稅告知書又ハ第二號書式ノ納入告知書ヲ發スルコトヲ得但シ歲入徵收官ニ於テ必要アリト認ムルトキハ郵便局ヲ特ニ指定スルコトヲ得

納入カ前項ノ道廳府縣管外ニ在ルトキハ其ノ所在地又ハ最寄ノ郵便局ヲ指定スヘシ但シ歲入徵收官ニ於テ必要アリト認ムルトキハ他ノ郵便局ヲ指定スルコトヲ得

歲入徵收官在勤廳所在地ノ道廳府縣管內ニ在ル納入ニシテ當該道廳府縣管外ノ郵便局ニ歲入金ヲ納付セムトスルトキハ前項ヲ準用ス

第三條　國稅滯納者ニ對シテ督促狀ヲ發スル場合ニ於テハ第三號及第四號書式ノ納付書ヲ督促狀ニ添附スヘシ但シ收稅官吏ノ納稅告知書ヲ發シタル稅金ニ付テハ第三號書式ノ納付書ヲ添附スルコトヲ要セス

第四條　納入前二條ノ納稅告知書、納入告知書又ハ納付書ヲ受ケタルトキハ現金ニ納稅告知書、納入告知書又ハ納付書ヲ添ヘ指定ノ場所ニ納付スヘシ

第五條　收入官吏カ領收シタル收入金ハ第五號書式ノ現金拂込書ニ依リ所屬歲入徵收官在勤廳所在地ノ道廳府縣管內ニ在ル便宜ノ郵便局ニ拂込ムコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ出納官吏事務規程第十八條乃至第二十條ノ規定ニ拘ハラス其ノ領收シタル金額ハ每日之ヲ取纏メ翌日限之ヲ拂込ムヘシ

第六條　市(區)町村ニ對シ稅務署ノ發付スル納額通知書ニ指定スヘキ國稅金ノ送付場所ニ付テハ第二條ノ規定ヲ準用ス

市(區)町村ハ其ノ徵收シタル國稅金ニ第六號書式ノ送付書ヲ添ヘ前項指定ノ場所ニ送付スヘシ

第七條　郵便局ニ於テ納人又ハ市(區)町村ヨリ領收シタル國稅金又ハ諸收入金ニ付テハ歲入徵收官ハ取纏郵便局ヨリ送付スル領收濟通知書ニ依リ徵收簿ニ收入濟額ヲ登記スヘシ

第八條　收入官吏ハ第五條ニ依リ郵便局ニ拂込タル金額ハ日本銀行ニ拂込タル金額ト區別シテ現金拂込仕譯書ヲ作成シ歲入徵收官ニ報告スヘシ

第九條　歲入徵收官ハ前條ノ報告ニ依リ徵收報告書現金拂込仕譯欄ニ登記シ郵便局出納官吏ノ取扱ヒタル現金振替拂込仕譯ニ付テハ前月迄拂込未濟及差引翌月ヘ越高ヲ收入官吏ノ現金拂込仕譯中各相當欄ノ次ニ外書登記スヘシ

第十條　日本銀行ハ取纏郵便局出納官吏ヨリ第七號書式ノ各廳歲入金振替拂込書ニ歲入金振替證券ヲ添ヘ拂込ヲ受ケタルトキハ歲入ニ受入ノ手續ヲ爲スヘシ

日本銀行ハ前項ノ振替證券ニ依リ日本銀行本店ニ振替廻送ノ計算ヲ爲シ振替證券ハ之ヲ日本銀行本店ニ送付スヘシ

第十一條　日本銀行本店ハ前條歲入金振替證券ヲ貯金局出納官吏ニ提出シ該證券金額ニ相當スル小切手ノ交付ヲ受ケ日本銀行ヨリ振替廻送受入ノ計算ヲ爲スヘシ

第十一條ノ二　支出官ハ日本銀行所在地外ニ於テ債主ニ對シ其ノ所在地又ハ最寄ノ郵便局ヲシテ現金ノ支拂ヲ爲サシムルコトヲ得

朝鮮、臺灣、樺太、關東州、滿洲、青島及天津ニ在ル支出官(以下單ニ朝鮮等ノ支出官ト謂フ)ハ其ノ振出ス小切手ノ裏面ニ受取人ノ住所、氏名及何地郵便局ニ於テ支拂ヲ要スル旨ヲ記載シ之ヲ其ノ小切手ノ支拂店ニ送付シ第八號書式ノ郵便局扱歲出金支拂通知書ヲ債主ニ送付スヘシ但シ朝鮮等ノ支出官ニ在リテハ該通知書中ノ取纏郵便局ニハ遞信大臣ノ指定スル郵便局ヲ記載シ欄外餘白ニ「特扱」ノ印ヲ押捺スルモノトス

第十三條　日本銀行前條ノ小切手ヲ受ケタルトキハ第九號書式ノ各廳歲出金繰替拂案內書ヲ作成シ之ヲ指定ノ拂渡郵便局ニ送付スヘシ但シ朝鮮、臺灣、樺太、關東州、滿洲、青島及天津ニ在ル日本銀行(以下單ニ朝鮮等ニ在ル日本銀行ト謂フ)ハ該繰替拂案內書ノ送付ト同時ニ適宜ノ通知書ヲ日本銀行本店ニ送付スヘシ

第十四條　日本銀行ハ取纏郵便局ヨリ各郵便局ニ於ケル繰替拂渡濟ノ郵便局扱歲出金支拂通知書竝日計表正本ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ歲出金ノ計算及日本銀行本店ヨリ振替廻送ノ計算ヲ爲シ之ニ相當スル振替拂證書ヲ作成シ取纏郵便局ニ送付スヘシ

前項ノ郵便局扱歲出金支拂通知書ニシテ第十二條但書ノ規定ニ依ルモノナルトキハ日本銀行本店ハ之ヲ朝鮮等ニ在ル日本銀行ニ送付スヘシ

第十四條ノ二　日本銀行國庫金取扱規程第三十三條及第四十條ノ規定ハ前二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十五條　日本銀行本店ハ貯金局出納官吏ヨリ第十四條振替拂證書ニ預託金拂込書ヲ添ヘ振替拂込ノ請求ヲ受ケタルトキハ之ヲ振替ノ計算ヲ爲シ歲出ヲ取扱ヒタル日本銀行ニ對シ振替廻送拂出ノ計算ヲ爲スヘシ

第十六條　朝鮮等ニ在ル日本銀行第十四條第二項ノ規定ニ依リ送付ヲ受ケタル郵便局扱歲出金支拂通知書ハ之ヲ調査シテ前條ノ手續ヲ爲シ日本銀行本店トノ間ニ於ケル振替受拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第十七條　本令ニ定ムルモノヲ除クノ外支出官ノ郵便局ヲシテ現金ノ支拂ヲ爲サシムル場合ノ取扱手續ニ付テハ支出官事務規程第九條乃至第十二條、第十四條、第十五條、第十七條及第二十九條乃至第三十六條ノ規定ヲ準用ス

附　則

本令ハ大正四年一月勅令第六號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(大正四年三月一日ヨリ施行)

附　則(大正十一年大藏省令第二十一號)

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

支出官事務規程第四十條及第四十一條ノ規定ハ本令施行前其ノ支拂ヲ了セサル歲出金仕拂通知書ノ支拂ニ付之ヲ準用ス

本令施行ノ際現存スル用紙ハ當分ノ內之ヲ取繕ヒ使用スルコトヲ得

第一號書式　用紙寸法各片縱六寸五分橫四寸三寸三分

收入傳票

第何號	何年度	納入住所氏名
大藏省主管	何稅	何稅務署
收入傳	一金何程	何年何期分何稅（目）

第二號書式　用紙寸法各片縱六寸五分橫四寸輪廓寸法各片縱四寸五分橫三寸三分

納入告知書

第何號	何年度	納入住所氏名
經常「臨時」	何	款何項何目
大藏省主管	取扱廳名	歲入徵收官官氏名
一金何程		
一納期日	何年何月何日限	
一納付場所	日本銀行何店（日本銀行本店、支店又ハ代理店）收入官吏官氏名又ハ何府縣道廳管內郵便局「又ハ何府縣道何郵便局」	
	何年何月何日	發行者官氏名㊞

收入傳票領收濟通知書領收證書用紙ノ金額年度科目取纏郵便局名等ハ總テ納稅告知書發行者ニ於テ記入スルモノトス

二　酒造稅ニ付テハ本書中何年何期分トアルヲ何年度何期分トスルモノトス

三　用紙ハ下方ノ一邊ヲ著色(青)スルモノトス

領收濟通知書

第何號	何年度	納入住所氏名
經常「臨時」	何	款何項何目
大藏省主管	取扱廳名	歲入徵收官官氏名
一金何程		
一納期日	何年何月何日限	
一納付場所	日本銀行何店（日本銀行本店、支店又ハ代理店）收入官吏官氏名又ハ何府縣道廳管內郵便局「又ハ何府縣道何郵便局」	
	何年何月何日	發行者官氏名㊞

但何々（收入ノ目的ヲ記載ス）

取纏郵便局	領收日	印	附印

納稅告知書

第何號	何年度	納入住所氏名
大藏省主管	租稅	何稅務署
一金何程		
一納期日	何年何月何日限	
一納付場所	日本銀行何店（日本銀行本店、支店又ハ代理店）何稅務署又ハ何府縣道廳管內郵便局「又ハ何府縣道何郵便局」	
	何年何月何日	何稅務署長歲入徵收官官氏名㊞

領收日	印	附印

領收濟通知書

第何號	何年度	納入住所氏名
大藏省主管	租稅	何稅務署
一金何程		何年何期分何稅（目）
「日本銀行何店㊞」		
「何稅務署收入官吏官氏名㊞」		
「何郵便局出納官吏又ハ何郵便局出納官吏所屬出納員官氏名㊞」		

領收日	印	附印

領收證書

第何號	何年度	納入住所氏名
大藏省主管	租稅	何稅務署
一金何程		何年何期分何稅（目）
「日本銀行何店㊞」		
「何稅務署收入官吏官氏名㊞」		
「何郵便局出納官吏又ハ何郵便局出納官吏所屬出納員官氏名㊞」		

領收日	印	附印

備考

第何號　何年度　納入住所氏名
大藏省主管　取扱廳名

領収証書

一金　何程
但何々（収入ノ目的ヲ記載ス）

「日本銀行何店印」
「何廳收入官吏官氏名印」
「何郵便局出納官吏又ハ何郵便局出納官吏所屬出納員官氏名印」

領収日附印

備考
一　收入傳票領收濟通知書及領收證書用紙ノ金額年度科目取纏郵便局名等ハ總テ納入告知書發行者ニ於テ記入スルモノトス
二　用紙ハ下方ノ一邊ヲ著色（青）スルモノトス

第三號書式　用紙寸法各片縱六寸橫四寸輪廓寸法各片縱五分橫三寸三分

第何號　何年度　納入住所氏名
大藏省主管　租稅　何稅務署

收入傳票

一金　何程
何年何期分
何稅（目）

領収日附印

第何號　何年度　納入住所氏名
大藏省主管　租稅　何稅務署

納付書

一金　何程
何年何期分何稅
一指定納期日　何年何月何日限
一納付場所　日本銀行何店（日本銀行本店、支店又ハ代理店）何稅務署又ハ何府縣道廳管內郵便局
「又ハ何府縣道何郵便局」

何年何月何日

領収日附印

第何號　何年度　納入住所氏名
大藏省主管　雜收入　免許及手數料　何稅務署

領收濟通知書

督促手數料

一金　何程

「日本銀行何店印」
「何稅務署收入官吏官氏名印」
「何郵便局出納官吏又ハ何郵便局出納官吏所屬出納員官氏名印」

領収日附印

取纏郵便局

第何號　何年度　納入住所氏名
大藏省主管　雜收入　免許及手數料　何稅務署

領收証書

督促手數料

一金　何程

「日本銀行何店印」
「何稅務署收入官吏官氏名印」
「何郵便局出納官吏又ハ何郵便局出納官吏所屬出納員官氏名印」

領収日附印

備考
一　收入傳票領收濟通知書及領收證書用紙ノ金額年度科目取纏郵便局名等ハ納付書作成ノ時總テ記入スルモノトス
二　酒造稅ニ付テハ本書中何年何期分トアルヲ何年度何期分トスルモノトス
三　同一納期ノ烟租及雜地租ハ之ヲ竝記シ其ノ左傍ニ合計額ヲ揭記スルモノトス
四　用紙ハ下方ノ一邊ヲ著色（青）スルモノトス

第四號書式　用紙寸法各片縱四寸橫三寸五分

第何號　何年度　納入住所氏名
大藏省主管　租稅　何稅務署

收入傳票

一金　何程
何年何期分
何稅（目）

領収日附印

第何號　何年度　歲入徵收官　官氏名
大藏省主管　取扱廳名

現金拂込書

一金　何程
何年何月何日

「何廳主任收入官吏官氏名印」
「又ハ何廳主任收入官吏所屬分任收入官吏官氏名印」

領収日附印

第何號　何年度　歲入徵收官　官氏名
大藏省主管　取扱廳名

拂込人何廳主任收入官吏又ハ分任收入官吏官氏名

第五號書式　用紙寸法各片縱六寸橫四寸輪廓寸法各片縱四寸三分橫三寸五分

第何號　何年度　歲入徵收官　官氏名
大藏省主管　取扱廳名

領收濟通知書

一金　何程

「何廳主任收入官吏官氏名印」
「又ハ何廳主任收入官吏所屬分任收入官吏官氏名印」

領収日附印

取纏郵便局

第何號　何年度　歲入徵收官　官氏名
大藏省主管　取扱廳名

拂込人何廳主任收入官吏又ハ分任收入官吏官氏名

一金　何程

「何郵便局出納官吏又ハ何郵便局出納官吏所屬出納員官氏名印」

領収日附印

取纏郵便局

第六號書式

備考
二 用紙ハ下方ノ一邊ヲ收入官吏ニ於テ記入スルモノトス　鑵郵便局名等ハ總テ收入官吏ニ於テ記入スルモノトス　彌拂金額年度及歲入徽收官拂込人官氏名取扱

書付送

第	何	號
大藏省主管	租稅	何年度
一金 何程	何何市區町村署	
何年何月何日	何年何期分 稅目	
	印刷日收領	

書證收領

第	何	號
大藏省主管	租稅	何年度
一金 何程	何何市區町村署	
何年何期分 稅目	「何郵便局出納官吏又ハ何郵便局出納官吏所屬出納員 氏名 ㊞	
	印刷日收領	

第七號書式

書込拂村振金入歲證各

第	何	號
大藏省主管	取扱	何年度
一金 何程	取扱鑵	歲入徽收官 氏名
何年何月何日 但爲替貯金局遞振替證券ヲ以テ拂込ノ分 何郵便局出納官吏		

備考
二 用紙ハ下方ノ一邊ヲ著色(青)スルモノトス　同市區(區)町村ニ於テ記入スルモノトス　一組ノ畑ニ租及雜地ノ組ハ之ヲ並記シ其ノ左側ニ合計額ヲ掲記スルモノトス

書證收領

第	何	號
大藏省主管	租稅	何年度
一金 何程	何何市區町村署	
何年何期分 稅目	「何郵便局出納官吏所屬出納員 氏名 ㊞ 」何郵便局出納官吏又ハ何郵便局出納員 名 ㊞	
	印刷日收領	

書知通濟收領

第	何	號
大藏省主管	租稅	何年度
一金 何程	何何市區町村署	
何年何期分 稅目	「何郵便局出納官吏所屬出納員 氏名 ㊞ 」何郵便局出納官吏又ハ何郵便局出納員 名 ㊞	
	印刷日收領	

取纏郵便局

第八號書式

備考
四 ㊞ 用紙ハ永久保存ニ耐ヘル用紙ヲ用フヘシ　官廳名ハ共同使用ノ場合ニ於テハ其ノ官廳名ヲ記載スヘシ　收入官吏ハ拂込ノ金額ヲ記入スルモノトス　拂込人ノ氏名ハ總テ收入官吏ニ於テ記入スルモノトス　鑵郵便局名等ハ總テ收入官吏ニ於テ記入スルモノトス　收入徽章ハ拂込人ノ氏名ヲ記入スルモノトス　收入官吏ハ拂込人ノ氏名ヲ記入スルモノトス　收入徽章ハ拂込人ノ氏名ヲ記入スルモノトス

領收證

大正 何年 何月 何日	前記ノ金額領收候也	印收紙入 ㊞
受取人 住所 何	某 ㊞	

郵便局扱歲出金支拂通知書

拂渡日附印	指定拂渡郵便局	「何」郵便局
取纏郵便局	「何」郵便局	
第「何」號	會計	「何」年度「何」用
「何」省主管	「何」	廳
小切手振出日附	大正「何」年「何」月「何」日	
小切手番號	第 「何」	號
金額 氏名 妻帶號	第 「何」	號
小切手ヲ宛テタル日附 本銀行名	日本銀行本店（何處ノ代理店） 支店又ハ代理店	

大正「何」年「何」月「何」日 「何」郵便局 「何」廳支出官 官氏名 ㊞

前記ノ金額指定拂渡郵便局ニ於テ受領セリ

大正 何年 何月 何日	金
「何」郵便局 「何」廳支出官 官氏名 ㊞	

（注意）受取人ハ裏面ノ注意事項ヲ熟覽スヘシ

大正 何年 何月 何日	金
「何」郵便局 「何」廳支出官 官氏名 ㊞	

（裏面）

一 受取人ハ官廳ノ收入印紙ヲ請求スヘカラス　二 受取人ハ本書ニ押捺シタル收入印紙ヲ消印スヘカラス　三 受取人ハ本書ニ收入印紙ヲ貼附シ消印スヘカラス　四 受取人ハ本書ニ收入印紙ヲ貼附シ消印スヘカラス　五 受取人ハ本書ニ收入印紙ヲ貼附シ消印スヘカラス　六 受取人ハ本書ニ收入印紙ヲ貼附シ消印スヘカラス　七 受取人ハ本書ニ收入印紙ヲ貼附シ消印スヘカラス　八 受取人ハ本書ニ收入印紙ヲ貼附シ消印スヘカラス　九 受取人ハ本書ニ收入印紙ヲ貼附シ消印スヘカラス　十 受取人ハ本書ニ收入印紙ヲ貼附シ消印スヘカラス

第九號書式　用紙寸法　縦四寸五分　横六寸五分

書內案拂替繰替金出歲廳各

日「何」月「何」年「何」正大

印附日渡拂

國庫店何「何」行銀本日

名局便郵渡拂定指

中御局便郵「何」

也候度成相渡拂金現シ行履ヲ續手ノ定規額金ノ記下

年度	會計	小振名	切出	手	所住人取受	名氏人取受	金	額
								圓

●證券ヲ以テスル歲入納付ニ關スル件ヲ朝鮮臺灣及樺太ニ施行スルノ件

大正五年十二月二十一日
勅令第二百五十五號

朕大正五年法律第十號ヲ朝鮮臺灣及樺太ニ施行スルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

大正五年法律第十號ハ之ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行ス

附　則

本令ハ大正六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●證券ヲ以テスル歲入納付ニ關スル件

大正五年三月七日
法律第十號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル證券ヲ以テスル歲入納付ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　租稅其ノ他ノ政府ノ歲入ハ命令ノ定ムル所ニ依リ證券ヲ以テ之ヲ納付スルコトヲ得但シ印紙又ハ郵便切手ヲ以テ納付スヘキモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二條　前條ノ規定ニ依リ納付シタル證券ニ付支拂ナカリシトキハ命令ヲ以テ定メタル場合ニ限リ初ヨリ納付ナカリシモノト看做ス此ノ場合ニ於ケル證券ノ處分ニ付テハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

前項ノ規定ニ依リ關稅又ハ噸稅ヲ初ヨリ納付ナカリシモノト看做シテ徵收スル場合ニ於テ之ヲ納付セサルトキハ內國稅徵收ニ關スル規定ヲ準用ス

第三條　本法ニ依リ證券ヲ受領シタル市町村ハ證券ニ屬スル權利ヲ行使シ現金ヲ國庫ニ送付スル責任アルモノトス但シ命令ノ定ムル所ニ依リ證券ヲ國庫ニ送付スルコトヲ得

市町村其ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ證券金額ノ支拂又ハ償還ヲ受クルコトヲ得サルトキハ其ノ事實ヲ具シ政府ニ責任ノ免除ヲ請フコトヲ得

前項ノ申出アリタルトキハ政府ハ事實ヲ審査シ市町村ノ責任ヲ免除スルコトヲ得

第四條　本法中市町村ニ關スル規定ハ法令ニ依リ租稅其ノ他ノ歲入ヲ徵收シ其ノ徵收金ヲ國庫ニ送付スヘキ責任アル者ニ之ヲ準用ス

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正五年十二月勅令第二百五十四號ヲ以テ同六年一月一日ヨリ施行）

●證券ヲ以テスル歲入納付ニ關スル法律施行細則

大正五年十二月二十一日
大藏省令第三十二號

改正　大正一一年第三六號

證券ヲ以テスル歲入納付ニ關スル法律施行細則左ノ通定メ大正六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一條　證券ヲ以テ租稅其ノ他ノ歲入金ヲ納付セムトスル者ハ其ノ證券ノ裏面ニ記名捺印シ指定ノ場所ニ之ヲ納付スヘシ納稅告知書、納付書又ハ拂込通知書ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ之ヲ添附スルコトヲ要ス

第二條　出納官吏、（出納員ヲ含ム以下同シ）日本銀行又ハ市町村（北海道及沖繩縣ニ於テハ郡ヲ含ム以下同シ）ニ於テ證券ヲ受領シタルトキハ歲入金ノ領收證書、歲入徵收官ニ對スル領收濟報告書又ハ領收濟通知書ニ「證券受領」ノ印章ヲ押捺スヘシ歲入金ノ一部分ヲ證券ヲ以テ受領シタル場合ニ於テハ其ノ證券金額ヲ附記スルコトヲ要ス

第三條　受領シタル證券ハ遲滯ナク其ノ支拂ノ請求ヲ爲スヘシ但シ出納人ニ呈示シ支拂ノ請求ヲ爲スヘキ旨ヲ歲入徵收官（分掌官經由）ニ報告スルコトヲ要ス

出納官吏ノ拂込又ハ市町村ノ送付ニ係ルモノニ付領收濟額ヲ取消シタルトキハ日本銀行ハ直ニ其ノ旨ヲ出納官吏又ハ市町村ニ通知シ該證券ヲ返付スヘシ

出納官吏又ハ市町村前項ニ依リ證券ノ返付ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ受領證書ヲ日本銀行ニ送付スヘシ

第六條　歲入徵收官（分掌官同シ）ニ於テ出納官吏又ハ日本銀行ヨリ領收濟額取消ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ收入濟額ヲ取消スヘシ歲入徵收官收入濟額ヲ取消シタルトキハ納人ニ對シ前ニ送付又ハ交付シタルモノト同一納期日ノ納稅告知書、納付書又ハ拂込通知書ヲ送付スヘシ但シ領收濟額

取消ノ報告ヲ受ケタル日カ歲入金ノ納期日又ハ督促狀若ハ督促書ノ指定期日後ニ屬スルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村ニ於テ領收濟額ヲ取消シタル場合ニ之ヲ準用ス

第七條　大正五年勅令第二百五十六號第三條ノ通知書ハ納人ヨリ證券ヲ受領シタル出納官吏、日本銀行又ハ市町村之ヲ發スヘシ

前項通知書ノ送達ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於ケル公告ハ官報ニ揭載シテ之ヲ爲スヘシ但シ出納官吏在勤官署、日本銀行又ハ市町村ノ揭示場ニ七日間揭示シテ之ニ代フルコトヲ得

第八條　支拂ナカリシ證券ノ還付ヲ受ケムトスル納人ハ其ノ證券ヲ納付シタル官署、日本銀行又ハ市町村役場ニ就キ之カ請求ヲ爲スヘシ

出納官吏、日本銀行又ハ市町村ハ領收證書ヲ徵シ之ト引換ニ證券ヲ還付スヘシ

第九條　郵便ニヨリ納付シタル證券ニシテ受領スヘカラサルモノ又ハ受領シタル證券ニシテ僞造、變造又ハ違式ナルモノニ付テハ第五條乃至第八條ノ規定ヲ準用ス

第十條　證券ノ呈示期間若ハ有效期間ヲ經過シタルカ爲支拂ヲ受クルコトヲ得サルトキ又ハ證券ヲ亡失シタルトキハ出納官吏在勤官署、日本銀行又ハ市町村ハ證券ノ種類ニ從ヒ直ニ當該法規ノ定ムル所ニ依リ必要ナル手續ヲ爲シ支拂又ハ償還ノ請求ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ裁判上ノ行爲ヲ必要トスルトキハ出納官吏在勤官署ニ在リテハ民事訴訟ニ付國ヲ代表スル所屬官廳ニ、日本銀行ニ在リテハ大藏大臣ニ遲滯ナク其ノ事由ヲ具シテ之カ處理ヲ申請スヘシ

市町村ハ第一項ニ依リ支拂又ハ償還ヲ受クルニ先タチ之ニ相當スル金額ヲ日本銀行ニ送付スルコトヲ得

第十一條　亡失シタル證券又ハ呈示期間若ハ有效期間ヲ經過シタル證券ニシテ支拂又ハ償還ヲ受クルコトヲ得サリシモノノ金額ニ付テハ出納官吏、日本銀行又ハ市町村ハ還ノクヘカラサル事由ヲ證明スルニアラサレハ其ノ責任ヲ免カルルコトヲ得ス

第十二條　歲入徵收官ニ於テ大正五年大藏省令第三十號第二條ニ依リ承認ヲ爲ストキハ納稅告知書、納入告知書、納付書、拂込通知書又ハ郎納通知書ヲ用ヰルモノニ在リテハ其ノ餘白ニ第三號樣式ノ印章ヲ押捺スヘシ

第十三條　出納官吏、日本銀行又ハ市町村ニ於テ證券ヲ受領シタルトキハ現金ニ準シテ之ヲ取扱フヘシ

第十四條　鐵道、郵便電信電話官署ノ出納官吏ニ於テ受領シタル證券ニシテ第三條第一項但書ニ該當スルモノハ之ヲ日本銀行ニ預託シ又ハ郵便局過超金ノ振換拂込ニ充用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ拂込マレタル預託金又ハ郵便局過超金ニ付テハ日本銀行ハ其ノ證券ヲ現金ニ引換ヘタル後ニ非サレハ預託金領收證書又ハ郵便局過超金領收證書ヲ交付スルコトヲ得ス

第一號樣式

「何官署」「何市町村」扱

字體　楷書
寸法　曲尺縦五寸

第二號樣式　用紙適宜　輪廓寸法曲尺縦四寸五分横三寸三分

號　第　書譯仕券證

種類	枚數	額金面券
手切小		圓
券證債利國ノ		
拂仕ノ省内ノ宮命	〃	
符切出引金管保	〃	
書證替爲便郵		
計合		

日年月

國庫名
出納官吏氏名
何市町村長氏名
又ハ

備考

一　本書記載事項ニ訂正ヲ加ヘタルトキハ出納官吏又ハ市町村長其ノ認印ヲ押捺スルモノトス

二　本書ハ正副二通ヲ作リ副本ハ拂込、預託又ハ送付金額ニ對スル日本銀行ノ領收證書ヲ添附シ置クモノトス

第三號樣式

小切手ヲ以テ納付スル場合ニハ支拂銀行ノ支拂保證ヲ要セス

「何官署」

字體　楷書
寸法　適宜

●歲入納付ニ使用スル證券ニ關スル件

大正五年十二月二十一日
勅令第二百五十六號

改正　大正一一年第一六號

朕歲入納付ニ使用スル證券ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　大正五年法律第十號ニ依リ租稅其ノ他ノ歲入ノ納付ニ使用スルコトヲ得ル證券ハ左ニ揭クルモノニシテ其ノ金額ノ納付金額ヲ超過セサルモノニ限ル

一　小切手又ハ一覽拂ノ爲替手形ニシテ無記名式又ハ記名持參人拂ノモノ

二　無記名國債證券ノ利札ニシテ支拂期ノ到來シタルモノ

三　官內省ノ仕拂命令又ハ保管金引出切符ニシテ納人ノ爲發行シタルモノ

四　郵便通常爲替證書ニシテ歲入ヲ納付スヘキ官署、日本銀行、市町村ヲ受取人ト爲シタルモノ又ハ郵便小爲替證書ニシテ歲入ヲ納付スヘキ官署、日本銀行、市町村ヲ受取人ト指定シ若ハ受取人ヲ指定セサルモノ

前項ノ證券ニシテ呈示期間若ハ有效期間ノ滿了ニ近ツキタルモノ又ハ支拂不確實ナリト認ムルモノハ出納官吏、日本銀行又ハ市町村其ノ受領ヲ拒絕スルコトヲ得

證券ノ支拂場所カ受領者ノ所在地ニ在ラサルモノニ付亦前項ニ同シ但シ支拂場所カ受領者ノ拂込又ハ送付ヲ爲ス日本銀行ノ本店、支店又ハ代理店ノ所在地ニ在ルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二條　證券ヲ呈示期間內又ハ有效期間內ニ呈示シ支拂ヲ請求シタル場合ニ於テ支拂ノ

拒絕アリタルトキハ歲入ハ初ヨリ納付ナカリシモノト看做ス

第三條　前條ノ場合ニ於テハ出納官吏、日本銀行又ハ市町村ハ納入ニ對シ遲滯ナク書面ヲ以テ證券ノ支拂ナカリシ旨及其ノ證券ノ還付ヲ請求スヘキ旨ヲ通知スヘシ

前項ノ通知書ヲ受クヘキ者其ノ受取ヲ拒ミタルトキ又ハ住所、居所不明ナルトキハ通知書記載ノ要旨ヲ公告スヘシ

第一項ノ通知書ヲ發シタル日又ハ第二項ノ公告ヲ爲シタル日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ納入ハ證券ノ還付ヲ請求スルコトヲ得ス

第四條　出納官吏、日本銀行又ハ市町村ノ受領シタル證券ノ取扱ニ關シテハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依ル

第五條　證券ヲ以テ納付シ得ル歲入ノ種目ハ主管大臣之ヲ定ム

第六條　大藏大臣ハ證券ノ金額、種類又ハ納付場所ニ依リ其ノ納付ニ關シ制限ヲ加フルコトヲ得

主管大臣ハ前項ノ規定ニ依リ大藏大臣ノ定メタルモノノ外主管歲入ノ納付ニ付更ニ制限ヲ加フルノ必要アリト認ムルトキハ大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ムルコトヲ得

第七條　市町村ニ於テ大正五年法律第十號第三條第二項ノ規定ニ依リ責任ノ免除ヲ請ハムトスルトキハ地方長官ヲ經由シテ主管大臣ニ申請書ヲ提出スヘシ

地方長官前項ノ申請書ヲ受ケタルトキハ事實ヲ調査シ意見ヲ具シテ主管大臣ニ送付スヘシ

第八條　本令中市町村ニ關スル規定ハ法令ニ依リ租稅其ノ他ノ歲入ヲ徵收シ其ノ徵收金ヲ國庫ニ送付スヘキ責任アル者ニ之ヲ準用ス

第九條　本令中主管大臣ノ職務ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、關東州ニ在リテハ關東長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官之ヲ行フ但シ第六條第二項ノ場合ニ於テハ主管大臣ヲ經由スルコトヲ要ス

本令中地方長官ノ職務ハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長、樺太ニ在リテハ樺太廳支廳長之ヲ行フ

附　則

本令ハ大正六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十八年勅令第三十四號ハ之ヲ廢止ス

●大正五年勅令第二百五十六號第六條第一項ニ依ル證券ノ納付ニ關スル制限

大正五年勅令第二百五十六號

改正　大正一一年第三四號

大正五年勅令第二百五十六號第六條第一項ニ依リ證券ノ納付ニ關スル制限左ノ通相定ム

第一條　政府ノ振出シタル小切手ハ其ノ振出日付ヨリ一年ヲ經過セサルモノニシテ且裏書禁止ノ旨ノ記載ナキモノナルコトヲ要ス

前項以外ノ小切手ハ左ニ掲クル銀行ニ宛テタルモノニシテ且振出人ニ於テ支拂拒絕證書ノ作成ヲ免除シタルモノナルコトヲ要ス

一　特別ノ法律ニ依リ設立セラレタル銀行（本店及支店）

二　手形交換所ニ加入シタル銀行（當該本店若ハ支店ニ限ル第三號乃至第五號之ニ掲ク）

三　國庫金出納事務ノ取扱ニ付日本銀行ノ代理店タル銀行

四　道府縣本金庫ノ事務ヲ取扱フ銀行

五　朝鮮ノ道金庫、臺灣ノ州金庫、廳地方費金取扱所又ハ關東州ノ地方費現金取扱所ノ事務ヲ取扱フ銀行

六　第二號乃至第五號ニ該當スル銀行ノ所在地ニ在ル同一銀行ノ支店

第二條　第一條第二項ノ規定ニ依ル小切手ハ左記各號ノ一ニ該當スル場合ヲ除クノ外其ノ一通ノ金額又ハ一口ノ歲入納付ニ使用スル其ノ合計金額百圓以上ナルトキハ支拂銀行ノ支拂保證アルモノナルコトヲ要ス

一　日本銀行本店、支店又ハ國庫金出納事務ノ取扱ニ付日本銀行ノ代理店タル銀行ノ左記各號ニ依ル小切手

二　歲入納付ノ告知ヲ爲ス官署ニ於テ支拂保證アルコトヲ要セサル旨ノ承認ヲ與ヘタルトキ

歲入納付ノ告知ヲ爲ス官署ハ保證人又ハ擔保アル歲入ニシテ其ノ告知額ヲ納付スルモ直ニ保證證書又ハ擔保物ノ返還ヲ要セサルモノニ限リ前項第二號ノ承認ヲ與フルコトヲ得

第三條　爲替手形ハ日本銀行本店、支店又ハ國庫金出納事務ノ取扱ニ付日本銀行ノ代理店タル銀行（當該本店若ハ支店ニ限ル）ニ宛テタルモノニシテ振出人ニ於テ支拂拒絕證書ノ作成ヲ免除シタルモノナルコトヲ要ス

第四條　爲替手形ハ日本銀行本店、支店又ハ國庫金出納事務ノ取扱ニ付日本銀行ノ代理店タル銀行（當該本店若ハ支店ニ限ル）ニ宛テタルモノニシテ振出人ニ於テ支拂拒絕證書ノ作成ヲ免除シタルモノナルコトヲ要ス

第五條　證券ヲ以テ納付シ得ル歲入ノ種目ハ主管大臣之ヲ定ム

第六條　大藏大臣ハ證券ノ金額、種類又ハ納付場所ニ依リ其ノ納付ニ關シ制限ヲ加フルコトヲ得

主管大臣ハ前項ノ規定ニ依リ大藏大臣ノ定メタルモノノ外主管歲入ノ納付ニ付更ニ制限ヲ加フルノ必要アリト認ムルトキハ大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ムルコトヲ得

第七條　市町村ニ於テ大正五年法律第十號第三條第二項ノ規定ニ依リ責任ノ免除ヲ請ハムトスルトキハ地方長官ヲ經由シテ主管大臣ニ申請書ヲ提出スヘシ

地方長官前項ノ申請書ヲ受ケタルトキハ事實ヲ調査シ意見ヲ具シテ主管大臣ニ送付スヘシ

第八條　本令中市町村ニ關スル規定ハ法令ニ依リ租稅其ノ他ノ歲入ヲ徵收シ其ノ徵收金ヲ國庫ニ送付スヘキ責任アル者ニ之ヲ準用ス

第九條　本令中主管大臣ノ職務ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、關東州ニ在リテハ關東長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官之ヲ行フ但シ第六條第二項ノ場合ニ於テハ主管大臣ヲ經由スルコトヲ要ス

本令中地方長官ノ職務ハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長、樺太ニ在リテハ樺太廳支廳長之ヲ行フ

附　則

本令ハ大正六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十八年勅令第三十四號ハ之ヲ廢止ス

●大正五年勅令第二百五十六號第六條第一項ニ依ル證券ノ納付ニ關スル制限

大正五年勅令第二百五十六號

改正　大正一一年第三四號
大藏省令第三十號

大正五年勅令第二百五十六號第六條第一項ニ依リ證券ノ納付ニ關スル制限左ノ通相定ム

第一條　政府ノ振出シタル小切手ハ其ノ振出日付ヨリ一年ヲ經過セサルモノニシテ且裏書禁止ノ旨ノ記載ナキモノナルコトヲ要ス

前項以外ノ小切手ハ左ニ掲クル銀行ニ宛テタルモノニシテ且振出人ニ於テ支拂拒絕證書ノ作成ヲ免除シタルモノナルコトヲ要ス

一　特別ノ法律ニ依リ設立セラレタル銀行（本店及支店）

二　手形交換所ニ加入シタル銀行（當該本店若ハ支店ニ限ル第三號乃至第五號之ニ掲ク）

三　國庫金出納事務ノ取扱ニ付日本銀行ノ代理店タル銀行

四　道府縣本金庫ノ事務ヲ取扱フ銀行

五　朝鮮ノ道金庫、臺灣ノ州金庫、廳地方費金取扱所又ハ關東州ノ地方費現金取扱所ノ事務ヲ取扱フ銀行

六　第二號乃至第五號ニ該當スル銀行ノ所在地ニ在ル同一銀行ノ支店

第二條　第一條第二項ノ規定ニ依ル小切手ハ左記各號ノ一ニ該當スル場合ヲ除クノ外其ノ一通ノ金額又ハ一口ノ歲入納付ニ使用スル其ノ合計金額百圓以上ナルトキハ支拂銀行ノ支拂保證アルモノナルコトヲ要ス

一　日本銀行本店、支店又ハ國庫金出納事務ノ取扱ニ付日本銀行ノ代理店タル銀行

府ニ在リテハ臺灣總督、關東廳ニ在リテハ關東長官、樺太廳ニ在リテハ樺太廳長官、南洋廳ニ在リテハ南洋廳長官之ヲ爲スヘシ

第二條　前條ノ規定ニ依リ編入シタル定期貸之ヲ大藏大臣ニ引繼クヘシ其ノ特別會計ニ屬スルモノハ之ヲ大藏大臣ニ引繼キ一般會計ニ移屬セシムルコトヲ得

前項ノ引繼ヲ爲スニハ債務者ノ住所地ヲ管轄スル地方長官ニ關係書類ヲ送付シ必要ノ事項ヲ大藏大臣ニ報告スヘシ

第三條　大藏大臣ニ引繼キタル定期貸及據置貸ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ地方長官之ヲ管理スヘシ

第四條　債務者ノ住所カ朝鮮、臺灣、關東州、樺太又ハ南洋群島ニ在ル場合ニ於テハ地方長官ニ關スル規定ハ朝鮮總督、臺灣總督、關東長官、樺太廳長官又ハ南洋廳長官ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ明治四十四年法律第五十八號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（明治四十四年四月二十一日ヨリ施行）

●臺灣總督府貸付金取扱規程

改正　明治四十四年九月九日臺灣總督府令第六十七號
大正九年第七二號、第一六〇號

臺灣總督府貸付金取扱規程左ノ通相定ム

臺灣總督府貸付金取扱規程

第一條　本令ニ於テ貸付金ト稱スルハ明治四十四年勅令第百二十一號第一條ノ規定ニ依ル定期貸及據置貸ニシテ臺灣總督府特別會計ニ屬スルモノヲ謂フ

第二條　貸付金ハ本令ノ定ムル所ニ依リ債務者ノ住所地ヲ管轄スル地方廳ニ於テ之ヲ管理スヘシ

第三條　貸付金ノ債務者カ他管內ニ住所ヲ移シタル場合ニ於テ其ノ住所カ內地、朝鮮、關東州又ハ樺太ナルトキハ關係書類ヲ添ヘ貸付金管理ノ引繼方ヲ臺灣總督ニ稟申シ其ノ住所カ本島內ナルトキハ其ノ所轄廳ヘ關係書類ト共ニ貸付金管理ノ引繼ヲ爲スヘシ

第四條　前各條ニ規定スルモノノ外必要ナル事項ハ明治四十四年四月大藏省令第十七號貸付金取扱規程ヲ準用ス

第五條　前條ニ依リ貸付金取扱規程ヲ準用スル場合ニ於テ同規程中大藏大臣及大藏省ニ關スル規定ハ臺灣總督及臺灣總督府ニ之ヲ準用シ證書類ノ保管ニ關シ各省大臣又ハ北海道廳長官府縣知事ニ關スル職務ハ臺灣總督又ハ知事又ハ廳長之ヲ行ヒ其ノ部局長ニ屬スル職務ハ地方廳稅務課長之ヲ行フ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）

●貸付金取扱規程

明治四十四年四月二十一日
大藏省令第十七號

明治四十四年勅令第百二十一號第三條ニ依リ貸付金取扱規程左ノ通相定ム

貸付金取扱規程

第一條　明治四十四年勅令第百二十一號第二條ノ規定ニ依リ大藏大臣ニ引繼キタル貸付金及本令施行ノ際現存スル雜種貸竝據置貸ハ本令ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

第二條　貸付金ハ定期貸及據置貸ニ區別シテ之ヲ整理スヘシ

本令施行ノ際現存スル雜種貸ハ定期貸トシテ之ヲ整理スヘシ

第三條　貸付金ハ前條ノ區別ニ依リ甲號書式ノ臺帳ヲ備ヘ債務ノ原因、編入年月日、金額、辨濟期限及債務者保證人ノ住所氏名等ヲ之ニ登記スヘシ

前項ノ登記事項ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ都度之ヲ訂正スヘシ

第四條　定期貸ニ付テハ其ノ期限ノ到來シタルトキ收納ノ手續ヲ爲シ據置貸ニ付テハ每年度ノ終ニ於テ債務者ノ所在及資產ノ實況ヲ調査シ債務ノ全部又ハ一部ヲ返納シ得ヘキ資力ヲ生シタリト認ムルトキ收納ノ手續ヲ爲スヘシ

第五條　貸付金ノ辨濟期限又ハ分賦額其ノ他契約ノ內容ノ變更ヲ要スルモノアルトキハ其ノ事實ヲ具申シ大藏大臣ノ認可ヲ得ヘシ但シ辨濟期ヲ短縮スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第六條　明治四十四年法律第五十八號第二條ニ該當スルモノト認ムルトキハ其ノ事實ヲ具申シ大藏大臣ノ認可ヲ得テ臺帳ヨリ削除スヘシ

時效其ノ他ノ事由ニ因リ債務消滅シタル場合亦前項ニ同シ

第七條　債務者他管內ニ住所ヲ移シタルトキハ其ノ所轄廳ヘ關係書類ト共ニ貸付金管理ノ引繼ヲ爲スヘシ

第八條　左ニ揭ク場合ニ於テハ乙號書式ニ依リ三箇月每ニ異動報告書ヲ調製シ翌月（四月、七月、十月、一月）十五日限大藏省ニ送付スヘシ

一　新規編入、收納又ハ削除アリタルトキ

二　第五條ニ依リ契約ノ內容ニ變更アリタルトキ

三　相續又ハ債務者氏名ノ變更アリタルトキ

四　第七條ニ依リ引繼又ハ引受ヲ爲シタルトキ

第九條　貸付金ニ關スル證書類ハ明治二十六年八月大藏省訓令第千百九十八號預金局保管證書保管規則ニ準據シ之ヲ保管スヘシ

第十條　第三條ノ臺帳ニ基キ每年度末ノ現在額ヲ取調丙號書式ノ報告書ヲ調製シ翌年度四月十五日限大藏省ニ送付スヘシ

附　則

本令ハ明治四十四年勅令第百二十一號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（明治四十四年四月二十一日ヨリ施行）

明治二十六年十二月大藏省訓令第七十七號諸貸付金取扱規程ハ之ヲ廢止ス

甲號書式（本簿ハ種目別ニ調製シ末尾ニ合計ノ口座ヲ設クルモノトス但シ便宜合冊トナスコトヲ妨ケス）

債務原因
編入年月日
金額
辨濟期限
年月日　摘要　收納金額　削除金額　未收入金額

住所
債務者　氏名
住所
保證人　氏名

備考
一、他官廳ヨリ引受ヲ爲シタルトキハ未收入金額欄ニ記入スヘシ
二、他官廳ニ引繼ヲ爲シタルモノハ其ノ引受ノ通知アリタルトキ削除金額欄ニ朱書ヲ以テ記入スヘシ

乙號書式（第　號）

【明治】何年自何月至何月貸付金異動報告書

種目　金額　事由　債務者（保證人）住所　氏名

定期貸
據置貸

右及報告候也

年月日　道廳長官又ハ府縣知事　氏名　㊞

大藏大臣宛

丙號書式

【明治】何年度末貸付金現在額報告書

種目　前年度繰越額　新規編入額　計　收入額　削除額　計　殘額

定期貸
據置貸

右及報告候也

年月日　道廳長官又ハ府縣知事　氏名　㊞

大藏大臣宛

備考

一本表新規編入額ニハ新ニ編入シタルモノ其ノ他引繼ヲ受ケタルモノヲ合算シ又削除額ニハ免除處分ヲ爲シタルモノ時效又ハ絕家等ニ因リ消滅シタルモノ及引繼ヲ爲シタルモノヲ合算スルモノトス

●印紙ヲ以テスル歲入金納付ニ關スル件

大正九年六月二十四日
勅令第百九十號

改正　大正一二年第二三六號、第二八八號

左ノ勅令ハ之ヲ公布セシム

第一條　政府ニ收ムヘキ手數料、罰金、科料、過料、刑事訴訟費用、非訟事件ノ費用及少年法第六十一條ノ規定ニ依リ徵收スル費用ハ印紙ヲ以テ之ヲ納メシムルコトヲ得但シ印紙ヲ以テ納メシムルコトヲ得ヘキ手數料ノ種目ハ主務大臣、朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、關東廳所轄地域ニ在リテハ關東長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官之ヲ定ム

第二條　法令ニ依リ印紙ヲ以テ租稅其ノ他ノ政府ノ歲入金ヲ納ムルトキハ收入印紙ヲ用ウヘシ

收入印紙ノ形式ハ大藏大臣之ヲ定ム

第三條　收入印紙ハ郵便局所、郵便切手賣捌所又ハ收入印紙賣捌所ニ於テ之ヲ賣捌ク賣捌ニ關スル規程ハ遞信大臣、朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、關東廳所轄地域ニ在リテハ關東長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官、關東廳所轄地域以外ノ支那ニ在リテハ外務大臣之ヲ定ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

左ノ勅令ハ之ヲ廢止ス

明治三十年勅令第四百五十二號
明治三十一年勅令第百四十號
明治三十二年勅令第二十六號
明治三十二年勅令第五十六號
明治三十三年勅令第二百二十七號
明治三十八年勅令第三百四十二號
明治四十年勅令第三百四十二號
明治四十二年勅令第四十一號

●收入印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料種目

明治三十七年九月二十八日
臺灣總督府令第七十二號

改正　明治三七年第八九號、三八年第二四號、第七九號、三九年第二〇號、四〇年第六八號、四二年第五九號、四四年第三九號、四五年第五八號、大正元年第一四號、第四四號、四年第三四號、六年第一〇號、第一六號、七年第四九號、一〇年第五三號、一三年第一五號

明治三十二年二月府令第十一號收入印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料種目左ノ通改正ス

本令ハ明治三十七年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

一　鑛業手數料
一　醫師免許證下付及書換再下付手數料
一　齒科醫師免許證下付及書換再下付手數料
一　醫生免許證及書換再下付手數料
一　歯醫免許證及書換再下付手數料
一　藥劑師免許證及書換再下付手數料
一　刑事ノ判決正本謄本抄本手數料
一　私書證書確定日附請求手數料
一　臺灣總督府法院執達規則第二條、第三條、第四條、第五條ノ二及第七條ノ手數料
一　清國人上陸許可證及證明書再下付手數料
一　外國旅券手數料
一　拒絕證書作成手數料
一　船舶國籍證書假船舶國籍證書船鑑札假船鑑札及書換再下付手數料
一　汽船檢查證書及書換再下付手數料
一　臺灣汽船職員試驗手數料
一　臺灣汽船職員懲戒委員會評決正本謄本抄本手數料
一　食鹽請賣鑑札出賣鑑札及書換再下付手數料
一　阿片烟膏購買吸食特許料及鑑札書換再下付手數料
一　藥品試驗ニ關スル手數料
一　土地分割測量手數料
一　渡航證明書下付手數料及查證手數料
一　公證費用規則ノ手數料
一　文官普通試驗手數料

罰金科料等取扱規程

改正　大正八年第一五五號　明治四十三年九月　臺灣總督府訓令第百八十五號

法院、檢察局、廳

第一條　【明治三十八年勅令第二百二十七號】ニ依リ罰金、科料、過料、刑事追徵金、訴訟費用及非訟事件ノ費用ヲ收入印紙ヲ以テ納付セシムル場合ニハ左ノ如ク取扱フヘシ

一　收入印紙ヲ以テ納付スル罰金、科料等取扱規程

二　收入印紙ヲ以テ納付スル罰金科料等取扱規程左ノ通相定ム

第二條　前條ニ依リ納付ヲ受ケタルトキハ歲入徵收官ハ直ニ歲入徵收金通知簿ニ依リ納入告知書ヲ添ヘ其ノ旨ヲ事件主任官ニ通知シ且ツ調定額控除ノ手續ヲ爲スヘシ

第三條　事件主任官ニ對シ納人ヨリ收入印紙ヲ以テ卽納セムトスルトキハ調定手續ヲ爲サス左ノ如ク取扱フヘシ

一　納人ヲシテ納付金額及年月日住所氏名ヲ記載セル納付書ヲ作成セシメ之ニ納付額相當ノ收入印紙ヲ貼付セシムルコト

一　納人ヲシテ印紙ニ消印ヲ爲サシメサルコト

第四條　前二條ノ場合ニ於テ事件主任官ハ法院書記ヲシテ歲入徵收金通知簿ニ收入印紙ヲ以テ納入濟ノ旨ヲ記載セシムヘシ

第五條　納人ニ於テ一扉ノ金額中幾分ヲ收入印紙ヲ以テ納付シタルトキハ分納ノ例ニ準シ其ノ殘額ニ付更ニ調定ノ手續ヲ爲シ且ツ帳簿ニ其ノ事由ヲ附記スヘシ

第六條　納人收入印紙ヲ以テ納付シタルトキハ第四條ノ法院書記ノ調查ノ上之ニ納付濟證ヲ交付スヘシ

第七條　納付濟證ニハ法院、檢察局ノ印ヲ押捺シ前條ノ官吏之ニ認印スヘシ

第八條　納付濟ノ收入印紙ヲ官廳ニ於テ直ニ消印ヲ爲シ且ツ每月一回以上法院長、檢察官長、地方法院支部上席判官及檢察官之ヲ檢閱シ貼附印紙ノ當否及消印ノ有無ヲ調查スヘシ

第九條　卽決官署ニ於テ言渡シタル罰金、科料ノ納付ニ付テモ本令ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テハ前條ノ調查ハ【廳長】又ハ【支廳長】之ヲ爲スヘシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●收入印紙貼用書類取扱方

明治三十八年七月　臺灣總督府訓令第百五十七號

【民政部】法院、檢察局、廳、【所屬民政各官廳】

收入印紙ヲ貼用セル書類ヲ收受シタルトキハ其ノ收受スヘキモノナルコトヲ認メタル後書類ノ紙面ト貼附印紙ノ彩紋トニ掛ケ黑肉ヲ用キテ消印ヲ押捺スヘシ但シ書類ヲ收受スヘキ官廳ト同一ナラサルトキハ處分ヲ爲スヘキ官廳ニ於テ消印ヲ押捺スヘシ

前項ノ書類ハ處分ヲ爲シタル官廳ニ於テ種目ノ異ナル每ニ編綴シ其ノ種目限リ每年度分集計ヲ爲シ四月末日迄ニ臺灣總督ニ報告スヘシ

明治三十二年ニ訓令第二十九號ハ之ヲ廢止ス

●收入印紙貼用方

明治三十二年二月二十三日　臺灣總督府令第十二號

大正十四年第二一號第五一號

【明治三十二年二月二十三日　臺灣總督府令第十一號】ニ依リ收入印紙ヲ以テ手數料ヲ納ムルトキハ其金額ニ相當スル印紙ヲ願書其他ノ書類ニ貼用スヘシ

●收入印紙用書類取扱方

明治三十八年七月　臺灣總督府訓令第百五十七號

【民政部】法院、檢察局、廳、【所屬民政各官廳】

收入印紙ヲ貼用セル書類ヲ收受シタルトキハ其ノ收受スヘキモノナルコトヲ認メタル後書類ノ紙面ト貼附印紙ノ彩紋トニ掛ケ黑肉ヲ用キテ消印ヲ押捺スヘシ但シ書類ヲ收受スヘキ官廳ト同一ナラサルトキハ處分ヲ爲スヘキ官廳ニ於テ消印ヲ押捺スヘシ

前項ノ書類ハ處分ヲ爲シタル官廳ニ於テ種目ノ異ナル每ニ編綴シ其ノ種目限リ每年度分集計ヲ爲シ四月末日迄ニ臺灣總督ニ報告スヘシ

明治三十二年ニ訓令第二十九號ハ之ヲ廢止ス

●收入印紙貼用方

明治三十二年二月二十三日　臺灣總督府令第十二號

大正十四年第二一號第五一號

【明治三十二年二月二十三日　臺灣總督府令第十一號】ニ依リ收入印紙ヲ以テ手數料ヲ納ムルトキハ其金額ニ相當スル印紙ヲ願書其他ノ書類ニ貼用スヘシ

●國庫所屬手數料徵收規則

大正十年三月三十日　臺灣總督府令第五十二號

國庫所屬手數料徵收規則左ノ通相定ム

第一條　國庫ニ所屬スル手數料ノ徵收ニ付テハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ニ依ル

第二條　州、廳、郡、支廳又ハ警察官署ヨリ鑑札又ハ證明書等ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ左ノ手數料ヲ納付スルヲ要ス

一　鑑札其ノ他名義ノ何タルヲ問ハス鑑札ノ性質ヲ帶フル　每一枚　金二十錢

二　證明書　每一通　金十錢

三　診斷書又ハ死體檢按書　每一通　金三十錢

前項手數料ハ收入印紙ヲ以テ納付スヘシ

第三條　左ニ揭クル鑑札又ハ證明書等ノ交付ニ付テハ手數料ヲ徵收セス

一　官公署ニ對シ交付スルモノ

二　公務員カ職務上必要ナル證明書

三　工場法第十六條ノ趣旨ニ依リ本島人ニ交付スル證明書

四　無資力證明書

五　改葬、洗骨、埋骨及死體搬出許可證

六　船舶疏貰、燻蒸證明書

七　死亡診斷書及死體檢按書但シ遺族ノ利益ノ爲ニスルモノヲ除ク

八　傳染病豫防ノ爲ニスル種痘及豫防注射證明書

九　陸海軍ノ召集、簡閱點呼ニ應召若ハ參會又ハ入營ノ爲必要ナル諸證明書

第四條　本令ハ郡、支廳ニ於テ交付スル鑑札及證明書中警察事務ニ屬セサルモノニ付テハ之ヲ適用セス

附　則

本令ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第六款　支出

●支出官事務規程

大正十一年一月十一日　大藏省令第一號

支出官事務規程左ノ通定ム

第一章　總則

第一條　支出官ハ本令ノ定ムル所ニ依リ支出ニ關スル事務ヲ處理スヘシ

第二條　支出官ハ支拂豫算ニ依リ定メラレタル日本銀行(本店、支店又ハ代理店ヲ謂フ以下同シ)ヲ以テ其ノ振出ス小切手ノ支拂店ト爲スヘシ

第三條　支出官ノ更迭アリタルトキハ各省大臣ハ直ニ大藏大臣及小切手ノ支拂店ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

各廳長官又ハ部局長ヲ支出官トスル場合ニ於テ其ノ更迭ヲ官報ニ揭載シタルトキハ前項ノ通知ヲ要セス但シ至急支拂ヲ要スル場合又ハ特ニ各廳長官若ハ部局長以外ノ者ヲ以テ支出官トスル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第四條　會計規則第四十二條ノ規定ニ依ル代理官ノ任免アリタルトキハ前條第一項ノ規定ニ準シ之カ通知ノ手續ヲ爲スヘシ

第五條　支出官及其ノ代理官ハ照較ノ用ニ供スル爲其ノ印鑑ヲ小切手ノ支拂店ニ送付スヘシ

第六條　支出官特別會計支拂元受高ノ內ヲ翌年度ノ支拂元受高ニ組入ヲ要スルトキハ其ノ旨ヲ小切手ノ支拂店ニ請求スヘシ

第七條　支出官特別會計支拂元受高ノ內ヲ當該會計ノ他ノ支出官ノ支拂元受高ニ轉換ヲ要スルトキハ其ノ旨ヲ小切手ノ支拂店ニ請求シ振替受拂ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第八條　本令中各省大臣ノ職務ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、關東州ニ在リテハ關東長官之ヲ行フ

第二章　小切手ノ振出

第一節　總則

第九條　支出官ハ其ノ振出ス小切手ニ支拂金額、支拂店名及受取人ノ氏名ト共ニ其ノ小切手ノ持參人カ支拂ヲ受クルコトヲ得ヘキコト、振出ノ年月日及支拂地ヲ記載スルノ外年度、所管、會計名、經常臨時部別、款項及番號ヲ附記スヘシ

第十條　官廳、出納官吏又ハ日本銀行ヲ受取人トシテ振出ス小切手ハ之ヲ記名式トシ之ニ裏書禁止ノ旨ヲ記載スヘシ

前項ノ小切手金額ニシテ振替拂込ヲ要スルモノナルトキハ表面餘白ニ「要振替」ノ印ヲ押捺スヘシ

第十一條　支出官受取人ニ小切手ヲ交付シ支拂ヲ了シタルトキハ之カ領收證書ヲ徵スヘシ

第十二條　支出官本章ノ規定ニ依リ小切手ヲ振出シタルトキハ其ノ都度第一號書式ノ小切手ノ振出濟通知書ヲ小切手ノ支拂店ニ送付スヘシ

第二節　隔地者ニ支拂ヲ爲サシムル爲振出ス小切手

第十三條　支出官民法ノ規定ニ依リ政府ノ債務ノ一部ニ付私人ノ債務トノ間ニ相殺アリタル場合ニ振出ス小切手ハ政府ノ支拂金額ヨリ相殺額ヲ控除シタル殘額ヲ券面金額トシ其ノ旨ヲ通知スルモノトス

第二十條　支出官外國ニ在ル債主ニ對シ外國貨幣ヲ基礎トスル金額ノ支拂ヲ爲サムトスルトキハ別ニ定ムル外國貨幣換算價格ニ依リ換算シタル邦貨額ヲ券面金額トスル小切手ヲ振出シ其ノ裏面ニ第六號書式ノ記入ヲ爲シ之ヲ小切手ノ支拂店ニ交付シ前條ノ規定ニ準シ債主ニ通知ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十一條　本節ノ規定ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外支出官小切手ノ支拂店所在地外ニ在ル出納官吏ニ資金ヲ交付スル場合ニ之ヲ準用ス

第三節　國庫內移換ノ爲ニ振出ス小切手

第二十二條　支出官他ノ會計ニ資金繰入ノ爲歲出ヲ支出セムトスル場合ニ振出ス小切手ハ之カ繰入ヲ要求スル當該官廳ヲ受取人トシ其ノ裏面ニ歲入年度、所管、會計名及取扱廳名其ノ他必要ナル事項ヲ記載シ之ヲ小切手ノ支拂店ニ交付シ振替拂込ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第二十三條　前條ノ場合ニ於テ其ノ振替ニ依ル受入濟ノ旨ヲ當該官廳及當該支拂元受高ノ計算ヲ爲ス日本銀行ニ至急通知スルノ必要アルトキハ其ノ旨ヲ記載シ別ニ「要電信通知」ノ印ヲ押捺スヘシ

第四節　俸給支拂、國庫納金及相殺ノ爲ニ振出ス小切手

第二十四條　支出官文官判任以上ノ者ニ俸給支拂ヲ爲ス爲振出ス小切手ハ其ノ俸給額ヨリ國庫納金額ヲ控除シタル殘額ヲ券面金額トスヘシ

支出官ハ前項ノ小切手ノ振出ト同時ニ國庫納金額ヲ券面金額トシ當該官廳ヲ受取人トスル小切手ヲ振出シ且表面餘白ニ國庫納金」ノ印ヲ押捺シ其ノ裏面ニ歲入年度、所管、會計名及取扱廳名ヲ記載シ之ヲ小切手ノ支拂店ニ交付シ振替拂込ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第二十五條　支出官民法ノ規定ニ依リ政府ノ債務ノ一部ニ付私人ノ債務トノ間ニ相殺アリタル場合ニ振出ス小切手ハ政府ノ支拂金額ヨリ相殺額ヲ控除シタル殘額ヲ券面金額トシ其ノ旨ヲ通知スルモノトス

第二十六條　支出官外國ニ在ル債主ニ對シ外國貨幣ヲ基礎トスル金額ノ支拂ヲ爲サムトスルトキハ別ニ定ムル外國貨幣換算價格ニ依リ換算シタル邦貨額ヲ券面金額トスル小切手ヲ振出シ其ノ裏面ニ第六號書式ノ記入ヲ爲シ之ヲ小切手ノ支拂店ニ交付シ前條ノ規定ニ準シ債主ニ通知ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十七條　本節ノ規定ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外支出官小切手ノ支拂店所在地外ニ在ル出納官吏ニ資金ヲ交付スル場合ニ之ヲ準用ス

第五節　國庫內移換ノ爲ニ振出ス小切手

第二十八條　支出官第十三條又ハ第十四條ノ手續ヲ爲シタルトキハ第四號書式ノ歲出金支拂通知書ヲ債主ニ送付スヘシ但シ前條但書ノ規定ニ依リ支拂場所ヲ指定シタル場合ニ於テハ歲出金支拂通知書ニ代ヘ適宜ノ通知書ヲ債主ニ送付シ電信送金ノ場合ニ於テハ電信ヲ以テ其ノ旨ヲ通知スルモノトス

第二十九條　支出官歲出金支拂通知書ノ送付ヲ爲シタル後債主ヨリ該通知書ヲ添ヘ支拂場所變更ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於テ相當ノ事由アリト認メタルトキハ歲出金支拂通知書ニ記載セル支拂場所ヲ訂正シ之ヲ債主ニ返付シ直ニ其ノ旨ヲ小切手ノ支拂店ニ通知スヘシ

第三十條　支出官電信送金ノ通知ヲ爲シタル後債主ヨリ支拂場所變更ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於テ支拂未濟ナルコトヲ確メタルトキハ前條ノ規定ニ準シ電信ヲ以テ之カ變更ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十一條　支出官外國ニ在ル債主ニ對シ邦貨ヲ基礎トスル金額ノ支拂ヲ爲サムトスルトキハ其ノ振出ス小切手ノ裏面ニ第五號書式ノ記入ヲ爲シ之ヲ小切手ノ支拂店ニ交付シ直ニ其ノ旨ヲ債主ニ通知スヘシ但シ電信送金ノ場合ニ於テ必要アリト認メタルトキハ

表中金額以外ノ誤謬訂正ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十一條　支出官歲出金支拂通知書ノ記載事項中金額以外ノ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ之カ訂正ヲ爲スコトヲ得

支出官前項ノ訂正ヲ爲サムトスルトキハ受取人ヲシテ該歲出金支拂通知書ヲ提出セシメ相當ノ訂正ヲ爲シ之ヲ受取人ニ返付スヘシ

第三十二條　支出官第十六條ノ規定ニ依リ受取人ニ送付シタル歲出金支拂通知書ニシテ受取人ノ受領前亡失シ日本銀行ニ於テ其ノ支拂未濟ナルコトヲ確メタルトキハ之カ支拂ヲ停止セシメ更ニ歲出金支拂通知書ヲ調製シ表面餘白ニ「再發行」ノ印ヲ押捺シ之ヲ受取人ニ送付シ其ノ旨ヲ小切手ノ支拂店ニ通知スヘシ

第三十三條　支出官受取人ノ受領前亡失シタル歲出金支拂通知書ニ依リ日本銀行既ニ支拂ヲ爲シタルコトヲ確メタルトキハ事情ヲ詳具シタル書面ヲ所管大臣ヲ經由シ大藏大臣ニ送付スヘシ

支出官大藏大臣ヨリ支拂ヲ爲スヘキ旨ノ通知ヲ受ケタルトキハ前條ノ規定ニ準シ之カ支拂ニ必要ナル手續ヲ爲スヘシ

第三十四條　受取人支出官ヨリ送付ヲ受ケタル歲出金支拂通知書ヲ亡失シタルトキハ直ニ支拂場所タル日本銀行ニ支拂停止ノ請求ヲ爲シ且支拂未濟ナルトキハ當該日本銀行ヲ經由シ支出官ニ屆出ツヘシ

前項ノ屆書ニハ歲出金支拂通知書ニ記載シタル金額、番號、年度、發行官廳及支拂場所ヲ記載スヘシ

前二項ノ規定ハ歲出金支拂通知書ヲ毀損シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十五條　支出官前條ノ屆書ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ支拂ヲ要スルモノト認メタルトキハ第三十二條ノ規定ニ準シ之カ支拂ニ必要ナル手續ヲ爲スヘシ

第三十六條　第三十三條ノ規定ハ受取人ノ亡失シタル歲出金支拂通知書ニ依リ既ニ支拂ヲ受ケタル者アル場合ニ付之ヲ準用ス

第三十七條　支出官歲出金月計突合表又ハ歲出支拂未濟繰越金月計突合表ニ證明ヲ爲シタル後其ノ證明ニ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ事由ヲ記載シテ證明ヲ爲シ之ヲ小切手ノ支拂店ニ送付スヘシ

附　則

第三十八條　本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三十九條　左ノ大藏省令ハ之ヲ廢止ス

前金渡概算渡ノ返納金ヲ定額ニ戻入ルル取扱規程

明治二十三年大藏省令第十七號

明治三十四年大藏省令第十二號

仕拂命令等盜難又ハ亡失ノ場合ニ關スル取扱手續

第四十條　歲出金仕拂通知書ニシテ本令施行前其ノ支拂ヲ了セサルモノハ從前ノ手續ニ依リ日本銀行ニ於テ本令施行後一年間之カ支拂ヲ取扱ハシム

第四十一條　前條ニ規定スル支拂期間經過後仍時效ノ完成セサル債務ノ支拂ニ付テハ會計規則第百六十九條第二項ノ規定ニ依ル

第一號書式

小切手振出濟通知書

No.....

大正「何」年度歲出

「何」省所管

「何」會計

「何」部

（款）

（項）

金

大正「何」年「何」月「何」日

「何　某」渡

「支出官官氏名」印

日本銀行「何」店御中

第二號書式（內國送金ノ場合ニ於ケル小切手裏面記載例）

表面ノ金額ハ何府縣郡市町村何番地何某ヘ日本銀行本店（何地支店又ハ代理店）ニ於テ拂渡（電信送金）ヲ要ス　官廳印

又ハ

表面ノ金額ハ何府縣郡市町村何番地何某ニ送金ヲ要ス　官廳印

又ハ

表面ノ金額ハ金額氏名表ニ記載ノ通拂渡（送金）ヲ要ス　官廳印

第三號書式

大正「何」年「何」月「何」日
小切手第「何」號

表名氏額金

大正「何」年度　「何」省所管　「何」會計　歲出「何」部　（項）　（款）

番號	受取人 住所	受取人 氏名	金額 圓	先金送ハ又店拂渡	備考

備考　用紙ハ洋紙ノ判型美濃引砂礬ハ縦一尺二寸ニ横一尺ニ若クハ縦一尺ニ横二尺ニ截ト雖モ使用ヲ裏表ニスヘカラス用紙ノ上以下ノ綴代ヲ存スヘシ

第四號書式（表面）

歲出金支拂通知書

大正「何」年度歲出	「何」省所管
第「何」號	小切手第「何」號
「何」會計	大正「何」年「何」月「何」日
小切手振出日附	日本銀行本店（何地支店又ハ代理店）
小切手ヲ宛テタル日本銀行名	第「何」號
金額氏名表番號	

金

前記ノ金額日本銀行本店（何地支店又ハ代理店）ニ於テ受領セラルヘシ

大正「何」年「何」月「何」日

「何廳支出官官氏名」印

「何　某」宛

輪廓寸法　縦五寸六分　横四寸五分

備考

一　用紙寸法ハ縦六寸三分　横五寸二分トシテ左方ニ八分ノ綴代ヲ設ク可シ

二　用紙ハ印刷局紙若ハ永久保存ニ耐ユル用紙ヲ用ユヘシ

三　官廳又ハ公共團體等ノ收入ト爲ルヘキモノハ宛名ニ官廳名又ハ公共團體名等ヲ記入シテ發行スヘシ

四　領收證ニ收入印紙ノ貼用ヲ要スルモノハ其ノ貼用場所ニ「要印紙」ノ印ヲ押捺スヘシ

領收證

收入印紙　印

前記ノ金額領收候也

大正「何」年「何」月「何」日

受取人

「住所」

何　某　印

（注意）受取人ハ裏面ノ注意事項ヲ熟覽スヘシ

（裏面）

注意事項

一受取人ハ表面領收證ノ部ニ年月日及住所ヲ記入シ記名捺印スヘシ但シ官吏公吏ニ在リテハ官廳名又ハ公共團體名等ヲ肩書シ官職名ヲ記シ記名捺印スヘシ

二受取人ノ印章ハ請求書ニ押捺シタルモノト同一ノモノニ限ル

三受取人カ代理人ヲ以テ現金支拂ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ本人ニ於テ本書委任欄内ニ相當ノ事項ヲ記載シ記名捺印スルカ又ハ別ニ委任狀ヲ差出スヘシ此ノ場合ニ於テハ代理人ハ本書ニ代理人タルノ肩書ヲ附シ記名捺印スヘシ

四受領金額五圓以上ノモノハ規定ノ收入印紙ヲ貼附消印スヘシ但シ營業ニ關セサルモノハ此ノ限ニ在ラス

五小切手振出ノ日附ヨリ一箇年ヲ過クルトキハ日本銀行ハ本書ニ對シ之カ支拂ヲ爲ササルモノトス

六本書ヲ亡失シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ拂渡ヲ受クヘキ日本銀行ニ通知シ支拂ノ停止ヲ請求スヘシ

收入印紙 ㊞

委任狀

表面金額ノ受取方ヲ　ニ委任致候也

大正「何」年「何」月「何」日

「住所」

何　某　㊞

第五號書式（邦貨ヲ基礎トスル外國送金ノ場合ニ於ケル小切手裏面記載例）

表面ノ金額ハ何貨ニ換ヘ何國何地何某ヘ送金（電信）ヲ要ス 官 支出 印

備考

外國人ノ氏名及外國ノ地名ハ成ルヘク其ノ地ノ原語ヲ記入スヘシ

第六號書式（外國貨幣ヲ基礎トスル外國送金ノ場合ニ於ケル小切手裏面記載例）

表面ノ金額ハ何貨何程ニ換ヘ何國何地何某ヘ送金（電信）ヲ要ス 官 支出 印

備考

外國人ノ氏名及外國ノ地名ハ成ルヘク其ノ地ノ原語ヲ記入スヘシ

第七號書式

返納告知書

第「何」號　　大正「何」年度

「何」省所管	「何」會計	歲出「何」部
（款）	（項）	

金

上記ノ金額大正「何」年「何」月「何」日迄ニ日本銀行本店支店又ハ代理店ニ拂込マルヘシ

大正「何」年「何」月「何」日

「支出官官氏名」㊞

「何　某」宛

定額戻入店

日本銀行「何」店

通知書

第「何」號　　大正「何」年度

「何」省所管	「何」會計	歲出「何」部
（款）	（項）	

金

上記ノ金額定額ニ戻入濟

大正「何」年「何」月「何」日

日本銀行「何」店㊞

「支出官官氏名」宛

返納人「何　某」

領收店

日本銀行「何」店

備考

一　用紙寸法　縱五寸六分　橫三寸八分　　輪廓寸法　縱四寸五分　橫三寸三分　ノモノ三枚接續トシ左方ニ一寸一方ノ綴代ヲ設クヘシ

二　金額、番號、年度、所管廳名及科目ハ支出官ニ於テ記入スルモノトス

三　返納金ニシテ外國貨幣、外國貨幣拂爲替券又ハ邦貨拂爲替券ニ係ルモノナルトキ又既ニ之ヲ本邦貨幣ニ交換シタル

領收證書

第「何」號　　大正「何」年度

「何」省所管

金

上記ノ金額領收候也

大正「何」年「何」月「何」日

日本銀行「何」店㊞

返納人

「何　某」宛

シヘス記載ス「程何貨何此」ニ傍ノ額金納返ハキトルナノモ

●特別會計第一豫備金支出ニ關スル件

明治三十年四月二十八日勅令第百十八號

旣特別會計ノ第一豫備金支出ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

特別會計ノ豫算中ニ設ケタル第一豫備金ノ支出ヲ要スルトキハ其ノ豫算ヲ所管スル主務大臣ニ於テ會計規則第十八條ノ勅令ニ基キ支出ヲナシ其ノ金額理由ヲ示ス所ノ計算書ヲ作リ大藏大臣ニ通知シ大藏大臣ハ之ヲ會計檢査院ニ通知スヘシ

●鐵道部現金前渡官吏設置ニ關スル件

明治三十九年四月七日法律第二十五號

旣帝國議會ノ協賛ヲ經タル臺灣總督府鐵道部現金前渡官吏設置ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

臺灣總督府鐵道部ノ職工人夫ノ給料、諸手當其ノ他支部局及派出工場ニ於テ仕拂ヲ爲ス經費ハ主任ノ官吏ニ委任シテ仕拂ヲ爲サシムル爲現金ノ前渡ヲ爲スコトヲ得

●支出官及資金前渡官吏ノ調製スヘキ帳簿ニ關スル件

大正十三年三月二十三日臺灣總督府訓令第二十五號

臺灣總督府　州　廳
臺灣總督府所屬官署

支出官及資金前渡官吏ノ調製スヘキ帳簿ニ關スル件左ノ通相定ム

第一條　支出官ハ會計規則第百五十六條ニ依ル支出簿ノ外左ノ帳簿ヲ備フヘシ

支出內譯簿　　別記第一號樣式
資金前渡金整理簿　　別記第二號樣式
資金前渡金內譯簿　　別記第三號樣式
概算拂金整理簿　　別記第四號樣式

推算簿
隔地拂資金整理簿
第二條　資金前渡官吏ハ會計規則第百五十八條ニ依ル現金出納簿ノ外左ノ帳簿ヲ備フヘシ
前渡資金出納内譯簿　別記第七號樣式
附　則
本令ハ大正十三年度ヨリ之ヲ施行ス
（別記）
別記第五號樣式
別記第六號樣式

第一號
何々（款）何々（項）何々（日）
支出内譯簿
（△印ハ朱書）

年月日	摘要 事由	摘要 債主氏名	摘要 小切手番號	支拂豫算額 豫算額	支拂豫算額 △減增用流	支拂豫算額 計	支出濟額 普通拂	支出濟額 資金前渡拂	支出濟額 計	豫算殘額
年月日				圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓

備考　支出事項簡單ノ爲事務煩雜ニ渉ラサルモノハ本簿ヲ省略シ會計規則第百五十六條ニ依ル支出ノ日ノ日ノ中ニ日ノ日ノ日ノ座ヲ設ケ整理スルモ妨ナシ

第二號
何々（款）何々（項）何々（日）
資金前渡金整理簿

年月日	摘要 事由	摘要 小切手番號	豫算額	資金前渡額 前渡額	資金前渡額 精算額	資金前渡額 決算殘額	豫算殘額	返納顚末 返納年月日	返納顚末 返納スヘキ額	備考
年月日			圓	圓	圓	圓	圓		圓	

第三號
何々（款）何々（項）何々（日）
資金前渡金内譯簿
名氏官吏官渡前金資

年月日	摘要 事由	摘要 小切手番號	豫算額	資金前渡額 前渡額	資金前渡額 精算額	資金前渡額 歲入納付額	資金前渡額 決算殘額	豫算殘額	返納顚末 返納年月日	返納顚末 返納スヘキ額	備考
年月日			圓	圓	圓	圓	圓	圓		圓	

第四號
何々（款）何々（項）何々（日）
概算拂金整理簿

年月日	摘要 事由	受取人官氏名	小切手番號	概算顚末 精算	概算拂額	精算額 支拂額	精算額 戻入額	精算額 歲入納付額	精算額 計	精算未濟額	備考
年月日					圓	圓	圓	圓	圓	圓	

第五號
何々（款）何々（項）
何々（日）何々（節）
推算簿
（△印ハ朱書）

年月日	摘要	支拂豫算額 豫算額	支拂豫算額 △減增用流	支拂豫算額 計	支拂推算額 普通拂	支拂推算額 資金前渡拂	支拂推算額 計	差引殘額	顚末
年月日		圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	

備考　本簿ニ於テハ事業ノ宜シキヲ得ル爲メ支出ノ性質ニ適スル官廳ノ式ニ變更ヲ得ル

第六號
隔地拂資金整理簿

年月日	摘要 支拂場所	地名	先付送氏名	種別	通知書番號	小切手番號	支拂金額 普通拂	資金前渡拂	計	顚末 日本銀行到達年月日	收領主債 年月日	濟	備考
年月日							圓	圓	圓				

第七號
何々（款）何々（項）何々（日）
前渡資金出納内譯簿

年月日	摘要 事由	摘要 號番	資金受額	支拂濟額	殘額
年月日			圓	圓	圓

備考　單ニ簡妨ナシ取扱モノスル企業省略ノ前渡ヲ資金ハ之ヲ合ハ簿ニ本ル

臺灣總督府經費渡切規則
改正　大正一三年府令第二九號、一四年府令第三七號
大正十二年三月三十日　臺總督府令第百三十號
大正二年府令第五十八號臺灣總督府經費渡切規則左ノ通改正ス

臺灣總督府經費渡切規則

第一條　會計法第二十二條及會計規則第六十一條ニ依リ渡切經費ノ交付ヲ受クヘキ官署及費目左ノ如シ

一　地方法院出張所、稅關監理署
事務費
雜品
薪炭油類　雜用品
小使及雜役夫（小使ハ地方法院出張所ニ限ル）

二　郵便局、同出張所
遞信事業費
渡切費
二等局以上事務費
器具機械費
式紙帳簿雜品
圖書及印刷費
薪炭點燈費
通信運搬費
傭人料
雜費
接待費
船車馬費
三等局以下諸費
事務費
集配遞送費
現業員勤勉手當

三
現業員奬勵費
燈臺、測候所
燈臺及測候費
航路標識用雜品　薪炭油類及雜用品
測候用雜品　薪炭油類及雜用品
傭人料（雜役夫ニ限ル）
雜費（舟車馬類傭賃ニ限ル）

四
警察官吏派出所同駐在所、警戒所、分遣所
事務費
薪炭油類及電燈料
派出所拂切小使給　雜用品
駐在所拂切小使給

前項第二號ノ渡切經費ヲ交付スヘキ郵便局ニ同出張所名竝其ノ費目ハ別ニ之ヲ指定ス

第二條　支出官ハ前條ノ費目ニ付渡切經費ヲ以テ支辨スヘキ品目、種類及渡切經費ノ年額竝月割額ヲ定メ之ニ依リ其ノ月分ノ定額ヲ毎月五日迄ニ各主任官ニ交付スヘシ

第三條　渡切經費ニ對シテハ三等郵便局以外ノ官署ニ在リテハ官署員金體ニ於テ共同經理ノ責ニ任シ現金及物品ノ出納ニ關シテハ上席者ハ主任官ヲ爲リ出納及保管上一切ノ責任ヲ負フヘシ但シ病氣其ノ他事故ニ因リ其ノ責任ヲ盡スコト能ハサルトキハ次席者之カ代理トシテ一切ノ責任ヲ負フヘシ

第四條　削除

第五條　主任官ハ渡切經費ニ關スル簿册ヲ設ケ現金及物品ノ受拂ヲ明瞭ニシ且ツ證憑書類ハ適宜編纂保存スヘシ

前項ノ簿册及證憑書類ハ主任官交迭ノトキハ後任者ニ引繼クヘシ

第六條　主任官ニシテ月ノ中間ニ交迭シタルトキハ交迭ノ翌日ヨリ起算シ殘餘ノ日數ニ相當スル現金若ハ現品ヲ後任者ニ引繼クヘシ但シ死亡其ノ他ノ事故ニ因リ引繼ヲ了スルコト能ハサルトキハ代理者又ハ後任者ニ於テ精算シ其ノ結果ヲ支出官ニ報告スヘシ

第七條　新ニ渡切經費ノ交付ヲ受クヘキ場合及月ノ中間ニ於テ指定局名ノ廢止セラルヘキ場合及月ノ中間ニ於テ其ノ定額ニ增減ヲ生シタルトキハ日割計算ニ依リ交付ス

前項ニ依リ交付濟金額ニ過不足ヲ生シタルトキハ年度ヲ異ニセサル場合ニ限リ後月分ノ交付ニ差繰計算スルコトヲ得

第八條　支出官ニ於テ一時ニ數月分ヲ取纏メ交付ノ必要アリト認メタルトキハ其ノ交付可ヲ受クヘシ

第九條　渡切經費ニ屬スル費途ノ仕拂ニ關シテハ官職名ヲ以テスルト否トニ拘ラス總テ主任官自己ノ責任トシ政府其ノ責ニ任セス

附則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ適用ス

●臺灣總督府經費渡切規則

ニ依リ渡切經費ヲ交付スヘキ郵便局同出張所名竝其ノ費目指定

大正十一年府令第百三十號臺灣總督府經費渡切規則第一條第二項ニ依リ渡切經費ヲ交付スヘキ郵便局同出張所名竝其ノ費目左ノ通指定シ大正十二年四月一日ヨリ之ヲ適用ス

大正十年告示第百八十四號ハ之ヲ廢止ス

指定局名	費目
臺北郵便局	遞信事業費 渡切費 二等局以上事務費 薪炭點燈費（電燈料及瓦斯使用料ヲ除ク） 傭人料（雜役夫ニ限ル） 雜費（舟車馬類傭賃、現業員夜食費、飲料水費、諸謝金、廣告料ニ限ル） 接待費 現業員奬勵費
基隆郵便局	同上
淡水郵便局	同上
新竹郵便局	同上
臺中郵便局	同上
彰化郵便局	同上
嘉義郵便局	同上
臺南郵便局	同上
高雄郵便局	同上

●臺灣經費取扱順序

明治三十年三月十八日
拓殖務省訓令第五號

改正　明治三一年內務省訓令第三號、三三年第六號、第二六號、四〇年第七號、大正四年第五號

明治二十九年當省訓令第十五號臺灣經費取扱順序左ノ通改正シ明治三十年度ヨリ施行ス

第一條　削除

第二條　歲出豫算各項中ノ目ノ流用及節ノ新設ハ臺灣總督之ヲ決行シ其都度本大臣ニ報告スヘシ但目ノ流用報告ニハ其金額理由ヲ示スヘシ

第三條　削除

第四條　會計規則第五十二條第三項ニ依リ仕拂命令官ヨリ提出スヘキ支出計算書及證憑書類ハ臺灣總督ニ於テ調査シ直チニ會計檢查院ニ送付スヘシ

第五條　會計規則第九十八條ニ依リ現金前渡ヲ受ケタル官吏ヨリ提出スヘキ仕拂計算書ハ每月一回トシ仕拂計算書及證憑書類ハ翌月五日迄ニ其地ヲ擔任スル收入官吏ニ送付スヘシ

第六條　仕拂命令官ハ前條仕拂計算書ノ下檢查ヲ執行シ下檢查書ヲ添ヘ臺灣總督ヲ經テ之ヲ會計檢查院ニ送付スヘシ

第七條　臺灣總督府及各部局ニ設置スル帳簿ノ樣式ハ臺灣總督之ヲ定ムヘシ（書式略之）

●支出命令委任ヲ受ケタル官吏死亡轉免ノ場合後任者心得

明治三十年二月
臺灣總督府訓令第十三號

改正　大正一一年第五七號

法院　州廳　臺灣總督府所屬官署

支出命令ノ委任ヲ受ケタル官吏死亡轉免等ノ場合ニ於テハ其後任者ハ前支出官ノ支拂豫算殘額ニ對シ直ニ該委任ヲ受ケタル儀ト心得ヘシ

●租稅下戻其他收入拂戻ニ關スル件

明治三十年八月
臺灣總督府訓令第九十七號

『民政部』法院【縣廳】

明治三十年度以降租稅下戻租稅其他諸收入ノ過誤納拂戻ハ左記書式ニ準據シ仕拂要求書ヲ調製シテ仕拂豫算ノ委任ヲ請求シ其廳ニ於テ交付方取扱フヘシ

書式

諸拂戻金仕拂要求書

明治何年度歲入

科目	金額	備考
經常部		
租稅		
內地稅	二五〇〇〇〇〇	何々ノ事由（計算ノ基ノ所ヲ詳記スヘシ）ニヨリ過（誤）納ノ分（租稅下戻租稅其他諸收入過誤納ヲ區分シテ揭クヘシ）
地租	一五〇〇〇〇〇	同上
茶稅		

右ノ通候也

明治　年　月　日　何廳

第七款　出納官吏

●出納官吏事務規程

大正十一年三月十一日
大藏省令第二號

出納官吏事務規程左ノ通定ム

出納官吏事務規程

第一章　總則

第一條　出納官吏ハ本令ノ定ムル所ニ依リ現金ノ出納保管ニ關スル事務ヲ處理スヘシ

第二條　出納官吏法令ノ規定ニ依リ現金ニ代ヘ證券ヲ受領シタルトキハ現金ニ準シ之カ取扱ヲ爲スヘシ

第三條　出納官吏其ノ手許ニ保管スル現金ハ之ヲ堅牢ナル容器中ニ嚴密スヘシ但シ特別ノ事由アルトキハ自己ノ責任ヲ以テ之ヲ郵便局若ハ確實ナル銀行ニ預入レ又ハ資產信用アル者ニ其ノ保管ヲ託シ其ノ他適當ノ方法ニ依リ之ヲ保管スルコトヲ得

第四條　出納官吏其ノ取扱ニ係ル現金ハ私金ト混同スルコトヲ得ス

第五條　出納官吏他ノ公金ノ出納保管ヲ兼掌スル場合ニ於テハ其ノ現金ハ官金ト區分シ同一容器中ニ之ヲ保管スルコトヲ得

第六條　出納官吏本令ノ定ムル所ニ依リ現金ノ出納保管ニ關スル事務ヲ處理スヘシ但シ小切手ハ本令中別段ノ定アル場合ヲ除クノ外之ヲ記名式持參人拂ト爲スヘシ

第七條　官廳出納官吏又ハ日本銀行ヲ受取人トシテ振出ス小切手ハ之ヲ記名式トシ之ニ裏書禁止ノ旨ヲ記載スヘシ

前項ノ小切手金額ニシテ振替拂込ヲ要スルモノナルトキハ表面餘白ニ「要振替」ノ印ヲ押捺スヘシ

第八條　現金出納簿ハ一人一冊トシ出納官吏ハ職務及所管廳ノ如何ヲ問ハス其ノ取扱ニ係ル現金ノ出納ヲ總テ之ニ記入スヘシ

第九條　外國ニ於ケル出納官吏ノ事務取扱ニシテ本令ニ依リ難キモノニ付テハ特例ヲ設クルコトヲ得

第十條　各省大臣ハ本令ニ定ムルモノヲ除クノ外其ノ所屬出納官吏ノ事務取扱ニ付大藏大臣ト協議シ之カ必要ナル事項ヲ定ムルコトヲ得

第十一條　本令ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出納員ノ事務取扱ニ付之ヲ準用ス

第十二條　本令中各省大臣ノ職務ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、關東州ニ在リテハ關東長官之ヲ行フ

第二章　收入官吏

第一節　收入金ノ領收

第十三條　收入官吏納入ヨリ納稅告知書、納入告知書又ハ納付書ヲ添ヘ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ之ヲ收納シ領收證書ヲ納入ニ交付シ其ノ報告書ヲ歲入徵收官ニ送付スヘシ

第十四條　收入官吏納入ヨリ納稅告知書、納入告知書又ハ納付書ヲ添附セシテ現金ノ納付ヲ受ケタルトキ又ハ歲入徵收官ノ口頭告知ニ依リ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ之ヲ收納シ領收證書ヲ納入ニ交付シ其ノ報告書ヲ歲入徵收官ニ送付スヘシ

第十五條　收入官吏外國ニ於テ納入ヨリ納稅告知書、納入告知書又ハ納付書ヲ添ヘ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ之ヲ其ノ地ノ日本銀行ニ預託スヘシ但シ常時小口ノ現金支拂ヲ要スル場合ニ於テ支出官ノ定ムル所要金額ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十六條　日本銀行所在地外ニ在勤スル收入官吏ハ其ノ在勤地又ハ出張地最寄ノ日本銀行ニ其ノ保管ニ屬スル現金ヲ預託スルコトヲ得但本銀行所在地ニ在勤スル收入官吏ハ前渡官吏ニ於テ納入ヨリ外國貨幣ヲ以テ收納シタル現金ヲ預託スルトキハ之ヲ其ノ地ノ日本銀行ニ預託スヘシ

第十七條　收入官吏外國ニ於テ納入ヨリ外國貨幣ヲ以テ收納シタル收入金ヲ外國貨幣ヲ以テ預託スルトキハ別ニ定ムル外國貨幣換算價格ニ依リ換算シタル邦貨額ヲ歲入徵收官ニ送付スル報告書ニ記載シ其ノ收納シタル外國貨幣額ヲ傍記スヘシ

第十八條　日本銀行（本店、支店又ハ代理店ヲ謂フ以下同シ）所在地ニ在勤スル收入官吏其ノ在勤地ニ於テ現金ヲ領收シタルトキハ第一號書式ノ現金拂込書ヲ添ヘ現金領收ノ日又ハ其ノ翌日日本銀行ニ拂込ムヘシ但シ領收金額百圓未滿ナルトキハ每十日分ヲ取纏メ日本銀行ニ拂込ムコトヲ得

第十九條　日本銀行所在地外ニ在勤スル收入官吏其ノ在勤地ニ於テ現金ヲ領收シタルトキハ左記期限內ニ現金拂込書ヲ添ヘ日本銀行ニ拂込ムヘシ但シ第二號乃至第四號ノ場合ニ於テハ最初ノ現金領收ノ日ヨリ起算シテ十五日ヲ超エルコトヲ得ス

一　領收金高百圓未滿ナルトキハ最初ノ現金領收ノ日ヨリ起算シテ十五日內

二　領收金高百圓以上ニ達シタルトキハ其ノ日ヨリ起算シテ十日內

三　領收金高五百圓以上ニ達シタルトキハ其ノ日ヨリ起算シテ五日內

四　領收金高千圓以上ニ達シタルトキハ其ノ翌日限

第二十條　收入官吏其ノ在勤地外ニ於テ現金ヲ領收シタルトキハ第十八條ノ規定ニ準シ拂込ヲ爲シ得ル場合ヲ除クノ外前條ノ規定ニ準シ之カ拂込ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十一條　運輸交通ノ不便ナル地方ニ在勤スル收入官吏ニシテ第十九條ノ規定ニ依リ難キ場合ニ於テハ所轄大臣大藏大臣ト協議シ之カ特例ヲ設クルコトヲ得

第二十二條　收入官吏外國ニ於テ現金ヲ領收シタルトキハ前四條ノ規定ニ準シ之カ拂込ノ手續ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ外國貨幣ノ拂込ヲ爲サムトスルトキハ現金拂込書ニ邦貨額ヲ記載シ外國貨幣額ヲ傍記スヘシ

第二十三條　收入官吏外國ニ於テ領收シタル現金ニシテ前條ノ規定ニ依リ拂込ヲ爲スコト能ハサルモノニ付テハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外一月分ヲ取纏メ之ヲ爲替券ニ換ヘ現金拂込書ヲ添ヘ日本銀行本店ニ拂込ムヘシ

明治三十年度以降租稅下戻租稅其他諸收入ノ過誤納拂戻ハ左記書式ニ準據シ仕拂要求書ヲ調製シテ仕拂豫算ノ委任ヲ請求シ其廳ニ於テ交付方取扱フヘシ

ル現金ヲ引出サムトスルトキハ自己ヲ受取人トスル小切手ヲ振出スヘシ

第三節　支拂

第三十一條　資金前渡官吏債主ヨリ支拂ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ請求ハ正當ナルカ、資金交付ヲ受ケタル目的ニ違フコトナキカヲ調査シ之カ支拂ヲ爲シ領收證書ヲ徵スヘシ

第三十二條　資金前渡官吏又官判任以上ノ者ノ俸給ノ支拂ヲ爲サムトスルトキハ其ノ俸給額ヨリ國庫納金額ヲ控除シタル殘額ノ支拂ヲ爲シ其ノ領收證書ヲ徵スヘシ

第三十三條　民法ノ規定ニ依リ政府ト私人トノ債務ノ相殺アリタルトキハ資金前渡官吏ハ相殺額ヲ控除シタル殘額ノ支拂ヲ爲シ其ノ領收證書ヲ徵スヘシ

第三十四條　資金前渡官吏日本銀行預託金中ヨリ支拂ヲ爲サムトスルトキハ現金ノ交付ニ代ヘ該預託金ニ對スル小切手ヲ振出スヘシ但シ受取人ニ於テ特ニ現金ノ交付ヲ求メタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十五條　資金前渡官吏ハ其ノ振出シタル小切手ニシテ振出日附後一年ヲ經過シ日本銀行ニ於テ未タ支拂ヲ了セサルモノニ付テハ其ノ金額、年度、科目及債主名ヲ支出官ヲ經由シテ歲入徵收官ニ報告スヘシ

第三十六條　資金前渡官吏前條ノ金額ニ付歲入徵收官ヨリ納入ノ告知ヲ受ケタルトキハ該金額ヲ券面金額トシ當該官廳ヲ受取人トスル小切手ヲ振出シ該告知書ニ添ヘ日本銀行ニ拂込ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十七條　第三十四條ノ小切手ニシテ其ノ振出日附ヨリ一年ヲ經過シ日本銀行ニ於テ支拂ヲ拒絕セラレタルカ爲其ノ所持人ヨリ償還ノ請求アリタルトキハ資金前渡官吏ハ之ヲ調査シ償還スヘキモノト認ムルトキハ事由ヲ詳ニシ證憑書類ヲ添ヘ支出官ヲ經由シ之ヲ所管大臣ニ具申シ所管大臣ハ審査ノ上之カ支拂ヲ大藏大臣ニ請求スヘシ

第三十八條　前二條ノ場合ニ於テ資金前渡官吏ニ於テ之カ手續ヲ爲スヘシ但シ後任官吏ニ於テ之カ手續ヲ了シタルトキハ前任出納官吏ト後任出納官吏ト共ニ記名捺印ノ上預託金現在高引繼通知書ヲ所屬官廳及日本銀行ニ送付スヘシ

前項ノ通知書ニハ前任出納官吏ノ振出シタル小切手ニシテ日本銀行ニ於テ未タ支拂ヲ了セサル金額ヲ區分記載スヘシ

第六十三條　第二十四條ノ規定ニ依リ調製スヘキ現金拂込仕譯書ハ後任收入官吏ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第六十四條　前任出納官吏死亡又ハ其ノ他ノ事由ニ因リ引繼ヲ爲スコト能ハサルトキハ會計規則第百四十六條ノ規定ニ依リ計算書ノ調製ヲ命セラレタル官吏本章ノ定ムル所ニ依リ之カ手續ヲ爲スヘシ

第七章　雜則

第六十五條　出納官吏其ノ保管ニ係ル現金ヲ亡失シタルトキハ遲滯ナク其ノ事由ヲ具シ所屬官廳ニ報告スヘシ

第六十六條　出納官吏領收濟報告書、現金拂込書又ハ預託金拂込書ノ記載事項中誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ翌年度五月三十一日迄ニ歲入徵收官又ハ日本銀行ニ之カ訂正ヲ請求スヘシ

第六十七條　出納官吏預託金支拂通知書ノ記載事項中金額以外ノモノニ付誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ受取人ヲシテ該預託金支拂通知書ヲ提出セシメ之カ訂正ヲ爲シ其ノ事由ヲ記入シ之ヲ受取人ニ返付スヘシ

第六十八條　出納官吏第四十六條及第五十六條ニ規定スル小切手ノ裏面記載事項ニ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ遲滯ナク日本銀行ニ之カ訂正ヲ請求スヘシ

第六十九條　出納官吏現金拂込ニ係ル領收證書又ハ預託金領收證書ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ前項ノ場合ニ於テ收納金額ノ相殺額ヲ超過シタルモノニ付テハ資金前渡官吏ハ相殺額ノ相手方ノ氏名ヲ歲入徵收官ニ報告スヘシ

第四十條　資金前渡官吏其ノ前渡ヲ受ケタルトキハ送金額ヲ券面金額トシ日本銀行ヲシテ受取人ノ資格氏名及送金ヲ要スル旨ヲ記載シ之ヲ預託金ヲ取扱フ日本銀行ニ交付シ領收證書ヲ徵スヘシ

前項ノ場合ニ於テ資金前渡官吏ハ第四號書式ノ預託金支拂通知書ヲ受取人ニ送付スヘシ

第一項ノ場合ニ於テ資金前渡官吏電信送金ヲ要スルトキハ其ノ振出ス小切手ノ裏面ニ其ノ旨ヲ記入スルト共ニ前項ノ通知書ニ代ヘ電信ヲ以テ受取人ニ通知スヘシ

第四十一條　支出官事務規程中歲出金支拂通知書所載ノ支拂場所ノ變更ニ關スル規定ハ前條ノ預託金支拂通知書ノ支拂店變更ニ付之ヲ準用ス

第四十二條　每年度ニ屬スル歲出金ノ支拂ヲ爲シ得ル期ハ翌年度四月三十日限トス

第四節　拂込及返納

第四十三條　資金前渡官吏第三十二條ノ手續ヲ爲シタル小切手ニ國庫納金額ニ相當スル現金ニ第五號書式ノ國庫納金額表ヲ添ヘ歲入徵收官ノ指定シタル收入官吏ニ拂込ミ領收證書ノ交付ヲ受ケヘシ

第四十四條　資金前渡官吏第三十三條ノ手續ヲ爲シタル小切手ニ相殺額表ヲ添ヘ歲入徵收官ノ指定シタル收入官吏ニ拂込ミ領收證書ノ交付ヲ受ケヘシ

前項ノ場合ニ於テ政府ノ債權者資金前渡官吏所屬廳以外ノ官廳ニ對スル債務ヲ以テ相殺シタル小切手ニハ該官廳ノ歲入徵收官ヨリ納入告知書ヲ受ケ拂込ノ手續ヲ爲スヘシ

第四十五條　政府ノ收納スヘキ金額カ相殺額ト同額ナルトキ又ハ之ヲ超過スル場合ニ於テハ資金前渡官吏相殺金額ニ付前條ノ手續ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ收納金額ノ相殺額ヲ超過シタルモノニ付テハ資金前渡官吏ハ相殺額ノ相手方ノ氏名ヲ歲入徵收官ニ報告スヘシ

第四十六條　資金前渡官吏資金ヲ隔地ノ出納官吏ニ送付スル必要アル場合ニ於テハ日本銀行ニ之カ送金ヲ請求スルコトヲ得

第四十七條　資金前渡官吏前條ノ送金ヲ請求セムトスルトキハ送金額ヲ券面金額トシ日本銀行ヲシテ受取人トスル小切手ヲ振出シ其ノ裏面ニ受取人ノ資格氏名及送金ヲ要スル旨ヲ記載シ之ヲ預託金ヲ取扱フ日本銀行ニ交付シ領收證書ヲ徵スヘシ

前項ノ場合ニ於テ資金前渡官吏ハ第四號書式ノ預託金支拂通知書ヲ受取人ニ送付スヘシ

第四十八條　前條ノ規定ニ依リ振出ス小切手ハ當該官廳ヲ受取人トシ表面餘白ニ第四十三條ノ場合ニ於テハ「國庫納金」ノ印第四十四條及第四十五條ノ場合ニ於テハ「相殺額」ノ印ヲ押捺スヘシ

第五節　證明

第四十九條　資金前渡官吏日本銀行ヨリ預託金月計突合表ニ支拂濟小切手其ノ他ノ證憑書類ヲ添ヘ送付ヲ受ケタルトキハ證憑書類ト對照シ證明ノ上五日內ニ之ヲ日本銀行ニ返付スヘシ但シ相違アル點ニ付テハ其ノ事由ヲ附記スルモノトス

第四章　歲入歲出外現金出納官吏

第五十條　歲入歲出外現金出納官吏現金ヲ領收シタルトキハ領收證書ヲ交付シ其ノ旨ヲ取扱官廳ニ報告スヘシ

第五十一條　歲入歲出外現金出納官吏ノ領收シタル現金ヲ大藏省預金部預金ニ拂込ヲ爲ス場合ニ於テハ保管金取扱規程及預金部預金取扱規程ノ定ムル所ニ依ルヘシ

第五十二條　歲入歲出外現金出納官吏其ノ保管ニ係ル現金ヲ拂渡シタルトキハ受取人ヨリ領收證書ヲ徵シ其ノ旨ヲ取扱官廳ニ報告スヘシ

第五章　繰替拂出納官吏

第五十三條　本令ニ於テ繰替拂出納官吏ト稱スルハ會計規則第六十三條ノ規定ニ依リ其ノ取扱ニ係ル現金ノ繰替使用ヲ爲ス出納官吏ヲ謂フ

第五十四條　繰替拂出納官吏ハ其ノ取扱ニ係ル歲入金、歲出金及歲入歲出外現金ニ付交互振替及繰替計算ヲ以テ之カ受拂ヲ爲シ其ノ現金ハ之ヲ一團トシテ取扱フヘシ

第五十五條　繰替拂出納官吏ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外其ノ保管ニ係ル現金ヲ日本銀行ニ預託スヘシ

第五十六條　第三十九條乃至第四十一條ノ規定ハ帝國鐵道官署ニ於ケル繰替拂出納官吏隔地ノ債主又ハ出納官吏ニ送金ヲ爲スノ必要アル場合ニ付之ヲ準用ス但シ預託金支拂通知書ハ第七號書式ニ依ルモノトス

前項ノ場合ニ於テ運輸交通ノ不便ノ地ニ在ル債主又ハ出納官吏ヨリ其ノ住所又ハ居所ニ送金ヲ求メタルトキハ其ノ住所又ハ居所ヲ支拂場所ニ指定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ預託金支拂通知書ニ代ヘ適宜ノ通知書ヲ受取人ニ送付スヘシ

第五十七條　第十三條乃至第十七條、第二十五條、第二十六條、第二十九條、第三十條、第三十四條乃至第三十八條、第四十二條、第四十九條、第五十條及第五十二條ノ規定ハ繰替拂出納官吏ニ之ヲ準用ス

第五十八條　本令ニ定ムルモノヲ除クノ外繰替拂出納官吏ノ事務取扱ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ依ルヘシ

第六章　事務引繼手續

第五十九條　出納官吏交替ノ場合ニ於テハ前任出納官吏ハ現金出納簿ニ締切ヲ爲シ引繼ノ年月日ヲ記入シ後任出納官吏ト共ニ記名捺印スヘシ

第六十條　日本銀行ニ預託金ヲ有スル前任出納官吏ハ前條ノ締切ヲ爲シタル日ニ於ケル預託金現在高ノ證明ヲ日本銀行ニ對シ請求スヘシ

第六十一條　前任出納官吏ハ第八號書式ノ現金現在高書又ハ現金及預託金現在高書竝其ノ引繼クヘキ帳簿、證憑其ノ他ノ書類ノ目錄各二通ヲ調製シ後任出納官吏立會ノ上現物ニ對照シ受授ヲ爲シタル後現在高書及目錄ニ年月日及受授了シタル旨ヲ記入シ兩出納官吏ニ於テ記名捺印シ各一通ヲ保存スヘシ

第六十二條　前條ノ手續ヲ了シタルトキハ前任出納官吏ハ後任出納官吏ト共ニ記名捺印ノ上預託金現在高引繼通知書ヲ所屬官廳及日本銀行ニ送付スヘシ

前項ノ通知書ニハ前任出納官吏ノ振出シタル小切手ニシテ日本銀行ニ於テ未タ支拂ヲ了セサル金額ヲ區分記載スヘシ

第六十三條　第二十四條ノ規定ニ依リ調製スヘキ現金拂込仕譯書ハ後任收入官吏ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第六十四條　前任出納官吏死亡又ハ其ノ他ノ事由ニ因リ引繼ヲ爲スコト能ハサルトキハ會計規則第百四十六條ノ規定ニ依リ計算書ノ調製ヲ命セラレタル官吏本章ノ定ムル所ニ依リ之カ手續ヲ爲スヘシ

第七章　雜則

第六十五條　出納官吏其ノ保管ニ係ル現金ヲ亡失シタルトキハ遲滯ナク其ノ事由ヲ具シ所屬官廳ニ報告スヘシ

第六十六條　出納官吏領收濟報告書、現金拂込書又ハ預託金拂込書ノ記載事項中誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ翌年度五月三十一日迄ニ歲入徵收官又ハ日本銀行ニ之カ訂正ヲ請求スヘシ

第六十七條　出納官吏預託金支拂通知書ノ記載事項中金額以外ノモノニ付誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ受取人ヲシテ該預託金支拂通知書ヲ提出セシメ之カ訂正ヲ爲シ其ノ事由ヲ記入シ之ヲ受取人ニ返付スヘシ

第六十八條　出納官吏第四十六條及第五十六條ニ規定スル小切手ノ裏面記載事項ニ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ遲滯ナク日本銀行ニ之カ訂正ヲ請求スヘシ

第六十九條　出納官吏現金拂込ニ係ル領收證書又ハ預託金領收證書ヲ亡失又ハ毀損シタル場合ニ於テハ日本銀行ヨリ其ノ拂込濟ノ證明ヲ受クヘシ

第七十條　支出官事務規程中歲出金支拂通知書ヲ亡失又ハ毀損シタル場合ニ於ケル取扱ニ關スル規定ハ第四十條第二項及第五十六條第一項ニ規定スル預託金支拂通知書ヲ亡失又ハ毀損シタル場合ニ於ケル取扱ニ付之ヲ準用ス

第七十一條　出納官吏預託金月計突合表ニ證明ヲ爲シタル後其ノ證明ニ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ事由ヲ記載シテ證明ヲ爲シ之ヲ日本銀行ニ送付スヘシ

第七十二條　出納官吏第三十九條又ハ第五十六條ノ規定ニ依リ送金ヲ依頼シタル後其ノ必要ナキニ至リタルトキハ支拂未了ナル場合ニ限リ日本銀行ニ對シ預託金ニ戻入ヲ請求スヘシ

附則

第七十三條　本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第七十四條　左ノ大藏省令ハ之ヲ廢止ス

出納官吏現金取扱規則

明治三十年大藏省令第一號

帝國鐵道會計所屬出納官吏雜部保管金取扱手續

鐵隊經費ヲ取扱フ出納官吏雜部保管金取扱手續

第七十五條　本令施行前金庫ニ寄託ヲ爲シタル現金ハ本令ニ依リ日本銀行ニ預託シタルモノト看做ス

第七十六條　本令施行前發行シタル保管金引出切符又ハ雜部保管金仕拂通知書ハ本令ニ依リ發行シタル小切手又ハ預託金支拂通知書ニ準シテ之ヲ取扱フヘシ

領收證書

第「何」號	大正「何」年度
「所管廳」	「名」
「經常（臨時）」	「何廳主任收入官吏氏名」又ハ「何廳主任收入官吏氏名所屬」「何廳分任收入官吏氏名」

金

上記ノ金額領收候也

大正「何」年「何」月「何」日

日本銀行「何」店

「名」官吏收入徵收官殿

通知書

第「何」號	大正「何」年度
「經常（臨時）」	「何廳主任收入官吏氏名」又ハ「何廳主任收入官吏氏名所屬」「何廳分任收入官吏氏名」

金

上記ノ金額領收濟ニ付通知也候

大正「何」年「何」月「何」日

日本銀行「何」店

宛「名」官吏收入徵收官殿

備考

一　用紙寸法　縱　五寸六分　橫　三寸八分　輪廓寸法　縱　四寸五分　橫　三寸三分

ノモノト設ケ代ノ綴ヲ左方ニ一寸ノ割合ヲ以テ綴ヘクヘシ

二　金額、番號、年度、所管廳、歲入徵收官官吏氏名及經常臨時部名ハ收入官吏ニ於テ記入スルモノトス

第五號書式

收入取扱官廳

（一般會計）　國庫納金額表

所管廳	年度	現金又ハ小切手	國庫納金者氏名	俸給額	國庫納金額	備考
				圓	圓	

上記ノ國庫納金額拂込候也

大正「何」年「何」月「何」日

「何廳資金前渡官吏官氏名」㊞

「何廳收入官吏官氏名」宛

備考　用紙ハ美濃判半截トス

第六號書式

收入取扱官廳

相殺額表

所管廳	年度	現金又ハ小切手	相殺相手方氏名	相殺金額	備考
				圓	

上記ノ相殺金額拂込候也

大正「何」年「何」月「何」日

「何廳資金前渡官吏官氏名」㊞

「何廳收入官吏官氏名」宛

備考　用紙ハ美濃判半截トス

第二號書式

大正「何」年度

大正「何」年「何」月分現金拂込仕譯書

摘要	金額	備考
前月迄拂込未濟	圓	
本月中現金領收高		
計		
本月中現金拂込高		
差引翌月へ越		

大正「何」年「何」月「何」日

「主任（又ハ分任）收入官吏官　氏　　名」㊞

「歲入徵收官官氏名」宛

備考　用紙ハ美濃判四分ノ一トス

第一號書式

現金拂込書

第「何」號　　大正「何」年度

「所管廳」「歲入徵收官　官氏名」

「經常（臨時）」「取扱廳」

金

上記ノ金額拂込候也

大正「何」年「何」月「何」日

「何廳主任收入官吏

官氏名」㊞

又ハ「何廳主任收入官吏官氏名所屬」

「何廳分任收入官吏

官氏名」㊞

第四號書式

領收證　　預託金支拂通知書

第「何」號	取扱廳名	預託金取扱日本銀行名

金

前記ノ金額日本銀行本店（何地支店又ハ代理店）ニ於テ受領セラルヘシ

大正「何」年「何」月「何」日

「何廳出納官吏官氏名」㊞

前記ノ金額領收候也

大正「何」年「何」月「何」日

「何廳（又ハ廳船）出納官吏官氏名」宛

出納官吏官氏名㊞

備考　一用紙寸法　縱　五寸二分　橫　六寸三分　輪廓寸法　縱　四寸六分　橫　五寸四分

二本書ハ左方ニ八分ノ縮代ヲ設クヘシ

三支拂指定日本銀行ニ於テ支拂ノ上ハ本書ヲ預託金取扱日本銀行ニ送付スヘシ

第三號書式

預託金拂込書

第「何」號

金

上記ノ金額預託候也

大正「何」年「何」月「何」日

「何廳出納官吏官氏名」㊞

日本銀行「何」店　宛

備考　用紙　適宜

用紙寸法　美濃判四分ノ一

原符ハ適宜之ヲ設クルコトヲ得

（面表）式書票七號第

書知通拂支金託預　證收領

振手附	切日	小出	扱名取行	金銀	託本預日	名	廳扱取	扱取	號「何」第

金

前記ノ金額日本銀行本店（何地支店又ハ代理店）ニ於テ受領セラルヘシ

大正「何」年「何」月「何」日

「何廳出納官吏官氏名」宛

「何某（又ハ）

何廳出納官吏官氏名」

（注意）受取人ハ裏面ノ注意事項ヲ熟覽スヘシ

（裏面）

注意事項

一受取人ハ表面領收證ノ部ニ年月日及住所ヲ記入シ記名捺印スヘシ但シ官吏公吏ニ在リテハ官廳名又ハ公共團體名等ヲ肩書シ官職名ヲ記シ記名捺印スヘシ

二受取人ノ印章ハ請求書ニ押捺シタルモノト同一ノモノニ限ル

三受取人カ代理人ヲ以テ現金支拂ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ本人ニ於テ本書委任欄内ニ相當ノ事項ヲ記載シ記名捺印スルカ又ハ別ニ委任狀ヲ差出スヘシ此ノ場合ニ於テハ代理人ハ本書ニ代理人タルノ肩書ヲ附シ記名捺印スヘシ

四受領金額五圓以上ノモノハ規定ノ收入印紙ヲ貼附消印スヘシ但シ營業ニ關セサルモノハ此ノ限ニ在ラス

五小切手振出ノ日附ヨリ一箇年ヲ過クルトキハ日本銀行ハ本書ニ對シ之カ支拂ヲ爲ササルモノトス

六本書ヲ亡失シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ拂渡ヲ受クヘキ日本銀行ニ通知シ支拂ノ停止ヲ請求スヘシ

收入印紙 ㊞

委任狀

表面金額ノ受取方ヲ

「住所何」ニ委任致候也

大正「何」年「何」月「何」日

「住所　受取人　何某」㊞

又ハ「何廳出納官吏

官氏名」㊞

備考

一用紙寸法

縱五寸二分

横六寸三分

輪廓方法

縱四寸六分

横五寸四分

二本書ハ左方ニ八分ノ縱代ヲ設クヘシ

三領收證書ニ收入印紙ノ貼用ヲ要スルモノハ其ノ貼用場所ニ「要印紙」ノ印ヲ押捺スヘシ

第八號書式甲

現金現在高書

備考	金額	種類
	圓	
也候シ	了ヲ	繼
日「何」	月	引
大正「何」	年「何」	通
「前任	出納官吏	上記ノ
「後任	出納官吏	

備考　判濃美ハ紙用ス

第八號書式乙

現金及預託金現在高書

備考	振出濟未拂小切手高支拂	計	現在高預託金	現在高現金
	圓	圓	圓	圓
也				
日	候	了ヲ繼シ		
大正「何」年「何」月「何」日	「何」	引通ノ		
「前任	官吏	出納官		
「後任	官吏	出納官		

備考　一用紙ハ美濃判ノ半截トス

二現金在高ハ其ノ金種類ヲ備考欄ニ區分記載スヘシ

●出納官吏命免及監督ニ關スル件

大正十一年七月二十五日
臺灣總督府訓令第百五十三號

改正　大正一三年第一三四號、一四年第八三號

臺灣總督府　法院　州　廳
臺灣總督府所屬官署

出納官吏命免及監督ニ關スル件左ノ通相定ム

出納官吏命免及監督ニ關スル件

第一條　本令ニ於テ出納官吏ト稱スルハ會計規則第百二十四條ノ官吏ヲ謂ヒ所屬長官ト稱スルハ臺灣總督府ニ在リテハ總務長官其ノ他ニ在リテハ其ノ廳長官ヲ謂フ

第二條　出納官吏ハ所屬長官之ヲ命免スヘシ

第三條　資金前渡官吏ト收入官吏ト相兼ヌルコトヲ得ス但シ已ムヲ得サル事情アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四條　出納官吏ニ異動ヲ生シタルトキハ臺灣總督府物品出納規程第三條ノ二ニ準シ臺灣總督ニ報告スヘシ

第五條　出納官吏其ノ保管ニ係ル現金ヲ亡失シタルトキハ直ニ其ノ顚末ヲ詳具シ所屬長官ヲ經由シテ臺灣總督ニ報告スヘシ

第六條　所屬長官ニ於テ前條ノ事實ヲ知リタルトキ又ハ出納官吏ノ行爲ニ依リ政府ニ損害ヲ生セシメタリト認ムルトキハ直ニ部下ノ官吏ニ檢査員ヲ命シ帳簿金櫃等ノ檢査ヲ行ヒ之ニ關スル調書ヲ作製セシメ意見ヲ附シテ臺灣總督ニ報告スヘシ

第七條　所屬長官ハ必要ト認ムルトキハ會計檢査院ノ檢査判決前ト雖モ其ノ出納官吏ニ對シ辨償ヲ命スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ辨償ヲ命シタルトキハ直ニ之ヲ臺灣總督ニ報告スヘシ

第八條　會計規則第百三十五條第一項ニ依リ出納官吏ノ會計檢査院ニ送付スヘキ計算書ハ所屬長官及臺灣總督ヲ經由スヘシ

第九條　保管金ノ亡失其ノ他出納官吏ノ行爲ニ因ル政府ノ損失カ犯罪行爲ニ關聯シ其ノ公訴竝ニ私訴ノ裁判確定シタルトキハ所屬長官其ノ判決謄本ヲ添ヘ臺灣總督ニ報告スヘシ

第十條　所屬長官ハ亡失官金其ノ他出納官吏ノ行爲ニ因ル政府ノ損失金整理ノ爲適宜ノ帳簿ヲ設ケテ之ヲ登記シ事件完了ノ都度其ノ顚末ヲ臺灣總督ニ報告スヘシ

第十一條　會計規則第百三十六條ノ檢査官吏、第百三十七條ノ立會人又ハ第百四十六條ノ計算書調製者ハ所屬長官之ヲ命スヘシ

第十二條　會計規則第百四十一條ニ依リ資金前渡官吏ノ會計檢査院ニ送付スヘキ出納計算書ハ翌月七日迄ニ臺灣總督ニ提出スヘシ

第十三條　會計規則第百四十二條及第百四十三條ニ依リ歲入歲出外現金出納官吏及繰替拂出納官吏ノ會計檢査院ニ送付スヘキ出納計算書ハ所屬長官ヲ經由シ翌年度四月十五日マテニ臺灣總督ニ提出スヘシ但シ歲入歲出外現金出納官吏ノ出納計算書ハ臺灣總督宛ニ證明スルコトヲ要ス

第十四條　前二條ノ規定ハ會計規則第百四十五條ノ規定ニ依リ出納官吏（收入官吏ヲ除ク）ニ交替ノ場合調製スヘキ計算書ニ付之ヲ準用ス

第十五條　所屬長官ハ會計規則第百二十七條ノ規定ニ依リ鐵道官署及通信官署ノ事務員ヲシテ現金ノ出納保管ニ關スル事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

本令中第五條乃至第十條ノ規定ハ前項ノ出納員ニ付之ヲ準用ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

左ノ訓令ハ之ヲ廢止ス

明治三十六年訓令第十五號

同　年訓令第十六號

明治三十九年訓令第三十一號

明治四十一年訓令第四十七號

●出納官吏ノ印鑑

大正十一年四月一日
臺灣總督府訓令第七十二號

臺灣總督府　法院　州　廳
臺灣總督府所屬官署

出納官吏ノ印鑑別記雛形ノ通相定ム但シ臨時資金前渡官吏又ハ一時ノ代理官分任官及交替ノ際ニ在リテハ認印ヲ用ウルコトヲ得

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十六年訓令第百八十四號ハ之ヲ廢止ス

明治三十六年訓令第百八十四號ニ依ル印鑑ハ仍當分ノ內之ヲ使用スルコトヲ得

別記雛形

六分	六分	六分
收入官吏	何廳官名	物品會計官吏
何廳官名	氏名	何廳官名
氏名		氏名

六分	六分
資金前渡官吏	歲入歲出外現金
何廳官名	出納官吏何廳
氏名	官名氏名

六分
何局郵便切手類
及收入印紙會計
官吏官名氏名

●一、二等郵便局長ハ爲替貯金過誤拂徵收金ノ延納又ハ分納ヲ許否スヘキ件

大正七年六月三十日
臺灣總督府訓令第百十一號

改正　大正七年第二〇〇號

各郵便局

一、二等郵便局長ハ自局及分掌區內ニ於ケル爲替貯金過誤拂徵收金ノ延納又ハ分納ヲ許否スヘシ其ノ分掌區域ハ大正七年六月訓令第百十號ノ資金及過超金受授區域ニ依ル但シ【桃園廳】管內ニ於ケル各郵便局ハ臺北郵便局【南投廳】管內ニ於ケル南投、集集、草鞋墩ノ各郵便局ハ臺中郵便局ノ分掌區域トス

附　則

本令ハ大正七年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正六年一月訓令第六號ハ之ヲ廢止ス

●臺灣總督府遞信局及通信官署現金受拂規則

大正十一年七月十五日
臺灣總督府令第百四十二號

臺灣總督府遞信局及通信官署現金受拂規則左ノ通相定ム

臺灣總督府遞信局及通信官署現金受拂規則

第一條　臺灣總督府遞信局及通信官署（以下單ニ通信官署ト稱ス）ノ出納官吏及出納員ハ會計規則第六十三條ノ規定ニ依リ歲入金歲出金及歲入歲出外現金ニ付交互振替及繰替計算ヲ以テ之カ受拂ヲ爲シ其ノ現金ハ之ヲ一圓トシテ取扱フヘシ

前項現金ノ出納保管ニ關スル事務取扱方ニ付テハ出納官吏事務規程ニ依ルノ外本令ノ定ムル所ニ依ルヘシ

第二條　遞信官署ニ於テ歲出金ノ繰替拂ヲ要スルトキハ當該官署ノ長第一號書式ノ證票及通知書ヲ發シ其ノ證票ハ之ヲ繰替拂ヲ爲サシムヘキ出納官吏又ハ出納員ニ送付シ通知書ハ之ヲ債主ニ交付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ隔地ノ債主ニ對シ緊急繰替拂ヲ要スルトキハ證票及通知書ノ發行ニ代ヘ電信ヲ以テ其ノ旨出納官吏又ハ出納員及債主ニ通知スヘシ

第三條　出納官吏又ハ出納員債主ヨリ前條ノ通知書ヲ以テ拂渡ノ請求ヲ受ケタルトキハ之ヲ證票ト對査シ現金ノ拂渡ヲ爲シ其ノ領收證書ヲ徵スヘシ

前項ノ規定ハ電信ニ依ル繰替拂通知ヲ以テ拂渡ノ請求ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第四條　前條ニ依リ出納官吏又ハ出納員ニ於テ繰替拂ヲ爲シタル歲出金ニ對シテハ當該支出官出納官吏ヲ受取人トスル小切手ヲ振出シ其ノ現金ノ補塡ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ要スル歲入金振替拂込書ハ第二號書式ニ依ル

第八條　遞信官署ニ於ケル支出官ノ備フヘキ支出簿ハ第三號書式ニ依ル

出納官吏ノ備フル現金出納簿ハ出納員ヲ置カサル官署ニ在リテハ別ニ定ムル帳簿ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得

第九條　支出官事務規程第三十一條、第三十二條、第三十四條及第三十五條ノ規定ハ第二條ニ規定スル通知書記載事項ノ誤謬訂正、亡失又ハ毀損ノ場合ニ於ケル取扱ニ付之ヲ準用ス

第十條　第二條乃至第四條及第七條第二項ノ規定ハ明治四十三年遞信省令第六號ニ依ル年金恩給等ノ支給其ノ他別段ノ規定アルモノニ付テハ之ヲ適用セス

附則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ適用ス

第一號書式

用紙寸法　縱四寸八分　橫五寸九分

輪廓寸法　縱三寸六分　橫四寸七分

歲出金繰替拂證票

「記號番號」

大正「何」年度

指定繰替拂渡局所……「何」局所

金「何　程」

本行ノ金額規定ノ手續ヲ履行シ現金ヲ拂渡サルヘシ

大正「何」年「何」月「何」日

「何局長官氏名」㊞

「何ノ誰」殿

支出ノ目的	債主住所
「何々」	

㊞

用紙寸法　縱四寸八分　橫五寸九分　輪廓寸法　縱三寸六分　橫四寸七分

（證收領拿）　歲出金繰替拂通知書

記號番號

大正「何」年度　出振日「何」月「何」年「何」月「何」日

小切手第　號

指定繰替拂渡局所……「何」局所

金「何　程」

本行ノ金額指定ノ繰替拂渡局所ニ出頭シ現金ヲ受領セラルヘシ

大正「何」年「何」月「何」日

「何局長官氏名」㊞

「何ノ誰」殿

注意　受取人ハ裏面ノ注意事項ヲ熟覽セラルヘシ

上記ノ金額領收候也　大正「何」年「何」月「何」日

收入印紙㊞

「住所」

受取人「何ノ誰」㊞

裏面

注意事項

一　受取人ハ表面領收證ノ部ニ年月日及住所氏名ヲ記入捺印シ現金領收ノ證トシテ之ヲ指定ノ繰替拂渡局所ニ差出シ現金ノ拂渡ヲ受ケラルヘシ

二　代理人ヲシテ現金ノ拂渡ヲ受ケシメムトスルトキハ下ニ印刷シアル委任文缺字ノ處ニ代理人ノ氏名、年月日及本人ノ住所氏名ヲ記入捺印スルカ又ハ別ニ委任狀ヲ差出サルヘシ此ノ場合ニ於テハ代理人ハ本書ニ代理人タルノ肩書ヲ附シ記名捺印セラルヘシ

三　受取人ノ印章ハ請求書ニ押捺シタルモノト同一ノモノニ限ル

四　受領金額五圓以上ノモノハ參錢收入印紙ヲ貼附消印セラルヘシ但シ營業ニ關セサルモノハ此ノ限ニ在ラス

本通知書金額ノ受取方ヲ

委任致候也

收入印紙㊞

大正「何」年「何」月「何」日

「住所」

「何ノ誰」㊞

第二號書式　用紙適宜（縦四寸五分ノモノ二枚横三寸三分ノモノ一枚接續

歳入金振替拂込書

第「何」號	「大正「何」年度歳入」	「所管廳」	歳入徴收官「官氏名」
			取扱廳「何」

一金「何程」

但預託金ヨリ振替拂込ノ分

右拂込候也

大正「何」年「何」月「何」日

「何」廳出納官吏

「官氏名」㊞

領収證書

第「何」號	「大正「何」年度歳入」	「所管廳」	歳入徴收官「官氏名」
			拂込出納官吏「官氏名」

一金「何程」

但預託金ヨリ振替拂込ノ分

右領收候也

大正「何」年「何」月「何」日

日本銀行何店㊞

通知書

第「何」號

一金「何程」

但預託金ヨリ振替拂込ノ分

右領收濟ニ付通知候也

大正「何」年「何」月「何」日

取扱廳「何」
拂込出納官吏「官氏名」

「歳入徴收官氏名」宛

（第三號書式）

大正「何」年度

支出簿

「何」局所

統括（何々款）（何々款何々項）（何々項）（何々目）（何々目何々節）

年月日	摘要	拂渡豫算額	支出額 計	支出額 普通支出	支出額 繰替支出	小切手振出濟額	豫算殘額 支出額ニ對スル殘額	豫算殘額 小切手振出ニ對スル濟殘額	支出未填補繰替金濟額	備考
大正「何」年		圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	

收入官吏事務細則

改正　大正一四年第八六號　大正一二年九月一日　臺灣總督府訓令第十四號

收入官吏事務細則左ノ通相定ム

臺灣總督府法院　州廳

第一條　收入官吏ノ現金出納及保管ニ關スル事務ハ出納官吏事務規程其ノ他別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ニ依リ取扱フヘシ

第二條　收入官吏ハ大正十一年大藏省令第二十號別表第十四號書式ニ依ル現金出納簿ヲ備ヘ現金ノ受拂ヲ整理スヘシ

第三條　收入官吏ノ現金領收證書ハ大正十一年大藏省令第二十號別表第十三號書式ニ依ルヘシ但シ別ニ現金領收證書ノ式ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第四條　現金出納簿ノ記載方ハ明治三十五年大藏省訓令第十號ニ依ル

一　受ハ現金領收ノトキ拂ハ領收證書到達ノトキ記載スルモノトス

二　郵便振替口座貯金ハ現金トシテ記載スルモノトス

三　摘要ニ記載スル收入金ノ種類ハ歳入科目又ハ其ノ解疏（解疏ヲ要セサルモノハ適宜ナル名稱）ニ依ルヘシ

四　出張先ニ於テ領收シタルモノニシテ其ノ日ニ記帳シ難キモノハ歸廳ノ日ヲ以テ整理シ摘要ニ何年月日出張先ニ於テ領收ノ分ト附記スヘシ

五　出納年度ト所屬年度ト異ナルモノハ受拂共摘要ニ其ノ所屬年度ヲ記載スヘシ

六　月計ノ外累計ヲ附スヘシ

第五條　日本銀行（支店、代理店ヲ含ム以下同シ）所在地外ニシテ郵便官署所在地ノ官廳ニ在勤スル收入官吏ハ現金ノ保管又ハ拂込ノ爲大正五年府令第二十七號國庫金、州稅及廳地方費稅郵便振替貯金特別取扱規則ニ依リ郵便振替貯金口座ニ加入スヘシ但シ二人以上ノ收入官吏ヲ置キタル官廳ニ在リテハ常時收入金ヲ領收スル官吏ノミ加入スルモノトス

第六條　前條郵便振替貯金口座ハ其ノ目的ノ爲ニスルノ外之ヲ他ニ利用スルコトヲ得ス

第七條　日本銀行ニ納付スヘキ收入金ヲ日本銀行ノ營業時間外ニ於テ收入官吏ニ納付セムトスル者アルトキハ收入官吏ハ其ノ告知書ニ依リ領收ノ手續ヲ爲スヘシ

第八條　市街庄又ハ區長ノ徴收スヘキ歳入金ヲ滯納者後收入官吏ニ於テ領收スル場合ハ既發ノ告知書ニ依リ之ヲ領收スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ「滯納者後ノ納付ニ付キ收入官吏ニ於テ領收」ノ旨ヲ欄外ニ記入捺印スヘシ

第九條　第五條ニ依リ郵便振替貯金口座ニ加入シタル收入官吏ノ領收シタル現金ハ毎日取纏メ翌日其ノ口座ニ預入ルヘシ但シ日本銀行所在地ニ於テ領收シ直ニ拂込ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十條　前條收入官吏ノ口座貯金ハ毎月曜日ニ於テ前一週間分ヲ取纏メ日本銀行ニ拂込ヲ爲スヘシ但シ出納官吏事務規程第十九條ノ制限ニ達シタルトキハ其ノ時時拂込ヲ爲スヘシ

第十一條　前條ニ依リ拂込ヲ爲サムトスルトキハ郵便振替貯金規則第四十五條ノ規定ニ依リ普通拂出書用紙ニ拂渡局及受取人（日本銀行）ヲ指定シ且裏面通信文記載欄ニ「拂込書第何號ノ分」ト記入シ無料普通郵便ヲ以テ口座所管廳ニ送付スヘシ

第十二條　日本銀行ニ送付スヘシ日本銀行ハ郵便振替貯金口座ニ加入セサル收入官吏ニ於テ出納官吏事務規程第十九條ニ依リ日本銀行ニ拂込ヲ爲ス場合ニ於テ郵便ニ依ルヲ便宜トスル地方ニ在リテハ郵便爲替ニ振替ヘ書留郵便ヲ以テ拂込ノ手續ヲ爲スコトヲ得

第十三條　郵便振替貯金ニ依リ又ハ郵便爲替ヲ以テ拂込ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ月中ニ領收證書到達ノ見込ナキモノハ翌月ニ於テ拂込ヲ爲スヘシ

第十四條　明治四十年法律第三十四號徴收處分囑託ニ依リ領收スル現金ハ收入官吏之ヲ領收シ納入ニ對シ成規ノ領收證書ヲ發スヘシ但シ滯納處分金ニシテ未タ歳入ニ充當セサルモノノ如キハ歳入歳出外現金出納官吏ノ取扱トス

前項領收濟報告書ハ受託廳收入官吏ヨリ送付ノ領收濟報告書ヲ以テシ條白ニ領收年月日ヲ記入シ署名捺印スヘシ

第十七條　前條第一項ニ依リ受託廳收入官吏ニ送付スル領收證書ハ便宜大正十一年大藏省令第二十號別表第十三號書式ニ依リ左式ノ如ク記入スルモノトス

領收證書

第　號	大正　年度何歳入
	何廳收入官吏　氏名
經常	何々（款）
何々（項）	何々（目）

金　何程	第何期

但　分ノ收徴託囑ル係ニ某何人納附送付日何月何年何

上記收領收額金也

年　月　日

何廳收入官吏

官氏名　印

第十五條　前條第一項ニ依リ領收シタル現金ハ囑託廳歳入徴收官ニ宛タル領收濟報告書ヲ添ヘ之ヲ囑託廳收入官吏ニ送付シ其ノ領收證書ノ送付ヲ受クヘシ

第十六條　明治四十年法律第三十四號徴收囑託ヲ爲シタル場合ニ於テ受託廳ヨリ徴收金ノ送付ヲ受ケタルトキハ直ニ收入整理ヲ爲シ受託廳收入官吏ニ對シ領收證書ヲ發シ領收濟ノ旨ヲ歳入徴收官ニ報告スヘシ

第十八條　郵便振替貯金又ハ郵便爲替ヲ以テ拂込ヲ爲ス場合又ハ徴收囑託ニ依ル徴收金ヲ囑託廳ニ同送スル場合ニ於テハ適宜ノ送金簿ヲ設ケ記帳整理スヘシ

前項ニ依リ處理シタルモノニシテ會計規則第百三十六條ニ依ル檢査ニ際リ領收證書未著ノモノアルトキハ關係書類ニ現在金ト區分揭上スヘシ收入官吏事務引繼ノ場合亦同シ

第十八條ノ二　臺灣國稅徴收規則施行規則第十八條ニ依リ徴收囑託ヲ受ケタル場合ハ前五條ノ規定ヲ準用ス

第十九條　廢廳トナリタル官廳ノ收入官吏ハ出納官吏事務規程第六章事務引繼手續ニ準シ取扱ヒ其ノ事務ハ廢廳トナリタル官廳ノ事務ヲ繼承スル官廳ノ收入官吏ニ引繼クヘシ

第二十條　出納官吏事務規程第二十四條ノ規定ニ依リ調製スル現金拂込仕譯書ハ翌月二日迄ニ其ノ地ヲ發シ歳入徴收官ニ送付スヘシ

第二十一條　收入官吏會計規則第百四十條及第百四十五條ニ依リ出納計算書ヲ調製シタルトキハ之ヲ歳入徴收官ニ送付スヘシ

第二十二條　收入官吏在勤廳ニ歳入徴收分掌官ヲ置キタル場合ハ領收濟報告書、現金拂

込仕譯書及出納計算書ハ歲入徵收分掌官ニ送付スヘシ

第二十三條　明治四十年法律第三十四號徵收處分囑託ニ依リ領收又ハ引繼タル現金ハ會計ノ異ナル每ニ出納計算書受拂ニ揭上シ備考ニ「明治四十年法律第三十四號囑託徵收ノ分」ト附記スヘシ

附　則

本令ハ大正十二年二月一日ヨリ之ヲ適用ス

大正六年訓令第百五十九號ハ之ヲ廢止ス

本令ノ施行ニ依リ振替貯金口座ヨリ脫退スヘキ收入官吏ノ口座貯金ハ拂込ヲ了スル迄從來ノ規定ニ依ルコトヲ得

●【廳】財務課員ニ收入吏所屬ノ出納員ヲ命スル件

大正八年七月三十日　臺灣總督府令第百七號

【廳】財務課員ニ收入吏所屬ノ出納員ヲ命シ水道收入金ノ出納ヲ爲サシムルコトヲ得

出納員ニ對シテハ臺灣地方稅會計規則中會計吏ニ關スル規定ヲ準用ス

附　則

本令ハ大正八年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

●歲入徵收額計算證明方取扱順序

改正　大正十一年六月十六日　臺灣總督府訓令第百三十三號

大正十一年第二六號、一二年第六三號、一三年第一號

臺灣總督府　法院　州廳

臺灣總督府所屬官署

大正五年訓令第五十四號歲入徵收額計算證明方取扱順序左ノ通改正ス

第一條　歲入ヲ徵收スル官吏ノ歲入徵收額計算證明ハ大正十一年會計檢查院達第一號計算證明規程ニ依ルノ外本令ニ依ルヘシ

第二條　歲入徵收官ハ每月歲入徵收額計算書（以下單ニ計算書ト稱ス）ヲ調製シ證憑書類ヲ之ニ添ヘ之ヲ臺灣總督府ニ送付スヘシ但シ一般會計計算書ハ每年度一同翌年度四月十五日迄ニ之ヲ送付スヘシ若シ處分完結ニ至ラサルモノアルトキハ六月十五日迄ニ送付スルコトヲ得

最終計算書ニハ其ノ副本（原議）及前年度計算書副本（原議）ヲ添附スヘシ但シ調查後之ヲ返戻スルモノトス

第三條　歲入徵收分掌官ハ計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ左ノ期限ニ從ヒ之ヲ歲入徵收官ニ送付スヘシ

一　一般會計歲入ニ屬スルモノハ每年度一回翌年度四月七日限若シ處分完結ニ至ラサルモノアルトキハ六月七日限

二　臺灣總督府歲入ニ屬スルモノハ每翌月七日限

前項ノ計算書ハ歲入徵收官ニ於テ整理上必要ナシト認ムル場合ハ之ヲ省略セシムルコトヲ得此ノ場合ニ歲入徵收分掌官ハ證憑書類ノミヲ送付スヘシ

第三條ノ二　前二條ノ證憑書類中租稅ニ付テハ每年度會計檢查院ノ指定（其ノ都度府報ヲ以テ告示ス）ニ依リ提出スヘシ

第四條　左ニ揭クル事項ハ之ヲ月證明計算書ニ記載スヘシ

一　提出證憑書ノ金額ト本月分調定濟額ト差異アルモノハ提出ヲ要セサル部分ニ付其ノ金額、事由ヲ備考ニ區分記載スヘシ

二　調定外誤納、調定取消、科目更正及繰越額等ハ徵收報告書又ハ收納報告書記載ノ例ニ倣ヒ區分揭上スヘシ

三　前年度繰越額ノ內收入及缺損處分ヲ了シタルモノニ付テハ備考ニ「前年度繰越額ノ內本月迄收入濟額（不納缺損額）何程」ノ如ク記載シ調定取消額ハ三月分計算書備考ニ其ノ合計額ヲ記載スヘシ

四　本月分收入濟額ト日本銀行領收濟額ト符合セサル場合ニ在リテハ其ノ事由ヲ總計備考ニ記載スヘシ

第五條　計算書ニ添附スヘキ日本銀行月計突合表ハ其ノ謄本ヲ用フヘシ

第六條　最終計算書ニハ左記收入ニ對スル別記第一號樣式ノ附屬明細書ヲ添附スヘシ

一　地租

二　鑛區稅

三　官有地小作料

四　官有物貸下料

五　延納許可額

州、廳ノ歲入徵收官ニ於テ調製スル前項ノ明細書ハ正副共地租及鑛區稅ト其ノ他ノ二部ニ分綴スヘシ

第七條　左記收入ニ關スル證憑書類ハ別記第二號樣式ノ證憑書代用明細書ヲ以テ之ニ代用シ最終計算書ニ添附スヘシ

一　郵便電信及電話收入

二　鐵道收入（雜收入ヲ除ク）

三　食鹽收入

四　阿片收入（副產物ヲ除ク）

五　煙草收入

六　森林作業收入ノ內木材及副產物以外ノ分

七　鐵道用品賣拂代收入

八　酒收入

第八條　左記收入ニ關シテハ證憑書類ノ提出ヲ要セス但シ第五號ニ在リテハ其ノ金額事由ヲ計算書ノ備考ニ記載スヘシ

一　醫院收入

二　教科書收入

三　度量衡收入

四　囚徒工錢及製作收入

五　森林收入ノ內保管林保管料

六　官有地小作料

七　印紙收入

八　諸免許及手數料

九　懲罰及沒收金

十　官吏遺族扶助法納金

十一　學校圖書館職員退隱及遺族扶助料法納金

十二　文官納金

十三　敎育職員納金

十四　待遇職員納金

十五　國庫以外經濟納金

前年度收入未濟額ノ內本年度中ニ於ケル調定取消額、收入濟額、不納缺損額及滯納處分引繼額ハ計算書收入未濟額內譯欄各年度備考ニ區分記載スヘシ本年度中滯納處分引受ニ係ル前年度收入未濟額、收入濟額及不納缺損額等ニ付亦同シ

第十條　滯納處分ノ爲他廳ヘ引繼後ニ於テ調定超過ヲ生シタル場合ハ引繼廳ニ於テ賦課物件ノ異動ニ伴ヒ調定超過額ノ計算證明ヲ爲シ引受廳ニ於テハ單ニ滯納處分引受額トシテ證明シ調定超過額ハ之ヲ區分セサルモノトス

第十一條　計算書ハ證憑書類及其ノ他ノ關係書類、現金出納計算書及物品出納計算書等ト對照符合ヲ認メ之ヲ提出スヘシ若シ不符合ヲ發見シタルトキハ計算書相當備考欄ニ其ノ事由ヲ記載スヘシ

附　則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ適用ス

大正十年度分ハ仍從前ノ例ニ依ル

別記

第一號樣式

一　地租ノ書式ニ示セル前年度調定不足額以下ノ記載ハ各書式ニ適用スヘシ

二　翌年度四月三十日迄ニ調定過不足ヲ發見シタルトキ又ハ追徵又ハ還付ヲ爲シタルト否トヲ問ハス事項每ニ正當額ヲ揭記シ其ノ差額ハ調定超過額又ハ調定不足額ニ計算スヘシ

三　稅金ノ一部納付後ニ於ケル轉出入ニシテ國稅徵收規則第三條ニ該當ノモノアルトキハ稅額計算基礎ヲ備考ニ揭記スヘシ

四　前年度繰越收入未濟額ニシテ本年度中收入ヲ了シ若ハ缺損又ハ免除處分ヲ爲シタルモノハ調定濟額備考ニ其ノ金額ヲ區分揭記スヘシ

五　前年度調定不足額、同收入未濟額、同延納額及同徵收猶豫額ノ類ニシテ前年度ノ證明額ト差異ヲ生セシモノ又ハ滯納處分引繼引受額中前年度ヨリ繰越ニ係ルモノアルトキハ備考ニ其ノ金額事由ヲ記載スヘシ

六　翌年ヨリ增減ノ欄ニ記載スヘキ增減差引計ノ金額ニシテ減トナルモノハ朱書スヘシ

七　前年度調定不足額ハ調定既未濟ニ揭ケス金額ヲ揭上シ又調定不足額ハ既往年

度分ト當年度分トヲ集計記載シ備考ニ區分說明スヘシ

八　分割、合併ニシテ他ノ異動ニ關聯シ同時ニ處分ヲ要スルモノナルトキハ他ノ

大正何年度

書細明屬附書算計額收徵收入歲

廳　名

九　異動ニ關シ證明ヲ爲ス年度ニ於テ證明ス州、廳稅務課扱分ト稅務出張所扱分トハ各別ニ連記シ最後ニ調定濟額合計ヲ附スヘシ

地租

摘要	甲數	租額	增減ヨリ生ズル增減	備考
田				
高現在部	0	0		
何年一月一日ノ增				
成地租有				
轉換變移權主業	0	0		
同廢地租	0	0		
何年中同	0	0		（處分ノ年ノ翌年ニ係ル）成地租ニ降以テ其ノ分ニ係ル四月例
計	0	0		
開墾	0	0		
開墾	0	0		（其ノ分ニ係ル）處分ノ年ノ翌年ニ係ル四月例
何年中同	0	0		
計	0	0		
成地租正修	0	0		
畑ヨリ變換	0	0		增若干減若干
養魚池ヘ變	0	0		數若干減若干
何年中畑ヨリ同	0	0		甲數甲
計	0	0		內外同
荒地				（處分ノ年ノ翌年ニ係ル）成地租ニ降以テ其ノ分ニ係ル四月例
期滿租免盤				
復舊換同	0	0		
畑ヨリ變	0	0		增若干減若干
養魚池	0	0		數若干減若干
計	0	0		甲數甲 內外同

地租

摘要	甲數	租額	增減ヨリ生ズル增減	備考
期滿租免盤開				
期滿	0	0		增減
畑ヨリ變換	0	0		增若干減若干
地盤測量誤謬訂正	0	0	0	數若干減若干
誤謬訂正				甲數甲 內外同
誤記算計	0	0		
分合地割併	0	0		
分合	0	0		
既往ニ係ル本年分ニ成地租ヲ降以テ其ノ分ニ係ル四月例				
轉換移變權主業中	0	0		
何年中山林ヨリ同	0	0		
計	0	0		
成地租正修	0	0		
換同	0	0		
何年中畑ヨリ同	0	0		
養魚池ヘ變	0	0		
計	0	0		

地租

摘要	甲數	租額	增減ヨリ生ズル增減	備考
何開墾				
何年中開墾同	0	0		
計	0	0		
合部ノ增	0	0	0	
部ノ減				
成地租無				
轉換變移權主業	0	0	0	（處分ノ年ノ翌年ニ係ル）成地租ニ降以テ其ノ分ニ係ル四月例無租地ノ年ニシテ前
何年中業移權主轉	0	0		
計	0	0	0	
成地租正修	0	0	0	
畑ヘ變換同	0	0	0	
養魚池ヘ變	0	0	0	
計	0	0	0	
荒地成	0	0	0	
誤謬訂正盤測量地	0	0	0	
誤記算計	0	0	0	
計	0	0	0	

地租

摘要	甲數	租額	翌年ヨリ増減	備考
	甲	圓	圓	
分合地				
割併分合		0		
計	「0」	0		
分成轉移權主業年本地租地既往ニ係ル				
同轉移權主業年中何何	0	0		
計	0	0		
減ノ部合計	0	0	0	
増減差引計	0	0	0	
畑				
高在現日一月一年何（以下前例ニ倣フ）	0	0		
池魚養				
高在現日一月一年何（以下前例ニ倣フ）	0	0		
地敷物建				
高在現日一月一年何（以下前例ニ倣フ）	0	0		
合計	0	0	0	
課賦ノ修正ニ遡リ既往ニ遡リ（又ハ既往ニ係ル租税ノ増田				

地租

摘要	甲數	租額	翌年ヨリ増減	備考
	甲	圓	圓	
何年何月何日移轉權利ノ發生何年何月何日ニ係ル地租ノ分賦課ヲ始ムル旨ノ通知書ヲ付與シタル場合ニ於テハ其ノ通知書ニ記載シタル何年何月何日ヲ以テ權利ノ發生何年何月何日ト看做ス	「0」	0		○數字ニ括弧ヲ附シタルモノハ朱字ヲ以テ記入シ差引計算ヲ爲ササルモノトス
何年何月何日開墾何年何月何日發見ノ地租ノ分賦課ヲ始ムル旨ノ通知書ヲ付與シタル場合ニ於テハ其ノ通知書ニ記載シタル何年何月何日ヲ以テ權利ノ發生何年何月何日ト看做ス	「0」	0		○大正五年法律第二號ニ依ル地租ノ分賦課ヲ始ムル旨ノ通知書ヲ付與シタル場合ニ於テハ其ノ通知書ニ記載シタル何年何月何日ヲ以テ權利ノ發生何年何月何日ト看做ス
計	「0」	0		○大正五年法律第二號ニ依ル地租ノ分賦課ヲ始ムル旨ノ通知書ヲ付與シタル場合ニ於テハ其ノ通知書ニ記載シタル何年何月何日ヲ以テ權利ノ發生何年何月何日ト看做ス
畑				○大正五年法律第二號ニ依ル地租ノ分賦課ヲ始ムル旨ノ通知書ヲ付與シタル場合ニ於テハ其ノ通知書ニ記載シタル何年何月何日ヲ以テ權利ノ發生何年何月何日ト看做ス
合計額		0		○大正五年法律第二號ニ依ル地租ノ分賦課ヲ始ムル旨ノ通知書ヲ付與シタル場合ニ於テハ其ノ通知書ニ記載シタル何年何月何日ヲ以テ權利ノ發生何年何月何日ト看做ス
足額		0		○大正五年法律第二號ニ依ル地租ノ分賦課ヲ始ムル旨ノ通知書ヲ付與シタル場合ニ於テハ其ノ通知書ニ記載シタル何年何月何日ヲ以テ權利ノ發生何年何月何日ト看做ス
不納額		0		○大正五年法律第二號ニ依ル地租ノ分賦課ヲ始ムル旨ノ通知書ヲ付與シタル場合ニ於テハ其ノ通知書ニ記載シタル何年何月何日ヲ以テ權利ノ發生何年何月何日ト看做ス
未納額		0		○大正五年法律第二號ニ依ル地租ノ分賦課ヲ始ムル旨ノ通知書ヲ付與シタル場合ニ於テハ其ノ通知書ニ記載シタル何年何月何日ヲ以テ權利ノ發生何年何月何日ト看做ス
過納額		0		○大正五年法律第二號ニ依ル地租ノ分賦課ヲ始ムル旨ノ通知書ヲ付與シタル場合ニ於テハ其ノ通知書ニ記載シタル何年何月何日ヲ以テ權利ノ發生何年何月何日ト看做ス
超過額		0		○大正五年法律第二號ニ依ル地租ノ分賦課ヲ始ムル旨ノ通知書ヲ付與シタル場合ニ於テハ其ノ通知書ニ記載シタル何年何月何日ヲ以テ權利ノ發生何年何月何日ト看做ス
誤納額		0		○大正五年法律第二號ニ依ル地租ノ分賦課ヲ始ムル旨ノ通知書ヲ付與シタル場合ニ於テハ其ノ通知書ニ記載シタル何年何月何日ヲ以テ權利ノ發生何年何月何日ト看做ス
繰越額		0		○大正五年法律第二號ニ依ル地租ノ分賦課ヲ始ムル旨ノ通知書ヲ付與シタル場合ニ於テハ其ノ通知書ニ記載シタル何年何月何日ヲ以テ權利ノ發生何年何月何日ト看做ス
滯納處分額		0		○大正五年法律第二號ニ依ル地租ノ分賦課ヲ始ムル旨ノ通知書ヲ付與シタル場合ニ於テハ其ノ通知書ニ記載シタル何年何月何日ヲ以テ權利ノ發生何年何月何日ト看做ス
繰越額ヘ		0		○大正五年法律第二號ニ依ル地租ノ分賦課ヲ始ムル旨ノ通知書ヲ付與シタル場合ニ於テハ其ノ通知書ニ記載シタル何年何月何日ヲ以テ權利ノ發生何年何月何日ト看做ス
計		0		○大正五年法律第二號ニ依ル地租ノ分賦課ヲ始ムル旨ノ通知書ヲ付與シタル場合ニ於テハ其ノ通知書ニ記載シタル何年何月何日ヲ以テ權利ノ發生何年何月何日ト看做ス
額		0		○大正五年法律第二號ニ依ル地租ノ分賦課ヲ始ムル旨ノ通知書ヲ付與シタル場合ニ於テハ其ノ通知書ニ記載シタル何年何月何日ヲ以テ權利ノ發生何年何月何日ト看做ス
調定濟額		0		○大正五年法律第二號ニ依ル地租ノ分賦課ヲ始ムル旨ノ通知書ヲ付與シタル場合ニ於テハ其ノ通知書ニ記載シタル何年何月何日ヲ以テ權利ノ發生何年何月何日ト看做ス

官有物貸下料

摘要	數量	年額金料	額定調	備考
	甲	圓	圓	
地敷物建				
在現日一月一年何（以下前例ニ倣フ）部ノ増	0	0	0	
下々貸月何年何月何分	0	0	0	
同何何	0	0	0	
計	0	0	0	
減ノ部				
滿期々月何年何月何分	0	0	0	
同何何	0	0	0	
計	0	0	0	
増減差引計	0	0	0	
池魚養				
々々（以下前例ニ倣フ）				
何（以下前例ニ倣フ）				
物建（以下前例ニ倣フ）		坪		
下貸（以下前例ニ倣フ）一時				
名地地土				
名地物建				
々々何				
計				
可許用使（以下前例ニ倣フ）				
計合				

延納許可額

摘要	延納額 前年度越	本年度許可額	本年度第一期分調定濟額	翌年度越	別月期納翌年度越 四月	五月	月何	備考
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
金代品賣專	0	0	0	0	0	0	0	○代金延納ニ關スル契約ノ要領ヲ備考ニ記載スヘシ
草片々煙阿何	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	0	
金入收業作林森								
材々木何	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	0	
々々何								
（以下前例ニ倣フ）								
合計	0	0	0	0	0	0	0	

官有地小作料

摘要	甲數	租額	翌年ヨリ増減	備考
	甲	圓	圓	
高在現日一月一年何	0	0		
増ノ部				
耕新月何	0	0	0	
正々訂同	0	0	0	
誤何	0	0	0	
分年本ル係ニ往既				
更計變域地何年	0	0	0	
減ノ部				
耕減正々訂誤何何々ニ依リ廢低	0	0	0	
計	0	0	0	
引差減増計	0	0	0	
課賦ノ修正ニ遡リ既往ニ遡リ				
合計		0		

鑛區稅

摘要	鑛區坪數	稅額	備考
	千坪	圓	
鑛金			
大正十一年四月一日現在高	4903		
増ノ部			
可許規新月月	120	160,000	
可許規新月月	120	60,000	
五十何			
計増	240	220,000	
減ノ部			
業可	145		
廢減何 區許	55		
計減	200		
大正十二年一月一日現在高	4943	9886,000	
増ノ部			
可許規新月月	240	440,000	
可許規新月月	120	200,000	
二三何			
計増	360	640,000	
減ノ部			
業	225		
廢何			
計減	225		
額稅計		10746,000	
大正十二年四月一日現在高	5078		
金砂			
（以下前例ニ倣フ）			

第二號樣式

一　本明細書ニ於テモ計算書附屬明細書ニ準シ地租ノ例ニ依リ合金額ト調定濟額ト合致セシムルヲ要ス

大正何年度

證憑書代用明細書

廳名

入收話電及信電便郵

摘要	金額	備考
代下賣類手切	圓	
何局計	0	
何	0	
郵便收入		
料々計	0	
約束郵便何	0	
電信收入		
料々計	0	
海外電報何	0	
電話諸收入		
料料々計	0	
電話使用何	0	
電話交換何	0	
電報附加何	0	
何々	0	
計		
合計		

入收片阿

摘要	數量	金額	備考
	錢	圓	
青等等計	0	0	分ノ出提書憑證
片計	0	0	
阿ヘ計	0	0	
片ル計		0	
二々計	0	0	
粉末何		0	
モ何		0	
合計		0	

○摘要欄ノ品名ハ定價ヲ異ニスル毎ニ區分スヘシ

入收草煙

摘要	數量	金額	備考
		圓	
製卷二烏々	本	0	
府摩々計	0	0	
製卷號々	0	0	
煙煙々計	0	0	
製卷卷	0	0	
計		0	
合計		0	

摘要	備考
內地	
製卷二烏々	
府摩々計	
製卷號々	
煙煙々計	
製卷卷	
計	
合計	
內紙不敷何	
刻水薩何	
本烏	
紙ジヤスミン絲絲條條等等	
刻二三何	
外國	
葉紙刻	

鐵道收入

摘要	金額	備考
	圓	
客車收入		
旅客運賃金々計	0	
小荷物運賃	0	
手何	0	
貨車收入		
貨物運賃金々計	0	
貨車切貨何	0	
雜收入		
輕便使用料々計	0	
何	0	
合計	0	

○物件貸付等ノ收入ニシテ他ニ相當書式アルモノハ本表ニ其ノ種目金額ヲ記載スル外尙該書式ヲ準用調製スヘシ

分ノ出提書憑證

食鹽收入

摘要	數量	金額	備考
	斤	圓	
下賣鹽價鹽鹽計			
內地移出			
鹽鹽計			
上下等等			
移（輸）出（フ）計	0	0	
地（例ニ依）（前）何			
合計	0	0	

分ノ出提書憑證

森林作業收入

摘要	金額	備考
	圓	
鐵道入貸金々入々入々計		
客車收運賃	0	
旅客荷物賃	0	
手郵便車收	0	
何小荷物收	0	
雜貨車收		
何々計	0	
何々計	0	
合計	0	

代拂賣品用道鐵

摘要	金額	備考
	圓	
ヘヘヘヘヘヘヘヘ々	0	
費費費	0	
費費費	0	
廳社	0	
業務廳社	0	
道官會	0	
事事鐵何何何	0	
計	0	

換算價格ニ依リタルモノハ證憑書類ニ其ノ換算價格ヲ附記シ本文ノ書類ヲ省略スルコトヲ得

第四條　證憑書類中既ニ他ノ計算證明上提出濟ノモノアルトキハ其ノ旨計算書ノ備考ニ記載スヘシ

第二章　歲入

第一節　通則

第五條　歲入徵收官ハ第一號書式ニ依リ毎月歲入徵收額計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ翌月十五日限之ヲ提出スヘシ但シ會計檢査院ニ於テ特ニ指定シタルモノハ其ノ承認ヲ經タルモノハ年一回又ハ數回ニ提出スルコトヲ得

第六條　左ノ事項ハ最終徵收額計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　年度、科目其ノ他ノ更正ヲ爲スヘキモノアルトキハ其ノ金額事由

二　調定誤謬其ノ他ノ爲拂戻ヲ爲スヘキモノアルトキハ其ノ金額事由

第七條　歲入徵收額計算書ニハ日本銀行月計突合表及別ニ指定スル明細書ヲ添附スヘシ

第八條　證憑書類ノ編纂ハ左ノ區分ニ依ル

一　內國稅ニ在リテハ各目ニ區分シ尙準據シタル條項ノ異ル每ニ細分スヘシ

二　關稅、噸稅及稅關雜收入ニ在リテハ本關及各支署若ハ出張所每ニ各目ニ區分スヘシ

三　其ノ他ノ歲入ニ在リテハ各目ニ區分シ事ノ複雜ナルモノハ尙適宜細分スヘシ

證憑書類ノ表紙ニハ其ノ紙數及金額ヲ記載スヘシ

第二節　租稅

第九條　證憑書トシテ提出スヘキモノ左ノ如シ

一　課稅基本ノ決定及其ノ取消變更ニ關スル決議書、申告書、檢查簿、查定簿等賦課徵收ノ基礎ヲ證明スヘキ一切ノ書類

二　課稅免除、徵收猶豫、延納許可ヲ爲シ若ハ之ヲ取消變更ヲ爲シタルモノアルトキハ其ノ關係書類

三　滯納處分、擔保物件及收容貨物ノ處分ヲ爲シタルモノアルトキハ之ニ關スル一切ノ書類

四　不納缺損ニ係ルモノアルトキハ其ノ事實ヲ證明スヘキ書類

五　賦課又ハ滯納處分ノ引繼引受ヲ爲シタルモノアルトキハ其ノ關係書類

六　前各項ノ外賦課徵收上ノ處理ニ關スル書類

第十條　證憑書類ハ會計檢查院ノ指定ニ從ヒ之ヲ提出スヘシ

第三節　租稅外歲入

第十一條　證憑書トシテ提出スヘキモノ左ノ如シ

一　物件ノ賣拂、貸付、製造、修繕其ノ他收入ニ關スル決議書、契約書、賣渡請求書等徵收ノ基礎ヲ證明スヘキ一切ノ書類

二　延納ヲ許可シタルモノアルトキハ其ノ關係書類

三　滯納處分ヲ爲シタルモノアルトキハ其ノ關係書類

四　不納缺損ニ係ルモノアルトキハ其ノ事實ヲ證明スヘキ書類

會計規則第八十七條第五號ニ依リ契約書ノ作成ヲ省略シタルモノハ其ノ事由ヲ證憑書ニ附記スヘシ

第十二條　物件ノ賣拂、貸付其ノ他ノ契約ニ付一般競爭ニ付シタルモノハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　公告書案但シ公告ノ方法及公告期間ヲ短縮シタルモノハ其ノ事由ヲ附記スヘシ

二　豫定價格調書及其ノ算出ノ基礎ヲ示セル書類

三　一番札ヨリ五番札ニ至ル入札書

前項ノ規定ハ競賣又ハ指名競爭ニ依リタル契約ニ付之ヲ準用ス

第十三條　競爭ニ付スルモ入札者ナク又ハ再度ノ入札ニ付スルモ落札者ナク若ハ落札者契約ヲ結ハサル場合ニ於テ更ニ競爭ニ付シタルトキハ尙前同ノ競爭ニ關スル書類若ハ其ノ概要ヲ記載シタル調書ヲ添附スヘシ

前項ノ場合ニ於テ隨意契約ヲ爲シタルトキハ其ノ事由ヲ證憑書ニ附記シ尙競爭ニ關スル書類ヲ添附スヘシ

第十四條　豫定代價千圓ヲ超ユル財產ノ賣拂、豫定賃貸料年額又ハ總額五百圓ヲ超ユル物件ノ貸付及二千圓ヲ超ユル其ノ他ノ契約ニシテ一般競爭ニ付セサルモノハ其ノ適用シタル法令ノ條項ヲ證憑書ニ附記シ尙會計規則第百十四條第一項第十九號乃至第二十一號ニ依リ隨意契約ヲ爲シタルモノハ其ノ必要トセル事由ヲ證憑書ニ附記スヘシ

第十五條　國有財產ノ賣拂及貸付ニシテ隨意契約ニ依リタルモノハ其ノ賣拂價格又ハ貸付料ノ評定調書ヲ提出スヘシ

第十六條　物件ノ賣拂、貸付其ノ他ノ契約ニシテ變更解除又ハ違約處分ヲ爲シタルモノアルトキハ其ノ關係書類ヲ提出スヘシ

第十七條　證憑書類ハ會計檢查院ノ承認ヲ經他ノ書類ヲ以テ代用シ又ハ之カ提出ヲ省略スルコトヲ得

第三章　歲出

第一節　通則

第十八條　支出官ハ第二號書式ニ依リ每月支出計算書ヲ資金前渡官吏ハ第三號書式ニ依リ每月前渡資金出納計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ翌月十五日限之ヲ提出スヘシ但シ會計檢查院ノ承認ヲ經タルモノハ年一回又ハ數回ニ提出スルコトヲ得

資金前渡官吏交替シタルトキハ連名ヲ以テ之カ證明ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ出納計算書ニ各自ノ管理期ヲ記載スヘシ

第十九條　資金前渡官吏ノ分任官ニシテ特ニ第三節　歲入歲出外現金

第四節　繰替拂現金

第七章　物品出納

第八章　國有財產

第九章　日本銀行

第十章　國體及諸督造

附則

計算證明規程

第一章　總則

第一條　計算書ハ改描塗抹ヲ爲スヘカラス若誤記脫字等ニ因リ訂正ヲ爲シタルトキハ二線ヲ畫シ之ニ捺印スヘシ

第二條　證憑書類ハ原本ニ限ル若原本ヲ提出シ難キトキハ當該主任者ノ保證アル謄本ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

外國文ヲ以テ記載シタル證憑書類ニハ譯文ヲ附スヘシ但シ會計檢查院ノ承認ヲ經タルモノハ之ヲ省略スルコトヲ得

第三條　外國貨幣ヲ基礎トシ又ハ外國貨幣ヲ以テ收支ヲ爲シタルモノハ換算ニ關スル書類ヲ添附スヘシ但シ別ニ定メタル外國貨幣換算書アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二章　歲入

第一節　通則

第二節　租稅

第三節　租稅外歲入

第一章　總則

第二章　歲入

第一節　通則

第二節　支出

第三節　資金前渡官吏ノ出納

第四章　國庫金運用

第五章　國債

第六章　現金出納

第一節　通則

第二節　收入金

計算證明規程

大正十一年三月十七日
會計檢查院達第一號

改正　大正一一年第二號

大正四年會計檢查院達第一號計算證明規程左ノ通改正ス

計算證明規程

第一章　總則

第二章　歲入

第一節　通則

第二節　租稅

第三節　租稅外歲入

第三章　歲出

第一節　通則

第二節　支出

第三節　資金前渡官吏ノ出納

第四章　國庫金運用

第五章　國債

第六章　現金出納

第一節　通則

第二節　收入金

入收酒

摘要	分區又ハ容器容量	數量	金額	備考
		升又ハ本	圓	
內地製造酒				
釀造酒				
清酒	詰		0000	
白同同何	壜詰		0000	
濁何	壜詰		000	
洋何	壜詰		000	
蒸餾	壜詰		00	
燒酎	壜詰		00	
泡盛酒	壜詰		00	
再製酒	壜詰		00	
味醂	壜詰		00	
花何	壜詰		00	
洋何	壜詰		00	
本島釀造酒				
清福何	壜詰		00	

入收酒

摘要	分區又ハ容器容量	數量	金額	備考
		升又ハ本	圓	
酒號號號號號酒々酒酒酒醪酒々計製				
一二一二三				
第第第第第				
酒酒酒酒酒				
蜜糖				
蒸餾				
米同糖同高何				
再製				
紅藥白味何				
外國				
菊ビール				
パキデー				
ヤンスンユ				
イラキ				
葡同シ同ヲ同ア同リ同				

ヲ示セル調書

五　支出未濟ニシテ翌年度ニ繰越シタルモノアルトキハ每件其ノ金額事由調書

六　代價收入濟ニシテ物品未渡ニ係ルモノ又ハ代價支出濟ニシテ物品未收ニ係ルモノアルトキハ每件其ノ金額事由調書

七　既往年度代價收入濟ニ係ル物品ノ拂出ヲ爲シタルモノ又ハ既往年度代價支出濟ニ係ル物品ノ受入ヲ爲シタルモノアルトキハ每件其ノ數量金額調書

八　賣渡代價確定未濟ニシテ物品ノ拂出ヲ爲シタルモノアルトキハ每件其ノ數量金額事由調書

第二十三條　最終支出計算書提出ノ際概算拂、資金前渡ノ精算ニ至ラサルモノ、前金拂ニ係ル工事、製造又ハ物件ノ買入若ハ運送ニシテ完了ニ至ラサルモノ、年度、科目其ノ他ノ誤謬ニシテ處分未濟ニ係ルモノアルトキハ其ノ事由及完結スヘキ期限ヲ記載シタル調書ヲ添附スヘシ

最終支出計算書提出ノ後年度科目其ノ他ノ誤謬ヲ發見シタルトキハ其ノ都度之ヲ報告スヘシ

前各項ノ事項ハ完結ニ從ヒ其ノ證憑書ヲ添ヘ之ヲ報告スヘシ

第二十四條　證憑書トシテ提出スヘキモノハ領收證書、請求書、契約書等支出ノ所由竝計算ノ基ク所ヲ證明スヘキ書類トス但シ事ノ簡明ナルモノニ付テハ會計檢査院ノ承認ヲ經テ仕譯書、簿册又ハ證明書ヲ以テ代用スルコトヲ得

隔地者ニ支拂ノ爲日本銀行ニ資金ヲ交付シタル場合ニ在リテハ日本銀行ノ領收證書ヲ提出スヘシ

領收證書ヲ得難キ場合ニ在リテハ其ノ事由ヲ記載シタル證明書ヲ提出スヘシ

領收證書ニハ小切手ノ番號ヲ附記スヘシ

第二十五條　前渡資金出納計算書ハ會計規則第百三十八條ニ依ル檢定書ヲ添附スヘシ

第二十六條　旅費ノ領收證書若ハ精算證書ニハ其ノ用務及旅行ノ年月日、日數、路程、汽車汽船賃、宿泊地等ヲ記載シタル仕譯書ヲ添附スヘシ但シ領收證書又ハ精算證書ニ附記シテ仕譯書ヲ省略スルコトヲ得

旅行中迂路ヲ經過セシモノ病氣滯在其ノ他ノ事故ニ因リ特ニ日數ヲ要シタルモノ又ハ實費拂ヲ爲シタルモノアルトキハ其ノ事由ヲ記載スヘシ

第二十七條　渡切經費ニ付テハ最初支出證明ノ際其ノ領收證書ニ支給額決定ノ基礎ヲ明ニシタル仕譯書ヲ添附スヘシ爾後支給額ヲ增減シタルトキ亦同シ

會計檢查院ノ承認ヲ經タルモノハ前項ノ仕譯書ヲ省略スルコトヲ得

第二十八條　工事、製造及物件ノ買入、借入其ノ他ノ契約ニ付一般競爭ニ付シタルモノハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　契約ニ關スル決議書類

二　公告書案但シ公告ノ方法及公告期間ヲ短縮シタルモノハ其ノ事由ヲ附記スヘシ

三　豫定價格調書及其ノ算出ノ基礎ヲ示セル書類

四　一番札ヨリ五番札ニ至ル入札書

前項ノ規定ハ指名競爭ニ付シタル契約ニ付之ヲ準用ス

第二十九條　競爭ニ付スルモ入札者ナク又ハ再度ノ入札ニ付スルモ落札者ナク若ハ落札者契約ヲ結ハサル場合ニ於テ更ニ競爭ニ付シタルトキハ尙前同ノ競爭ニ關スル書類若ハ其ノ概要ヲ記載シタル調書ヲ添附スヘシ

前項ノ場合ニ於テ隨意契約ヲ爲シタルトキハ其ノ事由ヲ證憑書ニ附記シ尙競爭ニ關スル書類ヲ添附スヘシ

第三十條　五千圓ヲ超ユル工事、製造又ハ三千圓ヲ超ユル財產ノ買入若ハ賃借料年額又ハ總額千五百圓ヲ超ユル物件ノ借入及二千圓ヲ超ユル其ノ他ノ契約ニシテ一般競爭ニ付セサルモノハ決議書類ヲ添附シ其ノ適用タル法令ノ條項ヲ證憑書ニ附記シ尙會計規則第百十四條第一項第十九號及第二十二號ニ依リ隨意契約ヲ爲シタルモノハ其ノ必要トセル事由ヲ證憑書ニ附記スヘシ

第三十一條　豫定年額又ハ總額貳千圓ヲ超ユル物件ノ買入、運送及勞力供給ノ請負等ニ關シ單價契約ヲ爲シタルモノハ其ノ契約書類ヲ最初支出證明ノ際ニ提出シ爾後支出ヲ爲シタルトキハ領收證書ニ契約書類提出ノ年月ヲ附記スヘシ

第三十二條　貳千圓ヲ超ユル工事、製造及物件ノ買入、借入其ノ他ノ契約ニシテ變更解除又ハ違約處分ヲ爲シタルモノアルトキハ其ノ關係書類ヲ提出スヘシ

第三十三條　三千圓ヲ超ユル工事、製造又ハ物件ノ買入ニ關スル領收證書ニハ會計規則第九十二條第一項ニ依リ監督又ハ檢查シタル官吏若ハ技術者ノ作リタル調書ヲ添附スヘシ但シ物品ニ付テハ證憑書ニ檢收濟ノ年月日ヲ附記シ調書ノ添附ヲ省略スルコトヲ得

工事製造ノ既濟部分又ハ物品ノ既納部分ニ對シ完濟前又ハ完納前ニ代價ノ一部分ヲ支拂ヒタルモノハ其ノ領收證書ニ會計規則第九十二條第二項ニ依リ檢查官吏又ハ技術者ノ作リタル調書ヲ添附スヘシ

第三十四條　工事、製造及物件ノ買入、借入其ノ他ノ契約ニ付一般競爭ニ付シタルモノハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　契約ニ關スル決議書類

二　公告書案但シ公告ノ方法及公告期間ヲ短縮シタルモノハ其ノ事由ヲ附記スヘシ

三　豫定價格調書及其ノ算出ノ基礎ヲ示セル書類

四　一番札ヨリ五番札ニ至ル入札書

前項ノ規定ハ指名競爭ニ付シタル契約ニ付之ヲ準用ス

第三十五條　競爭ニ付スルモ入札者ナク又ハ再度ノ入札ニ付スルモ落札者ナク若ハ落札者契約ヲ結ハサル場合ニ於テ更ニ競爭ニ付シタルトキハ尙前同ノ競爭ニ關スル書類若ハ其ノ概要ヲ記載シタル調書ヲ添附スヘシ

前項ノ場合ニ於テ隨意契約ヲ爲シタルトキハ其ノ事由ヲ證憑書ニ附記シ尙競爭ニ關スル書類ヲ添附スヘシ

第三十六條　總價額五千圓ヲ超ユル直營工事ニ付テハ最初支出證明ノ際起工ニ關スル決議書類、設計書、仕譯書、圖面及其ノ附屬書類ヲ提出シ設計ヲ變更シタルトキハ其ノ書類ヲ提出スヘシ

直營工事竣功シタルトキハ竣功報告書ヲ調製シ竣功後一箇月以內ニ提出スヘシ但シ二箇年度以上ニ亙ル工事ニ在リテハ當該年度內ニ於ケル既濟ノ部分ニ付竣功報告書ヲ調製シ最終支出計算書ニ添附スヘシ

竣功報告書ヲ提出スヘキ工事及其ノ報告書ノ樣式ハ別ニ之ヲ指定ス

第三十七條　直營ニ係ル製造其ノ他ノ作業ニ關シテハ會計檢查院ノ指定ニ從ヒ事業成績書ヲ調製シ最終支出計算書ニ添附スヘシ

第三十八條　請負ニ付シタル工事、製造等ニ付材料ヲ官給シ又ハ代價ヲ支拂ハシテ物件勞力ヲ使用シタルトキハ其ノ種類、員數及價格ヲ記載シタル仕譯書ヲ證憑書ニ添附スヘシ但シ證憑書ニ附記シテ仕譯書ヲ省略スルコトヲ得

第三十九條　一工事ニシテ數廉ニ分チ起工スルモノニ在リテハ最初支出證明ノ際大體ニ關スル計畫書若ハ目論見書ヲ提出スヘシ

第三十八條　國有財產ヲ取得シタルトキハ之ニ對スル支出ノ證憑書ニ國有財產臺帳登錄濟ノ年月日、物品ヲ取得シタルトキハ運送ヲ爲サシメタルトキハ之ニ對スル支出ノ證憑書ニ物品出納簿記載又ハ運送濟ノ年月日ヲ記載シ其ノ物品出納簿ニ登記シ難キ分任出納官吏及出納員ニシテ特ニ計算ヲ證明スルトキハ主任出納官吏ヲ經由スヘシ

第三十一條　現金出納計算書ニハ會計規則第百三十八條ニ依ル檢定書ヲ添附スヘシ

第三十二條　證憑書トシテ提出スヘキモノニ付テハ第二節ノ規定ヲ準用ス

第四章　國庫金運用

第三十四條　國庫金ノ運用ヲ管掌スル官吏ハ每月左ニ揭ケル計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ翌月末日限之ヲ提出スヘシ

一　國庫金運用計算書

二　簡易生命保險積立金運用計算書

第五號書式

第三十五條　簡易生命保險積立金運用ノ計畫ヲ決定シタルトキハ當月分ノ簡易生命保險積立金運用計算書ニ之カ計畫書ヲ添附スヘシ其ノ計畫ヲ變更シタルトキ亦同シ

第三十六條　證憑書類ハ國債ノ種類每ニ區分シテ之ヲ編纂シ表紙ニ其ノ金額紙數ヲ記載スヘシ證憑書未到達ノモノアルトキハ其ノ旨ヲ表紙ニ記載シ爾後到達ニ從ヒ別ニ區分編纂シテ之ヲ提出スヘシ

第六章　現金出納

第一節　通則

第三十七條　國債事務ヲ管掌スル官吏ハ第六號書式ニ依リ每月國債增減計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ翌月末日限之ヲ提出スヘシ

第三十八條　證憑書トシテ提出スヘキ書類左ノ如シ

一　證券ヲ發行シタルモノニ在リテハ監督官吏ノ調製シタル證券發行濟確認書但シ交付公債ニ在リテハ證券ノ領收證書

二　借入金ヲ爲シタルモノニ在リテハ其ノ決議書及契約書類

三　甲種國債登錄簿ニ登錄シタルモノニ在リテハ監督官吏ノ調製シタル登錄濟確認書

四　鐵道ノ買收其ノ他代償ノ爲公債ヲ發行シタルモノニ在リテハ其ノ決議書類及發行額算定ノ基礎ヲ認ムヘキ一切ノ書類

證憑書類ハ會計檢查院ノ承認ヲ經他ノ書類ヲ以テ代用シ又ハ之カ提出ヲ省略スルコトヲ得

第四十九條　證憑書類ハ國債ノ種類每ニ區分シテ之ヲ編纂シ表紙ニ其ノ金額紙數ヲ記載スヘシ證憑書未到達ノモノアルトキハ其ノ旨ヲ表紙ニ記載シ爾後到達ニ從ヒ別ニ區分編纂シテ之ヲ提出スヘシ

第六章　現金出納

第一節　通則

第五十條　收入官吏ハ第七號書式、歲入歲出外現金出納官吏ハ第八號書式、繰替拂出納官吏ハ第九號書式ニ依リ現金出納計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ左ノ期限ニ從ヒ之ヲ提出スヘシ

一　月證明ニ屬スルモノハ翌月十五日限

二　年證明ニ屬スルモノハ年度經過後若ハ出納官吏及出納員交替後三十日限

最終前渡資金出納計算書提出ノ後年度、科目其ノ他ノ誤謬ヲ發見シタルトキハ其ノ都度之ヲ報告スヘシ

第五十一條　現金出納計算書ニハ會計規則第百三十八條ニ依ル檢定書ヲ添附スヘシ

第五十二條　證憑書トシテ提出スヘキモノニ付テハ第二節ノ規定ヲ準用ス

第四節　收入金

第五十三條　收入官吏ノ調製スヘキ收入金現金出納計算書ハ每年度之ヲ提出スヘシ

第五十四條　左ノ事項ハ收入金現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　拂込未濟ノモノ又ハ後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第五十五條　證憑書トシテ提出スヘキモノハ日本銀行又ハ他ノ出納官吏ノ領收證書トス

第三節　歲入歲出外現金

第五十六條　歲入歲出外現金出納官吏ノ調製スヘキ歲入歲出外現金出納計算書ハ每年度之ヲ提出スヘシ

但シ會計檢查院ニ於テ特ニ指定シタルモノハ每月又ハ年數回ニ之ヲ提出スヘシ

第五十七條　左ノ事項ハ歲入歲出外現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ現金ノ缺損ニ對シ補充ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

モノハ受領濟ノ年月日ヲ記載スヘシ但シ前金拂又ハ概算拂ニ係ルモノハ其ノ完結スヘキ期限ヲ附記スヘシ

第三十九條　諸拂戻金、缺損補塡金、償還金ノ類ハ其ノ證憑書ニ支出ヲ要スル事由及事實ノ生シタル年月日ヲ記載スルノ外之カ支出ノ決定ヲ爲シタル年月日ヲ附記スヘシ

第三節　資金前渡官吏ノ出納

第四十條　左ノ事項ハ前渡資金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　年度、科目其ノ他ノ更正ヲ爲スヘキモノアルトキハ其ノ金額事由

二　誤拂、過渡其ノ他ノ返納ニ付處分ヲ爲スヘキモノアルトキハ其ノ金額事由

三　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

四　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

五　他ノ出納官吏ト現金ノ受授ヲ爲シタルモノアルトキハ其ノ氏名及金額

第四十一條　最終前渡資金出納計算書提出ノ際概算拂ノ精算ニ至ラサルモノ、前金拂ニ係ル工事、製造又ハ物件ノ買入若ハ運送ニシテ完了ニ至ラサルモノ、年度、科目其ノ他ノ誤謬ニシテ處分未濟ニ係ルモノアルトキハ其ノ事由及完結スヘキ期限ヲ記載シタル調書ヲ添附スヘシ

最終前渡資金出納計算書提出ノ際振出小切手ニ對シ日本銀行ニ於テ支拂未濟ノモノアルトキハ振出日附、番號、科目、金額及債主名ヲ記載シタル調書ヲ添附スヘシ

最終前渡資金出納計算書提出ノ後年度、科目其ノ他ノ誤謬ヲ發見シタルトキハ其ノ都度之ヲ報告スヘシ

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第五十八條　振出小切手ニ對シ日本銀行ニ於テ支拂未濟ノモノアルトキハ其ノ振出日附、番號、種別、金額、債主名ヲ歲入歲出外現金出納計算書ノ備考ニ記載シ完結ニ從ヒ之ヲ報告スヘシ

第五十九條　證憑書トシテ提出スヘキ書類左ノ如シ

一　受入ニ對シテハ其ノ金額事由ヲ證明スルニ足ルヘキ他ノ官吏ノ保證書若ハ其ノ他ノ書類

二　拂出ニ對シテハ領收證書若ハ他ノ官吏ノ保證書

第六十條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ハ鐵道官署ニ在リテハ毎月、遞信官署ニ在リテハ毎年度之ヲ提出スヘシ

第六十一條　左ノ事項ハ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第六十二條　振出小切手ニ對シ日本銀行ニ於テ支拂未濟ノモノアルトキハ其ノ振出日附、番號、種別、金額、債主名ヲ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ鐵道官署ニ在リテハ毎年度最終ノ繰替拂現金出納計算書ニ限リ之ヲ記載スヘシ

前項ノ事項ハ完結ニ從ヒ之ヲ報告スヘシ

第六十三條　證憑書トシテ提出スヘキ書類左ノ如シ

一　受入ニ對シテハ其ノ金額事由ヲ證明スルニ足ルヘキ他ノ官吏ノ保證書若ハ他ノ官吏ノ保證書

二　拂出ニ對シテハ領收證書若ハ他ノ官吏ノ保證書

第六十四條　但書ニ依リ毎月又ハ年數回ニ證明スヘキモノノ證憑書類ハ別ニ之ヲ指定ス

第四節　繰替拂現金

第六十條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ハ鐵道官署ニ在リテハ毎月、遞信官署ニ在リテハ毎年度之ヲ提出スヘシ

第六十一條　左ノ事項ハ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第六十二條　振出小切手ニ對シ日本銀行ニ於テ支拂未濟ノモノアルトキハ其ノ振出日附、番號、種別、金額、債主名ヲ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ鐵道官署ニ在リテハ毎年度最終ノ繰替拂現金出納計算書ニ限リ之ヲ記載スヘシ

前項ノ事項ハ完結ニ從ヒ之ヲ報告スヘシ

第六十三條　證憑書トシテ提出スヘキ書類左ノ如シ

一　受入ニ對シテハ其ノ金額事由ヲ證明スルニ足ルヘキ他ノ官吏ノ保證書若ハ他ノ官吏ノ保證書

二　拂出ニ對シテハ領收證書若ハ他ノ官吏ノ保證書

第六十四條　但書ニ依リ毎月又ハ年數回ニ證明スヘキモノノ證憑書類ハ別ニ之ヲ指定ス

第四節　繰替拂現金

第六十五條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第六十六條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第六十七條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第六十八條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第六十九條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第七十條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第七十一條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第七十二條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第七十三條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第七十四條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第七十五條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第七十六條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第七十七條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第七十八條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第七十九條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第八十條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第八十一條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第八十二條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第八十三條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第八十四條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第八十五條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第八十六條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第八十七條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第八十八條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第八十九條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第九十條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第九十一條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第九十二條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第九十三條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第九十四條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第九十五條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第九十六條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第九十七條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第九十八條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第九十九條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

第百條　繰替拂出納官吏ノ調製スヘキ繰替拂現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ說明書ヲ添附スヘシ

一　現金ヲ亡失シ又ハ缺損補塡ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ金額事由

二　會計規則第百三十四條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ金額事由

三　後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其ノ金額事由

書類但シ決議書類ニハ其ノ適用シタル法令ノ條項ヲ附記スヘシ

八　賞拂、讓與又ハ貸付ノ豫約ヲ爲シタルモノアルトキハ其ノ決議書、契約書其ノ他ノ關係書類

九　前各號中ノ契約ニシテ變更解除ヲ爲シタルモノアルトキハ其ノ關係書類

第七十三條　前條ノ證憑書類ハ會計檢査院ノ承認ヲ經他ノ書類ヲ以テ代用シ又ハ之カ提出ヲ省略スルコトヲ得

第九章　日本銀行

第七十四條　日本銀行ハ第十二號書式ニ依リ每年度國庫金出納及政府有價證券受拂總計算書、第十三號書式ニ依リ每月國庫金出納及政府有價證券受拂計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ總計算書ハ翌月十五日限之ヲ提出スヘシ

第七十五條　政府ノ爲ニ取扱フ現金又ハ有價證券ノ出納保管ニ關シ損害ヲ生シタルモノアルトキハ其ノ事實ヲ記載シタル報告書ヲ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ損害ニ對シ賠償又ハ其ノ他ノ處理ヲ爲シタルモノアルトキハ其ノ顚末ヲ報告スヘシ

第七十六條　每月國庫金出納及政府有價證券受拂計算書ニハ左ニ揭ク明細書ヲ添附スヘシ

一　國債ノ發行ニ依ル收入金受拂明細書

二　國債應募拂込金延滯ニ因ル失效高明細書

三　國債元利拂資金受拂明細書

前項第一號ノ明細書ニハ外國貨幣ヲ以テ領收シタルモノアルトキハ其ノ種類員額ヲ備考ニ記載スヘシ

第一項第三號ノ明細書ニハ年度、科目其ノ他ノ更正ヲ爲スヘキモノ、誤拂、過渡ニシテ其ノ處分ヲ爲スヘキモノ、時效ノ中斷又ハ停止アリタルモノニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ及政府ニ對シ損害ノ賠償ヲ爲シタルモノアルトキハ其ノ金額事由ヲ備考ニ記載スヘシ

第七十七條　每年度五月分國庫金出納及政府有價證券受拂計算書ニハ第十七號書式ニ依リ調製シタル前年度所屬歲入金歲出金出納明細書ヲ添附スヘシ

前項ノ明細書提出ノ後年度、科目其ノ他ノ誤謬ヲ發見シタルトキハ其ノ都度金額事由ヲ記載シタル報告書ヲ提出スヘシ

第七十八條　證憑書トシテ提出スヘキ書類左ノ如シ

一　歲出金、預託金ノ受拂及歲出支拂未濟繰越金ノ支拂ニ對シテハ當該官吏ノ證明ヲ受ケタル月計突合表

二　預金部預金ノ受拂ニ對シテハ當該官吏又ハ大藏大臣ノ指定シタル官吏ノ證明ヲ受ケタル月計突合表及受拂計算表

三　振替金ノ受拂ニ對シテハ相手方本支店若ハ代理店ノ證印濟突合表

四　國債ノ發行ニ依ル收入金ノ出納ニ對シテハ大藏大臣命令ノ謄本、應募申込書及應募保證金還付ノ領收證書但シ應募申込書及應募保證金還付ノ領收證書ハ會計檢査院ノ指定ニ從ヒ提出スヘシ

五　國債ノ應募額募集額ニ超過シタルモノアルトキハ其ノ割當方法決定ニ關スル書類

六　國債元利金ノ支拂ニ對シテハ大藏大臣令達ノ謄本、監督官廳ノ保證アル支拂濟證券調書、支拂濟利賦札調書又ハ領收證書

七　大藏大臣ノ令達ニ依リ受拂ヲ爲シタルモノニ對シテハ其ノ令達ノ謄本

八　前各號以外ノ國庫金ノ受拂ニ對シテハ命令書、通知書、領收證書其ノ他ノ關係書類

九　有價證券ノ受拂ニ對シテハ當該官吏又ハ大藏大臣ノ指定シタル官吏ノ證明ヲ受ケタル月計突合表及受拂計算表

第七十九條　證憑書類ハ分類編纂シ其ノ金額ヲ表紙ニ記載スヘシ

第十章　國營及諸營造

第八十條　政府ヨリ補助金又ハ特約保證ヲ受ケタル國營及諸營造ハ第十八號書式ニ依リ每年度收支計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ公共團體ニ在リテハ出納閉鎖期經過後一箇月其ノ他ニ在リテハ決算期經過後三箇月限之ヲ提出スヘシ但シ會社ニ在リテハ會計檢査院ノ承認ヲ經商法第百九十條ニ依ル書類ヲ以テ計算書ニ代用スルコトヲ得

第八十一條　收支計算書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ但シ會計檢査院ノ指定シタルモノハ別ニ之ヲ提出スヘシ

一　補助金又ハ特約保證ニ關スル申請書、命令書及計畫書

二　命令書ノ定ムル所ニ依リ特ニ政府ノ許可又ハ認可ヲ經若ハ更正ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ書類

三　收支豫算書

四　公共團體ニ在リテハ決算報告書會社ニ在リテハ商法第百九十條ニ依ル書類其ノ他ニ在リテハ決算明細書及財產目錄

左ノ補助又ハ特約保證ニ對シテハ前項ノ外各書類ヲ添附スヘシ

一　災害土木費補助ニ在リテハ一位單價表及工事箇所別明細書

二　關東州地方費ニ在リテハ水道電氣其ノ他之ニ類スル事業ノ損益仕譯書

三　航路補助ニ在リテハ各航路別收支明細書

四　南滿洲鐵道株式會社ニ在リテハ諸勘定內譯書

五　鐵道補助ニアリテハ收支計算書附屬仕譯書

第八十二條　證憑書トシテ提出スヘキ書類左ノ如シ

一　契約書、決議書其ノ他收支ノ事實ヲ證明スヘキ書類但シ會計檢査院ノ指定ニ從ヒ之ヲ提出スヘシ

二　工事ノ補助ニ在リテハ竣功報告書、圖面、直營工事ニ係ル竣功認定及殘餘金處分ニ關スル書類但シ竣功報告書、圖面、直營工事ニ係ル竣功認定及殘餘金處分ニ關スル書類ハ分類編纂シ其ノ金額ヲ表紙ニ記載スヘシ

第十章　國營及諸營造

第八十條　政府ヨリ補助金又ハ特約保證ヲ受ケタル國營及諸營造ハ第十八號書式ニ依リ每年度收支計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ公共團體ニ在リテハ出納閉鎖期經過後一箇月、遞信官署ニ在リテハ每年度最終ノ繰替拂現金出納計算書ニ限リ之ヲ記載スヘシ

前項ノ事項ハ完結ニ從ヒ之ヲ報告スヘシ

第八十一條　收支計算書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ但シ會計檢査院ノ指定シタルモノハ別ニ之ヲ提出スヘシ

一　補助金又ハ特約保證ニ關スル申請書、命令書及計畫書

二　命令書ノ定ムル所ニ依リ特ニ政府ノ許可又ハ認可ヲ經若ハ更正ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ書類

三　收支豫算書

四　公共團體ニ在リテハ決算報告書會社ニ在リテハ商法第百九十條ニ依ル書類其ノ他ニ在リテハ決算明細書及財產目錄

左ノ補助又ハ特約保證ニ對シテハ前項ノ外各書類ヲ添附スヘシ

一　災害土木費補助ニ在リテハ一位單價表及工事箇所別明細書

二　關東州地方費ニ在リテハ水道電氣其ノ他之ニ類スル事業ノ損益仕譯書

三　航路補助ニ在リテハ各航路別收支明細書

四　南滿洲鐵道株式會社ニ在リテハ諸勘定內譯書

五　鐵道補助ニアリテハ收支計算書附屬仕譯書

第八十二條　證憑書トシテ提出スヘキ書類左ノ如シ

一　契約書、決議書其ノ他收支ノ事實ヲ證明スヘキ書類但シ會計檢査院ノ指定ニ從ヒ之ヲ提出スヘシ

二　工事ノ補助ニ在リテハ竣功報告書、圖面、直營工事ニ係ル竣功認定及殘餘金處分ニ關スル書類但シ竣功報告書、圖面、直營工事ニ係ル竣功認定及殘餘金處分ニ關スル書類ハ分類編纂シ其ノ金額ヲ表紙ニ記載スヘシ

第八十三條　前條ノ證憑書類ニハ其ノ適用シタル法令ノ條項ヲ附記スヘシ

八　賞拂、讓與又ハ貸付ノ豫約ヲ爲シタルモノアルトキハ其ノ決議書、契約書其ノ他ノ關係書類

九　前各號中ノ契約ニシテ變更解除ヲ爲シタルモノアルトキハ其ノ關係書類

第八十四條　日本銀行ハ第十二號書式ニ依リ每年度國庫金出納及政府有價證券受拂總計算書、第十三號書式ニ依リ每月國庫金出納及政府有價證券受拂計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ總計算書ハ年度經過後二箇月、每月計算書ハ翌月十五日限之ヲ提出スヘシ

第七十五條　政府ノ爲ニ取扱フ現金又ハ有價證券ノ出納保管ニ關シ損害ヲ生シタルモノアルトキハ其ノ事實ヲ記載シタル報告書ヲ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ損害ニ對シ賠償又ハ其ノ他ノ處理ヲ爲シタルモノアルトキハ其ノ顚末ヲ報告スヘシ

第七十六條　每月國庫金出納及政府有價證券受拂計算書ニハ左ニ揭ク明細書ヲ添附スヘシ

一　國債ノ發行ニ依ル收入金受拂明細書

二　國債應募拂込金延滯ニ因ル失效高明細書

三　國債元利拂資金受拂明細書

前項第一號ノ明細書ニハ外國貨幣ヲ以テ領收シタルモノアルトキハ其ノ種類員額ヲ備考ニ記載スヘシ

第一項第三號ノ明細書ニハ年度、科目其ノ他ノ更正ヲ爲スヘキモノ、誤拂、過渡ニシテ其ノ處分ヲ爲スヘキモノ、時效ノ中斷又ハ停止アリタルモノニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ及政府ニ對シ損害ノ賠償ヲ爲シタルモノアルトキハ其ノ金額事由ヲ備考ニ記載スヘシ

第七十七條　每年度五月分國庫金出納及政府有價證券受拂計算書ニハ第十七號書式ニ依リ調製シタル前年度所屬歲入金歲出金出納明細書ヲ添附スヘシ

前項ノ明細書提出ノ後年度、科目其ノ他ノ誤謬ヲ發見シタルトキハ其ノ都度金額事由ヲ記載シタル報告書ヲ提出スヘシ

第七十八條　證憑書トシテ提出スヘキ書類左ノ如シ

一　歲出金、預託金ノ受拂及歲出支拂未濟繰越金ノ支拂ニ對シテハ當該官吏ノ證明ヲ受ケタル月計突合表

二　預金部預金ノ受拂ニ對シテハ當該官吏又ハ大藏大臣ノ指定シタル官吏ノ證明ヲ受ケタル月計突合表及受拂計算表

三　振替金ノ受拂ニ對シテハ相手方本支店若ハ代理店ノ證印濟突合表

四　國債ノ發行ニ依ル收入金ノ出納ニ對シテハ大藏大臣命令ノ謄本、應募申込書及應募保證金還付ノ領收證書但シ應募申込書及應募保證金還付ノ領收證書ハ會計檢査院ノ指定ニ從ヒ提出スヘシ

五　國債ノ應募額募集額ニ超過シタルモノアルトキハ其ノ割當方法決定ニ關スル書類

六　國債元利金ノ支拂ニ對シテハ大藏大臣令達ノ謄本、監督官廳ノ保證アル支拂濟證券調書、支拂濟利賦札調書又ハ領收證書

七　大藏大臣ノ令達ニ依リ受拂ヲ爲シタルモノニ對シテハ其ノ令達ノ謄本

八　前各號以外ノ國庫金ノ受拂ニ對シテハ命令書、通知書、領收證書其ノ他ノ關係書類

九　有價證券ノ受拂ニ對シテハ當該官吏又ハ大藏大臣ノ指定シタル官吏ノ證明ヲ受ケタル月計突合表及受拂計算表

第七十九條　證憑書類ハ分類編纂シ其ノ金額ヲ表紙ニ記載スヘシ

第十章　國營及諸營造

第八十條　政府ヨリ補助金又ハ特約保證ヲ受ケタル國營及諸營造ハ第十八號書式ニ依リ每年度收支計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ公共團體ニ在リテハ出納閉鎖期經過後一箇月其ノ他ニ在リテハ決算期經過後三箇月限之ヲ提出スヘシ但シ會社ニ在リテハ會計檢査院ノ承認ヲ經商法第百九十條ニ依ル書類ヲ以テ計算書ニ代用スルコトヲ得

第八十一條　收支計算書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ但シ會計檢査院ノ指定シタルモノハ別ニ之ヲ提出スヘシ

一　補助金又ハ特約保證ニ關スル申請書、命令書及計畫書

二　命令書ノ定ムル所ニ依リ特ニ政府ノ許可又ハ認可ヲ經若ハ更正ヲ命セラレタルモノアルトキハ其ノ書類

三　收支豫算書

四　公共團體ニ在リテハ決算報告書會社ニ在リテハ商法第百九十條ニ依ル書類其ノ他ニ在リテハ決算明細書及財產目錄

左ノ補助又ハ特約保證ニ對シテハ前項ノ外各書類ヲ添附スヘシ

一　災害土木費補助ニ在リテハ一位單價表及工事箇所別明細書

二　關東州地方費ニ在リテハ水道電氣其ノ他之ニ類スル事業ノ損益仕譯書

三　航路補助ニ在リテハ各航路別收支明細書

四　南滿洲鐵道株式會社ニ在リテハ諸勘定內譯書

五　鐵道補助ニアリテハ收支計算書附屬仕譯書

第八十二條　證憑書トシテ提出スヘキ書類左ノ如シ

一　契約書、決議書其ノ他收支ノ事實ヲ證明スヘキ書類但シ會計檢査院ノ指定ニ從ヒ之ヲ提出スヘシ

二　工事ノ補助ニ在リテハ竣功報告書、圖面、直營工事ニ係ル竣功認定及殘餘金處分ニ關スル書類但シ竣功報告書、圖面、直營工事ニ係ル竣功認定及殘餘金處分ニ關スル書類ハ分類編纂シ其ノ金額ヲ表紙ニ記載スヘシ

第八十三條　前條ノ證憑書類ニハ其ノ適用シタル法令ノ條項ヲ附記スヘシ

八　賞拂、讓與又ハ貸付ノ豫約ヲ爲シタルモノアルトキハ其ノ決議書、契約書其ノ他ノ關係書類

九　前各號中ノ契約ニシテ變更解除ヲ爲シタルモノアルトキハ其ノ關係書類

第八十四條　日本銀行ハ第十二號書式ニ依リ每年度國庫金出納及政府有價證券受拂總計算書、第十三號書式ニ依リ每月國庫金出納及政府有價證券受拂計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ總計算書ハ年度經過後二箇月、每月計算書ハ翌月十五日限之ヲ提出ス

第一號

大正何年度

何年何月分（自何年何月至何年何月）

歲入徴收額計算書

一收入（出納）官吏現金領收額、收入濟額ト日本銀行領收濟額トノ對照及收入未濟額內譯ノ欄ハ最終徴收額計算書ニ之ヲ附スヘシ

科目			調定濟額 本月分	調定濟額 本月迄累計	收入濟額 本月分	收入濟額 本月迄累計
款	項	目	圓	圓	圓	圓
經常部						
何々	何々	何々	0	0	0	0
		何々	0	0	0	0
		何々	0	0	0	0
		何々	0	0	0	0
		計	0	0	0	0
	何々	何々	0	0	0	0
		何々	0	0	0	0
		計	0	0	0	0
		合計	0	0	0	0
臨時部（經常部ノ例ニ倣フ）		總計	0	0	0	0

證憑書　何冊

何々　〃

廳名

出提日月年　官職氏名印

收入濟額ト日本銀行領收濟額トノ對照

摘要	金額	備考
	圓	
收入濟額	0	何年月日據置認可ノ分
何年度歲入ヲ本年度歲入トシテ日本銀行ヘ誤拂込額	0	〃
何特別會計歲入同上	0	〃
何々	0	
計	0	
本年度歲入ヲ何年度歲入トシテ日本銀行ヘ誤拂込額	0	〃
本年度歲入ヲ何特別會計歲入トシテ同上	0	〃
徴收濟現金未ダ日本銀行ヘ拂込ニ至ラサル分	0	內何圓ハ某課ノ分何々ノ事由ニ因リ何圓ハ某課ノ分何々ノ事由ニ因ル
何々	0	
計	0	
日本銀行領收濟通知總額	0	
內譯		
日本銀行本店	0	
〃何地支店	0	
〃何地統轄代理店	0	
計	0	

收入未濟額內譯

摘要	金額	備考
	圓	
經常部		
何々（款）		
何々（項）		
何々（目）		
氏名外何名	0	何々ノ事由ニ因ル
氏名外何名	0	何々
計	0	
何々（目）		
氏名外何名	0	何々
合計	0	
何々（款）		
何々（項）		
何々（目）		
氏名外何名	0	何々
經常部計	0	
臨時部（經常部ノ例ニ倣フ）		
總計	0	

○前年度ヨリ繰越收入未濟額ニシテ本年度中徴收入ニ至ラサルモノアルトキハ各之ヲ別項ト爲シ毎年度ニ區分掲記スヘシ

第二號

大正何年度

何年何月分（自何年何月至何年何月）

支出計算書

一他省所管ニ屬スルモノニ在リテハ年月ノ下ニ何省所管タルコトヲ記載スヘシ

證憑書　何冊

何々　〃

廳名

出提日月年　官職氏名印

總括

摘要	現算換拂支額（現算據額）	支出額	殘額	備考
	圓	圓	圓	
經常部				
何々（款）				
何々（項）				
何々（目）		0		
何々（目）		0		
計	0	0	0	
何々（項）				
何々（目）		0		
何々（目）		0		
計	0	0	0	
合計	0	0	0	
何々（款）				
何々（項）				
何々（目）		0		
何々（目）		0		
計	0	0	0	
經常部計	0	0	0	
臨時部（經常部ノ例ニ倣フ）				
總計	0	0	0	

○本欄ハ最終計算書ニ附スヘシ

收入濟額 收入未濟額內譯 不納缺損額

收入徴收金額現金官吏（出納）領收額

摘要	金額	備考	收入未濟額	不納缺損額 本月分	不納缺損額 本月迄累計	備考
	圓		圓	圓	圓	
本年度歲入ヲ本年度ニ三月三十一日迄ノ分			0	0	0	○年證明ト爲シタルモノハ本月分、本月迄累計ノ區分ヲ要セス
收入官吏某扱	0		0	0	0	○年數回證明ト爲シタルモノハ本月分、本月迄累計ノ欄ヲ本回分、本回迄累計ト爲スヘシ
郵便局出納官吏領收濟通知額	0		0	0	0	○前年度繰越收入未濟額ニシテ本年度中收入ヲ了シ若ハ缺損處分ヲ爲シタルモノハ調定濟額ニ併算シ其ノ金額ヲ備考ニ附記スヘシ
計	0		0	0	0	○收入濟額ニシテ日本銀行月計突合表ト符合セサルモノアルトキハ其ノ事由ヲ備考ニ附記スヘシ
本年度歲入ヲ本年度ニ三月三十一日迄ノ分			0	0	0	
收入官吏某扱	0		0	0	0	
郵便局出納官吏領收濟通知額	0		0	0	0	
計	0		0	0	0	
出納閉鎖期後分ヲ迄ノ分（前例ニ倣フ）			0	0	0	
合計	0		0	0	0	

支出額

摘要	本月支出額	前月迄支出額	本月戻入額	差引計	備考
經常部（總括ノ例ニ倣フ）					○支出額ニハ出納官吏ニ對スル資金前渡及國債元利拂ノ爲日本銀行ニ資金前渡ノ爲シタルモノヲ除クヘシ ○帝國鐵道ニ在リテハ本月支出額ニ對シ各出納官吏別各日内譯書ヲ添附スヘシ
臨時部（同上）					
總計	0	0	0	0	
隔地ノ爲メ日本銀行ニ資金交付高	0	0	0	0	

資金前渡

摘要	本月出本支額	前月迄支出額	本月入戻額	差引計	備考
何廳官氏名					○本俸ハ出納官吏ニ對シ資金前渡ヲ爲シ又ハ日本銀行ニ對シ國債元利拂ノ爲資金前渡ヲ爲シタルモノヲ掲クヘシ ○資金前渡ヲ受ケタル官吏交替ヲ爲シタルトキハ其ノ翌月分ヨリ後任官ノ部ニ計算額ヲ併算シ前任官吏ノ氏名ヲ備考ニ附記スヘシ ○臨時資金前渡ヲ受ケタル官吏ニシテ支拂ヲ完結シタルトキハ其ノ翌月分ヨリ集合ノ部ニ計算額ヲ併算シ其ノ月限該氏名ヲ備考ニ附記スヘシ
何々（款）					
何々（項）	0	0	0	0	
何々（項）	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	
何々（款）					
何々（項）	0	0	0	0	
何々（項）	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	
何廳官氏名（前例ニ倣フ）					
集合ノ部（前例ニ倣フ）					
總計	0	0	0	0	
隔地ノ爲メ出納官吏ニ資金前渡高 日本銀行ニ資金交付高	0	0	0	0	

概算拂内譯

摘要	概算額 前月末精算額	概算額 本月經算額	概算額 計	精算額 支拂額	精算額 戻入額	精算額 人議納付額	精算額 計	未精算額	備考
經常部									
何々（款）									
何々（項）									
何々（目）	0	0	0	0	0	0	0	0	
何々（目）	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	0	0	
何々（款）									
何々（項）									
何々（目）	0	0	0	0	0	0	0	0	
何々（目）	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	0	0	
經常部計	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時部（經常部ノ例ニ倣フ）									
總計	0	0	0	0	0	0	0	0	

科目更正、定額戻入、歳入納付、過年度支出内譯

摘要	金額
科目更正	
事務費	
通信運搬費	
何月分小切手第何號何某渡金若干圓何科目ヲ以テ豫理ノ處何ニ因リ更正	0
定額戻入	
俸給	
奏任俸給	
何月分小切手第何號何官何級俸何某渡ノ内何月日何廳何官ニ轉任セシニ付何日分俸給過渡戻入	0
歳入納付	
雜給及雜費	
傭人料	
何月分小切手第何號何某渡ノ内何々ニ因リ誤拂ヲナシタルニ付何年度歳入トシテ納付	0
過年度支出	
旅費	
内國旅費	
何年度何月分小切手第何號何某渡旅費何々ニ因リ支給不足ノ分本年度ニ於テ支出ヲ要シタルモノナリ	0

○年度、所管廳、一般會計ト特別會計トノ更正ハ科目更正ノ例ニ依ル
○定額戻入、歳入納付ニシテ資金前渡又ハ概算拂ノ結果ニ因ルモノハ掲載ヲ要セス
○過年度支出ニシテ第一豫備金ヲ以テ補充シタルモノニ付テハ掲載ヲ要セス

第三號　一他省所管ニ屬スルモノニ在リテハ年月日ノ下ニ何省所管タルコトヲ記載スヘシ

大正何年度

（自至）何何年年月月日日分月分何年何

前渡資金出納計算書

證憑書何冊

何々〃

廳名

職官氏名印

年月日提出

支出額

摘要	本月領收額	前月迄領收額	本月還納額	差引計	備考
經常部					
何々（款）					
何々（項）					
何々（目）					
何々（目）					
計	0	0	0	0	
何々（款）					
何々（項）					
何々（目）					
何々（目）					
計	0	0	0	0	
經常部計	0	0	0	0	
臨時部（經常部ノ例ニ倣フ）					
總計	0	0	0	0	

内譯内達未到未書證收領額

摘要	前月末達未到額	本月到達額	差引計	本月末到達額	達未到合計額	備考
經常部						
何々（款）						
何々（項）						
何々（目）	0	0	0	0	0	
何々（目）	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	
何々（項）						
何々（目）	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	
何々（款）						
何々（項）						
何々（目）	0	0	0	0	0	
經常部計	0	0	0	0	0	
臨時部（經常部ノ例ニ倣フ）						
總計	0	0	0	0	0	

月拂本支額	月支額前迄拂	月收本回額	差引計	殘額	備考
0	0	0	0		○概算拂、科目更正等ノ内譯ハ第二號書式ヲ準用ス
0	0	0	0		○交替ノトキハ前任官吏ノ計算額ヲ併算スヘシ
0	0	0	0	0	○支拂證明ノ後誤拂過渡其ノ他ノ返戻金ヲ領收シタルトキハ本月回收額ノ區ニ掲記スヘシ
0	0	0	0		○繰替拂金額ハ之ヲ支拂額ニ併算シ當月内ニ資金ノ補塡ヲ受ケサルモノアルトキハ其ノ金額ヲ備考ニ附記スヘシ後月ニ至リ之レニ對スル資金ノ補塡ヲ受ケタルトキ亦同シ
0	0	0	0	0	

殘高	
手元保管高	0
日本銀行預託高	0
計	0

振出小切手支拂未濟額	
前月迄支拂未濟額	0
本月支拂濟額	0
差引殘高	0
本月支拂未濟額	0
計	0

第四號

大正何年度
何年何月分
國庫金運用計算書

證憑書何冊

職官氏名印
年月日提出

總括

摘要	前月ヨリ越	受入	拂出	現在	備考
	圓	圓	圓	圓	○科目及口座ノ振替ヲ爲シタルモノハ其ノ受拂共ニ振替科目及金額ヲ備考ニ附記スヘシ以下同シ
預金					
當座預金	0	0	0	0	
別口預金	0	0	0	0	
內指定預金	0	0	0	0	
內指定預金	0	0	0	0	
在外指定預金	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	
地金					
一般會計	0	0	0	0	
何特別會計	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	
有價證券					
（前例ニ倣フ）					

別口預金

摘要	前月ヨリ越	受入	拂出	現在	備考
	圓	圓	圓	圓	○受入拂出ノ事由ヲ備考ニ附記スヘシ其ノ預入條件ヲ變更シタルモノアルトキ亦同シ
一般會計					
金地金	0	0	0	0	
圓形銀塊	0	0	0	0	
何々	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	
預金部特別會計					
銀地金	0	0	0	0	
何々	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	
何特別會計					
（前例ニ倣フ）					
合計	0	0	0	0	

當座預金

摘要	前月ヨリ越	受入	拂出	現在	備考
	圓	圓	圓	圓	○大藏省證券類ノ發行又ハ一時借入ニ依リ受入ヲ爲シタルトキハ其ノ金額ヲ備考ニ附記スヘシ
一般會計					
有無利計	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	
預金部特別會計					
有無利計	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	
何特別會計					
（前例ニ倣フ）					
合計	0	0	0	0	

指在外

摘要	預入先	又ハ達報告號令番	行日執月	又ハ拂出綴受入	時價	利率	前月ヨリ越 原貨	前月ヨリ越 邦貨
				圓	圓			圓
英貨計								
一般會計								
普通勘定								
知期計				0	0		0	0
三日定計				0	0		0	0
爲替元勘定							0	0
何々				0	0		0	0
合計							0	0
預金部特別會計								
（前例ニ倣フ）								
何々								
（前例ニ倣フ）								
英貨合計							0	0
米貨（獨貨佛貨）								
何々								
（前例ニ倣フ）								
總計								0

內地指定預金

摘要	又ハ達報告號令番	行日執月	又ハ貸付ノ先預入	利率	月ヨリ前越	受入	拂出	在現	備考
					圓	圓	圓	圓	○預入又ハ貸付ノ事由ヲ備考ニ附記スヘシ其ノ條件ヲ變更シタルトキ亦同シ
一般會計									
何々（金種別及目的ノ）					0	0	0	0	
何々					0	0	0	0	
計									
預金部特別會計					0	0	0	0	
（前例ニ倣フ）									
何々									
（前例ニ倣フ）									
合計					0	0	0	0	

有及金地有保國內

摘要	事由	入ハ免許又ハ賣却	又ハ達報告號令番	行日執月	又ハ賣却拂入購ハ	時價	前月ヨリ越 又ハ日數ハ量面	前月ヨリ越 額價
					圓	圓		圓
計								
一般會計								
金地金								
金塊（九百位）					0	0	0	0
金塊（何々）					0	0	0	0
計							0	0
何々（何々）					0	0	0	0
合計							0	0
有價證券								
五分利附何回國債證書	應募ノ分償還ノ分				0	0	0	0
同何回公債證書					0	0	0	0
英國大藏省證券					0	0	0	0
何々							0	0
計								
何々（預金部特別會計）								
（前例ニ倣フ）								
合計								0

定預金

摘要	受入 原貨	受入 邦貨	拂出 原貨	拂出 邦貨	在現 原貨	在現 邦貨	額差 增	額差 減	備考
		圓		圓		圓	圓	圓	○受入拂出ノ事由ヲ備考ニ附記スヘシ其ノ預入條件ヲ變更シタルトキ亦同シ
一般會計									
地金									
金塊（九百位）									
金塊（何々）	0	0	0	0	0	0	0		
計	0	0	0	0	0	0		0	
何々（何々）	0	0	0	0	0	0	0		
合計	0	0	0	0	0	0	0		
有價證券									
五分利附何回國債證書	0	0	0	0	0	0	0		
同何回公債證書	0	0	0	0	0	0	0		
英國大藏省證券	0	0	0	0	0	0	0		
何々									
計	0	0	0	0	0	0	0	0	
何々（預金部特別會計）									
（前例ニ倣フ）									
合計		0		0		0	0	0	

第五號

大正何年度

何年何月分

簡易生命保險積立金運用計算書

證憑書何冊

何々〃

職名

職官氏名印

年月日提出

總括

摘要	越高	增	減	殘高	備考
	圓	圓	圓	圓	
現金	0	0	0	0	
放資金	0	0	0	0	
預金	0	0	0	0	
有價證券々	0	0	0	0	
何計	0	0	0	0	

現金受拂內譯

受入

摘要	金額	備考
	圓	
現金前月ヨリ越高	0	
何年度積立金受入	0	
支拂元受ヨリ返還	0	
放資金回收	0	
有價證券賣却	0	
有價證券償還	0	
有價證券當籤	0	
預金拂戻	0	
何々	0	
計	0	

拂出

摘要	金額	備考
	圓	
支拂元受ヘ補足	0	
支拂元受ヘ繰替	0	
放資金	0	
有價證券購入	0	
預金	0	
缺損	0	
何々	0	
現金翌月ヘ越高	0	越高中何圓ヘ日本銀行何圓ヘ出納官吏
計	0	

有價證券（外國債及地金及有價證券）

受入 額面又ハ數量	受入 價額	拂出 額面又ハ數量	拂出 價額	現在 額面又ハ數量	現在 價額	差益	差損	備考
	圓		圓		圓	圓	圓	
0	0	0	0	0	0	0	0	○預金部ノ國債整理基金及臨時國庫證券收入金特別會計ニ屬スル有價證券ノ受拂額ハ別紙ニ之ヲ調製シ本欄ニ各其ノ合計額ヲ揭載スルモ妨ナシ
0	0	0	0	0	0	0	0

預金内譯

摘要	利率	越高	預入高	拂戻高	殘高	運用收入	備考
		圓	圓	圓	圓	圓	
預金部へ	0	0	0	0	0	0	
何々銀行へ		0	0	0	0	0	
計		0	0	0	0	0	

放資金内譯

摘要	利率	越高	貸付高	返戻高	殘高	運用收入	備考
		圓	圓	圓	圓	圓	
保險契約者へ	0	0	0	0	0	0	○契約ノ要領、擔保品價格、運用收入計算ノ基礎竝其ノ歲入所屬年度ヲ備考ニ附記スヘシ ○預金内譯亦同シ ○保險契約者以外ノ分ニシテ前月ニ對シ異動ナキ分ハ何某外何名トシテ併記シ年度末ニ限リ一人別ニ揭記スヘシ ○預金内譯亦同シ ○缺損ト爲リタルモノアルトキハ返戻高ノ次ニ缺損高ノ區ヲ設ケ記載スヘシ預金内譯亦同シ
何某へ							
計		0	0	0	0	0	

有價證券内譯

摘要	利率	越高 額面	越高 價額	購入 額面	購入 價額	賣却 額面	賣却 價額	償還 額面	償還 價額	何々 額面	何々 價額	殘高 額面	殘高 價額	運用收入 利子	運用收入 賣却益	運用收入 還入又ハ繰入	備考
		圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
何々證券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○賣却ノ分ハ其ノ價格ヲ備考ニ附記スヘシ ○殘高保管ノ方法、運用收入計算ノ基礎竝其ノ歲入所屬年度ヲ備考ニ附記スヘシ
何々證券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
何々證券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
何々證券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

第六號

大正何年度
何年何月分
國債增減計算書

證憑書何冊
何々〃

職官氏名印
出提日月年

種別	起債高 適用法條	起債高 額面金額	償還 方法	償還 本年額面金額
		圓		圓
五分利公債	何法第何條第何項	0	還買通賣	0
同 何々		0	却入買	0
計		0		0
第何回何年分利附英貨公債	何々	0	何々	0
同 何々		0	何々	0
計		0		0
臨時國庫證券	何々	0	何々	0
同 何々		0	何々	0
計		0		0
米穀證券	何々	0	何々	0
大藏省證券	何々	0	何々	0
同 何々		0	何々	0
計		0		0
鐵道事業費借入	何々	0	何々	0
同 何々		0	何々	0
計		0		0
一時借入	何々	0	何々	0
同 何々		0	何々	0
計		0		0
軍用手票	何々	0	何々	0
何々		0	何々	0
合計		0		0

第七號

大正何年度（自何年月日至何年月日）

收入金

現金出納計算書

證憑書何冊
何々〃

職官氏名印
出提日月年

還高 分度	既往年度分 額面金額	既往年度分 支出金額	備考
支出金額			
圓	圓	圓	
0	0	0	○起債償還以外ノ事由ニ依リ增減ヲ生シタルトキハ起債高又ハ償還高ニ區分揭記シ適用法條又ハ償還方法ノ區ニ其ノ事由ヲ記載スヘシ ○起債高ハ拂込濟、償還高ハ支拂濟ノ報告アリタルモノニ付之ヲ記載スヘシ
0	0	0	
0	0	0	
0	0	0

第八號

大正何年度（何年月分）（自何年月日至何年月日）

歲入歲出外

現金出納計算書

摘要	前年度拂込未濟額	本年度額收濟額	計	拂込濟額	拂込未濟額	備考
	圓	圓	圓	圓	圓	
一般會計						○前任官吏ヨリ引繼ヲ受ケタルモノアルトキハ本年度領收濟額ニ併算シ備考ニ其ノ金額事由ヲ附記スヘシ
何年度	0	0	0	0	0	
何年度	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	
何特別會計（一般會計ノ例ニ倣フ）						
合計	0	0	0	0	0	
拂込未濟額區分						
主任收入官吏官氏名					0	
某所分任收入官吏官氏名					0	
某所分任收入官吏官氏名					0	
計					0	

證憑書何冊

何々〃

廳名

職官氏名印

年月日提出

摘要	歲入歲出外現金	繰替拂資金	回金	何年度（前例ニ倣フ）回金	何年度資本勘定	何年度用品勘定	何年度收益勘定	何々	計	備考
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
金々	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
證得金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
保拾何	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

摘要	拂出高	歲入納付高	計	殘高 現金	殘高 預金部預入	殘高 計	備考	受領高	計	越高
	圓	圓	圓	圓	圓	圓		圓	圓	圓
金々	0	0	0	0	0	0		0	0	0
證得金	0	0	0	0	0	0		0	0	0
保拾何	0	0	0	0	0	0		0	0	0
計	0	0	0	0	0	0		0	0	0

第九號（甲）

大正何年度

何年何月分（自何年月日至何年月日）

繰替拂

現金出納計算書

摘要	受高	拂高	殘高	備考
	圓	圓	圓	
前月迄分	0	0		殘高
本月分	0	0		手元保管高 0
計	0	0	0	何々 0
日本銀行（支店ノ場所ヲ記入スヘシ）ヘ資金交付高				計 0
出納官吏				振出小切手支拂未濟額
前月迄分		0		前月迄支拂未濟額 0
本月分		0		本月支拂濟額 0
計		0		差引殘高 0
債主				本月支拂未濟額 0
前月迄分		0		計 0
本月分		0		
計		0		
合計		0		

○本月分受拂高ニシテ內譯揭記ノ金額ト符合セサルモノアルトキハ備考ニ其ノ金額事由ヲ附記スヘシ

○他ノ出納官吏ヘ送金シ又ハ送金ヲ受ケタルトキハ其ノ氏名及金額ヲ備考ニ附記スヘシ

證憑書何冊

何々〃

鐵道官署名

職官氏名印

年月日提出

內譯

摘要	受高 本月分	受高 前月迄	受高 計	拂高 本月分	拂高 前月迄	拂高 計	殘高	備考
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
何年度資本勘定	0	0	0	0	0	0		
何年度用品勘定	0	0	0	0	0	0		
何年度收益勘定	0	0	0	0	0	0		
計	0	0	0	0	0	0		
何年度（前例ニ倣フ）回金	0	0	0	0	0	0		
繰替拂資金	0	0	0	0	0	0		
歲入歲出外現金	0	0	0	0	0	0		
何々	0	0	0	0	0	0		
合計	0	0	0	0	0	0	0	

○左記事項ハ各勘定別ニ備考ニ附記スヘシ但シ事ノ複雜ナルモノハ仕譯書ヲ添附スヘシ

一　受高ハ歲入金、返納金、回收金、戻入金等事項ノ異ナル毎ニ其ノ金額

二　拂高ハ歲出金、歲入ニ拂込金等事項ノ異ナル毎ニ其ノ金額

三　科目更正ヲ爲シタルモノアルトキハ繰替拂ヲ爲シタル月竝金額

○回金、繰替拂資金、歲入歲出外現金及官吏遺族扶助法納金ハ三月三十一日ニテ打切リ受高ヨリ拂高ヲ差引キ受高多キトキハ其ノ差額ヲ四月分計算書中受高本月ノ區ニ又拂高多キトキハ其ノ差額ヲ拂高本月ノ區ニ揭載シ其ノ金額ヲ備考ニ附記スヘシ

○舊年度ノ出納ヲ了シタルトキハ受高ヨリ拂高ヲ差引キ受高多キトキハ其ノ差額ヲ翌月分計算書中回金受高本月ノ區ニ拂高多キトキハ拂高本月ノ區ニ揭載シ其ノ金額ヲ備考ニ附記スヘシ

○日本銀行ニ回金ヲ請求シ當月中ニ領收證書到達セサルモノアルトキハ出納官吏毎ニ其ノ氏名及金額ヲ備考ニ附記スヘシ

第九號（乙）

大正何年度（自何年月日至何年月日）

繰替拂

現金出納計算書

證憑書何冊

何々〃

逓信官署名

職官氏名印

年月日提出

摘要	受高	摘要	拂高	備考
	圓		圓	
過超金受領高	0	資金交付高	0	
切手貯金受代金高	0	日本銀行歳入拂込高	0	
何々	0	何々	0	
越 計高	0	殘 計高	0	
合計	0	合計	0	

額濟込拂ニ行銀本日金入歳

摘要	越高	收領高	計	拂込高	殘高	備考
	圓	圓	圓	圓	圓	
逓信省所屬歳入金						○振替計算ヲ以テ整理シタルモノアルトキハ領收高拂込高ノ區ヲ現金及振替ニ區分スヘシ
何年度	0	0	0	0	0	○並貨受拂貨幣換算差減金等ノ差繰整理ヲ爲シタルモノアルトキハ拂込高ノ次ニ相當區ヲ設クヘシ
何年度	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	
何省所屬歳入金						
何年度	0	0	0	0	0	
何年度	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	
何特別會計歳入金						
（前例ニ倣フ）						
總計	0	0	0	0	0	

受高	摘要	拂高	備考
圓		圓	
0	越高	0	○分任出納官吏又ハ出納員ハ本書式ニ依ルヘシ
0	金	0	
0	金々	0	
0	過超	0	
0	何	0	
0	計	0	
0	金	0	
0	替爲拂	0	
0	貯爲拂	0	
0	金々	0	
0	庫	0	
0	何	0	
0	高	0	
0	越	0	
0	計	0	
0	合	0	
0	年度ヨリ前年度ヘ越	0	

越高區分
分任出納官吏某
何圓
出納員某何圓

第十號

大正何年度（自何年月日至何年月日）

物品出納計算書

證憑書何冊

何々〃

廳名

職官氏名印

年月日提出

一各地送達中ノモノアルトキハ其ノ數量價額（一般會計ニ在リテハ價額ヲ要セス）ヲ備考ニ附記スヘシ

摘要	受入 越高	受入 買入	受入 何々	受入 計	拂 消耗	拂 賣拂
單位						
備品						
何々	0	0	0	0		0
何々	0	0	0	0		0
消耗品						
何々	0	0	0	0	0	0
何々	0	0	0	0	0	0
醫療用機械						
何々	0	0	0	0		0
何々	0	0	0	0		0
何々						
何々	0	0	0	0	0	0
何	0	0	0	0	0	0

之受

摘要	越高 數量	越高 價額	買入 數量	買入 價額	生産（殖）數量	生産（殖）價額	保管轉換 數量	保管轉換 價額
據置運轉資本之部								
材料素品								
金屬								
何々	0	0	0	0	0	0	0	0
何々	0	0	0	0	0	0	0	0
價額計		0		0		0		0
生産品								
何々								
何々	0	0			0	0	0	0
何々	0	0			0	0		
價額計		0				0		0
價額合計		0		0		0		0
固定資本之部（據置運轉資本ノ例ニ倣フ）								
資本外之部（據置運轉資本ノ例ニ倣フ）								
價額總計		0		0		0		0

出 失亡毀損	出 何々	出 計	現在 供用	現在 在庫	現在 何々	現在 計	備考
0	0	0	0	0	0	0	○普通廳用品ニ在リテハ受入拂出現在ノ部ヲ受拂殘ノ三區ト爲シ其ノ細區書ヲ省略スルコトヲ得
0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0		0	0	0	
0	0	0		0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	

未定品位拂ヘ既定品位部

摘要	受入 越高 数量	受入 越高 価額	受入 受入 数量	受入 受入 価額	受入 計 数量	受入 計 価額	拂 既定品位 原量	拂 既定品位 純金
	貫	圓	貫	圓	貫	圓	貫	貫
金地金(全量)	0	0	0	0	0	0	0	△ 0
銀地金(全量)	0	0	0	0	0	0	0	△ 0
金銀混合地金(全量)	0	0	0	0	0	0	0	△ 0
純金銀計								△ 0

既定品位部

摘要	受入 越高 数量	受入 越高 価額	受入 受入 数量	受入 受入 価額	受入 計 数量	受入 計 価額
	貫		貫		貫	
金地金(純量)	0		0		0	
含有銅	0		0		0	
金地金(九百位量)	0		0		0	
銀地金(純量)	0		0		0	

拂之部

摘要	何々 数量	何々 価額	計 数量	計 価額	消耗 数量	消耗 価額	生産ノ爲 数量	生産ノ爲 価額	賣拂 數量	賣拂 價額	賣拂 計	亡失毀損 数量	亡失毀損 価額	保管轉換 数量	保管轉換 価額	過不足改定又ハ過誤差損 数量	過不足改定又ハ過誤差損 価額	何々 数量	何々 価額
		圓		圓		圓		圓		圓	圓		圓		圓		圓		圓
	△ 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 0	0	0	0
	△ 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 0	0	0	0
		0		0		0		0		0	0		0		0		0		0
	△ 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 0	0	0	0
	△ 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 0	0	0	0
		0		0		0		0		0	0		0		0		0		0
		0		0		0		0		0	0		0		0		0		0
		0		0		0		0		0	0		0		0		0		0

現在之部

摘要	計 数量	計 価額	供用 数量	供用 価額	在庫 数量	在庫 価額	何々 数量	何々 価額	計 数量	計 価額	備考
		圓		圓		圓		圓		圓	
	0	0			0	0	0	0	0	0	○作業、鐵道、海軍工廠資金所屬、其ノ他事業用物品ノ類ハ本書式ニ依ルヘシ
	0	0			0	0	0	0	0	0	
		0			0		0		0		
	0				0		0		0		
	0	0			0	0	0	0	0	0	

印紙收入印紙受入拂賣

摘要	受入 越高	受入 元受	受入 返納	受入 買戻	受入 交換	受入 何々	受入 計	拂賣 各廳渡	拂賣 定價
	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚
印紙									
收入印紙									
何々	0	0	0	0	0	0	0	0	0
何々	0	0	0	0	0	0	0	0	0
價額計									
郵便切手類									
郵便切手									
何々	0	0	0	0	0	0	0	0	0
何々	0	0	0	0	0	0	0	0	0
價額計									
何々									
何々	0	0	0	0	0	0	0	0	0
何々	0	0	0	0	0	0	0	0	0
價額計									
價額合計									

現在部

摘要	渡 何分 数量	渡 價額	交換	亡失	燒却	返納	何々	計	完全	毀損	計	備考
	枚	圓	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0										
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0										
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0										
		0										

預リ地金

摘要	出 移換 純銀 数量	出 返却	出 鎔解減	出 計	現在	備考
	貫	貫	貫	貫	貫	
	△ 0	0	0	0	0	
	△ 0	0	0	0	0	
	△ 0	0	0	0	0	
	△ 0					

資本地金(資)

摘要	受入 越高 量目	受入 越高 價額	受入 受入 量目	受入 受入 價額	受入 差增 量目	受入 差增 價額	受入 計 量目	受入 計 價額	地 量目
	貫	圓	貫	圓	貫	圓	貫	圓	貫
金地金(純量)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金地金(九位量)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
銀地金(純量)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
銀地金(入位量)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
銅地金(純量)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
參和銅(預リ地金九百位ノ參和々)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
何々	0	0	0	0	0	0	0	0	0
價額計		0		0		0		0	

預リ地金

摘要	拂出 地金	拂出 移換	拂出 計	現在	備考
	貫	貫	貫	貫	
	0	0	0	0	
	0	0	0	0	
	0	0	0	0	
	0	0	0	0	

第十一號

（本外地金）

大正何年度（自何年月至何年月）

國有財産

増減計算書

摘要	拂出 移換 金額	拂出 移換 量目	拂出 保管轉換 金額	拂出 保管轉換 量目	拂出 差減 金額	拂出 差減 量目	拂出 計 金額	拂出 計 量目	現在 金額	現在 量目	備考
	圓	貨	圓	貨	圓	貨	圓	貨	圓	貨	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

證憑書何冊

何々〃

廳名

職官氏名印

年月日提出

第十二號

大正何年度

國庫金出納及政府有價證券受拂總計算書

日本銀行總裁氏名印

年月日提出

公用財産（何々）

摘要	異動年月	單位種別	増 數量	増 價額	減 數量	減 價額	備考
				圓		圓	
何々（用途別名稱）							○國有財産法施行初年度ノ第一回分ニ在リテハ同法施行ノ日ニ於ケル現在高ヲ前回報告現在高トシテ記載スヘシ
何々（所在地名）							○○公共用財産ニ付テハ前回報告現在高及差引現在高ノ記入ヲ省クヘシ
敷地			0	0			○○價格ヲ改定シタルモノアルトキハ備考ニ其ノ金額事由ヲ附記スヘシ
建物							○前各項ノ外本計算書ノ記載例ハ大正十一年大藏省令第十四號國有財産法施行規則第三號樣式國有財産増減報告書ノ例ニ準ス
事務所			0	0			
何々			0	0			
工作物（何々）			0	0			
敷地					0	0	
何々					0	0	
計				0		0	
何々（所在地名）							
（前例ニ倣フ）							
合計				0		0	
何々（用途別名稱）							
（前例ニ倣フ）							
總計				0		0	

前回報告現在高	差引	現在高
		0

國庫金　振替金受入未決算高

摘要	越	受	拂	殘	備考
	圓	圓	圓	圓	
何年度各會計勘定					
一般會計	0	0	0	0	
國債整理基金	0	0	0	0	
專賣局々計	0	0	0	0	
何々計	0	0	0	0	
特別勘定					
大藏省證券發行高	0	0	0	0	
預金部預託金	0	0	0	0	
振替貯金	0	0	0	0	
隔地拂金々計	0	0	0	0	
何々計	0	0	0	0	
現在高勘定					
當座預金	0	0	0	0	
別口預金	0	0	0	0	
指定預金	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	

受入統轄店名	拂出統轄店名	金額	備考
		圓	
本店	何地支店	0	
何地支店	何地代理店	0	
何々	何々	0	
	計	0	

國庫金　振替金拂出未決算高

拂出統轄店名	受入統轄店名	金額	備考
		圓	
本店	何地支店	0	
何地支店	何地代理店	0	
何々	何々	0	
	計	0	

有價證券

摘要	越	受	拂	殘	備考
	圓	圓	圓	圓	
政府所有					
公債證書	0	0	0	0	
株券	0	0	0	0	
證券	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	
政府保管					
公債證書	0	0	0	0	
何々	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	

第十三號

大正何年度

何年何月分

日本銀行本店

又ハ日本銀行何地支店

又ハ日本銀行何地統轄代理店

國庫金出納及政府有價證券受拂計算書

日本銀行總裁氏名印

年月日提出

又ハ日本銀行何地支店（日本銀行何地統轄代理店）印

年月日提出

日本銀行總裁氏名印

年月日提出

何會計何年度

所管廳	取扱廳	本月分 歲入	本月分 歲入外	前月迄 歲入	前月迄 歲入外	計 歲入	計 歲入外	備考
		圓	圓	圓	圓	圓	圓	
何省	何廳	0		0		0		何年度所屬
何省	何廳	0		0		0		
〃	何々		0		0		0	
	計	0	0	0	0	0	0	

何年度

官出支	取扱店	所管廳	取扱廳	支拂高 本月分 歲出	本月分 歲出外	前月迄 歲出	前月迄 歲出外	計 歲出	計 歲出外	拂濟支未高	備考
				圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
職名				0		0		0		0	
職名				0		0		0			
何々					0		0		0		
計				0	0	0	0	0	0	0	

何會計

取扱店	所管廳	取扱廳	官出支	支拂元受高 本月分 歲入	本月分 歲入外	前月迄 歲入	前月迄 歲入外	計 歲入	計 歲入外	備考
				圓	圓	圓	圓	圓	圓	
本店又ハ支店 何地支店代理 何地代理店	何省	何廳	職名	0		0		0		
	何省	何廳	職名	0		0		0		
			計	0	0	0	0	0	0	

何年度

摘要	受 本月分	受 前月迄	受 計	拂 本月分	拂 前月迄	拂 計	殘	備考
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
前年度ヨリ越高		0	0				0	○種目毎ニ前年度ヨリ繰越整理ヲ爲スモノハ四月分計算書ニ於テ種目毎ニ前月迄ノ區ニ其ノ繰越高ヲ記載シ種目毎ニ繰越ヲ爲ササルモノハ其ノ受拂差引高ヲ前年度ヨリ越高ニ記載スヘシ
何年度各會計勘定								○七月分以降ノ計算書ニハ前年度所屬各會計勘定ノ殘高ヲ前年度ヨリ越高ニ併算スヘシ
一般會計	0	0	0	0	0	0	0	
國債整理基金	0	0	0	0	0	0	0	
臨時國庫證券收入金	0	0	0	0	0	0	0	
專賣局	0	0	0	0	0	0	0	
朝鮮總督府	0	0	0	0	0	0	0	
臨時軍事費	0	0	0	0	0	0	0	
何々	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	0	
特別勘定								
小額紙幣發行高	0	0	0	0	0	0	0	
軍票發行高	0	0	0	0	0	0	0	
大藏省證券發行高	0	0	0	0	0	0	0	
借入金	0	0	0	0	0	0	0	
預託金	0	0	0	0	0	0	0	
隔地拂資金	0	0	0	0	0	0	0	
國債元利拂資金	0	0	0	0	0	0	0	
國債募集金	0	0	0	0	0	0	0	
歲出支拂未濟繰越金	0	0	0	0	0	0	0	
郵便局超過金	0	0	0	0	0	0	0	
振替金	0	0	0	0	0	0	0	
郵便局資金追次合計	0	0	0	0	0	0	0	

何會計

摘要	受 本月分	受 前月迄	受 計	拂 本月分	拂 前月迄	拂 計	殘	備考
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
前年度繰越合計	0	0	0	0	0	0	0	○現在高勘定ハ本店ノ計算書ニ附スヘシ
造幣局	0	0	0	0	0	0	0	
小額紙幣引換準備	0	0	0	0	0	0	0	
國庫繰替金	0	0	0	0	0	0	0	
何々	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	
現在高勘定								
當座預金	0	0	0	0	0	0	0	
別口預金	0	0	0	0	0	0	0	
指定預金								
內地指定預金	0	0	0	0	0	0	0	
在外指定預金	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	

何會計

備考	拂受金資拂地隔內ノ高拂支 受 本月分	受 前月迄	受 計	拂 本月分	拂 前月迄	拂 計	未濟高	備考
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
○七月以降ノ計算書ニ對シ前年度所屬ノ歲出ニ付本欄ヲ附スル場合ニ於テハ支拂高、支拂未濟高及備考ノ區ヲ省略スルコトヲ得	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	

何特別會計歲出支拂元金

支拂高 本月分歲出	支拂高 本月分歲出外	支拂高 前月迄歲出	支拂高 前月迄歲出外	支拂高 計歲出	支拂高 計歲出外	殘高	拂濟支未高	備考
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
0	0	0	0	0	0	0	0	○七月以降ノ計算書ニ對シ前年度所屬ノ歲出ニ付本欄ヲ附スル場合ニ於テハ支拂元受高、支拂高、殘高、支拂未濟高及備考ノ區ヲ省略スルコトヲ得
0	0	0	0	0	0	0	0	○本月分歲入外及歲出外ニ付テハ其ノ事由ヲ備考ニ附記スヘシ
0	0	0	0	0	0	0	0	

拂受金資局便郵ノ内隔地拂元金

拂高 受 本月分	拂高 受 前月迄	拂高 受 計	拂高 拂 本月分	拂高 拂 前月迄	拂高 拂 計	未拂高	備考
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	

預金部

取扱店	預金種別	廳名	越	受	拂 直拂	拂 振替拂	拂 計	殘	備考
	預金		圓	圓	圓	圓	圓	圓	
本店	郵便貯金	貯金局	0	0	0	0	0	0	
何地支店	官廳積立金	何々	0	0	0		0	0	
何地代理店	大學資金	何學校	0	0	0		0	0	
〃	學校及圖書館資金	何廳	0	0	0		0	0	
〃	鐵道特別會計預金	〃	0	0	0		0	0	
〃	臨時國庫證券收入金	何廳	0	0	0		0	0	
〃	貯蓄債券	〃	0	0	0	0	0	0	
〃	保管金	何廳	0	0	0		0	0	
〃	供託金	〃	0	0	0	0	0	0	
〃	何々	何廳	0	0	0		0	0	
		計	0	0	0	0	0	0	
	他ノ其用運								
本店	運用金		△0	0	0		0	△0	
〃	支拂元積立金		0	0	0		0	0	
〃	損益金		0	0	0		0	0	
		計	0	0	0	0	0	0	
		合計	0	0	0	0	0	0	

預託

取扱店	廳名	出納官吏 職名	出納官吏 氏名	越	受
				圓	圓
本店又ハ何地支店	何廳	資金前渡官吏	氏名	0	0
〃	何廳	繰替拂出納官吏	氏名	0	0
何地代理店	何廳	何々	氏名	0	0
			計	0	0

歲出支拂未濟繰越金

取扱店	年度	所管廳	官職名	越	受	拂	殘	備考
				圓	圓	圓	圓	
八店及支店地	何年度	何省	職名	0	0	0	0	内ノ圓ハ本計ニ入レ他ハ何々ノ各計ヘ移ス
〃	何々年度	何省	職名	0	0	0	0	
何地代理店	何々年度	何省	職名	0	0	0	0	
			計	0	0	0	0	

拂元金

拂 直拂	拂 振替拂	拂 計	殘	備考
圓	圓	圓	圓	
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	

郵便局過超金（郵便局資金）

摘要	前月ヨリ越代金交付（領収）未濟額	各取扱店ヨリ報告額	代金交付（領収）額	代金交付（領収）未濟額	備考
	圓	圓	圓	圓	
何年何月分	0	0	0	0	○本欄ハ本店及京城、臺北、大連各代理店ノ計算書ニ附スヘシ
何年何月分	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	

郵便局過超金受金（郵便局資金拂出）

取扱店	郵便局	金額	備考
		圓	
本店又ハ何地支店	何地郵便局	0	
何地代理店	何々	0	
	計	0	

當座預金

摘要	越	受	拂	殘	備考
	圓	圓	圓	圓	
一般會計					
無利子	0	0	0	0	
有利子	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	
預金部特別會計					
無利子	0	0	0	0	
有利子	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	
何特別會計					
無利子	0	0	0	0	
有利子	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	

○本欄及別口預金、指定預金ノ各欄ハ本店ノ調製スル計算書ニ附スヘシ

別口預金

摘要	越	受	拂	殘	備考
	圓	圓	圓	圓	
金地金（銀地金）					
一般會計	0	0	0	0	
何特別會計	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	
大正七年軍用手票	0	0	0	0	
軍用切符	0	0	0	0	
何々					
（前例ニ倣フ）					
合計	0	0	0	0	

內地指定預金

摘要	金種別	越	受	拂	殘	備考
		圓	圓	圓	圓	
一般會計						
何銀行ヘ預入	銀地金	0	0	0	0	
何會社ヘ貸付	何々	0	0	0	0	
何々	何々	0	0	0	0	
計		0	0	0	0	
何特別會計						
何會社ヘ貸付	何々	0	0	0	0	
何々	何々	0	0	0	0	
計		0	0	0	0	
合計		0	0	0	0	

在外指定預金

摘要	越 原貨	越 邦貨	受 原貨	受 邦貨
	圓		圓	
英貨				
一般會計				
普通勘定	0	0	0	0
爲替元勘定	0	0	0	0
同送地金勘定	0	0	0	0
出納官吏預託金勘定	0	0	0	0
短期證券勘定	0	0	0	0
國債元利拂勘定	0	0	0	0
何々	0	0	0	0
計	0	0	0	0
何特別會計				
普通勘定	0	0	0	0
爲替元勘定	0	0	0	0
同送地金勘定	0	0	0	0
何々	0	0	0	0
計	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
米貨				
一般會計				
（前例ニ倣フ）				
總計		0		0

振替金受入

拂出統轄店	摘要	金額	備考
		圓	
本店	外國送金	0	
何地代理店	〃	0	
何地支店	計	0	
	何々		
	（前例ニ倣フ）		
	合計	0	

振替金拂出

受入統轄店	摘要	金額	備考
		圓	
何地支店	購入公債代金	0	
何地代理店	〃	0	
	計	0	
何地支店	何々		
	（前例ニ倣フ）		
	合計	0	

大藏省證券、借入金、國庫餘裕金繰替、何々

摘要	越	受	拂	殘	備考
	圓	圓	圓	圓	
前年度大藏省證券					
一般會計	0	0	0	0	
何特別會計	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	
何年度借入金					
一般會計	0	0	0	0	借入ハ何銀行又ハ何會社ヨリ何年何分利何厘ノ利息ヲ附シ何々ヘ何圓返濟ノ約束ヲ以テ借入ルモノトス
何特別會計	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	
國庫餘裕金繰替					
何々ヘ貸	△ 0	0	0	△ 0	
何々ヘ貸	△ 0	0	0	△ 0	
計	0	0	0	△ 0	
何々					
（前例ニ倣フ）					

小額紙幣引換準備

摘要	越 原貨	越 邦貨	受 原貨	受 邦貨	拂 原貨	拂 邦貨	殘 原貨	殘 邦貨	備考
	圓		圓		圓		圓		
日本銀行兌換券		0		0		0		0	○金塊及銀塊ハ其ノ數量ヲ原貨ノ區ニ記載スヘシ
金塊	0	0	0	0	0	0	0	0	
銀塊	0	0	0	0	0	0	0	0	
貨幣拂渡證書		0		0		0		0	
補助貨幣		0		0		0		0	
英米佛何貨幣	0	0	0	0	0	0	0	0	
英米佛何貨幣	0	0	0	0	0	0	0	0	
英米佛何貨幣々々計	0	0	0	0	0	0	0	0	

有價證券預定預金

摘要	受 本月分 枚數	受 本月分 券面額	受 前月迄 枚數	受 前月迄 券面額	受 計 枚數	受 計 券面額	拂 本月分 枚數	拂 本月分 券面額	拂 前月迄 枚數	拂 前月迄 券面額	拂 計 枚數	拂 計 券面額	殘 枚數	殘 券面額	備考
		圓		圓		圓		圓		圓		圓		圓	
政府所有何會計															
公債券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
株券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
證券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
預金部															
公債券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
株券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
證券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
何々	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
何々	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
政府保管															
保管															
公債券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
株券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
何々	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
供託々															
何預金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
購入（前例ニ倣フ）															
總計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

受高ノ内何圓ハ何々ニ依リ何々ヨリ受

拂高ノ内何圓ハ何々ニ振替

英國大藏省證券何圓何々何圓

○四月分計算書ニ於テ前年度ヨリ越高ハ受高前月迄ノ區ニ記載スヘシ

第十四號

大正何年度

何年何月分

國債ノ發行ニ依ル收入金受拂明細書

日本銀行總裁氏名印

年月日提出

募集金

摘要	受 本月分	受 前月迄	受 計	拂 本月分	拂 前月迄	拂 計	殘	備考
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
（何公債）何年發行何公債（第何回何公債）								本月分受高ノ内何圓ハ應募保證金ヨリ振替
第何期	0	0	0	0	0	0	0	何々
第何期	0	0	0	0	0	0	0	
延滯拂込金利子	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	0	
何證券								
第何期	0	0	0	0	0	0	0	
第何期	0	0	0	0	0	0	0	
何々	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	

○同種ノ公債ト雖募集ノ時期方法等異ナルモノハ別廉ニ記載スヘシ應募保證金ノ欄亦同シ

○本月分受高及拂高ハ當月ノ日本銀行本店ニ於テ處理シタル金額ヲ又前年度末ニ於ケル殘高ハ年度首明細書ノ受高前月迄ノ區ニ揭記スヘシ應募保證金ノ欄亦同シ

應募保證金

摘要	受 本月分	受 前月迄	受 計	拂 本月分	拂 前月迄	拂 計	殘	備考
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
（何公債）何年發行何公債（第何回何公債）								○拂ノ部本月分ニ付テハ拂込金ニ振替、還付及時效完成ノ爲歲入ニ納付等ニ區分シ其ノ金額ヲ備考ニ附記スヘシ
何證券	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	0	

第十五號

大正何年度

何年何月分

國債應募拂込金延滯ニ因リ失效スル書類明細書

日本銀行總裁氏名印

年月日提出

第十六號

大正何年度

何分何年何月

國債元利拂資金受拂明細書

日本銀行總裁氏名　印

提出年月日

摘要	額面	拂込ムヘキ額	拂込額	拂未込額	備考
	圓	圓	圓	圓	○同種ノ公債ト雖募集ノ時期方法等ヲ異ニスルモノハ別廉ニ記載スヘシ
（何公債）第何回何年發行何公債 第何回募拂込延滯ノ爲失效	0	0	0	0	
申込價格何程ノ分	0	0	0	0	
申込價格何程ノ分	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	
何證券 第何回募拂込延滯ノ爲失效					
申込價格何程ノ分	0	0	0	0	
申込價格何程ノ分	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	

摘要	受 本月分	受 前月迄	受 本月還納額	受 差引計	拂 本月分	拂 前月迄	拂 本月回收額	拂 差引計	殘	備考
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	○本月分拂高ハ當月日本銀行本店ニ於テ處理シタル金額ヲ揭記スヘシ ○年度、科目其ノ他ノ更正ヲ爲シタルトキハ備考ニ金額事由ヲ附記スヘシ
何年度										
經常部										
何々（款）										
何々（項）										
何々（目）										
何年何月分					0			0		
何年何月分					0			0		
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
何々（日）										
（前例ニ倣フ）										
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

國債元金拂濟支拂未濟額ノ內否內譯

摘要	期成完拂時效	額面確定拂支	額濟拂支	減增差却銷	因ニ成完效時ル支拂不要額	額濟未拂支	備考
		圓	圓	圓	圓	圓	○本欄ハ各年度所屬ノ支拂證明完結ノ月ニ限リ之ヲ揭載スヘシ ○支拂確定額ノ區ニハ既往年度ニ於ケル支拂未濟額及本年度中支拂フヘキ額ヲ揭記スヘシ
何公債							
何年月日當籤償還	何年月日	0	0		0	0	
何年月日償還	何年月日	0	0		0	0	
何年月買入銷却		0	0	0			
計		0	0	0	0	0	
何證券							
何年月日償還	何年月日	0	0		0	0	
合計		0	0	0	0	0	

第十七號

大正何年度

日本銀行本店

又ハ日本銀行何地支店

又ハ日本銀行何地統轄代理店

歲入金歲出金出納明細書

日本銀行總裁氏名　印

提出年月日

又ハ日本銀行何地支店（日本銀行何地統轄代理店）印

提出年月日

日本銀行總裁氏名　印

提出年月日

證憑書未提出高

摘要	前月迄未提出高	本月支拂高	本月提出高	本月末未提出高	備考
	圓	圓	圓	圓	
何々（款）					
何々（項）					
何々（目）					
何年何月分	0	0	0	0	
何年何月分	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	
何々（目）					
（前例ニ倣フ）					
合計	0	0	0	0	

何年度歲出金（何年度何會計歲出金）

備考	計	拂濟支未額	支拂額 相當年度	支拂額 年度後	部分	款	項	出納官吏 所管廳	出納官吏 支官
○年度開始前ノ歲出ハ相當年度ノ區ニ併算シ備考ニ其ノ金額ヲ附記スヘシ	圓	圓	圓	圓					
	0	0	0	0		何々	何々	何省	職名
	0	0	0	0			何々		
	0	0	0	0			何々		
	0	0	0	0			何々		
	0	0	0	0			計		
	0	0	0	0	臨時	何々	何合計	何省	職名

何年度歲入金（何年度何會計歲入金）

備考	計	收入額 後年度	收入額 相當年度	取扱廳	所管廳
○年度開始前ノ歲入ハ相當年度ノ區ニ併算シ備考ニ其ノ金額ヲ附記スヘシ	圓	圓	圓		
	0	0	0	何廳	何省
	0	0	0	何廳	何省
	0	0	0	計	

第十八號

大正何年度（自何年何月至何年何月）

收支計算書

證憑書　何冊

何々　〃

廳名（何々）

職官（何々）氏名　印

年月日提出

收入

摘要	調定濟額	收入濟額	不納缺損額	收入未濟額	備考
	圓	圓	圓	圓	
經常部					
何々（款）					
何々（項）					
何々（目）	0	0	0	0	
何々（目）	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	
何々（款）					
何々（項）					
何々（目）	0	0	0	0	
經常部計	0	0	0	0	
臨時部					
（前例ニ倣フ）					
總計	0	0	0	0	

支出

摘要	豫算額 本年度分	豫算額 前年度繰越額	豫算額 計	出支額	翌年度繰越額	不用額	備考
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
經常部							○關東州地方費、朝鮮地方費、臺灣地方稅、沖繩縣地方費ノ類ハ本書式ニ依ルヘシ
何々（款）							○土木、道路、砂防、水道、港灣各補助費ノ類ハ本書式ニ準シ收入ノ部ニ於テ摘要ヲ前年度繰越金、國庫補助金、地方收入、府縣（市町村）債等ニ區分スヘシ
何々（項）							○前項ノ證明ニ付テハ國庫補助金ハ受ケタル年月日、數年ニ跨リ竣功スヘキ事業及繼續費ハ其ノ豫算總額竝ニ前年度迄ノ支出額ヲ備考ニ附記スヘシ
何々（目）	0	0	0	0	0	0	
何々（目）	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	
何々（款）							
何々（項）							
何々（目）	0	0	0	0	0	0	
經常部計	0	0	0	0	0	0	
臨時部							
（前例ニ倣フ）							
總計	0	0	0	0	0	0	

借方

科目	期末現計	分期當	前期越高
	圓	圓	圓
資本勘定			
株金拂込未濟資本金勘定	0	0	0
社債金勘定	0	0	0
株金拂込未濟資本金勘定	0	0	0
社債償還

收入

摘要	金額	備考
定勘資本	圓	○前年度ニ比シ著シキ增減アルモノハ其ノ事由ヲ備考ニ附記スヘシ
高々込拂金株何	0	○雜入又ハ雜費等ノ科目ヲ以テ集計記載スルモノアルトキハ其ノ主ナルモノ ノ種類及金額ヲ備考ニ附記スヘシ
計	0	○數區間ニ區分シテ整理スルトキハ區間毎ニ調製シ更ニ項ノ金額ニ付總括ヲ 附スヘシ、補助ヲ受クル區間ニ區間以上ナルトキハ地方鐵道補助法施行規 則第六條ノ規定ニ依リ通算スヘキ區間ニ付亦同シ
入收入賃々入賃々追次	0	○當期決算額ニ付テハ其ノ事由ヲ備考ニ附記スヘシ
勘定收運收運	0	○營業收入ヲ以テ新設改良工事費、借入金利子及社債差損金等ヲ支出シタル トキハ之ヲ營業費ニ計上セス欄外ニ記載スヘシ
益輸車客車物	0	
收運客旅何貨貨何	0	

支出

摘要	金額 前期	金額 當期	金額 計	備考
定勘資本	圓	圓	圓	○東洋拓殖株式會社株式會社朝鮮殖産銀行ハ本書式ニ依ルヘシ
定計葉費		0	0	
勘前		0	0	
益力督		0	0	
收動監		0	0	
何		0	0	
々額		0	0	
々費擔		0	0	
費分擔		0	0	
業費分		0	0	
聯營費		0	0	
關業費		0	0	
營聯業		0	0	
設關營		0	0	
事設營		0	0	
各建事		0	0	
計		0	0	
合計	0	0	0	

貸方

摘要	金額	備考
定勘資本	圓	○東洋拓殖株式會社株式會社朝鮮殖産銀行ハ本書式ニ依ルヘシ
定金々高	0	
勘越金々定	0	
主勘繰金々行	0	
期越金々發	0	
券勘證	0	
債算勘	0	
殖受金保	0	
拓券證	0	
洋債約	0	
決計	0	
資株資前何債東未假何保契何何何	0	
定勘收		
金息息入入計	0	
利利收	0	
給金金收	0	
付ヶ業	0	
補貨預事諸	0	
合計	0	

支出

摘要	金額 前期末	金額 當期	金額 計	備考
定勘資本	圓	圓	圓	○鐵道補助ハ本書式ニ依ルヘシ
費給費		0	0	
費地々取々々費		0	0	
額額計		0	0	
擔擔		0	0	
分分		0	0	
費費		0	0	
業聯		0	0	
關興		0	0	
營業		0	0	
設關		0	0	
事營		0	0	
各設		0	0	
建事		0	0	
定勘收				
費給々		0	0	
費存		0	0	
督事		0	0	
監保		0	0	
何修		0	0	
工何		0	0	
計		0	0	
追次				

收入

摘要	金額	備考
定勘資本	圓	○前年度ニ比シ著シキ增減アルモノハ其ノ事由ヲ備考ニ附記スヘシ
高々込拂金株何	0	○雜入又ハ雜費等ノ科目ヲ以テ集計記載スルモノアルトキハ其ノ主ナルモノ ノ種類及金額ヲ備考ニ附記スヘシ
計	0	○數區間ニ區分シテ整理スルトキハ區間毎ニ調製シ更ニ項ノ金額ニ付總括ヲ 附スヘシ、補助ヲ受クル區間ニ區間以上ナルトキハ地方鐵道補助法施行規 則第六條ノ規定ニ依リ通算スヘキ區間ニ付亦同シ
入收入賃々入賃々追次	0	○當期決算額ニ付テハ其ノ事由ヲ備考ニ附記スヘシ
勘定收運收運	0	○營業收入ヲ以テ新設改良工事費、借入金利子及社債差損金等ヲ支出シタル
益輸車客車物	0	トキハ之ヲ營業費ニ計上セス欄外ニ記載スヘシ
收運客旅何貨貨何	0	

支出

摘要	金額 前期末	金額 當期	金額 計	備考
定勘資本	圓	圓	圓	○鐵道補助ハ本書式ニ依ルヘシ
費給費		0	0	
費地々取々々費		0	0	
額額計		0	0	
擔擔		0	0	
分分		0	0	
費費		0	0	
業聯		0	0	
關興		0	0	
營業		0	0	
設關		0	0	
事營		0	0	
各設		0	0	
建事		0	0	
定勘收				
費給々		0	0	
費存		0	0	
督事		0	0	
監保		0	0	
何修		0	0	
工何		0	0	
計		0	0	
追次				

收入

摘要	金額	備考
定勘資本	圓	
計葉定	0	
收料々入	0	
入子々分擔	0	
益利分擔	0	
勘使收金	0	
收輛營業	0	
計合	0	
雜何聯		
關預		

支出

摘要	額	備考
高金金	圓	人于若者給受何
息々	0	
計	0	
金々越	0	○現業員共濟組合ノ類ハ本書式ニ依ルヘシ
與掛	0	
給ノ	0	
何何	0	
翌年度ヘ繰	0	
越與掛	0	
度給ノ	0	
年員外	0	
府業員	0	
前政現現	0	
利何	0	

○航路、航海、朝鮮ニ於ケル金融組合補助費ノ類ハ本書式ニ依ルヘシ

○債券ノ發行ニ對シ其ノ元利金ノ支拂ニ付政府ヨリ保證ヲ受ケタル團體ハ別ニ樣式ヲ定メタルモノヽ外本書式ニ依ルヘシ

○本計算書ニハ各期末現在高ニ對スル左ノ明細書ヲ添附スヘシ

一、債務勘定中債券發行高及借入金ニ對シテハ債券發行又ハ借入年月、政府ノ保證ヲ受ケタルモノト否トノ別、金額、利率、償還期限、擔保附ノモノハ其ノ種類、員數、見積價格、借入金ニ付テハ借入先ヲ記載シタル明細書

一、債權勘定中定期貸、保證附貸付並別段預ケ金ニ對シテハ貸付又ハ預入先、用途指定ノモノハ其ノ要領及前項ニ準シタル各事項ヲ記載シタル明細書

一、有價證券及所有物勘定ニ對シテハ其ノ名稱、種類員數及單價ヲ記載シタル明細書

一、假拂及假受金ニ對シテハ其ノ種類別明細書

一、損益勘定ニ對シテハ其ノ收入支出ニ付キ各科目ニ區分シタル明細書

借方				摘要	貸方		
計	分期當	高越期前			計	分期當	高越期前
四	四	四			四	四	四
0		0		勘定主株	0		0
				本金々計			
				資本金			
0		0		未済	0		0
				込			
				資拂何々			
				勘定債務			
0		0		高金々計	0		0
				行預發			
				期券			
				債定何々			
				勘定櫃債			
0		0		貸付々計	0		0
				附證			
				貸			
				定保何々			
0		0		々々計	0		0
				何何			
0	0	0		總計	0	0	0

時至急ヲ要スルトキハ各廳ノ請求ニ依リ營業時間外ト雖之カ取扱ヲ爲スヘシ

第十二條　日本銀行ノ取扱フ國庫金ニシテ各店間ニ振替受拂ヲ要スルモノノ取扱手續ニ付テハ本令ニ定ムルモノヲ除クノ外日本銀行大藏大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ムヘシ

第二章　歲入金

第十三條　日本銀行（本店、支店又ハ代理店ヲ謂フ以下同シ）納入ヨリ納稅告知書、納入告知書又ハ納付書ヲ添ヘ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ之ヲ領收シ領收證書ヲ納入者ニ交付シ領收濟通知書ハ之ヲ歲入徵收官ニ送付スヘシ

第十四條　日本銀行出納官吏又ハ收納事務ヲ取扱フ市町村、銀行、會社其ノ他ノ者ヨリ現金拂込書、送付書、所得稅拂込書又ハ通行稅拂込書ヲ添ヘ現金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ之ヲ領收シ領收證書ヲ拂込人ニ交付シ領收濟通知書ハ之ヲ歲入徵收官ニ送付スヘシ

第十五條　日本銀行納入又ハ出納官吏ヨリ支拂元受高ヲ要スル特別會計ノ歲入金ノ納付又ハ拂込ヲ受ケタルトキハ之ヲ領收シ領收證書ヲ納入又ハ出納官吏ニ交付スヘシ

日本銀行前項ノ場合ニ於テ支拂元受高ヲ要スル特別會計ノ支出官ヨリ支拂元受高ニ組入ヲ爲スヘキ旨ノ請求ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十四條　日本銀行特別會計ノ支出官ヨリ現年度ノ支拂元受高ノ內ヲ翌年度當該會計ノ支拂元受高ニ組入ヲ爲スヘキ旨ノ請求ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十五條　日本銀行特別會計ノ甲支出官ヨリ特別會計支拂元受高ノ內ヲ當該會計ノ乙支出官ノ支拂元受高ニ轉換ヲ爲スヘキ旨ノ請求ヲ受ケタルトキハ直ニ右乙支出官ノ取扱店ナル場合ニ於テハ之カ手續ヲ爲シ其ノ甲乙支出官ニ通知シ、他店カ乙支出官ノ取扱店ナル場合ニ於テハ當該店ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル日本銀行ハ其ノ金額ニ相當スル額ヲ當該特別會計ノ支拂元受高ニ受入レ其ノ旨ヲ甲乙支出官ニ通知スヘシ

第二十六條　日本銀行支出官ノ振出シタル小切手ノ呈示ヲ受ケタルトキハ左ノ事項ヲ調査シ之カ支拂ヲ爲スヘシ

一　小切手ハ合式ナルカ

二　小切手ハ其ノ振出日附ヨリ一年ヲ經過セルモノニアラサルカ

三　小切手ノ券面金額ハ支拂豫算帳ニ於ケル支拂豫算各項ノ殘高ニ超過スルコトナキカ

四　支拂元受高ヲ要スル特別會計ニ係ル小切手ニ付テハ前各號ノ外其ノ券面金額カ當該支出官ノ支拂元受高ヲ超過スルコトナキカ

前項ノ小切手ニシテ振出日附後一年ヲ經過

前二項ノ場合ニ於テ支出官事務規程第二十三條ノ規定ニ依リ電信通知ヲ要スルトキハ歲入徵收官又ハ當該取扱店ニ電信ヲ以テ通知スヘシ

第十七條　前條第一項ノ規定ハ日本銀行支出官事務規程第二十四條乃至第二十六條ノ規定ニ依リ小切手ノ交付ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス但シ支出官ニ送付スヘキ領收證書ニ付テハ其ノ餘白ニ「國庫納金」又ハ「相殺」ノ印ヲ押捺スルモノトス

第十八條　日本銀行毎年度所屬歲入金ノ受入ヲ爲シ得ル期間經過後納入ヨリ當該年度ノ記載アル納稅告知書、納入告知書又ハ納付書ヲ添ヘ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ現年度ノ歲入トシテ之ヲ領收シ納稅告知書、納入告知書、納付書、領收證書又ハ領收濟通知書ニ現年度ノ押印ヲ爲シ第十三條ノ手續ヲ爲スヘシ

第十九條　日本銀行毎年度所屬歲入金ノ受入ヲ爲シ得ル期間經過後出納官吏又ハ收納事務ヲ取扱フ市町村若ハ之ニ準スヘキモノヨリ當該年度ノ記載アル現金拂込書又ハ送付書ヲ添ヘ現金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ現年度ノ歲入トシテ之ヲ領收シ現金拂込書、送付書、領收證書又ハ領收濟通知書ニ現年度ノ押印ヲ爲シ第十四條ノ手續ヲ爲スヘシ

日本銀行毎年度所屬歲出金ノ定額戻入ヲ爲シ得ル期間經過後返納人ヨリ當該年度ノ歲入トシテ之ヲ領收シ現金拂込書、送付書、領收證書又ハ領收濟通知書ニ現年度ノ押印ヲ爲シ第十四條ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十七條　日本銀行支出官ノ振出シタル小切手ニシテ「要振替」ノ印ヲ押捺セルモノノ呈示ヲ受ケタルトキハ現金ノ支拂ヲ爲サス振替ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十八條　日本銀行毎年度所屬歲出金ノ定額戻入ヲ爲シ得ル期間經過後返納人ヨリ返納告知書ヲ添ヘ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ之ヲ領收シ領收證書ヲ返納人ニ交付スヘシ

日本銀行前項ノ場合ニ於テ自店カ返納告知書ヲ發シタル支出官ノ取扱店ナル場合ニ於テハ返納金額ニ相當スル金額ヲ定額戻入トシテ記入ノ手續ヲ爲シ領收濟通知書ヲ支出官ニ送付シ、他店カ當該支出官ノ取扱店ナル場合ニ於テハ領收濟通知書ヲ添ヘ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ現年度ノ歲入トシテ之ヲ領收シ領收證書ヲ納入者ニ交付スヘシ

第二十九條　日本銀行前項ノ場合ニ於テ自店カ返納告知書ヲ發シタル支出官ノ取扱店ナル場合ニ於テハ返納金額ニ相當スル金額ヲ定額戻入トシテ記入ノ手續ヲ爲シ領收濟通知書ヲ支出官ニ送付シ、他店カ當該支出官ノ取扱店ナル場合ニ於テハ領收濟通知書ヲ添ヘ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ現年度ノ歲入トシテ之ヲ領收シ現金拂込書、送付書、領收證書又ハ領收濟通知書ニ現年度ノ押印ヲ爲シ第十四條ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十條　日本銀行前項ノ場合ニ於テ自店カ返納告知書ヲ發シタル支出官ノ取扱店ナル場合ニ於テハ返納金額ニ相當スル金額ヲ定額戻入トシテ記入ノ手續ヲ爲シ領收濟通知書ヲ支出官ニ送付シ、他店カ當該支出官ノ取扱店ナル場合ニ於テハ領收濟通知書ヲ添ヘ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ之ヲ領收シ現金拂込書、送付書、領收證書又ハ領收濟通知書ニ現年度ノ押印ヲ爲シ第十四條ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十一條　日本銀行前條ノ手續ヲ爲シタル後前年度所屬ニ係ル小切手ニ對シ支拂ヲ爲ス場合ニ於テハ前條ノ歲出支拂未濟繰越金ヨリ拂出スヘシ

第三十二條　日本銀行第三十條ノ歲出支拂未濟繰越金ニシテ第二十一條ノ規定ニ依リ歲入ニ組入ノ手續ヲ爲スモノニ付テハ小切手振出濟通知書ニ依リ之カ拂出ノ手續ヲ爲スヘシ

●收入官吏月計對照表歲入金突合表證明方分任收入官吏歲入金突合表調理方出納官吏交替ノトキ金庫ニ通知方等ノ件

（明治二十九年十一月二十日拓殖務省訓令第十七號）

一　削除

一　收入官吏月計對照表歲入金突合表證明方ハ【明治二十二年大藏省訓令第七十四號】ニ準據スヘシ

一　分任收入官吏ノ收入報告書ニ添附スヘキ歲入金突合表調理方ハ【明治二十六年大藏省訓令第七十五號】ニ準據スヘシ

一　出納官吏交替ノトキ金庫ヘ通知方及事務引繼手續ハ【明治二十三年大藏省訓令第五十四號明治二十六年同省訓令第七十九號及二十七年同省訓令第十三號】ニ準據スヘシ

一　各年度歲入調定濟額ノ收入整理ヲ了セサルモノノ取扱方ハ明治二十四年大藏省訓令第六十八號及明治二十五年同省訓令第二十五號ニ準據スヘシ

●恩給誤拂返納金徵收ヲ要スル場合等取扱方

（明治三十六年六月臺灣總督訓令第百十六號【民政部】臨、稅關、專賣局鐵道部、一等郵便局大藏省所管一般歲入中恩給誤拂返納金ニシテ其ノ徵收ヲ要スル場合若ハ他官廳ヨリ引繼ヲ受ケタル場合ニハ明治三十三年大藏省訓令第二十七號ニ依リ取扱ヒ其ノ徵收報告書ハ臺灣總督府ニ送付スヘシ

第八款　國庫金、有價證券

●日本銀行國庫金取扱規程

（大正十一年第六號）

改正　大正一四年第八號　昭和一一年一月一日

日本銀行國庫金取扱規程

第一章　總則

第一條　日本銀行ハ本令ノ定ムル所ニ依リ國庫金ノ出納竝政府預金ニ關スル事務ヲ取扱フヘシ

第二條　日本銀行ハ其ノ本店、支店及代理店ヲシテ國庫金ノ出納ヲ取扱ハシムヘシ

前項ノ代理店ハ日本銀行大藏大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ムヘシ

第三條　日本銀行ハ地方ニ統轄店ヲ設ケ其ノ所屬店ニ於ケル國庫金出納ノ事務ヲ統轄スヘシ

前項ノ統轄店及其ノ所屬店ハ日本銀行大藏大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ムヘシ

第四條　日本銀行ハ左ノ區分ニ依リ國庫金ノ出納ヲ取扱フヘシ

一　歲入金

二　歲出金

三　預託金

四　預金部預金

五　其ノ他ノ國庫金

第五條　日本銀行ハ其ノ本店ニ當座預金勘定、別口預金勘定及指定預金勘定ヲ置キ政府預金ヲ區分整理スヘシ

第六條　當座預金勘定ハ日本銀行ニ於テ取扱フ國庫金ノ受拂ヲ整理スヘキ勘定トス

第七條　別口預金勘定ハ大藏大臣ノ定ムル種別ニ屬スル現金ノ受入ニ依ル預金ノ受拂ヲ整理スヘキ勘定トス

第八條　指定預金勘定ハ大藏大臣ニ於テ特別ノ條件ヲ指定シタル預金ノ受拂ヲ整理スヘキ勘定トス

第九條　前二條ノ預金ノ受拂及其ノ預金相互間ノ組替ハ別ニ定ムル場合ヲ除クノ外總テ當座預金勘定ヲ經由スヘシ

第十條　當座預金勘定ニ屬スル預金ニハ政府ノ爲ニスル支拂ノ準備ニ必要ナル金額ヲ除クノ外相當ノ利子ヲ附スヘシ

別口預金勘定ニ屬スル預金ハ無利子トス

指定預金勘定ニ屬スル預金ニハ大藏大臣ノ指定スル條件中ニ定ムル利子ヲ附スヘシ

第十一條　日本銀行ハ國庫金ノ出納ニ關シ監

第三十三條　日本銀行支出官事務規程第十三條、第十九條又ハ第二十條ノ規定ニ依リ支出官ヨリ小切手ノ交付ヲ受ケタルトキハ領收證書ヲ支出官ニ送付シ其ノ金額ヲ歲出金トシテ拂出シ隔地拂資金トシテ受入整理スヘシ

第三十四條　日本銀行ハ前條ノ小切手ノ裏面又ハ金額氏名表ニ日本銀行何店ヲ支拂場所トスル旨ノ記載アルトキハ適宜ノ方法ニ依リ支拂ニ必要ナル事項ヲ支拂場所タル當該店ニ通知スヘシ但シ電信送金ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ電信ヲ以テ之カ通知ヲ爲スモノトス

第三十五條　前條ノ通知ヲ受ケタル日本銀行受取人ヨリ歲出金支拂通知書ノ提出ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ受取人ナルヤヲ該支拂通知書ニ領收ノ旨ヲ記入セシメ支拂ヲ爲スヘシ

前條但書ノ電信通知ヲ受ケタル日本銀行受取人ヨリ支出官ノ發セル電信通知ノ提出ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ領收證書ヲ徵シ支拂ヲ爲スヘシ

第三十六條　日本銀行支出官事務規程第十七條又ハ第十八條ノ規定ニ依リ支拂場所ヲ日本銀行甲店ヨリ乙店ニ變更スヘキ旨ノ通知ヲ受ケタルトキハ甲店ニ對シ取消ノ通知ヲ爲シ乙店ニ對シテハ第三十四條ノ通知ヲ爲スヘシ

第三十七條　日本銀行ハ第三十三條ノ小切手ノ裏面又ハ金額氏名表ニ受取人ノ住所又ハ居所ニ送金支拂ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ受取人ヨリ領收證書ヲ徵シ送金支拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十八條　日本銀行ハ第三十三條ノ小切手ニシテ其ノ裏面ニ外國ニ在ル受取人ニ送金支拂ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ受取人ニ對シ適宜ノ方法ニ依リ送金支拂ノ手續ヲ爲スヘシ但シ電信送金ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ電信送金ノ手續ヲ爲スモノトス

前項ノ通知ヲ受ケタル日本銀行ハ乙預ケ人ノ預金ニ受入ノ手續ヲ爲シ預金部預金領收證書ヲ乙預ケ人ニ交付スヘシ

第三十九條　日本銀行ハ毎年四月十日迄ニ預金部預金取扱規程第十三條第一項本文ノ規定ニ依リ預金ノ利子ヲ元金ニ組入レ第七號書式ノ預金利子元加通知書ヲ預ケ人ニ交付スヘシ

第四十條　日本銀行ハ預金部預金取扱規程第十七條ノ規定ニ依リ預金部預金利子支拂ノ請求書ノ提出ヲ受ケタルトキハ受取人ニテシテ之ニ領收ノ旨ヲ記入セシメ支拂ヲ爲スヘシ

第四十一條　日本銀行ハ前條ノ規定ニ依リ支出官ヨリ返納告知書ヲ受ケタルトキハ該告知書ヲ添ヘ返納ノ手續ヲ爲スヘシ

第四十二條　日本銀行第三十三條ノ小切手ノ振出日附ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ隔地ノ受取人ニ對シテ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

日本銀行前項ノ期間經過後歲出金支拂通知書ノ提出ヲ受ケタルトキハ該通知書ノ餘白ニ支拂期間經過ノ旨ヲ記載シ之ヲ提出者ニ返付スヘシ

日本銀行第一項ノ期間經過後支出官事務規程第十六條但書、第十九條又ハ第二十條ノ規定ニ依リ支出官ノ通知ヲ受ケタル場合ニ於テ未タ支拂ヲ了セサルモノナルトキハ其ノ旨ヲ記載セル書面ヲ請求者ニ交付スヘシ

第四十三條　前條第一項ノ場合ニ於テ支拂ヲ了セサル金額ニ相當スル資金ハ一月分ヲ取纏メ翌月七日迄ニ第三號書式ノ現金拂込書ヲ添ヘ之ヲ歲入ニ納付スルノ手續ヲ爲スヘシ

第四十四條　日本銀行ハ其ノ取扱ニ係ル支拂濟ノ小切手、歲出金支拂通知書其ノ他ノ證憑書類ヲ第三十一條及第三十二條ノ規定ニ依リ支拂ヲ爲シタルモノト其ノ他ノモノトニ區分シ甲度、會計、所管廳、支出官別ニ一月分ヲ取纏メ合計書ヲ調製シ共ニ保存スヘシ

日本銀行第一項ノ期間經過後支出官事務規程第十六條但書、第十九條又ハ第二十條ノ規定ニ依リ支出官ノ通知ヲ受ケタル場合ニ於テ支拂ヲ了セサルモノナルトキハ其ノ旨ヲ記載セル書面ヲ請求者ニ交付スヘシ

第四十三條　前條第一項ノ場合ニ於テ支拂ヲ了セサル金額ニ相當スル資金ハ一月分ヲ取纏メ翌月七日迄ニ第三號書式ノ現金拂込書ヲ添ヘ之ヲ歲入ニ納付スルノ手續ヲ爲スヘシ

第四十四條　日本銀行ハ其ノ取扱ニ係ル支拂濟ノ小切手、歲出金支拂通知書其ノ他ノ證憑書類ヲ第三十一條及第三十二條ノ規定ニ依リ支拂ヲ爲シタルモノト其ノ他ノモノトニ區分シ甲度、會計、所管廳、支出官別ニ一月分ヲ取纏メ合計書ヲ調製シ共ニ保存スヘシ

第四十五條　日本銀行ハ前條ノ小切手ノ裏面ニ受取人ノ住所又ハ居所ノ記載アルトキハ受取人ヨリ領收證書ヲ徵シ送金支拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第四十六條　日本銀行ハ第三十三條ノ小切手ノ裏面又ハ金額氏名表ニ受取人ノ住所又ハ居所ニ送金支拂ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ受取人ヨリ領收證書ヲ徵シ送金支拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第四十七條　日本銀行ハ第三十三條ノ小切手ニシテ其ノ裏面ニ外國ニ在ル受取人ニ送金支拂ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ受取人ニ對シ適宜ノ方法ニ依リ送金支拂ノ手續ヲ爲スヘシ但シ電信送金ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ電信送金ノ手續ヲ爲スモノトス

第四十八條　日本銀行ハ第三十三條ノ小切手ノ裏面又ハ金額氏名表ニ受取人ノ住所又ハ居所ニ送金支拂ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ受取人ヨリ領收證書ヲ徵シ送金支拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第四十九條　日本銀行ハ第三十三條ノ小切手ノ裏面又ハ金額氏名表ニ受取人ノ住所又ハ居所ニ送金支拂ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ受取人ヨリ領收證書ヲ徵シ送金支拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第五十條　日本銀行ハ第三十三條ノ小切手ノ裏面又ハ金額氏名表ニ受取人ノ住所又ハ居所ニ送金支拂ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ受取人ヨリ領收證書ヲ徵シ送金支拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第五十一條　日本銀行ハ第三十三條ノ小切手ノ裏面又ハ金額氏名表ニ受取人ノ住所又ハ居所ニ送金支拂ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ受取人ヨリ領收證書ヲ徵シ送金支拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第五十二條　日本銀行ハ前二條ノ規定ニ依リ支拂フヘキ利子額ヲ預ケ人ノ預金ニ組入ルヘシ

第五十三條　日本銀行甲店預金部預金取扱規程第二十六條第一項ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ預金取扱店變更申込書ヲ受ケタルトキハ預ケ人ノ預金ヲ拂出シ第八號書式ノ預金部預金現在額證明書ヲ預ケ人ニ交付シ日本銀行乙店ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル日本銀行乙店ハ其ノ通知ヲ受ケタル預ケ人ノ預金ヲ乙店ニテ受入レ預金部預金取扱規程第二十六條第二項ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ預金部預金現在額證明書ノ提出ヲ受ケタルトキハ該證明書ニ承認ノ旨ヲ記入シ之ヲ預ケ人ニ返付スヘシ

第五十四條　日本銀行甲店預金部預金取扱規程第四條第二項ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ預金部預金利子支拂請求書、預金部預金拂戻請求書、支拂濟ノ小切手、預金部預金利子支拂請求書、預金取扱店變更申込書其ノ他ノ證憑書類ヲ受拂ニ區分シ預金ノ種別、預ケ人別ニ一月分ヲ取纏メ合計書ヲ調製シ共ニ保存スヘシ但シ代理店ニ於テ調製シタルモノハ其ノ證憑書類ト共ニ所轄統轄店ニ於テ保存スルモノトス

第六章　其ノ他ノ國庫金

第五十五條　日本銀行納入ヨリ大藏省證券發行代金納入命令書、一時借入金納入命令書又ハ特別會計運用金納入命令書ヲ添ヘ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ之ヲ領收證書ヲ納入者ニ交付シ其ノ旨ヲ大藏大臣又ハ大藏大臣ノ指定スル官廳若ハ官吏ニ通知スヘシ

第五十六條　日本銀行ハ前二條ノ規定ニ依リ取扱ヒタル命令書、通知書其ノ他ノ證憑書類ヲ受拂ニ區分シ各科目別ニ一月分ヲ取纏メ合計書ヲ調製シ共ニ之ヲ保存スヘシ

第五十七條　日本銀行ハ本章ニ定ムルモノヲ除クノ外大藏大臣ノ特ニ指定スル國庫金ニ付テハ大藏大臣ノ別ニ定ムル所ニ依リ出納ノ手續ヲ爲スヘシ

第七章　帳簿

第五十八條　日本銀行ハ會計規則第百六十條第一號、第二號及第五號ノ帳簿トシテ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

一　國庫金總括帳
二　國庫金受拂內譯帳
三　當座預金內譯帳
四　別口預金內譯帳
五　指定預金內譯帳
六　國庫金受拂總括帳
七　國庫金受拂報告額整理帳
八　某年度某特別會計內譯帳
九　隔地拂資金內譯帳
十　歲出支拂未濟繰越金內譯帳
十一　預託金內譯帳
十二　預金部內譯帳
十三　某年度一般會計支拂豫算帳
十四　某年度某特別會計支拂豫算帳
十五　前項ノ帳簿中第一號乃至第五號ノ帳簿ハ日本銀行本店ニ、第六號及第八號乃至第十五號ノ帳簿ハ日本銀行各店ニ之ヲ備フヘシ

第五十九條　國庫金總括帳ニハ大藏大臣ノ定ムル計算科目毎ニ口座ヲ設ケ國庫金ノ受拂額ヲ記入スヘシ

第六十條　國庫金受拂內譯帳ニハ大藏大臣ノ定ムル計算科目毎ニ各統轄店ヲ區分シタル口座ヲ設ケ國庫金ノ受拂額ヲ記入スヘシ

第六十一條　日本銀行ハ大藏省證券發遷元金交付通知書、一時借入金返償通知書又ハ特別會計運用金交付通知書ノ提出ヲ受ケタルトキハ受取人ヨリ領收證書ヲ徵シ之カ支拂ヲ爲スヘシ

第六十二條　日本銀行ハ前二條ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ預金ニ預入替ノ請求ヲ受ケタルトキハ預ケ人ニ領收證書ヲ交付シ自店カ乙預ケ人ノ預金取扱店ナル場合ニ於テハ預入替ノ手續ヲ爲シ預金部預金領收證書ヲ乙預ケ人ニ交付シ他店カ乙預ケ人ノ預金取扱店ナル場合ニ於テハ當該取扱店ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第六十三條　日本銀行ハ前二條ノ規定ニ依リ預ケ人ニ預金ニ受入ノ手續ヲ爲シ預金部預金領收證書ヲ乙預ケ人ニ交付スヘシ

第六十四條　日本銀行ハ預金部預金取扱規程第十二條ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ他店拂ノ請求ヲ受ケタルトキハ領收證書ヲ交付シ支拂店タル日本銀行ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル日本銀行保管金支拂通知書又ハ供託金支拂通知書ノ提出ヲ受ケタルトキハ受取人ヨリ領收證書ヲ徵シ支拂ヲ爲スヘシ

第六十五條　日本銀行ハ預金部預金取扱規程第十三條第一項但書ノ規定ニ依リ之ヲ元金ニ組入レ拂戻ノ手續ヲ爲スヘシ

前二項ノ場合ニ於テ預ケ人ヨリ預金部預金領收證書ノ請求ヲ受ケタルトキハ元加利子ニ相當スル金額ノ預金部預金領收證書ヲ交付スヘシ

第六十條　日本銀行預金部預金取扱規程第十六條ノ規定ニ依リ預金部預金利子元加請求書又ハ預金部預金利子支拂請求書ノ送付ヲ受ケタルトキハ利子元加又ハ支拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第六十一條　日本銀行預金部預金取扱規程第十七條ノ規定ニ依リ預金部預金利子支拂ノ請求書ノ提出ヲ受ケタルトキハ受取人ニテシテ之ニ領收ノ旨ヲ記入セシメ支拂ヲ爲スヘシ

第六十二條　日本銀行ハ前二條ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ乙預ケ人ノ預金ニ預入替ノ請求ヲ受ケタルトキハ甲預ケ人ヨリ乙預ケ人ノ預金取扱店ナル場合ニ於テハ預入替ノ手續ヲ爲シ預金部預金領收證書ヲ乙預ケ人ニ交付シ他店カ乙預ケ人ノ預金取扱店ナル場合ニ於テハ當該取扱店ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル日本銀行ハ乙預ケ人ノ預金ニ受入ノ手續ヲ爲シ預金部預金領收證書ヲ乙預ケ人ニ交付スヘシ

第六十三條　日本銀行甲店預金部預金取扱規程第二十六條第一項ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ預金取扱店變更申込書ヲ受ケタルトキハ預ケ人ノ預金ヲ拂出シ第八號書式ノ預金部預金現在額證明書ヲ預ケ人ニ交付シ日本銀行乙店ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル日本銀行乙店ハ其ノ通知ヲ受ケタル預ケ人ノ預金ヲ乙店ニテ受入レ預金部預金取扱規程第二十六條第二項ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ預金部預金現在額證明書ノ提出ヲ受ケタルトキハ該證明書ニ承認ノ旨ヲ記入シ之ヲ預ケ人ニ返付スヘシ

第六十四條　日本銀行甲店預金部預金取扱規程第四條第二項ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ預金部預金利子支拂請求書、預金部預金拂戻請求書、支拂濟ノ小切手、預金部預金利子支拂請求書、預金取扱店變更申込書其ノ他ノ證憑書類ヲ受拂ニ區分シ預金ノ種別、預ケ人別ニ一月分ヲ取纏メ合計書ヲ調製シ共ニ保存スヘシ但シ代理店ニ於テ調製シタルモノハ其ノ證憑書類ト共ニ所轄統轄店ニ於テ保存スルモノトス

第六章　其ノ他ノ國庫金

第六十五條　日本銀行納入ヨリ大藏省證券發行代金納入命令書、一時借入金納入命令書又ハ特別會計運用金納入命令書ヲ添ヘ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ之ヲ領收證書ヲ納入者ニ交付シ其ノ旨ヲ大藏大臣又ハ大藏大臣ノ指定スル官廳若ハ官吏ニ通知スヘシ

第六十六條　日本銀行ハ前二條ノ規定ニ依リ取扱ヒタル命令書、通知書其ノ他ノ證憑書類ヲ受拂ニ區分シ各科目別ニ一月分ヲ取纏メ合計書ヲ調製シ共ニ之ヲ保存スヘシ

第六十七條　日本銀行ハ本章ニ定ムルモノヲ除クノ外大藏大臣ノ特ニ指定スル國庫金ニ付テハ大藏大臣ノ別ニ定ムル所ニ依リ出納ノ手續ヲ爲スヘシ

第七章　帳簿

第六十八條　日本銀行ハ會計規則第百六十條第一號、第二號及第五號ノ帳簿トシテ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

一　國庫金總括帳
二　國庫金受拂內譯帳
三　當座預金內譯帳
四　別口預金內譯帳
五　指定預金內譯帳
六　國庫金受拂總括帳
七　國庫金受拂報告額整理帳
八　某年度某特別會計內譯帳
九　隔地拂資金內譯帳
十　歲出支拂未濟繰越金內譯帳
十一　預託金內譯帳
十二　預金部內譯帳
十三　某年度一般會計支拂豫算帳
十四　某年度某特別會計支拂豫算帳
十五　前項ノ帳簿中第一號乃至第五號ノ帳簿ハ日本銀行本店ニ、第六號及第八號乃至第十五號ノ帳簿ハ日本銀行各店ニ之ヲ備フヘシ

第六十九條　國庫金總括帳ニハ大藏大臣ノ定ムル計算科目毎ニ口座ヲ設ケ國庫金ノ受拂額ヲ記入スヘシ

第七十條　國庫金受拂內譯帳ニハ大藏大臣ノ定ムル計算科目毎ニ各統轄店ヲ區分シタル口座ヲ設ケ國庫金ノ受拂額ヲ記入スヘシ

第七十一條　日本銀行ハ大藏省證券發遷元金交付通知書、一時借入金返償通知書又ハ特別會計運用金交付通知書ノ提出ヲ受ケタルトキハ受取人ヨリ領收證書ヲ徵シ之カ支拂ヲ爲スヘシ

第七十二條　日本銀行ハ前二條ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ預金ニ預入替ノ請求ヲ受ケタルトキハ預ケ人ニ領收證書ヲ交付シ自店カ乙預ケ人ノ預金取扱店ナル場合ニ於テハ預入替ノ手續ヲ爲シ預金部預金領收證書ヲ乙預ケ人ニ交付シ他店カ乙預ケ人ノ預金取扱店ナル場合ニ於テハ當該取扱店ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第七十三條　日本銀行ハ前二條ノ規定ニ依リ支拂フヘキ利子額ヲ預ケ人ノ預金ニ組入ルヘシ

第七十四條　日本銀行甲店預金部預金取扱規程第二十六條第一項ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ預金取扱店變更申込書ヲ受ケタルトキハ預ケ人ノ預金ヲ拂出シ第八號書式ノ預金部預金現在額證明書ヲ預ケ人ニ交付シ日本銀行乙店ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル日本銀行乙店ハ其ノ通知ヲ受ケタル預ケ人ノ預金ヲ乙店ニテ受入レ預金部預金取扱規程第二十六條第二項ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ預金部預金現在額證明書ノ提出ヲ受ケタルトキハ該證明書ニ承認ノ旨ヲ記入シ之ヲ預ケ人ニ返付スヘシ

第七十五條　國庫金受拂報告額整理帳ニハ國庫金受拂報告額ヲ計算科目毎ニ所屬代理店ヲ設ケ國庫金ノ受拂額ヲ記入スヘシ

第七十六條　某年度一般會計內譯帳ニハ左ノ區分及口座ヲ設ケ一般會計ノ受拂額ヲ記入スヘシ

一　受入ノ之ヲ歲入ト歲入外トニ區分シ歲入ニハ所管廳取扱廳ノ口座（第十九條ノ場合ニ於テハ尙其ノ所屬年度別ノ口座）歲入外ニハ大藏大臣ノ定ムル口座

二　拂出ハ歲出ト歲出外トニ區分シ歲出ニハ所管廳、支出官別ノ口座、歲出外ニハ大藏大臣ノ定ムル口座

第七十七條　某年度某特別會計內譯帳ニハ支拂元受高ヲ要セサル特別會計ノ內譯帳ニハ所管廳、取扱廳、支出官別ノ口座ヲ設ケ同一口座中ニ當該會計ノ歲入歲出及歲入外歲出外ノ受拂額ヲ記入シ尙第十九條ノ場合ニ於テハ其ノ所屬年度ヲ記入スヘシ

支拂元受高ヲ要セサル特別會計ノ內譯帳ニハ前條ノ規定ニ準シ當該會計ノ受拂額ヲ記入スヘシ

第七十八條　隔地拂資金內譯帳ニハ年度、會計、所管廳、支出官別ノ口座ヲ設ケ隔地拂資金ノ受拂額ヲ記入スヘシ

第七十九條　歲出支拂未濟繰越金內譯帳ニハ年度、會計、所管廳、支出官別ノ口座ヲ設ケ歲出支拂未濟繰越金ノ受拂額ヲ記入スヘシ

第八十條　預託金內譯帳ニハ所屬廳、出納官

第四章　預託金

第四十五條　日本銀行ハ出納官吏事務規程第十九條又ハ第五十七條ノ規定ニ依リ支出官ヨリ預託金拂込書ヲ添ヘ現金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ第四號書式ノ預託金領收證書ヲ出納官吏ニ交付スヘシ

前項ノ拂込ヲ爲シタル出納官吏ニ對シテハ小切手用紙ヲ交付スヘシ

第四十六條　日本銀行出納官吏ノ振出シタル小切手ノ呈示ヲ受ケタルトキハ當該官吏ノ預託金領收證書ヲ徵シ拂ヲ爲スヘシ

第四十七條　前條ノ通知ヲ受ケタル日本銀行受取人ヨリ歲出金支拂通知書ノ提出ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ受取人ナルヤヲ該支拂通知書ニ領收ノ旨ヲ記入セシメ支拂ヲ爲スヘシ

前條但書ノ電信通知ヲ受ケタル日本銀行受取人ヨリ支出官ノ發セル電信通知ノ提出ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ領收證書ヲ徵シ支拂ヲ爲スヘシ

第四十八條　日本銀行ハ前條ノ小切手ノ裏面又ハ金額氏名表ニ日本銀行何店ヲ支拂場所トスル旨ノ記載アルトキハ適宜ノ方法ニ依リ支拂ニ必要ナル事項ヲ支拂場所タル當該店ニ通知スヘシ但シ電信送金ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ電信ヲ以テ之カ通知ヲ爲スモノトス

第四十九條　日本銀行ハ前條ノ通知ヲ受ケタル日本銀行受取人ヨリ歲出金支拂通知書ノ提出ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ受取人ナルヤヲ該支拂通知書ニ領收ノ旨ヲ記入セシメ支拂ヲ爲スヘシ

前項ノ小切手ニシテ其ノ振出日附ヨリ一年ヲ經過シタルモノニ對シテハ之カ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

第五十條　第二十七條ノ規定ハ前條第一項ノ小切手ニシテ「要振替」ノ印ヲ押捺セルモノノ呈示ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十一條　第三十三條乃至第三十七條、第四十條及第四十一條ノ規定ハ日本銀行出納官吏ノ預託金ノ受拂ニ之ヲ準用ス

第五十二條　日本銀行出納官吏事務規程第六十條ノ規定ニ依リ出納官吏ヨリ預託金現在高證明ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ指定ノ日ニ於ケル預託金現在高ヲ證明スヘシ

前項ノ規定ハ出納官吏ヲ監督又ハ檢査スル官吏ヨリ預託金現在高證明ノ請求ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十三條　日本銀行出納官吏事務規程第六十二條ノ規定ニ依リ出納官吏ヨリ預託金現在高引繼通知書ノ送付ヲ受ケタルトキハ前任出納官吏ノ預託金ハ後任出納官吏ノ預託金ニ引繼ヲ爲シ預金部預金領收證書ヲ後任出納官吏ニ交付シ他店カ乙預ケ人ノ預金取扱店ナル場合ニ於テハ當該取扱店ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第五十四條　日本銀行ハ第三十三條ノ小切手ニシテ其ノ裏面ニ外國ニ在ル受取人ニ送金支拂ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ受取人ニ對シ適宜ノ方法ニ依リ送金支拂ノ手續ヲ爲スヘシ但シ電信送金ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ電信送金ノ手續ヲ爲スモノトス

第五十五條　日本銀行ハ第三十三條ノ小切手ノ裏面又ハ金額氏名表ニ受取人ノ住所又ハ居所ニ送金支拂ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ受取人ヨリ領收證書ヲ徵シ送金支拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第五十六條　日本銀行ハ第三十三條ノ小切手ノ裏面又ハ金額氏名表ニ受取人ノ住所又ハ居所ニ送金支拂ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ受取人ヨリ領收證書ヲ徵シ送金支拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第五十七條　日本銀行ハ第三十三條ノ小切手ニシテ其ノ裏面ニ外國ニ在ル受取人ニ送金支拂ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ受取人ニ對シ適宜ノ方法ニ依リ送金支拂ノ手續ヲ爲シ電信送金ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ電信送金ノ手續ヲ爲スモノトス

第五十八條　日本銀行ハ第三十三條ノ小切手ノ裏面又ハ金額氏名表ニ受取人ノ住所又ハ居所ニ送金支拂ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ受取人ヨリ領收證書ヲ徵シ送金支拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第五十九條　日本銀行ハ第三十三條ノ小切手ノ裏面又ハ金額氏名表ニ受取人ノ住所又ハ居所ニ送金支拂ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ受取人ヨリ領收證書ヲ徵シ送金支拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第六十條　日本銀行ハ第三十三條ノ小切手ノ裏面又ハ金額氏名表ニ受取人ノ住所又ハ居所ニ送金支拂ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ受取人ヨリ領收證書ヲ徵シ送金支拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第六十一條　日本銀行ハ第三十三條ノ小切手ノ裏面又ハ金額氏名表ニ受取人ノ住所又ハ居所ニ送金支拂ヲ要スル旨ノ記載アルトキハ受取人ヨリ領收證書ヲ徵シ送金支拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第六十二條　日本銀行ハ前二條ノ規定ニ依リ支拂フヘキ利子額ヲ預ケ人ノ預金ニ組入ルヘシ

第六十三條　日本銀行甲店預金部預金取扱規程第二十六條第一項ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ預金取扱店變更申込書ヲ受ケタルトキハ預ケ人ノ預金ヲ拂出シ第八號書式ノ預金部預金現在額證明書ヲ預ケ人ニ交付シ日本銀行乙店ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル日本銀行乙店ハ其ノ通知ヲ受ケタル預ケ人ノ預金ヲ乙店ニテ受入レ預金部預金取扱規程第二十六條第二項ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ預金部預金現在額證明書ノ提出ヲ受ケタルトキハ該證明書ニ承認ノ旨ヲ記入シ之ヲ預ケ人ニ返付スヘシ

第六十四條　日本銀行甲店預金部預金取扱規程第四條第二項ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ預金部預金利子支拂請求書、預金部預金拂戻請求書、支拂濟ノ小切手、預金部預金利子支拂請求書、預金取扱店變更申込書其ノ他ノ證憑書類ヲ受拂ニ區分シ預金ノ種別、預ケ人別ニ一月分ヲ取纏メ合計書ヲ調製シ共ニ保存スヘシ但シ代理店ニ於テ調製シタルモノハ其ノ證憑書類ト共ニ所轄統轄店ニ於テ保存スルモノトス

第六章　其ノ他ノ國庫金

第六十五條　日本銀行納入ヨリ大藏省證券發行代金納入命令書、一時借入金納入命令書又ハ特別會計運用金納入命令書ヲ添ヘ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ之ヲ領收證書ヲ納入者ニ交付シ其ノ旨ヲ大藏大臣又ハ大藏大臣ノ指定スル官廳若ハ官吏ニ通知スヘシ

第六十六條　日本銀行ハ前二條ノ規定ニ依リ取扱ヒタル命令書、通知書其ノ他ノ證憑書類ヲ受拂ニ區分シ各科目別ニ一月分ヲ取纏メ合計書ヲ調製シ共ニ之ヲ保存スヘシ

第六十七條　日本銀行ハ本章ニ定ムルモノヲ除クノ外大藏大臣ノ特ニ指定スル國庫金ニ付テハ大藏大臣ノ別ニ定ムル所ニ依リ出納ノ手續ヲ爲スヘシ

第七章　帳簿

第六十八條　日本銀行ハ會計規則第百六十條第一號、第二號及第五號ノ帳簿トシテ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

一　國庫金總括帳
二　國庫金受拂內譯帳
三　當座預金內譯帳
四　別口預金內譯帳
五　指定預金內譯帳
六　國庫金受拂總括帳
七　國庫金受拂報告額整理帳
八　某年度某特別會計內譯帳
九　隔地拂資金內譯帳
十　歲出支拂未濟繰越金內譯帳
十一　預託金內譯帳
十二　預金部內譯帳
十三　某年度一般會計支拂豫算帳
十四　某年度某特別會計支拂豫算帳
十五　前項ノ帳簿中第一號乃至第五號ノ帳簿ハ日本銀行本店ニ、第六號及第八號乃至第十五號ノ帳簿ハ日本銀行各店ニ之ヲ備フヘシ

第六十九條　國庫金總括帳ニハ大藏大臣ノ定ムル計算科目毎ニ口座ヲ設ケ國庫金ノ受拂額ヲ記入スヘシ

第七十條　國庫金受拂內譯帳ニハ大藏大臣ノ定ムル計算科目毎ニ各統轄店ヲ區分シタル口座ヲ設ケ國庫金ノ受拂額ヲ記入スヘシ

第七十一條　日本銀行ハ大藏省證券發遷元金交付通知書、一時借入金返償通知書又ハ特別會計運用金交付通知書ノ提出ヲ受ケタルトキハ受取人ヨリ領收證書ヲ徵シ之カ支拂ヲ爲スヘシ

第七十二條　日本銀行ハ前二條ノ規定ニ依リ預ケ人ヨリ預金ニ預入替ノ請求ヲ受ケタルトキハ預ケ人ニ領收證書ヲ交付シ自店カ乙預ケ人ノ預金取扱店ナル場合ニ於テハ預入替ノ手續ヲ爲シ預金部預金領收證書ヲ乙預ケ人ニ交付シ他店カ乙預ケ人ノ預金取扱店ナル場合ニ於テハ當該取扱店ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第七十三條　當座預金內譯帳、別口預金內譯帳及指定預金內譯帳ニハ大藏大臣ノ定ムル口座ヲ設ケ各預金ノ受拂額ヲ記入スヘシ

第七十四條　國庫金受拂總括帳ニハ大藏大臣ノ認可ヲ經テ日本銀行ノ定ムル計算科目毎ニ口座ヲ設ケ國庫金ノ受拂額ヲ記入スヘシ

第七十五條　國庫金受拂報告額整理帳ニハ國庫金受拂報告額ヲ計算科目毎ニ所屬代理店ヲ設ケ國庫金ノ受拂額ヲ記入スヘシ

第七十六條　某年度一般會計內譯帳ニハ左ノ區分及口座ヲ設ケ一般會計ノ受拂額ヲ記入スヘシ

一　受入ノ之ヲ歲入ト歲入外トニ區分シ歲入ニハ所管廳取扱廳ノ口座（第十九條ノ場合ニ於テハ尙其ノ所屬年度別ノ口座）歲入外ニハ大藏大臣ノ定ムル口座

二　拂出ハ歲出ト歲出外トニ區分シ歲出ニハ所管廳、支出官別ノ口座、歲出外ニハ大藏大臣ノ定ムル口座

第七十七條　某年度某特別會計內譯帳ニハ支拂元受高ヲ要スル特別會計ノ內譯帳ニハ所管廳、取扱廳、支出官別ノ口座ヲ設ケ同一口座中ニ當該會計ノ歲入歲出及歲入外歲出外ノ受拂額ヲ記入シ尙第十九條ノ場合ニ於テハ其ノ所屬年度ヲ記入スヘシ

支拂元受高ヲ要セサル特別會計ノ內譯帳ニハ前條ノ規定ニ準シ當該會計ノ受拂額ヲ記入スヘシ

第七十八條　隔地拂資金內譯帳ニハ年度、會計、所管廳、支出官別ノ口座ヲ設ケ隔地拂資金ノ受拂額ヲ記入スヘシ

第七十九條　歲出支拂未濟繰越金內譯帳ニハ年度、會計、所管廳、支出官別ノ口座ヲ設ケ歲出支拂未濟繰越金ノ受拂額ヲ記入スヘシ

第八十條　預託金內譯帳ニハ所屬廳、出納官

吏別ノ口座ヲ設ケ預託金ノ受拂額ヲ記入スヘシ

第八十一條　預金部內譯帳ニハ左ノ種別及口座ヲ設ケ預金部ノ受拂額ヲ記入スヘシ

一　預金部預金法第二條ノ規定ニ依ル預金及官廳ノ預金ハ取扱廳取扱主任官別ノ口座

二　會計規則第百二十一條ノ規定ニ依ル預金ハ保管金、供託金ノ種別及取扱廳取扱主任官別ノ口座

三　各特別會計資金ノ預金ハ大藏大臣ノ定ムル種別及口座

四　其ノ他ノ預金ハ預ケ入別ノ口座

日本銀行本店ニ備フル預金部內譯帳ニハ前項ニ規定スルモノノ外大藏大臣ノ定ムル口座ヲ設ケ預金部資金ノ受拂額ヲ記入スヘシ

第八十二條　第七十條第一號乃至第十三號ノ帳簿ニハ之ヲ備フル日本銀行ニ於テ左記各號ニ依リ受拂額ヲ記入スヘシ

一　第一號ノ帳簿ニハ各統轄店毎日ノ報告額但シ當座預金、別口預金及指定預金ノ計算科目ハ本店ニ於ケル受拂額

二　第二號ノ帳簿ニハ各統轄店毎日ノ報告額

三　第三號乃至第五號ノ帳簿ニハ本店ニ於ケル受拂額

四　第六號ノ帳簿ニハ代理店ニ於テハ其ノ受拂額、統轄店ニ於テハ其ノ受拂額及所屬代理店毎日ノ報告額

五　第七號ノ帳簿ニハ所屬代理店毎日ノ報告額

六　第八號乃至第十三號ノ帳簿ニハ各店ニ於ケル受拂額

第八十三條　某年度一般會計支拂豫算帳及某年度某特別會計支拂豫算帳ニハ所管廳、支出官、經常又ハ臨時部、款項別ノ口座ヲ設ケ支拂豫算額及支拂濟額ヲ記入スヘシ

第八十四條　本章ニ規定スル帳簿ノ樣式及記入ノ方法ハ日本銀行大藏大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ムヘシ

第八十五條　日本銀行各店間ノ振替受拂ヲ記入スヘキ帳簿ノ種類、樣式及記入ノ方法ハ日本銀行大藏大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ムヘシ

第八章　計算報告

第八十六條　日本銀行ハ國庫金ノ出納ニ關シ左ノ計算報告表ヲ調製スヘシ

一　國庫金貸借對照表　第十號書式
二　國庫金受拂報告表　第十一號書式
三　當座預金受拂內譯表　第十二號書式
四　別口預金（指定預金）受拂內譯表　第十三號書式
五　歲入金月計突合表　第十四號書式
六　歲出金月計突合表　第十五號書式
七　歲出支拂未濟繰越金月計突合表　第十六號書式
八　預託金月計突合表　第十七號書式
九　預金部預金月計突合表　第十八號書式
十　預金部受拂計算表　第十九號書式
十一　某月出納計算書　書式ハ別ニ之ヲ定ム
十二　某月歲入金內譯表　同上
十三　某月歲出金內譯表　同上

第八十七條　國庫金貸借對照表、國庫金受拂報告表、當座預金受拂內譯表、別口預金受拂內譯表及指定預金受拂內譯表ハ日本銀行本店ニ於テ每日之ヲ調製シ大藏省ニ提出スヘシ

第八十八條　歲入金月計突合表ハ各統轄店ニ於テ其ノ取扱ヒタル收入額及所屬代理店ノ取扱ヒタル收入額ヲ揭ケ每月之ヲ調製シ翌月七日迄ニ歲入徵收官ニ送付スヘシ但シ第十九條ノ規定ニ依リ取扱ヒタル收入額ハ所屬年度每ニ別表ニ調製スルモノトス

第八十九條　歲出金月計突合表ハ日本銀行各店ニ於テ其ノ取扱ヒタル小切手支拂額及支拂元受高（支拂元受高ヲ要スル特別會計ノ歲出金月計突合表ニ限ル）ヲ揭ケ每月之ヲ調製シ支拂濟ノ小切手其ノ他ノ證憑書類ヲ添ヘ翌月五日迄ニ支出官ニ送付シ其ノ證明ヲ受ケ添附シタル證憑書類ト共ニ之カ返付ヲ受クヘシ

前項ノ月計突合表ニハ其ノ餘白ニ隔地拂資金ノ受拂額ヲ記入シ其ノ證憑書類トシテ受取人ノ領收證書ヲ添附スヘシ

第九十條　歲出支拂未濟繰越金月計突合表ハ日本銀行各店ニ於テ其ノ取扱ヒタル歲出支拂未濟繰越金ノ支拂額ヲ揭ケ每月之ヲ調製シ支拂濟ノ小切手其ノ他ノ證憑書類ヲ添ヘ翌月五日迄ニ支出官ニ送付シ其ノ證明ヲ受ケ添附シタル證憑書類ト共ニ之カ返付ヲ受クヘシ

第九十一條　預託金月計突合表ハ日本銀行各店ニ於テ其ノ取扱ヒタル預託金ノ受拂額ヲ揭ケ每月之ヲ調製シ預託金拂込書支拂濟ノ小切手、返納告知書又ハ現金拂込書ノ誤謬訂正請求書ニシテ每年度所屬歲入金又ハ歲出金ノ受入又ハ支拂ヲ爲シ得ル期間內ニ到達シタルモノニ付テハ之カ訂正ノ手續ヲ爲シ歲入徵收官又ハ出納官吏ノ請求ニ係ルモノハ歲入徵收官ニ對シ、支出官ノ請求ニ係ルモノハ支出官ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第九十二條　預託金月計突合表ハ日本銀行各店ニ於テ其ノ取扱ヒタル預託金ノ受拂額ヲ揭ケ每月之ヲ調製シ預託金拂込書支拂濟ノ小切手其ノ他ノ證憑書類ヲ添ヘ翌月五日迄ニ出納官吏ニ送付シ其ノ證明ヲ受ケ添附シタル證憑書類ト共ニ之カ返付ヲ受クヘシ

第九十三條　預金部受拂計算表ハ各統轄店ニ於テ其ノ取扱ヒタル預金部預金ノ受拂額及所屬代理店ノ取扱ヒタル預金部預金ノ受拂額中前條ノ月計突合表ニ揭ケサルモノヲ揭ケ每月之ヲ調製シ預金部預金拂込書、預金部預金拂戻請求書其ノ他ノ證憑書類ヲ添ヘ翌月五日迄ニ大藏大臣ノ指定スル官吏ニ送付シ其ノ證明ヲ受ケ添附シタル證憑書類ト共ニ之カ返付ヲ受クヘシ

第九十四條　某月出納計算書、某月歲入金內譯表及某月歲出金內譯表ハ各統轄店ニ於テ其ノ取扱ヒタル國庫金ノ出納額、收入額及小切手支拂額竝所屬代理店ノ取扱ヒタル國庫金ノ出納額、收入額及小切手支拂額ヲ揭ケ每月二通ヲ調製シ一通ハ日本銀行本店ヲ經由シテ翌月中ニ之ヲ大藏省ニ提出シ一通ハ之ヲ保存スヘシ

第九章　出納證明

第九十五條　日本銀行ハ會計檢査院ノ檢査ヲ受ケル爲會計檢査院ノ定ムル國庫金ノ出納計算書ヲ調製シ大藏大臣ノ定ムル期限內ニ之ヲ大藏省ニ提出スヘシ

第十章　雜則

第九十六條　日本銀行歲入徵收官、支出官又ハ出納官吏ノ送付ニ係ル納稅告知書、納入告知書、小切手、返納告知書又ハ現金拂込書ノ誤謬訂正請求書ニシテ每年度所屬歲入金又ハ歲出金ノ受入又ハ支拂ヲ爲シ得ル期間內ニ到達シタルモノニ付テハ之カ訂正ノ手續ヲ爲シ歲入徵收官又ハ出納官吏ノ請求ニ係ルモノハ歲入徵收官ニ對シ、支出官ノ請求ニ係ルモノハ支出官ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第九十七條　日本銀行支出官事務規程第三十條ノ規定ニ依リ誤謬訂正請求書ノ送付ヲ受ケタルトキハ之カ訂正ノ手續ヲ爲スヘシ

第九十八條　日本銀行歲入徵收官、出納官吏、預金部預金ノ預ケ入又ハ振込入ヨリ領收濟通知書、領收證書、預託金、領收證書、預金部

預金額取證書、預金部預金振込濟通知書又ハ預金勝入有價證券保管通知書ノ證明請求書ノ提出アリタル場合ニ於テハ之ヲ調査シ正當ナリト認メタルトキハ該請求書ノ餘白ニ證明ノ上之ヲ歲入徵收官、出納官吏、預ケ入又ハ振込入ニ交付スヘシ但シ振込入ニ對シ證明ヲ爲シタル場合ニ於テハ預ケ入ニ對シテ其ノ旨ヲ通知スルモノトス

前項ノ規定又ハ收納事務ヲ取扱フ市町村、銀行、會社其ノ他ノ者ヨリ拂込濟證明ノ請求アリタル場合ニ之ヲ準用ス

前二項ノ手續ヲ爲シタルトキハ其ノ事由ヲ帳簿又ハ證憑書類ニ記入シ置クヘシ

第九十九條　日本銀行ハ支出官事務規程第三十四條、出納官吏事務規程第七十條又ハ保管金取扱規程第二十條ノ規定ニ依リ歲出金支拂通知書、預託金支拂通知書又ハ保管金支拂通知書ノ亡失又ハ毀損ニ係ル届書ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ金額支拂未濟ナルトキハ其ノ旨ヲ届書ノ餘白ニ記入シ之ヲ當該支出官、出納官吏又ハ保管金取扱官廳ニ送付スヘシ

附　則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式　未濟繰越金歲入組入報告書（用紙寸法縱四寸五分橫三寸五分ノ程度ノモノヲ標準トス）

書告報入組入歲金越繰濟未

年　月　日

回（何店）行銀本日　中　月　年

額金	人取受	出振手振知書切通濟小		號番	項	款	官出支	廳管所	廳扱取	廳管所	計會	度年
		日	月	年								又時常臨經ハ部

第二號書式　現金拂込書（用紙寸法縱四寸五分橫三寸五分ノ程度ノモノヲ標準トス）

書込拂金現

第　號	年度會計
所管廳	取扱廳

金

外國送金爲替過剰金

內譯別紙ノ通

上記金額拂込候也

日本銀行（何店）回

宛（何店）行銀本日

書知通濟收領

第　號	年度會計
所管廳	取扱廳

金

外國送金爲替過剰金

內譯別紙ノ通

上記金額領收濟ニ付通知候也

年　月　日

日本銀行（何店）回

宛官收徵入歲

第三號書式　現金拂込書（用紙寸法縦四寸五分横三寸五分ノモノ（後略））

現金拂込書

第　號	年度會計
所管廳	取扱廳

金

隔地拂資金一年經過ノ分

內譯別紙ノ通

上記金額拂込候也

年　月　日

日本銀行（何店）㊞

日本銀行（何店）宛

第四號書式　預託金領收證書（用紙寸法美濃四分ノ一）

預託金領收證書

第　號

金

上記金額領收候也

年　月　日

日本銀行（何店）㊞

某廳出納官吏宛

第五號書式　預金部預金領收證書（用紙寸法美濃四分ノ一）

預金部預金領收證書

第　號

金

上記金額領收候也

年　月　日

日本銀行（何店）㊞

某廳取扱主任官（又ハ何々理事者）宛

領收濟通知書

第　號	年度會計
所管廳	取扱廳

金

隔地拂資金一年經過ノ分

內譯別紙ノ通

上記金額領收濟ニ付通知候也

年　月　日

日本銀行（何店）㊞

歲入徵收官宛

第六號書式　預金部預金振込濟通知書（用紙寸法美濃四分ノ一）

預金部預金振込濟通知書

第　號

金

振込人氏名

上記金額貴廳ノ預金トシテ振込相受候也

年　月　日

日本銀行（何店）㊞

某廳取扱主任官宛

第七號書式　預金利子元加通知書（用紙寸法美濃四分ノ一）

預金利子元加通知書

金

上記金額何年度分預金利子元加濟ニ付通知候也

年　月　日

日本銀行（何店）㊞

某廳取扱主任官（又ハ何々理事者）宛

備考　振込カ錯誤ナリシトキ又ハ其ノ必要ナキニ至リシトキハ振込人ハ官廳ヨリ其ノ旨ノ證明書ヲ受ケ之ヲ日本銀行ニ提出シ現金ノ返付ヲ請求スヘシ

第八號書式　預金部預金現在額證明書（用紙寸法美濃四分ノ一）

預金部預金現在額證明書

年　月　日
預金現在高

金

上記金額證明候也

年　月　日

日本銀行（何店）㊞

某廳取扱主任官（又ハ何々理事者）宛

上記金額貴廳ノ預金トシテ取扱方承認候也

年　月　日

日本銀行（何店）㊞

某廳取扱主任官（又ハ何々理事者）宛

第九號書式　預金部預金帳（寸法縦四寸五分横二寸八分）

第　號

預金部預金帳

殿

日本銀行（何店）

日付年	高入預	高戻拂	高殘引差